

UFOと宇宙

UFO & SPACE

AMAZING
NONFICTION
STORIES

モンゴル上空の飛行物体で中ソ両軍国境衝突！

⊕ 米空軍が極秘調査した最新UFO事件詳報

⊕ 本誌独占／CIA公表資料の衝撃的内容完全訳出第一弾

レーザー光線による超精密UFO写真分析技術

天文学新動向木星大接近／生きている衛星イオ

ハイネック博士を批判した天文学者の転向論文

Color Special 宇宙飛行士アレクセイ・レオノフの宇宙イラスト

なぜ満月に自殺・出産・犯罪が急増するのか

■ ウェンデル・スティーブンス特別寄稿 考察／UFOの起源(連載第一回)



5 No.46



長さ 9.7cm 巾 7.6cm 高さ 4.0cm 重さ 100g

金属プレートに指を置けば、ビーという音が出ます。あなたがリラックスするにつれ、皮膚抵抗が増大し、音は低くなり、反対にイライラしたりすると抵抗が減り、音が高くなります。あなたはGSR2の音をできるだけ低くすることを習うことにより、リラックスする方法を憶えられます。

●受験生、経営者、タレント、プロスポーツ選手、管理職、サラリーマン、OL、教師、医師…全ての方々

●GSR2 バイオフィードバックは何に有効か？

GSR2は「健全な心」を自分で作り、それを保つためのモニターと云えます。ですからGSR2は「心の鏡」とも云われます。毎日「心」を鏡に映して、具合が悪ければ、自分でメイクアップして「美しい心」にしましょう。

1. ストレスを追い払い、リラックスできます。

精神的なイライラやストレスを自分自身で、GSR2を使いながら追い払い、ゆったりとリラックスした快感を味わうことができます。今までにない幸福感すら味わえるようになります。

2. 精神統一が上手くなり集中力が養えます。

毎日GSR2の練習を続けると、集中力が高まります。受験生などはイライラすることなく勉強に集中できるようになりますし、野球の選手などは、バッターボックスで打つ球に集中できるようになります。

3. 深いめい想に入れます。

GSR2の練習を積みますと、禅やヨガで得られる瞑想に早く入ることができます。

4. 赤面、対人恐怖の不安を克服でき、あがりなくなります。

GSR2に習熟すると、いたずらに不安を感じたり人前でドキドキしたり、顔が赤くなったりすることが、次第に少なくなってゆきます。自分自身に今までよりもっと自信がもてるようになります。

5. ピンチに強くなります。

野球の投手はピンチを迎えても今迄とちがうはずで。コ

アメリカ、カナダで今、 爆発的人気!!—— バイオフィードバック

GSR2

ジー エス アール ツー

1ヶ年保証

¥20,000(送料サービス)

練習用カセットテープ、説明書、イヤホンつき

ルフの選手もこう一番が強くなります。受験生も本番で強くなるはず。すぐカーツとしたり、イライラする性格が改善されてゆくからです。

6. ESP能力が増します。

ヨガ瞑想者や禅瞑想者は、通常普通の人が出している β 波とちがう α 波と云う脳波を出すと言われます。GSR2で精神統一をすると α 波が出るようになり、この訓練を続けるとESP能力が増すと云われます。

7. 記憶力が増します。

先の α 波を出している状態では、記憶がどんどん入ることが実証されています。受験生や学生にはたいへんな武器になります。

リラックスする方法は2、3日で習得でき、その日から効果が出ますが、他は3～6ヶ月以上の練習が必要です。

GSR2にはアクセサリが付けられます。●●●●●●●●●●

1. サーミスター

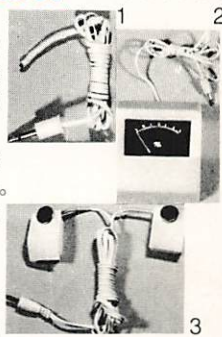
サーミスターはGSR2に全く別の新しい体温によるバイオフィードバックという機能を加えます。
¥8,000

2. メーター

メーターをつけると、GSRや温度の変化を音でなくメーターで読むことができます。
¥6,000

3. 電極

GSR2をポケットに入れて使うときや、お年寄、お子様には指先に固定できるので便利です。
¥6,000



説明書・テープも別売致します。説明書 ¥500 テープ ¥1,000

但し、GSR2には、あらかじめセットされておりますので、後で本体をお買上げの場合、値引きはありませんので御了承下さい。

アメリカでは「21世紀はバイオフィードバックなしには考えられない。」と云われているほどです。GSR2でストレスを追い出すことを憶え、タフな精神を養い、平和で豊かな心で人生を快適なものにしましょう。

問合せ、カタログ請求は下記へ。

輸入総代理店

● ポラックス株式会社U係

東京都中央区日本橋小舟町2-7 ☎ 666-0511(代) 〒103

製造元

THOUGHT TECHNOLOGY LTD.
CANADA

お申込みは、取扱店又はポラックス(株)へお願いします。
直接ポラックス(株)へお申込みの場合は、氏名、住所、年令明記、捺印の上、代金は現金書留又は郵便振替(東京4-8703)でポラックス(株)U係へお願い致します。現品急送します。

The Close Encounter of Jupiter Kind

(写真/AP)

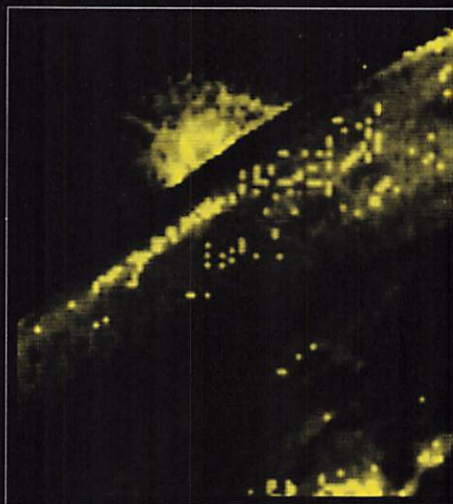
2840万キロの距離から見た木星、4大衛星のうちの3つも写っている。木星表面に重なって見えるのがイオ、木星の右にあるのがエウロパである。カリストは写真左下にかろうじて見えている。

ボイジャー1号がとらえた木星と4大衛星

アメリカが外惑星探測計画の第二弾として一昨年9月に打ち上げたボイジャー1号は、約18カ月かかって10億キロの距離を飛び、1979年3月5日、木星に最接近した。そして、この太陽系最大の惑星と4大衛星の未知の表情を次々と地上に伝えてきた。いま、私たちの太陽系の姿は大きく書き換えられようとしている。(本文50ページの記事参照)



木星の一番内側の衛星イオで発見された火山の噴火。噴火はきわめて激しく、科学者たちによると時速3500キロで衛星の表面から1000キロ以上も煙が立ち昇っているという。



木星は直径が地球の11倍、体積ではなんと13000倍という巨大な惑星である。そのまわりを、ガリレオが発見した4大衛星をはじめとして、全部で14の衛星が回っている。

科学者たちによると、木星と4大衛星

は、いわば三太陽系だという。また、

木星の組成物質は、約46億年前に太陽系ができて以来、基本的に変化していないと考えられている。したがって、この詳細なデータがわかれば、太陽系誕生のナゾを解く手がかりが得られるものと期待されていた。

ボイジャー1号は、この木星の雲の最上部から2万7800キロのところまで近づき、広角・望遠2つの高性能テレビカメラによって、驚くほど鮮明な画像を送り届けてきたのである。これらの写真は、まさに宇宙科学史上に残る成果といえよう。

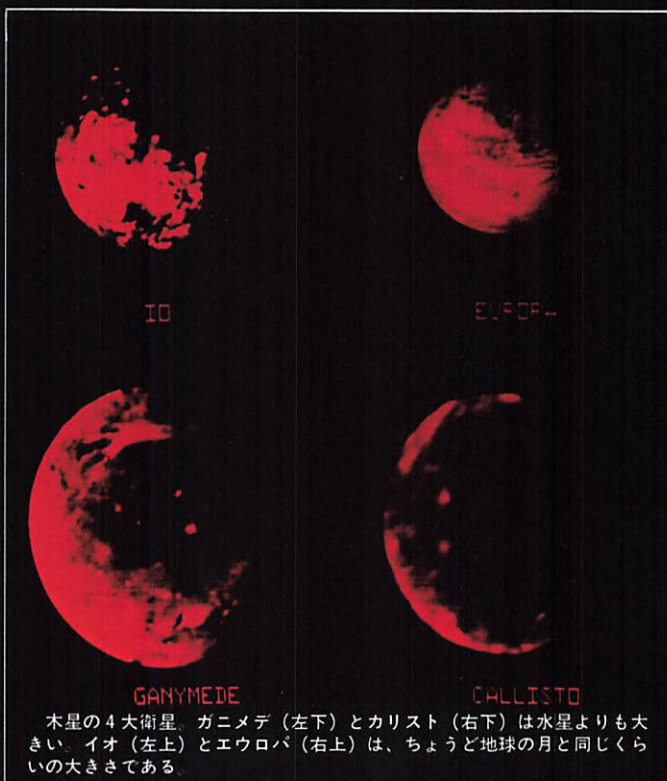
●木星にも薄い輪

今度のボイジャーによる観測で、木星にも土星や天王星のような輪があることがわかった。

土星の輪ほどはつきりしたものではなく、薄ぼんやりしていて、形も小さい。帽子のつばというより、白っぽいひもの

ような感じである。この輪の主成分は、氷と岩石の小さな破片らしい。

木星の輪は幅約900キロ、厚さ30キ



木星の4大衛星。ガニメデ（左下）とカリスト（右下）は水星よりも大きい。イオ（左上）とエウロパ（右上）は、ちょうど地球の月と同じくらい大きさである。

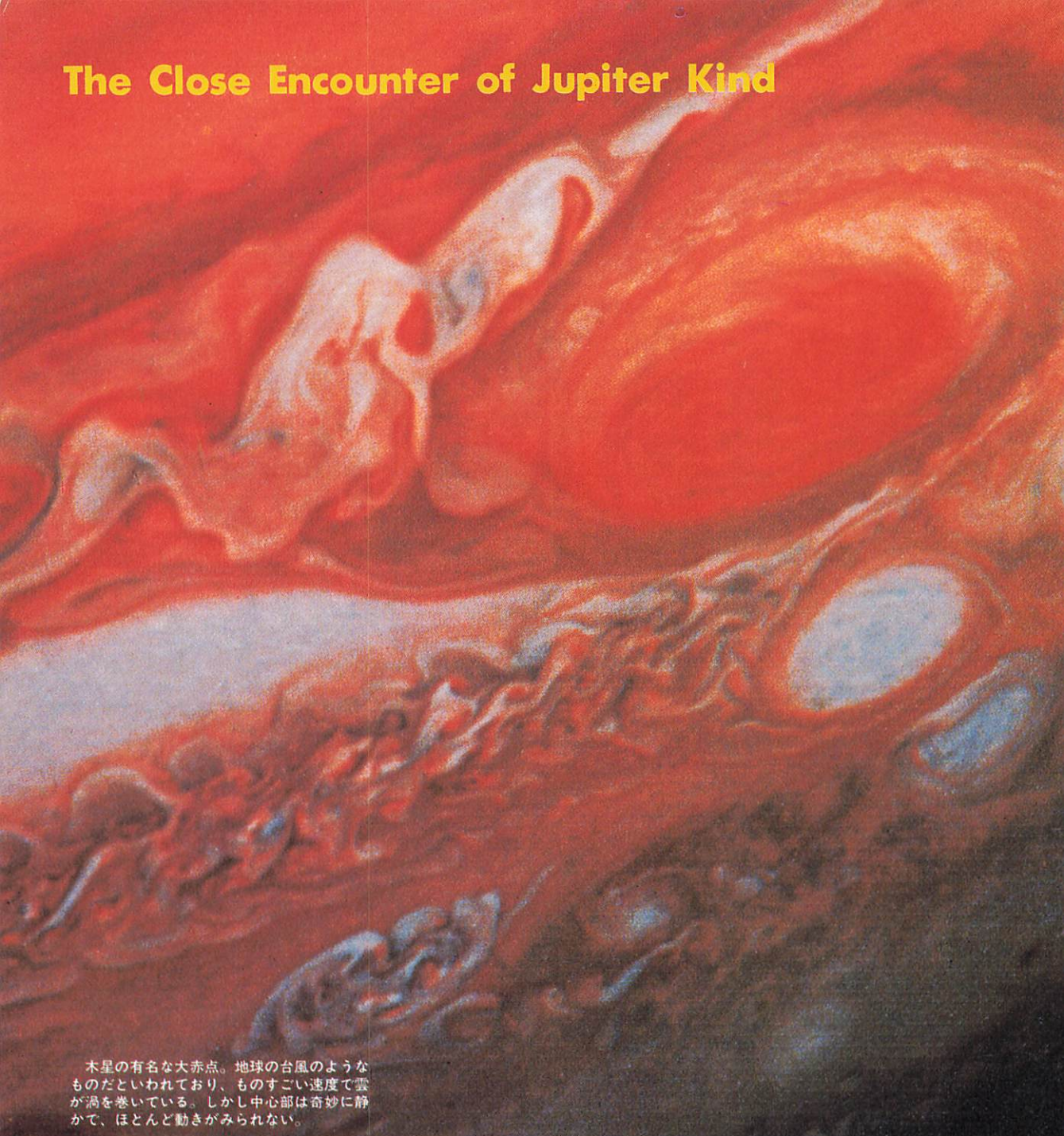
●イオは噴火中

また、木星の4大衛星のうち、最も内側を回っているイオに活火山があることも明らかになった。これは、地球以外の天体では初の発見である。

イオには少なくとも6つの活火山があり、その周辺の温度は摂氏93〜38度と、他の表面（マイナス160度）よりもはるかに高くなっている。

火山活動が活発なのは、イオが熱いこ

The Close Encounter of Jupiter Kind



木星の有名な大赤点。地球の台風のようなものだといわれており、ものすごい速度で雲が渦を巻いている。しかし中心部は奇妙に静かで、ほとんど動きがみられない。

木星の探測を終えたボイジャー1号はいま、次の目的地である土星へ向かつて2年がかりの旅を続けている。しかし、あと数カ月もすればボイジャー2号が木星に接近するので、ふたたび私たちの目をみはらせるような写真やデータを送ってきてくれるだろう。



木星にも薄い輪が発見されたことを発表するジェット推進研究所のブラッド・フォード・スミス博士。この想像図では輪が誇張して描かれている（UPRサン）

とを示している。地球の月と同じくらいしかない小さな天体がいまだに冷えていないのは、イオが形成されてまだ間もないか、あるいは内部に特別な熱源をもっているためと考えられる。もし誕生して間もないのなら、イオは月や火星のかつてのありさまを再現しているといえよう。さらに、アンモニアやメタンを含んだ大気と硫黄の存在から、イオは木星よりも生命が存在する可能性が高いと注目されている。



撮影データ アサヒペンタックス、レンズ50ミリ 1/125秒 f 5.6 コダクローム ASA 64

アルゼンチン にソンプレロ 型飛行体

1975年1月3日、アルゼンチンのリオ・ネグロにはときおり小雨がはらつき、空は終日厚い雲におおわれていた。朝9時すぎ、フランシス・モレノ氏は自宅の2階で小説を読んでいたが、とつぜんフーンという奇妙な音を聞いた。それはちょうどテレビ受像機が放送終了後に発する音に似ていた。彼は初め、真空掃除機かと思つたが、音は屋外から聞こえており、そんなに大きくはなかつたが、彼をいらだたせるに充分だった。彼は部屋にたひとつかない窓から外を見た。そして、空中からぶら下がりハランスをとっているような格好で、ソンプレロのようなかたちの黒い物体が浮いているのを目撃した。その物体が音を発していることはすぐに判明した。最初彼は驚いて一瞬立ちすくんだが、まもなくわれにかえり、階下の妻と娘にカメラを持つてくるように大声をあげた。彼女たちにも物体を見せたかったのだ。「彼女たちがカメラを持つて2階に上がったが、物体が消えてしまうのではないかと気が気ではありませんでした」。しかし、モレノ氏はなんとか2度、シャッターを押すことができた。間もなく物体は動きはじめた。しだいにスピードが増すにつれ、先刻のうなり音がまた聞こえた。物体が視界から消えたあとでも音はしばらく聞こえていた。彼らは物体の形状や大きさ、物体までの距離を判断することはできなかったが、物体の上部が下部よりも明るかったという点では3人とも一致していた。

1977年1月17日の夕方5時半頃、スペイン国境に近いフランス・ピレネーの町ロスピタレに住む女性バトリシア・モニンは両親やその知人たちといっしょにバドカースの道をくだつていた。一行が国道20号線と20A号線の交差点に近づいたとき、前方に突如、巨大な物体が出現した。その物体は赤く輝きながら空中に静止していたのである。モニンはそのときの様子を次のように

ピレネー山脈上空に 巨大な物体出現



話している。「時刻は午後5時半頃でした。私たちは父が税官吏をしているロスピタレの町に向かつて2台の車を走らせていました。先頭の車は私の父が運転し、父の友人が同乗していました。あとの車は父のもうひとりの友人が運転し、私は彼の横に、そして後部座席には私の母ともうひとりの女性、つまり運転していた人の奥さんが乗っていました。」

車が大きなカーブを曲がり切ったときです。突然、前方の、地上1000〜150メートルの雲ひとつない空中に静止している巨大な物体を発見したのです。前を走っていた父もその物体に気づいたとあって、2台の車はすぐに路肩に停止し、全員が外に出ました。私たちは最初、奇妙なかたちの雲が浮いているのかと思いました。しかし、私たちは誰もがその辺の気象とか雲のかた



ちなどを口頭見なれており、それが雲ではないことを確信できたのです。それに、空には見わたすかぎり、ほかに雲はなかったのですから。たとえ凝縮した雲があるとしても、あのような高密度をもつとは考えられません。物体は3、4階建ての細長いビルを横にしたほどの大きさで、全体にススのように薄汚れて見え、周囲をかすかな雲がとりまいている、そんなふうでした。中

湖面に映るUFOの影

心部はふくらみ、周囲は平たいのですがヘリの部分が鮮やかにオレンジ色に輝いており、その輪が物体の周囲をゆつくりと回っているように思われました。私はとつさにねらいを定め、3枚の写真を撮影しました。あたりが奇妙に静まりかえっていたのが今でも印象に残っています。それに、見渡すかぎりまっ青な空の中でその物体の周辺だけ霧がうすくたちこめているように見えたことも覚えています。

私たちは、この世のものと思われないような不思議な物体を数分間観察したあと、ふたたび目的地に向かいました。ロスヒタレへの最後の曲がり角で、もう一度振り返ってみました。そのときはもう物体は消えていました」

この写真はフロリダ州アリソンナに住むジョン・タナウェイがシルバー・レーフで撮影したUFOである。

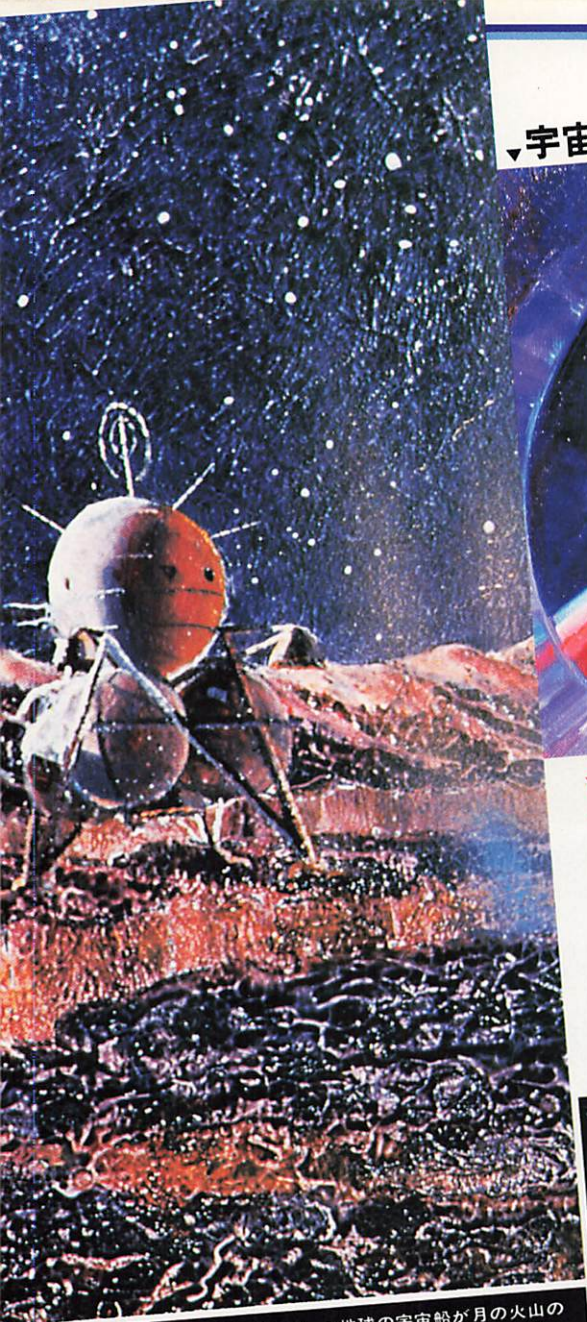
彼は1977年4月10日の日曜日、ふだこの兄弟シエフ、それに数人の友人たちとシルバー・レーフで釣りに出かけた。ジョンはカメラ好きで、すばらしく晴れ上がったその日も愛用のカメラを胸に下げていた。

湖岸に三脚を立て、カメラを据えつけてフラインターをのぞいていると、彼の視界に銀白色の物体がとびこんできた。彼はすぐさまシャッターを押した。そしてカメラから目をはなれ、空を見上げた。UFOも見えなければ飛行機も飛んでいなかった。

ジョンは実際に何かを見たのかどうか確信がもてなかったため友人には何も話さなかった。しかし、後日フィルムを現像してみると、その中に確かに奇妙な物体が写っていた。そればかりか、湖面にその物体の黒い影まではっきりととらえられていたのである。

彼の記憶では物体は何の音も発していなかった。写真を見ると、物体の周囲はかすかに白く輝いているが、ジョンは物体が熱あるいは一種の放射線を出していたのではないかと考えている。

▼宇宙で迎える朝の景色



ソ連宇宙飛行士

アレクセイ・レオーノフの 宇宙イラスト

月火山の近くで

▲地球の宇宙船が月の火山のクレーターに着陸している。

琴座 β 型変光星

▶この星の奇妙なスペクトルと複雑な光輝の周期的変化は長い間謎であった。しかし現在この恒星は主要な星とその周囲をまわる衛星からなる一種の二重星と考えられている。

アレクセイ・レオーノフは1965年にウオースホート2号で史上初の宇宙遊泳に成功し、また75年にはソユーズ19号とアメリカのアポロ宇宙船とのドッキングにも参加したソ連のベテラン宇宙飛行士である。彼は画家としても知られており、宇宙を素材に数10点の絵画を製作している。

レオーノフの絵画の特徴は、宇宙飛行士という稀有な体験のうえに彼自身の豊かな想像性と表現力が開花している点であろう。彼の絵には、人間の未来に果てしない希望を抱かせる明るさが満ちているようだ。

なお、これらの絵画は近いうちに一冊の本にまとめられ、出版される予定である。

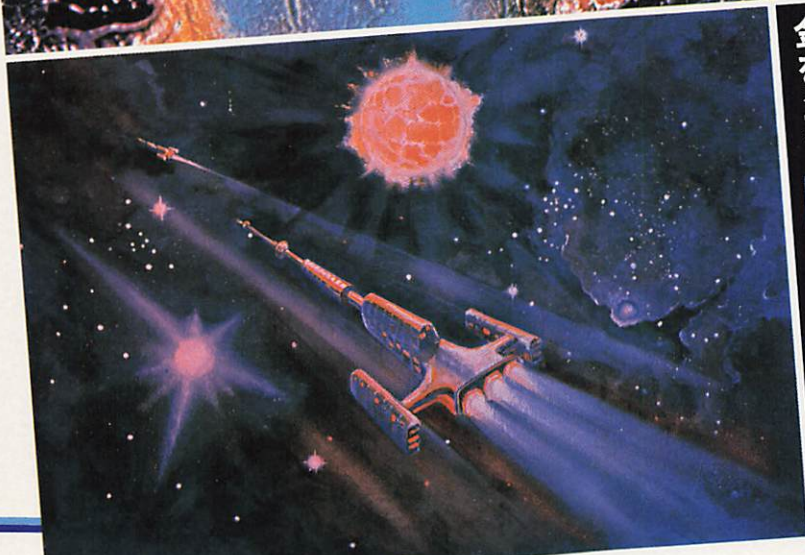


限りなき人類の夢と希望



金色の恒星ケフェウス座を通過して

◀いま星間連絡船が地球上でみられるケフェウス座のうちおそらく最も美しい双星の近くを飛んでゆく。



◀史上初の宇宙遊泳に成功したソ連の宇宙飛行士、アレクセイ・レオノフ氏。彼はまた、有能な画家でもある。

5月上旬
発売

「UFOと宇宙」臨時増刊
MISTERY ENCYCLOPEDIA

定価
580円

不思議世界百科'79

■ドラキュラからブラックホールまで——現代のあらゆる謎を徹底的に考察する。『UFOと宇宙』編集部が総力をあげて完成した目で見ると見る最新ミステリーガイド。

妖精／第10惑星／バミューダ・トライアングル／異次元／錬金術／占い／超心理現象／遺跡／リインカーネーション／超能力者／オーパーツ／ブラックホール／ふしぎな植物／ネッシー／予言者／ドラキュラ／宇宙エネルギー／ポルターガイスト／雪男／古代大陸／タイムトリッパー／ピラミッド

〒110東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル ユニバース出版社 電話03(832)1341〜4 振替・東京1119478

●お問い合わせは当社営業部まで。

UFOs & SPACE

No. 46, May, 1979

Captions for Color Photographs

CLOSE ENCOUNTER WITH JUPITER p.1-3

Voyager 1 swooped within 275,878 kilometers of Jupiter transmitting to Pasadena's Jet Propulsion Laboratory the pictures that revealed stunning and often baffling details of the solar system's largest planet. A major discovery was a ring girdling the planet. Shots taken by the 1,500 mm camera of Voyager 1 above the Jovian equator showed faint edge-on views of a ring less than 32 kilometers thick. Jupiter's colorful moons provided surprises of their own. Voyager 1 is now speeding on through outer space toward a close encounter with Saturn in November 1980.

A SPECTACULAR OBJECT ON FRENCH PYRENEES

Cover & p. 4

On 17 January 1977, at about 17:30, Miss Patricia Monin, a resident of L'Hospitalet, was traveling from Pas-de-Calais with her parents, when their attention was attracted toward the intersection of the Highways 20 and 20A by a luminous object. The size was spectacular. It sat motionlessly in the sky at 100 to 150 meters altitude. As Miss Monin tells it: "First we thought it was an unusual cloud but, being so accustomed to seeing the mountains and the clouds, we were sure it could not be a cloud. Besides there was not a cloud in the sky. Even very compact cloud could not be of such density. The total length of the object was almost the height of a 3 or 4 story building. It was a very dull red and black color similar to a lampblack, and seemed to be shrouded or dissimulated behind or in a faint clouded condensation. Swollen out in the center, flat around the edges. This thing was surrounded by a reddish-orange ring of vivid brightness which seemed to be turning around it."

A SHADOW ON SILVER LAKE

p. 5

John Dunaway Jr. and his twin brother Jeff and some friends of theirs had gone to Silver Lake for fishing on Easter Sunday 10 April 1977. John, a shutter bug, ventured

down to the lake to take some pictures since it was a beautiful clear day, he said, and the water was blue and sparkling. Dunaway said he found a beautiful scenic area and prepared to take some pictures. He set up his camera and as he looked through the lens, he saw a silvery-whitish streak, so he hurriedly pressed the release button. After taking the picture, he looked out over the lake but could not see the object. When he had the pictures developed, however, the strange object was clearly visible in the frame. There was also a dark spot in the water under the object that resembles a shadow of the object. A thin white haze could be seen surrounding the UFO which Dunaway guesses to be heat or some kind of radiation given off.

A SOMBRERO-SHAPED OBJECT IN ARGENTINA p.5

These pictures were taken by Sr. Francisco Moreno of San Antonio Oeste, Rio Negro, Argentina, on January 3, 1975. At first, he noticed a strange humming sound, similar to a television set tuned off station. It was not very loud but loud enough to irritate him. He went to the only window in the room and looked out to see if he could identify the source of the noise. It was then that he saw a dark object in the air outside. It was a dark gray sombrero-shaped object and was just hanging in the sky. He shouted for his wife and daughter to come and bring his camera and also he wanted them to see the object for themselves. When he received his camera from his wife, the object began to move, at first slowly and then began to accelerate. He quickly raised the camera and took two pictures successively. It flew away to the south. They could still hear the sound rising and falling after it passed from view.

SPACE PAINTINGS BY AN ASTRONAUT

p. 6-7

Alexei Leonov is the Russian astronaut who had, for the first time, succeeded in a spacewalk in 1965 and also taken part in the Apollo-Soyuz docking in 1975. Still more, he is widely known as a painter specializing space. In these paintings, his imagination is beautifully combined with his space experience.

UFO CONTENTS と宇宙



1979

5

〔富川報告〕CIA・米空軍・米国防省が機密解除したUFO文書
米空軍が極秘調査した最新UFO事件

12

本誌独占

CIA公表資料の衝撃的内容完全訳出第一弾

21

●スイス・コンタクトUFO写真の完全研究

レーザーによる超精密写真分析

ラルフ・
ホーキンス

28

●ヒル夫妻誘拐事件の当事者

ベティ・ヒル未亡人にインタビュー

33

●CLOSE ENCOUNTER WITH JUPITER / 斎藤守弘

木星大接近 / 生きている衛星イオ

50

●BLAME IT ON THE MOON / テイモン・ハックラー

満月に急増する自殺、出産、犯罪

77

●モンゴル上空の飛行物体で中ソ両軍衝突！
 フランス政府のUFO調査報告がまとめた結論

●ニュージランドのUFO追跡報告 / 矢追純一

11

UFO実写フィルムへの科学的接近

●ジョージ・アダムスキーは帰ってきたか

スコリトン・ミステリー

●ロドファー・フィルムに激しく反論する

●ピラミッドの幾何学的考察 太田明

●ハイネック博士を批判した天文学者の転回論文

●ウェンデル・ステイブンス特別寄稿

考察 / UFOの起源 (連載第一回)

96

92 90 86

58

40

11 10

77

50

33

CONTENTS

ENGLISH CAPTIONS	8	豪華賞品が当たるUFOと宇宙クイズ.....	71
「UFOと宇宙」臨時増刊予告.....	8	UFO時評.....	104
コンディション・グリーン.....	46	ブックプラザ.....	106
UFOカレンダー(5月).....	48	読者のコンタクト広場.....	111
サイエンス・ニュースフロント.....	66	バックナンバー紹介.....	122

モンゴル上空の超高速飛行物体で 中ソ両軍衝突！

報告／ファン・ノルベルト・コムテ
(クアルタ・ディメンシオン誌／アルゼンチン)

1970年4月のことである。

ソ連と中国の国境が接する辺境から不可解な飛行物体の目撃が報告された。中ソ両国の当局者は、互いに相手側がこの微妙な国境地帯に新型の秘密兵器を投入したものと判断し、中国はソ連を非難、他方ソ連は同地域における新たな空の脅威に動揺を示した。

事態は悪化し、両大国の関係が危機的状況に陥ったことが報道された。



●中ソ国境地帯に配備されたソ連軍兵士

4月24日、密命を帯びたソ連

爆撃機がウラジオストックとモスクワ間を飛行中に突如失踪したことで事態は決定的となった。爆撃機の操縦士は地上と交信中であつた会話を突然中断、それ以来、現在まで爆撃機は乗員とともに姿を消したままである。

このとき、領土内に侵入した中国機により爆撃機が撃墜されたと判断したソ連空軍は非常警戒体制をしき、爆撃機の失踪地域に200機の大編隊を送りこ

数百の円盤状物体で断続的に物

体の色がオレンジから青、そして赤へと変化していた。

ただちにソ連の地上ミサイル基地が行動を開始し、飛行物体に向けてミサイルを発射すると同時に、物体の出現地点をつきとめようとした。ソ連の専門家は軌道や地図をもとに計算した結果、物体はモンゴルの主都ウランバートルの西1600

キロの地点から出現したものと推定された。

ソ連側が好戦的な中国の行爲だと確信したのはこのためである。ソ連軍は全軍ただちに戦闘体制に入った。当局の記録によれば、4月26日、鉄道はきわめて多数の戦車と大型火器のシベリア向け輸送を開始した。さらに陸上部隊3個師団が東に移動を続けた。

ソ連当局は、モスクワでの報道に関して兵員輸送は春季演習

の一環だと説明した。

だがその直後、ソ連空軍はこの「秘密兵器」攻略のため、ウランバートル西部にある「中国」基地を攻撃した。

一方、中国側もソ連と同じような結論に達し、「修正共產主義」ソ連の予期した侵攻が目前に迫っていると判断した。

4月27日、重装備の中国師団が中国国境を越えモンゴル西部に向けて前進した。おびたがい数の中国空軍戦闘機がモンゴル・シベリア国境地帯の哨戒のため発進した。

モンゴルは両大国の戦闘に巻きこまれて戦場と化す寸前であつた。

中国側は「ソ連」基地をウランバートルの西方と推定、ソ連軍が攻撃したと同一の未確認施設を攻撃した。ソ連軍がモンゴルに到着したのは4月30日、中国軍は4日後の5月4日に侵入

群の物体が出現。上空に異様な一

2、3日後、モンゴルの国境上空に異様な一群の物体が出現。

ソ連当局は、モスクワでの報道に関して兵員輸送は春季演習の一環だと説明した。

だがその直後、ソ連空軍はこの「秘密兵器」攻略のため、ウランバートル西部にある「中国」基地を攻撃した。

一方、中国側もソ連と同じような結論に達し、「修正共產主義」ソ連の予期した侵攻が目前に迫っていると判断した。

4月27日、重装備の中国師団が中国国境を越えモンゴル西部に向けて前進した。おびたがい数の中国空軍戦闘機がモンゴル・シベリア国境地帯の哨戒のため発進した。

モンゴルは両大国の戦闘に巻きこまれて戦場と化す寸前であつた。

中国側は「ソ連」基地をウランバートルの西方と推定、ソ連軍が攻撃したと同一の未確認施設を攻撃した。ソ連軍がモンゴルに到着したのは4月30日、中国軍は4日後の5月4日に侵入

World UFO Affairs



フランス政府のUFO調査報告書 がまとめた結論

報告／テレンス・ディキンソン
(トロント・サン紙／カナダ)

し、両軍は交戦状態に陥った。信頼できる筋は、ソ連が「中国」の秘密基地に対し小型核兵器を使用したと報告している。この攻撃によ

つて破壊されたのは、実は「中国基地」でも「ソ連基地」でもなく、地下数キロにおよぶトンネル網を有するピラミッド型の構築物であり、UFOの前進基地説も出ている。

交戦のあと、両国は単に国境地帯で小ぜり合いがあったと発表した。後日に至ってもこの事

件の詳細は公表されなかったが「秘密基地」についての誤認は認めている。また、事件の数日後モスクワ上空に2基の巨大なUFOが現われ、1人のイギリス記者がこれを目撃してロンドンに報告を送ろうとしたが検閲で押さえられ、KGBに阻止されたという。

フランス国内で起こった11件の接近遭遇を秘密裡に研究していたフランス政府機関の調査結果によると、目撃された物体は自然現象や人間が作った機械装置ではないという。フランス政府が関わっているUFO研究でこのような結論が出されたと分かったのは初めてである。

これは、500頁にのぼる調査報告書の結論が非公式のルートからもれたもので、それによると、UFO事件の調査から「われわれの知識ではどのような原理で推進しているのか判断できない」という。飛行装置の実在が明らかになったとしている。

報告書の原文に目を通した、ある科学者によると、フランスの研究レベルはきわめて高いもので、これに比べると60年代後半にアメリカ空軍が作成した「ゴンドン報告」は非常におそまつだという。

この科学者は「この調査内容は、この種の調査を行なう場合のお手本ともいえるものだ」とつけ加えている。

11の事件は、1966年から1978年にかけてのもので、

目撃者が信頼でき、UFOが250メートル以内で目撃されているものの中から選出されている。そのうち2件ではヒューマノイドも目撃されている。

11件のうち10件について科学者たちは目撃者の見たものが説明不能な物質現象だと結論している。

この科学調査グループは1977年にフランス政府によって作られたもので、UFO事件が起これば全国の警察からテレタイプで報告を受ける。

調査報告に含まれている事件

「徹底的な」科学的研究では見すごされていた要素である。

現在のところ、政府の援助でUFO研究を行なっている国はフランスだけである。

報告／富川正弘

■UFO研究家 在ニューヨーク



UFO出現で緊急発進した米空軍のF106戦闘機

●1975年米国北部諸州 の戦略空軍基地上空に現わ れた謎の飛行物体

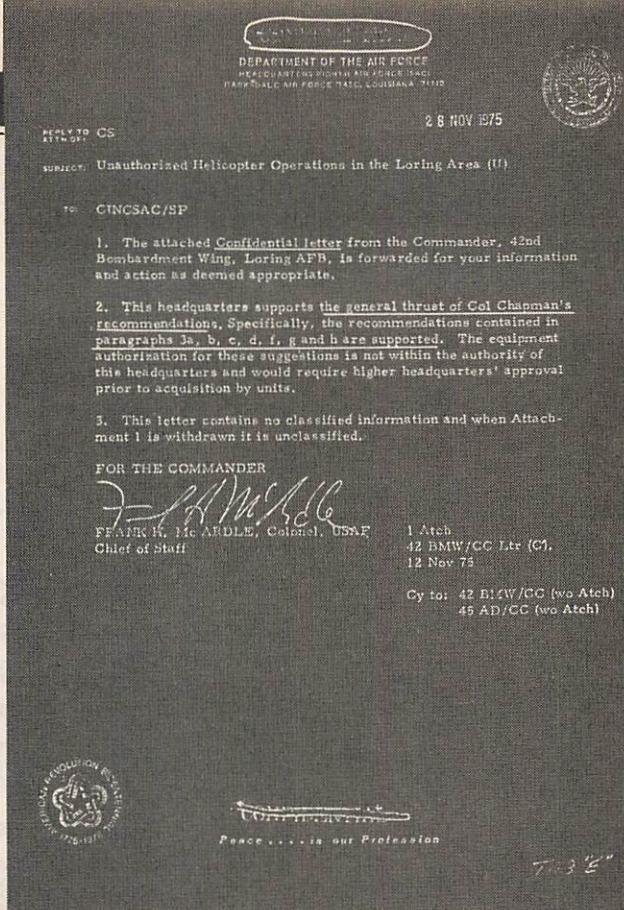
1975年10月27日から11月10日に
かけての約1週間にわたり、メイン州、
ミシガン州、モンタナ州など、カナダ
と国境を接するアメリカ北部の諸州に

先月号に引き続き、ぼう大な機密解
除文書の中から、とくにプロジェクト・
ブルーブック閉鎖以降、米空軍が公式
にはUFO調査研究を行なっていない
はずの期間に行なわれていた、米空軍
の対UFO作戦や、その他の興味深い
資料をいくつか選んでここに紹介して
みよう。

先日公表された機密文書は、米空軍につ
いても衝撃的事実を明るみに出した。こ
れまでの公式発言にもかかわらず、米空
軍はUFO研究を中止していないのだ。

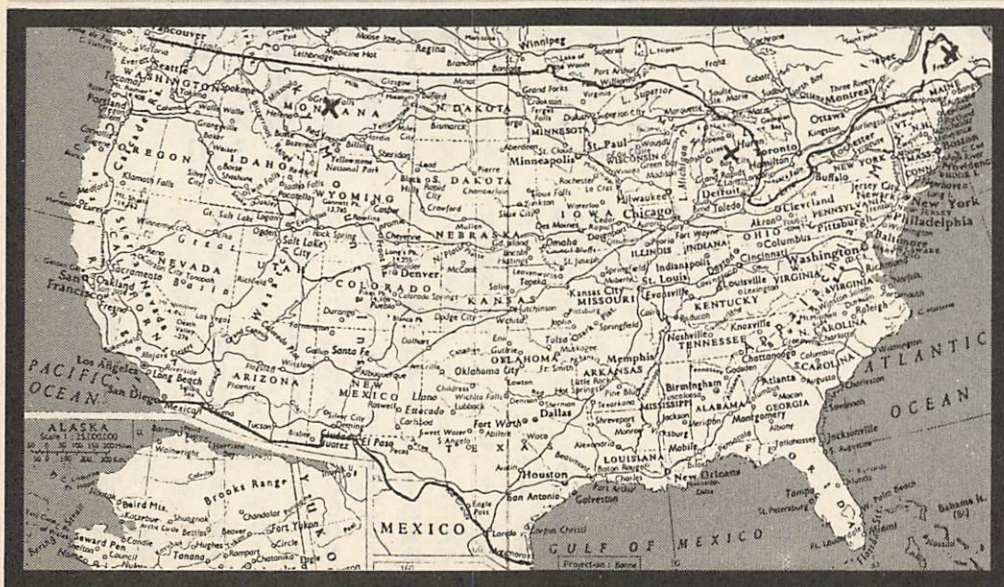
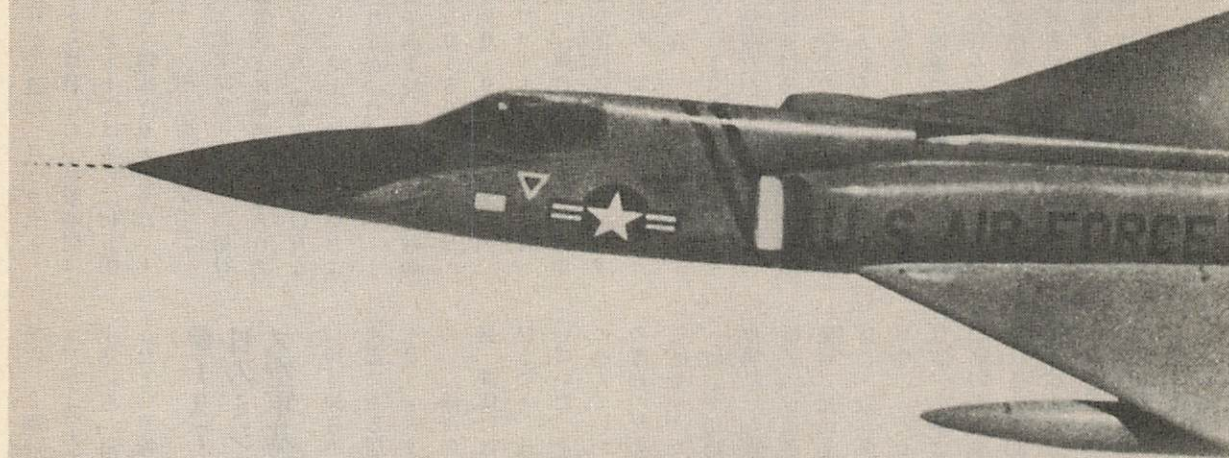
米空軍(USAF)は1969年12
月、UFO調査機関プロジェクト・ブ
ルーブックを閉鎖し、以後UFOに関
する調査、研究は行なっていないと公
表し続けてきた。そして、「米空軍も
UFO研究を中止した」と公式発表し
たことが、UFO否定論者たちの「否
定論」を決定づける大きなよりどころ
となっていた。

しかし、実は一般大衆へのこのよう



▲1977年秋に機密解除された米空軍の秘密文書。これは、1975年10月27日
と29日に起きたローリング空軍基地事件の報告書の一部である

米空軍が 極秘調査した 最新UFO事件



◀1975年に謎の飛行物体が出現した米国北部諸州の戦略空軍基地の所在地。右から、メイン州ローリング、ミシガン州ワートスミス、モンタナ州マルムストローム空軍基地

展開しているいくつかの戦略空軍基地／核ミサイル貯蔵・発射基地などの上空に怪飛行物体（米空軍の報告書では「未確認ヘリコプター／航空機」「UFO」などさまざまな表現で記述されている）が次々に出現し、嚴重な警戒下にあるミサイル発射施設のすぐ近くまで降下するなどの偵察行動を示したにもかかわらず、米空軍やカナダ空軍は、これらの怪飛行物体を補そく・迎撃することはおろか、識別することすらもできないという重大事件が発生した。

米空軍当局は、これらの事件を米国民に対し、ひた隠しに隠してきたが、「情報の自由化」法にもとづくGSWなどからの資料公開要求に対して、1977年秋、しぶしぶ秘密文書の一部を機密解除した。これらの文書には、以下の要約にみられるように、各基地から次々に報告されてくる怪飛行物体の目撃報告、これに対応する米空軍内部でのあわただしい動きと、マスコミ対策のための指示などが生々しく描かれている。

●1975年10月27日、29日のメイン州ローリング基地事件の報告書

午後7時45分、核兵器貯蔵区域にお

いて、警備兵が「謎のヘリコプター」を至近距離から目撃した。目撃時間は35分間。レーダー上ではさらに40分間とらえられた。物体はカナダのニュー・ブランズウィック州方面に飛び去った。NORAD（北米防空司令部）の第21および第22管区との協議が行なわれたが、スクランブル（緊急発進）は行なわれなかった。地上では遺留物などは何も発見されなかった。

10月29日午前1時、再び核兵器貯蔵区域から3000～5000ヤード（注・1ヤードは約0・9メートル）以内、高さ150フィート（約45メートル）ほどの空中に、無灯火のヘリコプターを発見。航空国防隊所属のヘリコプターが発進したが、物体を発見することはできなかった。

また、KC-135機（注・もともとは空中給油機だが、滞空時間が長いために、各種通信装置やレーダーを多数積み込み、空中の移動司令所として使用されることが多い）が、高度5000フィートから、「謎のヘリコプター」に対して無線で応答するよう呼びかけたが、応答もなく目撃もできなかった。地元警察や州警察、国境警備隊やカナダ騎馬警察にも連絡が取られ、次の目撃に備えて、航空国防隊のヘリがもう1機バンゴールで警戒待機し、

また、2機のF-101戦闘機も待機したが、現われなかった。カナダの基地上空にも「謎のヘリコプター」が飛来したという報告がある。

●1975年10月30日、31日のミシガン州ワートスミス空軍基地事件の報告書

10月30日午後10時10分ごろ、基地南東部にある居住地区ゲートの警備兵マーティン・タカベリーは約5秒間、彼のいた場所の南の方角に飛行物体を発見、機体には下を向いた白いライトがひとつと、後部に赤いライトが2つついていた。その飛行物体は西南西方向に進んでいたが、上空を飛行中のB52の爆音のため、飛行物体からの音は聞こえなかった。

続いて10時14分、基地正門近くの駐車場にいた憲兵マイケル・マイヤースは彼の位置から西の方角に複数の光を発見、光は北へ向きを変え、高度を下げた。音は聞こえなかった。同じく駐車場にいたロバート・アンダーソン軍曹は、空中にKC135と、もうひとつ別の赤い光をつけた飛行物体が飛んでいるのを30秒間ほど目撃、その物体はKC135よりも前方の低空をゆっくりと飛んでおり、ヘリコプターと同じような音が聞こえたと報告した。

10時25分、その飛行物体は基地中央北部にある核兵器貯蔵地域上空を通過し、基地の敷地のすぐ外部に着陸したらしいという報告もあったが、着陸の証拠は見えていない。加えて、基地の管制塔の係員も、その飛行物体を目撃しておらず、また、その物体と無線で交信する試みも行われていないが、しかし、管制塔のRAPCONレーダー（注・Control Rapid Radarの略で、離着陸するジェット戦闘機などの位置把握、方向指示などに使用される高性能レーダー）は、その物体をはっきりととらえ、たまたま、夜間訓練中で上空を飛んでいたKC135に物体の追跡を指示した。

10時30分、管制塔から連絡を受けたKC135（機長フレデリック・パパス少佐、飛行教官ランドール・ヒギンボサム氏）は、機のレーダーでその物体を探したところ、基地の東、ヒューロン湖岸近くにいるのを発見、管制塔のラプコン・レーダーとも位置確認をした。

10時50分、基地の北北東21マイルの地点で、KC135機は、肉眼でも飛行物体を発見、物体は2機いたが、航空灯や衝突防止灯などもつけておらず、まるで、お互いの位置を示し合うかのよう、鈍い白色とオレンジ色の光を



不規則に明滅させて飛行していた。南に向けて飛ぶ物体に近づこうとしてKC135機は2度ターンしたが、そのたびに物体もターンして、同じ距離を保った。

11時13分、基地南東35マイルの地点で、物体は下降し見えなくなってしまう(この後、物体はこの地点と基地上空の間を何度も往復するという不思議な動きをみせている)。管制塔は、KC135に引き続き基地の東の軌道を

飛び続けるように指示した。

0時15分、ラプコン・レーダーは基地の南(KC135の西)にふたたび物体を発見、KC135も目撃して進路を西に転じた。ラプコン・レーダーには物体に接近するKC135が映っていたが、近づくとも物体も西にターンしてまたも見失ってしまった。

0時17分、ラプコン・レーダーは基地の東に別の物体を発見、物体は基地上空を通ると南に向ったが、基地南東

6マイルの地点で再び物体は2つとなり、推定200ノット以上の速度で飛行、KC135はどうしても接近することができなかった。前回と同じように不規則に明滅させる光が見えていたが、さきほどと同じ基地南東35マイルの地点までくると、また見失ってしまった。

0時32分、KC135の燃料が切れかかったので基地へ引き返したが、着陸直前、ラプコン・レーダーは再び基

地の南5〜7マイルの地点に物体を発見、KC135からも点滅する光が目撃されたが着陸せざるをえなかった。KC135が物体に最も近づくことのできた距離は1マイルぐらい、高度は1500〜3000フィートぐらいであつた。

基地から地元警察、沿岸警備隊、ミシガン州資源局などに問い合わせたがいずれも心当たりがないとのことだった。さらに、この時間帯に、付近を航行したヘリコプターが飛行機がいなかったと調査したが、該当機は発見できなかった。

●1975年11月7日〜10日 モンタナ州マルムストローム空軍基地事件の報告書

11月7日午前0時20分ごろ、モンタナ州ルイスタウン西方のマルムストローム空軍基地第430戦略ミサイル中隊トーマス・オブライエン大尉と彼の副官とが、夜間当直勤務を終えてミサイル発射コントロール施設内の建物の中にいたところ、建物上空にヘリコプターのローター音のような音が聞こえた。副官が窓に走りよって外をみるとミサイル発射コントロール施設の金網の外25フィート(7・5メートル)、地上約10〜15フィート(3〜4・5メ



空中の移動司令所といわれるKC135機がUFOを追跡したが、接近できず見失ってしまった

ートル)ほどの空中に大きな飛行物体のシルエットが浮かんでいるのが見えた。

副官は、その飛行物体の前部に赤と白の光が2個、底部に白い光が1個、後部に白い光が1個ついているのを見たが、夜の暗がりのため、機上の人物

や装置、機体のマークなどは識別できなかった。物体はその位置に約1分間ほどじっと動かずに浮かんでいてから飛び去った。

大尉自身はその飛行物体を見ていないが、その音からヘリコプターだろうと考えた。副官も、聞こえた音はヘリ

コプターの音だろうと思った。しかし、他の兵員たちは、この出来事にまったく気がつかなかった。

一方、このミサイル発射基地から南へ50マイル(80キロメートル)のところにある2つのミサイル発射基地でも11月6日深夜から7日早朝にかけて、UFOらしき光体が発見されたという報告が、第341戦略ミサイル部隊のロスコ・モールスロップ大尉により発表された。この2つの基地では、ヘリコプターのような音が聞こえたという報告はない。この時間、空軍基地所属のヘリコプターは飛ばしていないし、地元警察でも飛ばしていない。また、ルイスタウンの民間飛行機会社も飛ばしていないことが判明した。

さらに、NORAD(北米防空司令部)第24管区のリーダーは、7日深夜高度1万2000フィートを南南西に向って飛ぶ1機から7機の未確認飛行物体をとらえた(北緯46度45分、西経109度23分)。ミサイル発射基地M1、L3、LI MA、L6などでは大きな赤色/オレンジ/黄色の光を放つ物体を続々と目撃。ムーアの南約10マイル、バッファローの東約20マイルの地域に散在する破壊工作監視ポストK1、K3、L1などからもUFOの目撃報告が戦略空軍司令部に続々と入った。気

象部では、異常気象や北極光などの現象は発生していないと報告。

0時45分、グレートフォールズ空軍基地から2機のF106戦闘機が緊急発進。

1時35分、K3は高度3000フィートに物体目撃、L4は5マイルの地点に目撃と報告。しかし、上空にF106戦闘機が現われると、UFOは光を消してしまい、F106が去るとUFOは再び光をつけるため、F106からは肉眼、リーダーともに1度もUFOを発見することができず、1時50分やむなく基地に帰投した(実はこの数日前から同様な事件がマルムストロム基地周辺地域で発生していたのだが「原因不明」の報告が提出されていなかった)。

7日午前6時19分、それまでK1の東にいた非常に明るく輝く物体は南東に移り、10×50倍の双眼鏡で見ると、数個の光をつけているようにみえた。

また、K1の頭上にいるほうのオレンジ色/金色の物体もいくつか小さな光をつけていた。6時27分、L1の北東にいた物体から黒い管状の物体が放出されるのが目撃された。6時55分、日の出とともにUFOも消滅したとの報告がK1、L1からあった。

この後、8日、9日、10日の夜も引

ROUTINE

UNCLASSIFIED

PT 00041

JCS 020317

DATE Possibly 2

RTTUZYUW RUCIFWAD002 3051017-UUUU--RUEB0U4.

ZNR UUUUU

R 312227Z OCT 75

FM AFOSI DET 0503 WURTSMITH AFB MI

TO RUEB0U4/HQ AFOSI WASH DC/TVOAD

RUYA444/AFOSI DIST 5 WRIGHT PATTERSON AFB OH

RUMTEKA/AFOSI DIST 13 OFFUTT AFB NE

RUCI444/AFOSI DIST 9 MAXWELL AFB AL

RUCV444/AFOSI DET 0815 BARKSDALE AFB LA

RUCI444/AFOSI DET 1203 SCOTT AFB IL

RUMTEKA/HQ SAC OFFUTT AFB NE

RUCV444/HQ 8TH AF BARKSDALE AFB LA

RUCI444/HQ SCOTT AFB IL/SP

BT

UNCLAS FOR OFFICIAL USE ONLY AFOSI DETACHMENT C503

THIS IS IIR 1 624 0414 75

1. UNITED STATES

2. UNKNOWN ENTITY: UNIDENTIFIED HELICOPTER SIGHTED OVER

WURTSMITH AFB, MI

3. NA

4. 30 OCT 75

5. WURTSMITH AFB, MI, 30-31 OCT 75

PAGE 2 RUCIFWAD002 UNCLAS

6. SEE ITEM 15

7. SEE ITEM 15

8. 1 624 0414 75

9.

10.

11. HQ CR 44, 3D, 3E. C5D56-105/02

12. AFOSI DIST 5, WRIGHT PATTERSON AFB, OH

13. SA LARRIE F. VARNES, AFOSI DET 0503, WURTSMITH AFB, MI

14. ROBERT L. JONES, COL, USAF, COMMANDER

15. A. THIS REPORT CONTAINS UNPROCESSED INFORMATION. PLANS OR POLICIES SHOULD NOT BE EVOLVED OR MODIFIED SOLELY ON THE BASIS OF THIS REPORT.

B. ON 30 AND 31 OCT 75, SOURCE ADVISED AN UNIDENTIFIED HELICOPTER HAD BEEN SIGHTED OVER THE CONFINES OF WURTSMITH AFB, MI (WAFB). THE INITIAL SIGHTING OCCURRED AT APPROXIMATELY 2210 HOURS, 30 OCT 75, IN THE VICINITY OF THE FAMILY HCUSING AREA, LOCATED IN THE SOUTHEASTERN PORTION OF WAFB. TWO SUBSEQUENT SECURITY POLICE UNIT REPORTINGS WERE MADE AT 2214 AND 2220 HOURS, RESPECTIVELY. AT 2225 HOURS, AN UNIDENTIFIED HELICOPTER WAS REPORTED TO HAVE PASSED OVER THE WAFB WEAPONS STORAGE AREA LOCATED IN THE NORTH-

ROUTINE

UNCLASSIFIED

UNCLASSIFIED

▲1975年10月30日から31日にかけて、ミシガン州ワートスミス空軍基地で起きた謎の飛行物体目撃事件に関する米空軍の報告書の一部

パターンがくり返された。

●米空軍のマスコミ対策

引き続きマルムストローム基地周辺地域では、白/オレンジに光る円盤型のUFOが数機目撃されるという事件が、いつか、地上の監視員や、レーダーからの監視のなか、戦闘機が近づくと光を消し、遠ざかると光をつけるとい

このように各基地でのUFO事件が続発し、各基地と地元警察との連絡や民間人の目撃報告などから、マスコミ関係に秘密がもれることを恐れた米空軍は、さっそく各基地に対して、マスコミ対策に関する指令書を出した。

1975年11月12日付けの戦略空軍司令長官から各空軍基地司令部へのテレックスは、次のように述べている。

「戦略空軍司令部諸施設上空の未確認飛行物体に関する広報についての指示。

(一)、この数週間、UFO報告が多数発生した。この中には、戦略空軍司令部諸施設での目撃も含まれている。マスコミがいくらか関心を示しているの、さらに関心が増加するものと予想される。このような未確認飛行物体に関するマスコミからの問い合わせは、防空司令部の懸念するところであるので、マスコミからの問い合わせは、すべてNORAD（北米防空司令部）司令長官事務局に照会さるべきこと。

(二)、戦略空軍司令部施設に関してのマスコミからの問い合わせに対しては戦略空軍司令部との調整により準備された返事を答えるべし。

(三)、当問題が発展するにつれて、軍



H 15, 1979

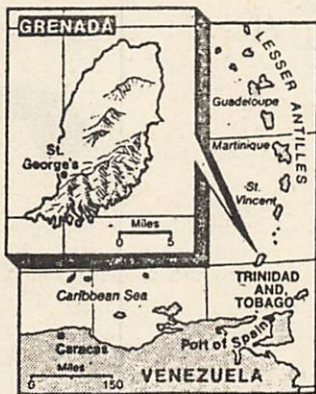
Grenada Ousted

gave up at 4 P.M.
ent said in Washing-
merican tourists were
with 130 permanent
and 700 Americans
al school. Radio
ists that they would
ome to stay.

y, the New Jewel
ed in 1972. Jewel
eavor for Welfare,
ation. Sir Eric con-
nist group, but Mr.
a moderate leftist
aders.

on leader who ent-
0's and became the
British colonial ad-
The British dis-
se of public funds,
Party put him back
lections and he re-
the island became

3月13日、グレナダでクーデターが起こり、
ゲリー首相の政府が倒され、新しい左翼政
権が樹立された。3月12日ゲリー首相56
歳は、フライデー文部大臣と共に国連に出
席のためニューヨークに到着したが、革命派
はゲリー首相の留守中をねらったらしく、
3月13日早朝クーデターを遂行した。
A.P.、ロイター、ニューヨーク・タイムズ
などの報道を総合すると、左翼指導者モーリス・
ビショップ氏(33歳)に率いられた「人
民革命軍」は、3月13日未明、兵営、警察署、
空港などを襲撃し、グレナダ放送局を占拠、
警官隊に降伏を呼びかけた。革命軍は米国や
ヨーロッパから密輸入されたサブマシンガン
などの武器で武装しており、少なくとも警官
1人が死亡、軍人1人が重傷を負ったといわ
れており、関係4人も自宅で逮捕された。
隣のパルバドス島で拘束された「自由グレ
ナダ放送」によると、午後4時過ぎには人口
11万人のグレナダ全島が制圧され、グレナダ
新革命政府が樹立された模様である。
グレナダは1974年2月7日、イギリス
から独立、独立以前から勢力を築いていた統
一労働党のサ・エリック・ゲリー氏が首
相に就任、圧倒的な勢力を誇っていたが、ゲ
リー首相に敵対するジュエル運動と呼ばれ
る反政府運動も活発に行なわれていた。
今回のクーデターの指導者ビショップ氏は、
キューバの共産革命指導者、故チェ・ゲバラ
を深く尊敬しているといわれており、キュー



The New York Times/March 14, 1979

▲グレナダの地図

一方、ニューヨーク滞在中に国元での突然
のクーデターで足元をすくわれたゲリー首
相は、さっそく国連、アメリカ、イギリス、
カナダなどに対して、グレナダの唯一合法政
権であるゲリー首相の復権を援助してくれ
るよう要請すると共に、必死の巻き返し工
作を始めているが、前途は多難な模様である。

グレナダで政変 国連UFO運動に衝撃!

富川正弘

バに続きカリブ海に出現した左翼政権にアメ
リカがどう対処するか注目される。
3月15日現在、グレナダ全島には「夜間外
出禁止令」が敷かれ空港は閉鎖されており、
グレナダ新革命政府はアメリカ政府に対して
ゲリー首相の身柄引き渡しを要求している
が、グレナダに滞在中の約1000人のアメ
リカ人観光客、学生らの安全は保証してい
るという。

筆者はクーデター発生に驚き、さつそ
くニューヨークのグレナダ代表部を訪れてみ
たが、留守番役の職員が2、3人不安な表
情で座っているだけで、どこか秘密の場所
で今後の対策を練っているであろうゲリー首
相やフライデー文部大臣には面会できなかつ
た。

さて、今回のこのグレナダの政変は、ゲ
リー首相やグレナダ国民にとって一大事であ
ることはもちろんだが、世界中のUFO研究
者たちにとっても一大事である。
ゲリー首相の勇気ある努力で、世界の歴
史始まって以来はじめて国連の場で正式にU
FO問題が討議され、きたる6月には、い
よいよ宇宙平和利用委員会においてUFO問題
が審議されるということまでこぎつけたと
いうのに、今ここでゲリー首相が失脚して
しまったのでは、せっかくの国連でのUFO
運動も大打撃を受けてしまうわけである。

CAIのUFO秘密文書が公表され、アメ
リカ政府のUFOに対する深い関心が明らか
にされ、またイギリス上院においても英国史
上初めてUFO問題が討議されはじめた今日
国連でのグレナダの健闘が切に期待されてい
た矢先の今回の政変であるので、グレナダ政
界でのゲリー首相のカムバックがおおいに
期待されるところであるが、現実はいさぎし
いようだ。

(ゲリー首相は、革命政府につかまれば処
刑されてしまう恐れもある)

グレナダの革命運動の指導者たちは以前か
らゲリー首相はUFOなどについてつづつを抜か
して人民のことを忘れていてと非難してきて
いたから、グレナダの新政府に国連でのUFO
運動の推進を期待することは不可能であろ
う。(この点から、今度のグレナダのクーデタ
ーは国連でのUFO討議を好まないCIAデ
タは陰謀ではないかという憶測まで流れているが、
新政権が左翼であるところから見ると、ちょ
っと考えすぎといえる。しかし、一方で、ソ
連も米国の間に極秘の協定を結んでUFO
情報を見界の人々から隠しているとい
う説まであるので、いちがいに否定すること
もできないかもしれない。

関係者へのインタビュの要求がで
てくると予想されるので、インタビュ
ーに関しては以下の方針を取るものとす
る。インタビュは、インタビュイーさ
れる者の同意を得ること。インタビュ
ーの内容は、インタビュイーされる者の
個人的経験内容のみに制限し、米空軍
が、基地施設の保安以外にこの問題に
対して関心を示しているということ
を推測させたり、暗示させたりするこ
とを避けるよう注意すること。インタビ
ュイーにさきだつて、戦略空軍司令長官
事務局との相談、調整を行なうこと。

(四) 各基地は、当件に関するマス
コミからの質問とそれへの応待の模様を
すべて戦略空軍司令長官事務局に連絡
すること。

同じく、11月12日付けのNORAD
司令長官の極秘通達には、マスコミへの
応待の仕方と空軍のUFOに関する公
式見解を次のように記述して、「聞か
れたこと以外答えるな、空軍の公式見
解以外の余計なことはしゃべるな」と
いうことを暗に示している。

「(一)各地での目撃が関連していること
を示す証拠が示されたり、また、マス
コミが目撃の関連性について質問した
りしないかぎり、質問されたことにだ
け、個々に答えるのが最もよいと考え
る。返答は直載に行ない、軍が取った

It's Business as Usual in One Day After Regime

ST. GEORGE'S, Grenada, March 14 (AP) — Stores on this little Caribbean island opened for business as usual today and supporters of the rebel civilians who toppled the Government yesterday danced in the streets. One death was reported in the coup.

The cable office reopened and began limited transmissions, but telephone lines remained blocked. The airport has been closed since the coup.

Maurice Bishop, the 33-year-old opposition legislator who led the coup, declared an 8 P.M.-to-6 A.M. curfew and called on the 110,000 people of the 133-square-mile island, known for its exports of nutmeg and mace, to go back to work.

Mr. Bishop's "revolutionary army" struck before dawn yesterday while the Prime Minister, Sir Eric M. Gairy, was in New York on United Nations business. The 56-year-old Sir Eric checked out of his New York hotel last night and it is not known where he went.

the last police station. The State Department that about 400 Americans on the island, also American residents attending a meeting. Grenada assured them to be safe and were welcomed.

Mr. Bishop's party stands for Joint Education and Liberation. Bishop is considered by other Caribbean leaders.

Sir Eric was a long-entrenched politician in the chief minister in the administration in 1974. He missed him for many years but his United Labor Party remained in power in the 1970s and independent in 1974.

▲グレナダ政変を報じた3月15日付ニューヨーク・タイムズ紙

しかし、ひるがえって考えてみれば、UFO問題はひとりゲリー首相の問題ではなく、地球人類全体の重大な問題である。ゲリー首相が国連でUFO問題を取り上げさせる運動の志なきばにして挫折したのならば、どこか他の国が志を引き継いでリーダーシップをとってほしいものだ。筆者はいま、C UFO S、M UFO N、A P R O やイギリスの「フラインク・ソーサー・レビュー」を通じて、世界のUFO研究者たちに、それぞれ国の政府に国連へUFO情報を報告するよう働きかけてほしいと呼びかけているが、日本人として、やはり日本政府が率先してUFO問題に関し、国連でリーダーシップをとってくれるよう要求したいと思う。

国連外交を推進しているわが日本政府がUFO問題の重要性を認識しておおいに国連に働きかけてくれることを期待すると共に、筆者の同志である日本のUFO研究者諸兄が共働きかけをして下さるよう、切に願う次第である。

この後、新聞社の「バンゴール・デイルー・ニュース」ポットランド・プレス・ヘラルド、ラジオ局の「WDHP」「WGU Y」「カナダ放送局」などからも問い合わせがあり、あらかじめ用意されていたメッセーじが読み上げられ、マスコミ関係者たちは納得して引き上がった。

11月18日付けのバンゴール・デイルー・ニュースは「先日、カリブー警察や税関職員、カナダ騎馬警官などに目撃された物体は、リーダーにもとらえられていたと、ローリング空軍基地広報局クインビー少佐は語っていたが、本日再チェックしたところ、その物体がリーダーにとらえられたというのは何かの間違いだったらしいと、広報局

行動は関連性のない個々の出来事に対する反応であったことを強調すること。事務局は質問した報道機関の名前、質問内容、それに対する答などの記録を取り関係者に連絡すること。

(二) 1969年12月17日、空軍はUFO調査機関プロジェクト・ブルーブックの閉鎖を発表した。それ以後、空軍がUFOをさらに調査すべきことを示すような証拠は何も提示されていない。この分野において空軍が調査を再開する計画はない。』

これらの指示にもとずき、メイン州

のローリング基地の公報局では、マスコミからの問い合わせとそれに対する答えをまとめた空軍内部用の報告書を11月17日付けで作成した。この報告書にはAPの記者や地元の新聞社、ラジオ局などからの質問の内容と基地側の返事が細かく記されている。興味深い部分を記してみよう。

『日時—10月29日午前8時5分
質問者—ジャネット・クーパー・ス
タイン
会社—AP (メイン州フォート・
フェアフィールド)
質問—「メイン州カリブー警察署

によると、今朝1時、ローリング空軍基地の保安警察から電話があり、兵器貯蔵地区の上空にヘリコプターがいたとの連絡があったそうだが、何かものと情報はないか?』

答—クインビー少佐が電話に出て、そのような事件は知らないが、調べて返事をするかと答えた。他の職員から情報を得て、「兵器貯蔵地区」の定義と、関連情報について公表許可を8AF/OIより得てから想定質問、回答案を書き、42BW/CVの許可を得て、電話で8AF/OIとSAC/OIに読みあげて許可をとり、それからク

パー・スライナー記者に電話をして、許可を受けていないヘリコプターが午前1時ごろ基地上空を飛び、地上からの目撃とリーダーによつてとらえられたという事実を確認した。さらに「その物体は基地の北部を通過し北東方面に消え去った。低空を飛び光をつけていた」と説明した。午後8時30分、SAC/OIのカニングハム少佐がクインビー少佐に電話で、公表許可となったメッセーじが現在配達中との連絡をした。メッセーじは午後9時40分に届けられた。

ACTION: NONE-NO.

INFO: 500000

PTUZYUW RUMTEKA1047 3162359 NTHS-UUUU--RUEFHQA

ZNR UUUUU

P R 1223207 NOV 75

FM CINCSAC OFFUTT AFR NE/OIP

TO AIG 667/CC/OI

AIR 666/CC/OI

XMT/555RU OFFUTT AFR NE

XMT/544RTW OFFUTT AFR NE

RUCVAAA/RAF RAKSDALE AFR IA/CC/OI

RHFLAAA/15AF MARCH AFR CA/CC/OI

RUMJOF A/3AD ANDERSEN AFR GU/CC/OI

RUMJSLA/1STRAD VANDENBERG AFR CA/CC/OI

RHQA/AAA/ROSCSG DAVIS MONTHAN AFB AZ/CC/OI

RUMVAAA/1CEVR RAKSDALE AFR LA/CC/OI

RUMTGLA/430DARS GLASGOW AFR MT/CC/OI

ZEN/3902ARW OFFUTT AFR NE/CC/OI

INFO RUEFHQA/05SAF WASH DC/OI

RURRNLB/CINCPAC NORAD ENT AFR CO/OI

BT

UNCLAS

SUBJECT: PUBLIC AFFAIRS GUIDANCE - UNIDENTIFIED OVERFLIGHTS OF

SAC INSTALLATIONS. THIS MESSAGE IN FOUR PARTS. PART I- IN RECENT

PAGE 2 RUMTEKA1047 UNCLAS

WEEKS THERE HAVE BEEN VARIOUS REPORTS OF UNIDENTIFIED FLYING OBJECTS.

INCLUDING SOME SIGHTINGS IN THE VICINITY OF SAC INSTALLATIONS. THERE

HAS BEEN SOME NEWS MEDIA INTEREST AND MORE CAN BE EXPECTED. NEWS

MEDIA QUERIES CONCERNING SUCH UNIDENTIFIED OVERFLIGHTS ARE PROPERLY

THE CONCERN OF THE AIR DEFENSE COMMAND AND QUERIES SHOULD BE REFERRED

TO CINCPAC/01. PART II. MEDIA QUERIES RECEIVED BY BASES WHICH

CONCERN SOLELY SAC MATTERS SHOULD BE TAKEN AND ANSWERS PREPARED FOR

COORDINATION WITH NAF OR CINCSAC/OI. PART III. INTER-

VIEWS WITH BASE PERSONNEL MAY BE REQUESTED AS AN OUTGROWTH OF THESE

INCIDENTS. THE FOLLOWING POLICY GUIDANCE APPLIES TO INTERVIEWS.

INTERVIEWS WILL BE WITH THE CONSENT OF THE INTERVIEWEE. REMARKS

SHOULD BE CONFINED TO PERSONAL EXPERIENCES AND CARE SHOULD BE TAKEN

TO AVOID SPECULATION OR TO IMPLY AIR FORCE INTEREST BEYOND SECURITY

OF THE INSTALLATION. PRIOR COORDINATION WITH CINCSAC/OI AND NAF

OI IS REQUIRED. PART IV REQUEST BASES INFORM NAF AND CINCSAC/OI

OF ALL QUERIES CONCERNING THIS MATTER AND THE ACTION TAKEN.

BT

BT

PR IORITY

▲1975年11月12日に戦略空軍司令長官が各空軍基地司令官に通達したマスコミ対策に関する指令書

南約2マイルのカルビン・ウェスト氏の所有地に止まっていた小さなヘリコプターを検査するために、空軍のヘリコプターが1機着陸するのを目撃した証人が3人いると語った。

空軍のヘリコプターは再び飛びあがると、小さいほうのヘリコプターの上を舞い、小さいほうのヘリコプターが飛びあがれないようにしたというのである。クインビー少佐は、そのようなことはほとんどありえないように思われるが、調べてから電話すると返事した。彼女はまた、ワートスミス基地やマルムストローム基地で同様の事件について、何か知っているかと質問した。クインビー少佐は、そんなことはまったく知らなかったのだ、知らない」と答えた。

RAPCONレーダー、OSI、F A A、基地作戦司令部などを調べたがそのような事件は知らないということだった。しかし、8 AF/OIとSAC/OIに問い合わせたところ、彼女が正しい情報を知っていたことがわかった。彼女への返事の中で、クインビー少佐は、ローリング基地に一時的にきていた空軍のヘリコプターは、11月9日午前10時2分に所属基地に向って出発したこと、米空軍の航空機は私有地には許可なしには着陸したりしない

こと、他の機関を調べてみたところ、そのような事件は知らないとの返事を得たことなどを伝え、また、他の基地での同様の事件については、それぞれの基地の広報局へ直接問い合わせしてほしいと連絡した。

シャロン・ブラウン記者がその後、どのような調査をしてどのような記事を書いたのか、現在のところ筆者には不明だが、その民有地に着陸した大と小のヘリコプターとは一体何だったのだろうか？

なお、ローリング空軍基地の「無許可ヘリコプター」に関し、1975年11月28日、空軍参謀長フランシス・マツカードル大佐から戦略空軍司令長官に宛てた手紙には「チャップマン大佐の勧告案のうち、3 a、b、c、d、f、g、hの勧告はとくに支持できます。この勧告にしたがって使用されるべき装置は当司令部の権限外にあり、入手にさきだつて上級司令部の許可を得ることが必要です」と、書かれてある。

「このチャップマン大佐の勧告案」は米国の安全保障にさしざわりがあるとして、まだ機密解除されておらず、現在GSWやCAUSが引き続き公表要求をしているが、はたしてどのような内容が書かれているのであろうか？

(以下次号)

のバリー大尉は語った。バリー大尉によると目撃された光は、大気の特異な状態のために星の光りが通常よりも明るくみえた現象ではないかと思われるとのことである」という内容の記事を載せた。米空軍のUFO隠ぺい作戦はみごとに成功し、バンゴールの市民たちは、やはりあれは星のみまがいがいったと安心させられたわけである。しかし、このような空軍の作戦にだ

まされず、米国北部諸州の空軍基地でのUFO事件の関連性に気づき、ローリング基地に問い合わせた記者もいるのである。ローリング基地からの報告書には次のように記されている。

「11月11日午前11時、他の記者たちとは異なる質問がメイン州バス・ブランドウィック・タイムズのシャロン・ブラウンから質問された。彼女は、11月10日午後3時45分、ローリング基地の

独占掲載 第一弾

CIA PAPERS

CIA公表資料

さきごろ公表されたCIAの秘密文書は「見えない政府」として恐れられるCIAの魔手がUFO問題にも及んでいることを、はっきりと示すものだった。CIAが米空軍によるUFO

調査をいかにねじまげ、また、どのようにして真実を大衆の目から隠しつつづけてきたか、いくつかの秘密文書を翻訳して、その一端をご紹介します。

1 解説／ロバートソン査問会

UFO問題への初の本格的介入

1952年、アメリカはUFOウェーブに襲われた。同年7月のあの有名なワシントンUFOパニックをはじめとして、国内いたるところから目撃報告が相次いだのである。米空軍の発表している目撃報告数をもとに、前年の161件から、1501件の10倍近い増加ぶりである。

かねてからUFO問題になみなみならぬ関心を示していたCIAは、こころでついに本格的介入に踏み切った。

UFOはアメリカの国防上、なんらかの脅威となりうるのか。また、敵国の心理作戦に悪用され、大衆のパニックを引き起こす危険はないか。

CIAは、この2つの観点からUFO問題を検討するため、科学者による合同調査会議を招集した。いわゆるロバートソン査問会である。

査問会のメンバーは、いずれも第一線で活躍する科学者であった。議長は前カリフォルニア工科大学教授で、C

psychology of public, written about the famous Orson Welles radio broadcast in 1938 and her since performed advanced laboratory studies in the field of perception. The names of Dr. Larcus (University of Michigan) and Leo Rosten were mentioned as possibly suitable as consultant psychologists. Also, someone familiar with mass communication techniques, perhaps an advertising expert, would be helpful. Arthur Godfrey was mentioned as possibly a valuable channel of communication reaching a mass audience of certain levels. Dr. Berkner suggested the U. S. Navy (NR) Special Devices Center, Santa Point, L. I., as a potentially valuable organization to assist in such an educational program. The teaching technique used by this agency for aircraft identification during the past war was cited as an example of a similar educational task. The Jan Handy Co. which made World War II training films (motion picture and slide strips) was also suggested, as well as Walt Disney, Inc. submitted cartoons. Dr. Lynde suggested that the amateur astronomers in the U. S. might be a potential source of enthusiastic talent "for passing the message". It was believed that hundreds of club, high schools, could use the aid vision stations would all be planned to cooperate in the showing of documentary film motion pictures if prepared in an interesting manner. The use of true color showing first the "imaginary" and then the "reproduction" would be foreseen.

To plan and execute such a program, the Panel believed was no mean task. The current interagency group at AFSC held, of necessity, have to be closely linked with each other and to the only one

IAの秘密職員でもあったハワード・パーシー・ロバートソン博士。そのほか、アインシュタインの同僚サミュエル・ガウドシュミット博士、後にノーベル物理学賞をもらったルイス・アルバレス博士、宇宙物理学者のソレントン・ペイジ博士、物理学者のロイド・バークナーという顔ぶれである。

また、査問会の準メンバーとして、J・A・ハイネック博士と、国際宇宙科学連盟会長のフレドリック・デュラントが会議に参加した。

CIAの主催でこうした査問会が開かれたことについては、ドナルド・キ

ーホーが1955年に著書の中で触れているし、ブルーブックの責任者だったエドワード・ルッペルト大尉も証言している。

しかし、政府によるUFO否定の積極的キャンペーンや民間のUFO研究グループの監視を勧告して、その後のアメリカのUFO政策を決定づけたといわれるロバートソン査問会の全容は最近まで明らかではなかった。

ここに紹介するのは、査問会の秘書をつとめたデュラントの覚書、いわゆるロバートソン報告書の一部である。

■CIA資料1/ロバートソン査問会

未確認飛行物体に関する科学諮問委員会会議報告書

CIA科学情報局の招集で、1953年1月14〜18日に開催

報告者・F・C・デュラント

目次

目的

第一部 査問会の経過

第二部 査問会の論評と提案

○概論

○UFO目撃件数の増加

査問会の報告

会議関係者一覧

提出された証拠書類リスト

宛先 CIA科学情報局次長

発行者 F・C・デュラント

テーマ 1953年1月14日から18

日にかけて科学情報局で行なわれた未確認飛行物体に関する査問会の報告

1953年2月16日

目的

この覚書の目的は次のとおり。

a 科学情報局による未確認飛行物体に関する科学諮問委員会における会議経過の要約。

b 公式議事録の補遺、すなわち同議事録への記載が不適当と考えられるコメント、提案について

科学情報局次長に説明するための非公式記録。

第一部 会議の経過

概要

12月4日のUFOをテーマとする検討会のあと、情報局諮問委員会は次の行動をとることで合意した。すなわち「CIA長官は、UFOに関して利用できる証拠を適切な科学理論にてらし

て検討、評価するため、科学者を選定して彼らの協力を得るものとする」

(以下省略)

説明不能の宇宙線現象

2件の報告が検討された。ひとつは1949年10月にカリフォルニア州パロマー山におけるもので、ちょうど空飛ぶ円盤のV字型編隊が目撃されたときに、宇宙線計測装置が「数秒間、計測不能になるほどの反応を示した」

もうひとつの、1950年8月から1951年1月にかけて、ロスアラモス野鳥観察の会が観察した一連の事件で、このときもやはり宇宙線計測装置が奇妙な動きをしたという。

後者の事件については、装置の配線図と記録データが入手できた。アルバレス博士はこのデータからただちに、それが装置自体の問題から発した効果であることは間違いなく、より経験をふんだ観測者ならすぐわかっただろうと指摘した。

この2つのケースで、放射能効果が未確認飛行物体に関係があるという解釈は査問会によって却下された。

啓蒙教育計画

査問会は、関係するすべての政府機関の力を集めた広範な啓蒙教育計画を考えている。この啓蒙教育計画は2つの大きな目的を持っており、それは訓

練と「暴露」である。

訓練の目的は、流星、火球、螢気球、雲などのような自然現象や、気球、飛行機の反射光のとき非日常的な光輝物体について、適切な認識力を養うことにある。これは肉眼、レーダーともに行なわれる。

この教育は、末端の人員から指揮、研究にあたる人員まで、さまざまのレベルに分かれるであろう。レーダー操作用員、パイロット、航空管制官、地上監視員、あるいは他の士官や下士官といったように、その職務に応じて強調すべき点や説明の程度を変えた訓練計画になる。

この訓練の結果、誤認によるUFO

目撃報告やそれによってひき起こされる混乱が著しく減少することは間違いない。

「暴露」の目的は、今日強い心理的反応をひき起こしている大衆の「空飛ぶ円盤」に対する広範な関心を低下させることにある。この教育はテレビ、映画、大衆記事などのマスメディアによって行なえる。この啓蒙教育は、はじめは謎めいていた現象が、結局は説明がついたという実際のケースを基調とする。手品のトリックと同じように、タネがわかれば興奮はおさまるものである。この教育計画は大衆のたまされやすさを減らすだろうし、結果として巧妙で底意のあるプロパガンダに対す



▲ロバートソン報告書をまとめたF・C・デュラント

る正しい感性を養うことになるだろう。査問会は、ソ連がこのような現象を利用したプロパガンダをしていないのは、おそらくソ連の国策によるものだろうが、しかしそれが行なわれたら非常に効果的に混乱をひき起こす可能性が あることを指摘した。

査問会のメンバーは、このような啓蒙教育計画の展開についてさまざまな提案を行なった。また、この計画の性質や範囲について、大衆心理学者たちの助言を得るべきだと考えられた。これに関して、ハドリー・カントリル博士（プリンスストン大学）の名があがった。博士は、1938年のオーソン・ウェルズ作・演出によるラジオ放送によって起こったあの有名なパニックについての心理学的研究『火星からの侵略』の著者であり、この分野の研究で大きな業績をおさめている人である。このほか、ドン・マーキス（ミシガン大学）、レオ・ロスタンの名が、この計画にふさわしい心理学者としてあげられた。

また、広告宣伝の専門家のような、マスコミュニケーションのテクニクに通じた者の助力が役立つことが指摘され、アーサー・ゴドフリーの名が、広範な視聴者を獲得するためにふさわしい人物としてあげられた。

バークナー博士は、ロングアイランドのサンズポイントにある米海軍特別装置センターがこの種の計画に役に立つ組織であることを示唆した。ここで第二次大戦中用いられた航空機識別のテクニクが、こんどの啓蒙教育計画に類似している例として引用された。

また、第二次大戦中、訓練用の映画やスライドの製作にあたったジャム・ハンディ会社の名が、アニメーションのウォルト・ディズニース社とともに、この計画に利用できるかもしれないものとしてあげられた。

ハインツ博士は、国内のアマチュア天文家が、このような「福音を広める」熱心な運動者の潜在的供給源となるだろうと述べた。

もし興味深いドキュメンタリー・タイプの映画を作れば、ビジネス・クラブや高校、大学、それにテレビ局も上映に協力を惜しまないだろう。これには、最初は謎にみち、結局は説明がついたという実際のケースが効果的と考えられる。

このような計画の立案・実行はなかなか重要な仕事であると査問会は考える。現在、ATTC（空軍航空技術情報センター）で研究調査にあたっているグループは、必然的に、過去の事例だけでなく現在の事例についても協力

できるよう、密接な関係をもたせる必要がある。新しい事例については、古い事例よりも、おそらくはるかに受け入れやすい説明ができることと思われる。第一にA T I Cの経験がものをいうだろうし、次にA T I Cにもっともらしい説明をつけるだけの知識があるからである。

査問会は、この計画遂行にあたって、それがどの程度のものになるか正確に述べることは適當ではないが、A T I Cの強化が絶対に必要だと考える。

A T I Cのルッペルト大尉は情報の分析、評価に必要な人員を、非公式にだが次のように見積っている。

- a 4人の士官からなる分析班
- b 4人の士官からなる調査班
- c 情報要約士官1人
- d A D C (防衛航空司令部)の連絡士官1人
- e 天候、気球のデータ調査の士官1人

2 解説／コンドン委員会 コンドン委員会を背後から指導

ロバートソン査問会の後、空軍のU F O政策はC I Aの意図どおりに進んでいった。プロジェクト・ブルーブックは調査よりも広報活動に力点をおく

f 天文学者の顧問1人

g グループの統括者とその副官、書記(複数)、速記者(複数)

この提案は、おおむね妥当なものと評価された。査問会は、この「訓練と暴露」のための啓蒙教育計画は、A T I Cの協力をうけて、最低1年半から2年間展開しなければならぬだろうと考えた。計画の終了時には、「空飛ぶ円盤」現象がひき起こす危険は、まったく解消しないまでも、著しく減少するにちがいない。その他の軍事機関や政府関係諸機関、たとえば連邦民間防衛管理局などの協力も必要となるだろう。

ユタ州トレモンソンでの目撃事件のような、とくにめだつ事例では、比較対照のための実験が必要とされることになる。一例をあげれば、よく似た気象条件の下で、さまざまな距離から「枕型の気球」の写真を撮ってみると、いうようなことである。

ようになり、人員も予算もしだいに削減されていった。

そこに1964年から66年にかけてのU F Oフラップが発生、一般市民

以上の他に1人ないし2人の心理学者や文筆家と、訓練教育用のフィルム製作にあたる下請業者が必要とされるだろう。査問会は、A T I Cを必要ならば一時的にでも拡大して、勧告に応じていかなる行動もとることができ最大限効率的な機能をもたせるべきであると考えた。A T I Cの経験とデータは、大衆の啓蒙と職員訓練計画の両方に有効であるだろう。ロバートソン博士は、大衆が容易にだまされなくなり、A D Cのような機関がうさんくさい現象をすばやく選別し、解釈をくだせるようになったあとでも、残りの科学的価値のある情報を処理するため、小規模ながらA T I Cの該当部門はなお必要とされるだろうと考えている。そして、その機関は、おそらく空軍の科学諮問委員会のメンバーの助言にもとづいて、ひきつづき敵の人工物体とみられるような事例の追跡調査に全力を集中すべきである。これらの人

のU F Oに対する関心が高まるとともに、空軍のU F O政策に批判が集中するようになった。

政府は、U F Oの科学的調査を行なわざるを得ない立場に立たされた。こうして、1966年10月に、コロラド大学U F O科学調査委員会が発足した

工物体に関する報告は主として、テキサス州のラボックよりも、「鉄のカーテン」にはるかに近接している西部前線地帯から発生することだろう。

民間のU F O研究グループ

査問会は、ロサンゼルス「民間空飛ぶ円盤研究者の会」やウイスコンシン「空中現象調査機構」などのグループの存在に注意をはらった。もしU F Oの目撃が広範囲に発生したとき、これらの団体は大衆に大きな影響をおよぼす可能性を秘めているので、監視する必要があると考えられた。このような団体の明白な無責任さと、破壊工作に利用されやすいことは、考慮にとめておくべきである。

U F O目撃件数の増加

査問会は、U F Oの歴史からみて、今年の夏はふたたび目撃件数の増加が予想されうるという点で一致した。

(以下省略)

のである。

この委員会は、コロラド大学のエドワード・コンドン博士を委員長として、物理学、心理学、化学、天文学などさまざまな分野の科学者12人が参加した。いわゆるコンドン委員会である。

この委員会が1969年1月に公表

したコンドン白書でUFOが否定され、その勧告をうけて米空軍が20年以上にわたる公式のUFO調査を打ち切ったことは、よく知られている。

■CIA資料2／コンドン委員会

1967年2月7日付

CIA副長官宛

UFO研究に関する米合衆国空軍のコロラド大学との契約について

1 朝のスタッフ会議において口頭で報告したとおり、米合衆国空軍がコロラド大学と契約したUFOについての委託研究は現在進行中である。この契約では、研究費として32万5000ドルが提供され、その期間は18カ月である。このプロジェクトを指導するのは、前商務省標準局長官で、現在コロラド大学教授であるE・U・コンドン博士である。

2 計画の初めから、このプロジェクトのワシントンでの指導者として、合衆国空軍参謀本部のエド・ジラー准将が、同じく調査開発局のトーマス・ラチフォード博士とともにあたっている。ジラー准将はこのプロジェクトについてランドールと接触し、ラチフォードを通じての非公式の協力関係をう

しかし、このコンドン委員会にも、CIAの指導と監視の手は伸びていた。以下の2点の資料は、その氷山の一角を示すものである。

ちたてた。この関係によって、合衆国空軍は、いわゆるUFO写真の鑑定や引き伸ばしなどについて、技術的な助言やその他のサービスをうけることができる。こうしたUFO写真はめつたにないので、NPIC（国立写真解析センター）はまだ鑑定作業に関与していない。これらの非公式の取り決めは、LOS GTの代表者たちに知らされており、ランドールは重要と思われる空軍の写真について彼らに情報を伝えることになっている。

3 ラチフォードは、写真製図法の技術的な問題を討議し、またわれわれが写真の測定、拡大、濃度のトレースに使っている光学装置をみるために、2月20日に数人の科学者とともに、NPICを訪ねたいと申し入れてきている。それらの科学者は次のとおりである。

E・U・コンドン博士Ⅱコロラド大学ロバート・ロウ博士Ⅱコロラド大学デビッド・サンダース博士Ⅱコロラド大学

ウィリアム・ブライス博士Ⅱ米空軍調査開発局上級監督官

ジョン・コールマン博士Ⅱ国立科学アカデミー理事

これらの人々はすべて、少なくとも合衆国空軍の秘密資料に関しては閲覧資格をもっている。

4 私は、この合衆国空軍の申し入れに便宜をはかることができるが、その前に貴殿の承認をうけておきたい。

私は空軍の代表者に対して、次のように話した。彼らがUFO現象についてどんな結論をひき出すにせよ、そのことになんの責任も負えないが、しかし、技術的な援助はたぶんできるだろう。また、それによって政府の費用対効果計画に貢献できるだろう。

同時に、この計画に関して、DDS & Tがどうにでも使えるようなCIAの窓を、私は用意しておくことができると思う。

▲CIAから助言を受けていたコンドン博士



5 私は、この試みについて、いくつかの考え方があろうと思う。NPICへの訪問をことわるかどうかは貴殿がきめるべきことである。なお、

私は、この科学者たちとの円卓会議で写真技術面での問題を討議するためにわれわれの技術部門から2人の専門家の出席が認められるよう希望する。

国立写真解析センター所長

アーサー・C・ランドール

1967年2月23日付

1967年2月20日、コンドン博士の国立写真解析センター(NPIC)への訪問について

1 米合衆国空軍はコロラド大学と契約を結び、30万ドルの予算でUFO目撃報告の研究を委託している。このプロジェクトにおいて、米空軍の交渉責任者はエドワード・B・ジラー准将であり、米空軍の科学的な面での責任者はトーマス・ラチフォード博士である。また、コロラド大学側の責任者はE・U・コンドン博士である。

2 1967年2月20日午前9時15分、コンドン博士とその研究チームのメンバーである4人の科学者が、国立写真解析センター(NPIC)を訪ねた。コンドン博士に同行した4人の

科学者は、コロラド大学のリチャード・ロウ博士、同じくデビッド・サンダース博士、AFRSTの上級監督官ウィリアム・ブライス博士、米空軍のラチフォード博士である。この訪問の目的はコンドン博士とそのメンバーが、NPICの写真分析能力、鑑定力を実際に確かめるためである。

3 この会合の状況は、秘密扱いと

3 解説／民間UFO研究団体

民間UFO研究団体に監視の眼

全米空中現象調査委員会（NICAP）は、少なくとも一時期、民間のUFO研究をリードする存在だった。

設立されたのは1956年だが、なんといつてもあのドナルド・キーホー退役海軍少佐が代表者だった1957年から1969年までがNICAPのもっとも活躍した時期である。

UFO宇宙機説で全米にセンセーションを巻き起こしたキーホーは、NICAPの代表者になると、米政府や空軍のUFO政策を激しく批判、UFOの秘密資料公開を要求して華々しい活動を展開した。

こうした団体にCIAが監視の目を向けたのは、当然といえるだろう。NICAPの活動は1967年を

された。

4 午前9時15分、NPICに着いた一行は、ランドール氏のオフィスに案内された。コンドン博士とランドール氏との間で、10～15分にわたって以下に述べる討論が行なわれた。

a コンドン博士の研究を助けるためにNPICが行なういかなる作業も、CIAによって

ークに、その後、資金難から低調になつていった。そして、キーホーのあとをうけてスチュアート・ニクソンが代表者となる。このたび公表されたCIAの秘密文書は、この時期のNICAPに対する調査報告書である。CIAがUFO研究団体をいかに監視していたかを示す貴重な資料といえる。

■CIA資料3／民間UFO研究団体

全米空中現象調査委員会 (NICAP)

組織はかなりゆるやかだが、しかし効率的であるようにみえる。現在の責任者はスチュアート・ニクソン（探訪

なされた作業だとはわからないようにする。ランドール氏は、この作業に関しては、CIAとの関係を明らかにしないようにとコンドン博士に助言した。コンドン博士は、もしCIAの公式のコメントが必要だということになれば、NPICとの接触とは関わり

のない、別のルートでCIAと交渉しようとした。

b NPICはこの研究に関してどんな文書によるコメントも出すつもりはないし、結論を導き出す意図をもって情報を分析することもしない。また報告書を出すこともない。（以下省略）



▶NICAP代表として活躍したドナルド・キーホー

記者の経歴をもつ）で、ジョン・エイカフ、チャールズ・ミラー（ともに経歴不詳）とともに編集広報委員会を形成している。この委員会が団体の方針に責任をもち、会報を出し、特別報告を行ない、新聞その他の報道機関との連絡にあたっている。

編集広報委員会は、ゆるやかに構成されている顧問グループと、かなり熟

練し、適所に配置されている調査員たちと大きく依存している。顧問グループは、物理学、天文学、人類学、医学、心理学などの専門家からなっている。このグループには、以前CIAに勤務していた者や情報機関の関係者もあり、調査技術、政府機関との連絡等で助言を

与えている。これらの助言者たちは組織的に選ばれたものではなく、むしろニクソンや編集広報委員会を通じて奉仕を申し出てきたようである。助言者とNICAPとの結びつきは単純で、（入会者は会費を払うだけでよい）助言者がなにかで組織の存在を知り、それから編集広報委員会に彼らの資格が知らされたということもしばしばある。

調査員の組織はよくできている。ニクソンは国中をいくつかの地域にわけ、その地域ごとに「調査員」を配置してきた。NICAPのどのメンバー

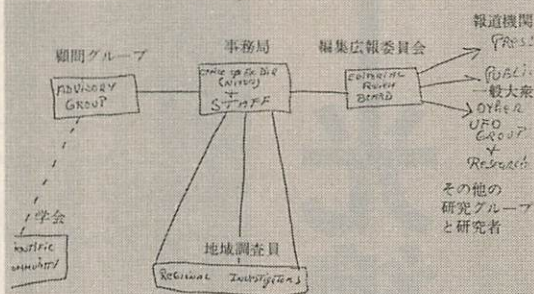
▲NICAPに関するCIA秘密資料(一部)

NICAP currently operates on a \$40,000 yr. budget and has 3,500 dues paying members. Both the membership and the budget may be expected to increase substantially due to the recent UFO flap.

A computer project codenamed "Project Aztec" is currently in the air. An effort is being made to develop some sort of pattern analysis out of the 15, 000 or more raw reports reportedly in NICAP's files. This apparently will take the following form:

1. event- including time, place, terrain, weather, speed, color, dx shape and other information
2. principals- including data on all witnesses and others involved in reports such as bio data, medical info and psychological aspects
3. investigation- including evaluation of reports and special notes from the regional investigator on witness discrepancy in testimony etc...

The following is apparently the organizational structure and relationships within NICAP:



も、各人それぞれに適した業務を求められるので、張り合いをもっている。調査員として要求される資格は、25歳以上で、なんらかの科学分野で正式の

訓練を受けたか経験をもつもの、または情報の組織的収集に適した専門的な経歴をもつもので、少なくとも直径50マイルが自動車で1時間の範囲をカバーすることができるとある。数カ月前の時点でおよそ35人の調査員が配置されていた。その資格を分析すると次のとおりである。博士号をもつもの7人、修士2人、学士23人、准文学士1人、学位をもたない大学経験者2人。職業の面からみると物理学者が4人、技師13人、大学教授が3人、それに医師、技術者、コンピューター技師、実業家などの専門職が13人となっている。5人はパイロットである。また、調査員たちには「レックマン」とよばれる助手がいる。すべての調査員は、NICAPの調査員であることを証明する証明書をもっている。

NICAPの年間予算は4万ドルで

35000人が会費を払っている。会員、予算とも、最近のUFO騒ぎで増大することはほぼまちがいないものと思われる。

「プロジェクト・アクセス」というコードネームのコンピューターによるプロジェクトが現在進行中である。これは、NICAPに集まった1万5000件以上の報告をいくつかのパターンに分類しようというもので、およそ次のような形態をとるものと思われる。

- 1 出来事——日時、場所、地勢、天候、UFOの速度、色、形状その他
- 2 人物——全目撃者についてのデータとその関連情報、医学的、心理的状況も含まれる。
- 3 調査——情報の評価、目撃者についての当該地域担当調査員の報告、証言の矛盾等。

NICAPの組織図。(以下省略)

第14回 日本翻訳出版文化賞 受賞!

ジャストロウ トンプソン 天文学

佐藤文隆・成田眞二訳

B5・六〇四頁・定価一五、〇〇〇円

本書は、大学初年度の一般教養課程のテキストとして書かれたもの。まず、古典的な地動説の説明からはじまり、宇宙論、惑星など最新の話題にまでふれている。説明は多くの図と写真を用いており読みやすい。しかし内容は単に説明におわらず、背後にある法則を説明する水準の高い読みごたえのある書である。カラー写真(二六頁)は特に精選されており、それだけ見ていても楽しい。(本文二六頁)

星の進化

——その誕生と死——

林 忠四郎編

A5・二二〇頁・定価二四〇〇円

星がどのようにして生まれるか、どのような核反応が起き、星の構造や外観がどう変化していくか、など星の一生をできるだけ数式を使わずに最新の知見を盛り込んで解説。

惑星ファミリー

——その起源と進化——

Z・コバル著／堀内剛二訳

B6・定価九五〇円

地球科学の歩み

今井 功・片田正人著
A5・定価一五〇〇円

スペースシャトル

——宇宙連絡船の全貌——

増田純男著……B6・定価1200円

共立出版

東京都文京区小日向4／振替東京1-57035

おそらく世界でも最大かつ最長と思われる連続UFO目撃事件（本誌既報／スイス人エドアルド・マイヤー氏のコンタクト事件）が、1975年1月から続いている。その112回目の物理的コンタクトは、1978年8月6日の日曜日、ちょうどローマ法王パウロ六世が死去した日に起こった。

この連続事件におけるおびただしい数の証拠のうちおもなものは大量の証拠写真があり、中には、宇宙船に使われるものと同一の物質だと主張されている金属片もある。

この一連のコンタクトの目撃者ははかにも6人おり、2000ページ以上のもの記録が残されている。

その後の目撃者を別にすれば、この事件は主に写真撮影による証拠にもとづいている。われわれはこれらの写真から何枚かを選択し、写真専門家のする写真測量法による検査を実施した。二重露出やモンタージュ、反射像、

あいだに置いたスクリーン、ガラスに描いたりはりつけたものなどの形跡の有無が徹底的に検査されたが、なんら疑問点は見出不された。映像全体にわたる光と影の関係は一貫しており撮影した季節・日時にてらしても矛盾

エドアルド・マイヤー氏がスイスのチューリッヒで撮影した多数のUFO写真は、そのあまりの鮮明さゆえに真実性に疑問を投げかける研究家が少なくない。そこで、1枚の写真から被写体の移動方向、速度まで解明できる最新の写真分析技術によりマイヤー写真を徹底的に調査した。

はなかった。光の散乱状態も、概算された物体の映像面やカメラ・レンズから物体までの距離と符号していた。また、模型をつるしたワイヤーや糸も発見されなかったし、背景はすべて明かるい色であった。一連の写真に写っている物体の方位はほぼ水平でありこの物体が投げ上げられたものであるという可能性はなかった。

物体からの光の放射状態は小さなものではなく、大きな物体における特性をそなえていた。

さらに、写真の粒子の分析で、均一の現像状態にあることもわかり、1枚のネガからプリントされたものであることが示された。物体はサイズが大きく、カメラからかなりの距離があったことが証明されたのである。

まずデジタル 化法による分析

ところで、われわれは、アメリカのGSW（有力UFO研究グループ「グランド・ソーサー・ウォッチ」）によって開発されたUFO写真のデジタル・コンピューターによる分析技術のことに思いあたった。そこで、公平な結果を得るため、カリフォルニアにある「パウエイ・デザイン・テクノロ

レーザー光線による 超精密 写真分析



スイス・コンタクトUFO写真の完全研究

「ジー」にこれらUFO写真のうち何枚かのコンピュータ分析を依頼した。この「パウエイ」はNASA、ジェネラル・ダイナミックス、米海軍からも研究を委嘱されている。

彼らは、GSWが用いたものと同様の「グリーンネル・モジュラー型テレビ表示装置」に多少の改良を加えた装置を使用した。

まず、物体と背景の鮮明度を質的評価するため、映像領域を顕微鏡により微視的かつ視覚的に検討したが、識別できるほどの差異は見られなかった。

次に、カラー・セパレーションにより、10倍の拡大率で白黒ネガを作り、走査式微濃度計で処理して密度分布の輪郭を図型化した。この図型を検討しても写真の真実性に疑問を投げかける要素はならん発見されなかった。

ついで、プリント、カラーコピーのネガ、白黒ネガのそれぞれにつき、二重露出や修正、あるいはカメラの近くにぶら下げた模型、などの可能性について調べたが、そういったインチキ写真の証拠も発見されなかった。

また、写真の陰影の位置を評価した結果、物体と背景は同一の条件の光線下で撮影されたことが実証された。

つぎに、これらの写真は、コンピュータによる厳密な映像増幅法による



スイスのコンタクティー、エドアルド・マイヤー氏(上)と彼が撮影したブレアデスの宇宙船(右)



検査にもかけた。

デジタル・コンピュータによる画像再構成については、輪郭線増幅、色密度分布検査、物体の距離計算などに関してすべての方式が使用された。

これによって、このUFO像がカメラからかなりの距離にある大きな物体を写したものであることがあらためて

わかったのである。

このとき、分析した技術者を驚かせたことがあった。それは、一見、前のポジに汚点があつてそこから生じたように見える小さな黒いはん点がたくさんプリント上にあつたことだ。これはこのプリントがカラーネガ・コピーからの二次的産物であるか、あるいはオリジナルが、スライド写真などで使うカラーポジフィルムからのコピーネガであつて、推定されたようなネガではないかのいずれかであることを示している。

私は、このオリジナルのネガについて聞いたため撮影者のマイヤー氏に会った。そして、オリジナルの写真

が確かにカラーポジフィルムであり、このプリントが作られるものになったネガはジュネーブのコダックによってオリジナルのポジフィルムから作られたことがわかった。

この事実は「パウエイ・デザイン・テクノロジ」からのほかの報告の正確さをいっそう確固たるものにした。「パウエイ」は、写真にある物体が、カメラから相当離れた位置で撮影されたに違いないという結論を出したのである。

この事件では、物体が鮮明に写っている写真が大量にあり、その多くが連続したシーンのものであつたため、かつてない好条件の科学的分析ができることになった。これまでに確立されたすべての写真測定法およびコンピュータ分析技術が用いられ、以上に述べてきたような肯定的結果が得られた。その結果、今後必要となるのは、未確認飛行物体の写真分析問題に対するまったく新しいアプローチである、ということが明確になったのである。

レーザーによる超精密分析

光学技師、航空技師、コンピュータプログラマー、レーザー専門家、写

真技術者などをはじめとするこの調査分野の専門家たちの間で論議がなされ最新の技術水準を備えた装置が使用された。

専門家たちは、この種のUFO事件で写真に撮られたものの本質を明確に立証する方法を見つけ出そうと、ともに働き、進むべき道を検討したのである。

基本的方法として、彼らはまず試料のポジフィルムまたはネガフィルムを



レーザースコープで調べることから始めた。これは、コンピュータが導入される以前まで使われていた顕微鏡を使って白黒ネガを検査する偽物の判定法と同種のもので、各要素の予備判定を行なう。

このレーザー技術のおかげで、熟練した検査者は、コンピュータにかけられる前にかなり多くのことが判定できる。格子の密度をたてよこ1センチあたり1万本までセットでき、写真全体を走査することができる。レーザー・スコープでこれをさらに引きのばし、フィルムの感光乳剤中の個々の粒子、薄片を観察し、粒子ごとに判定を与えることができる。

次に、レーザー・ホログラフイの使用により、二次元の写真を三次元の映像にする。この、レーザーによって映写されたホログラムは、非常に鮮明なものであり、1平方センチの10分の1が何フィートにも拡大され、三次元的に粒子と薄片の観察ができる。これならば、模型をつるした偽物の場合の糸がどんなに細くても、また重複部分の修正を巧妙にしてあっても、はつきり浮き出してしまうのである。そして、粒子と色の層の均一性も、標準値からのかたより(偏差)により、細かく検査することができ。

第二段階は、すべての映像領域が、カメラのレンズの固定された焦点距離外にあるようにして、種々の異なる焦点面、あるいは焦点距離内の「ボケ」(不鮮明な像)の各面を、コンピュータによって分離し、とり出すという作業である。

まずレーザーを使って、ホログラフイの感光板をセットする。それを被写界深度の末端までもってゆき、垂直面を移動して、真の焦点がどこかを知る。いつでもつと近くの領域、つまり主焦点領域に入り、そこを選定する。それから同様の方法で一番近い焦点面を決定することができる。そしてこれらの焦点面内で、写真の物体について作業を始める。

特に「ボケ」の値(不鮮明度)をもつものを、ビデオ・レーザー技術によって分離させることにより、これらの決定された面のおおのについて、レーザー・ホログラフィック板をつくる。そして、映像がボケる原因を計算するプログラムを作成する。焦点があつていないからボケているのか、物体が動いたから、またはカメラが動いたからボケたのか? 境界線によって、物体のもつ焦点距離を与えてくれ、指数を決定できる。

コンピュータ内のスペースは、他のもののためとっておかねばならないから、ここではシングル・ディジット・アルゴリズムを用いる。数値解析の結果、実際の焦点がどの程度はつきりしているかによって、物体の距離についての確定的な論が得られる。これは不鮮明度として観測・決定される。

対象物にはぼしぼしとあわせ、真の被写界深度がどこかを判定することにより、写真の各点における被写界深度、およびそれが他のポイントより近いか遠いかを、確定することができる。そして、写真上の各被写界深度についてのホログラフィック板をセットでき、コンピュータ内で距離計をつくることのできるのである。

この面を決定したのち、それを抽出する。これで一番遠方にあるものを知ったわけで、このボケのファクターの要素すべてをひろい出し、コンピュータに記憶させる。そしてそのホログラフィック板をつくり、記憶させる。次に、写真の実焦点領域まで動き、それを3×4の平面に分割し、各々についてプレートをつくってそれを記憶する。さらに一番近い焦点面にゆき、同じことをくり返すのである。

ここでは、単に写真をコンピュータに移しかえているだけではない。各

宇宙考古学遺跡めぐりの旅第3回

インカ古代文明と
ケイプケネディ宇宙基地の旅

ユニバース出版社主催による『宇宙考古学遺跡めぐりの旅』も今回で3回目を迎える。第1回「中米」(1977年夏)および第2回「ヨーロッパ・エジプト」(78年夏)はいずれも多数の参加者を得て大きな成果をおさめた。

ら見物する日程10日目、およびマイアミのケイプケネディ宇宙基地を視察する日程11日目であろう。なお、今回のツアーには「UFOと宇宙」編集部次長中村省三が解説役として同行する予定である。

ツアーの概要

日程 昭和54年8月8日～8月21日

参加人員 32名以上(添乗員1名、解説者1名を含む)

訪問地 メキシコ市(テオティワカン)、

第3回は『古代文明遺跡と宇宙開発の旅』と題し、メキシコ、ペルー、フロリダと南北両アメリカ大陸をまたにかけの超大型ツアーである。このツアーのクライマックスは、ナスカの地上絵をチャーター機で空中から

被写界深度を三次元的にコンピュータに転写しているのである。そして、実際の被写界深度内にある対象物の位置を分析できる。写真全体を三次元的にコンピュータでシミュレートすることにより、被写界深度を近くしたり遠くしたりできるのである。また対象物を動かして近づけることもできる。対象物を、コンピュータにセットしたパラメーターにしたがって動かし、焦点をあわせたりはずしたりするのである。

コンピューター・プログラムでは、すべてのラインを走査し、焦点のあっているものについて、判定できる。こ

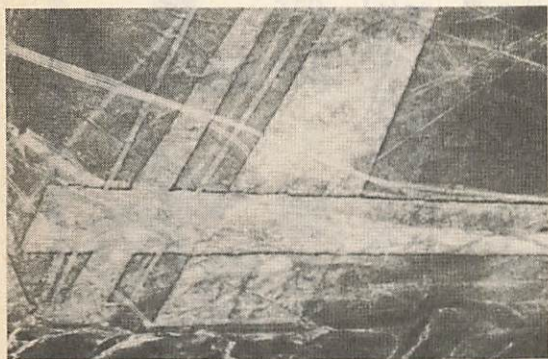
れらが、レーザー・ホログラフイのできることである。すなわち、各エリアごとに、濃度、色の等級、グレイ・スケール(灰尺度)、ボケの度合、光の散乱度、その他の写真に関する変数を分析できるのである。

こうして、UFO像について、形態サイズを検査し、すべてのデータを分析する。これで、物体の大きさがどれくらいで、速度がどの程度で、どう動いていたかは判明するのである。また距離はどのくらいはなれていたか、動いていたのかいないのか、動いていたのなら、方向はどちらかも、ほぼ正確に示せる。さらに、速度が遅くて小さい物体なのか、速くて大きな物体なのかも明確にできるのである。さらにプログラムを組むことにより、カメラのシャッター・スピードがいくらだったのかなど、撮影時の状況がわかるのだ。この全体のプロセスは、実際には映像領域30フィートから無限大までのすべてのところで焦点が合うわけではないという前提に立っている。カメラを最遠方にセットしても焦点距離の見かけの変化量はごくわずかなのでわれわれの訓練されていない目にはわからないのである。

開発されて間もない二連カメラは、可動部分を全くもたないデジタル・ステイル・カメラで、フィルムのかかわりに帯電したガラスの感光板を使用するものだが、写真からコンピュータへの転写が容易になっている。コンピュータはホログラフ表示をし、ホログラフィック板を作れる。これは現在のフィルム方式で得られる最良のものよりも感度がすぐれている。

第三の分析方法

スイスのベルンにおいて、われわれはもうひとつの新しい写真分析技術を試した。「電子走査法」とよばれるものである。われわれは、色の微粒子の



メリダ(チチエン・イツァ)、
ピリヤエルモサ(パレンケ)、
クスコ(マチュピチュ)、リマ(ナ
スカの地上絵)、マイアミ(ケイ
プケネディ宇宙基地)、バミュー
ダ沖(希望者のみ)

参加費用 78万4000円(分割払い
可・月々約38000円24回)

主催 ユニバース出版社

共催 国際アカデミックセンター

協賛 日本航空、NASA、ペルー政

府観光局

取扱い旅行会社 近畿日本ツーリスト

横浜営業所

お問い合わせはユニバース出版社営業部
まで 電話03(832)1341

宝島臨時増刊

ホロスコープの作り方

● これであなたも占星術師

● 流智明著

決定版

あなたもこの二冊で他人の運命と、人と人との相性を占える。
ホロスコープとはあなたと宇宙をつなげるチャート(海図)だ!

内容

● 占星術とは何か? 運命を支配するコスミック・ワールドの神秘 ● ホロスコープ作成法—あなたと宇宙をつなげるチャートを作る方法
● ホロスコープの解説① 星座と宮と惑星が示す基本的な意味 ● ホロスコープの解説② 惑星と宮と星座の配置による暗示
● 占星術に必要なデータ—占星術用語ミニ辞典・時差表・恒星時表・座宮表・30年間の天文暦

好評発売中

A5変形*****
定価560円

JICC出版局 新宿区揚場町15セントラルコーポラス207 TEL03-268-6312代

ひとつひとつが検査できる顕微鏡的レベルまでフィルムを電子的に拡大できる走査コンピュータを使い、ポジのひとつを検査した。互いに隣接した微粒子間の色を平均化し、その平均した色を算入して新しいネガ板にするのである。

これは水平・垂直方向それぞれ1センチにつき80本ある走査線によってなされ、複写した像の鮮明度、透明度を強調する。ついで強調された映像は、プリントのため感光板に転化された4種のカラーセバレーション・ネガに転写される。

こうして強調されたネガは、オリジ

ナルより非常に鮮明で、拡大鏡で見てもはつきりわからなかった点も、大きなサイズにひきのばすことによって、はつきり見えるようになる。

こういった過程を経ると、糸でつるしたものでや巧妙な修正をほどこしたものの、反射像、描きこんだものなど、トリック写真はたやすく見破ることができ

だが、この方法で強調された写真にも、ごまかしやトリックの証拠はなんら見つからなかった。しかもその一方で、目撃談の真実性を立証するような事柄が見つかった。物体は20フィート以上という、きわめて大きいもので、

カメラからの距離も何百フィートもあつたはずだとわかつたのである。

被写界深度あるいは撮影時の物体とカメラの距離を判定するためにさらに別の方法が用いられた。この方法は、

極端な倍率における色の微粒子のカラー・スペクトラム研究にもとづいている。カラー写真を構成する色の微粒子は、微小の「暈」(光の輪)またはコロナをその周囲にもつこと、そして写真

中の物体がカメラから遠くへいけば、赤い色が減少することがわかつていた。レンズからの距離が増せば、赤色は青色に転じ、さらに緑色になる。

いいかえるならば、写真中のすべて

の物体のカメラからの相対距離、あるいはレンズから直線上にあるお互いの関係は、その物体を構成する色微粒子をとりまくコロナの色を観察することによって、決定できるのである。

カメラに近いものはコロナの中に赤色を多く含んでおり、遠くになるにつれ青色が増し、さらに遠方になると緑色を示すわけだ。

この方法で分析されたマイヤー氏の写真は、やはり報告のデータと一致し、また写真測量法による検査のデータ、およびコンピュータ・データとも一致したのであつた。

ヒル夫妻誘拐事件の当事者



現在、UFO研究に専念しているベティ・ヒル未亡人。

ベティ・ヒル未亡人に インタビュー

インタビュー／ジェローム・クラーク

1961年9月19日深夜、ノースハンプシャー州ボーツマスに住むバーニー・ヒル、ベティ・ヒル夫妻がUFOに誘拐され、この事件は史上もっとも有名なUFOによる人間誘拐事件となった。当時バーニーは郵便局員、妻のベティはソーシャル・ワーカーとして働いていた。夫妻はカナタ旅行の帰途、UFOを目撃、人間のような姿をしたものがその内部から彼らを見下ろしていることに気づいた。ボーツマスの自宅に帰った2人は不可解な失なわれた2時間があったことに気づき、非常に当惑した。1962年から64年にかけて夫妻はボストンの精神科医、ベンジャミン・サイモン博士により失なわれた記憶をとり戻すための逆行催眠検査を受けた。その結果、2人は2時間のあいだに起こった出来事を思い出

した。それは、彼らがUFO内に捕えられ、地球人ではないと思われる人間に身体検査をされたという内容であった。

以来、UFOに誘拐されたらしいという人物はほかにも現われたが、どれもヒル夫妻の体験ほど広く知られたことはなかった。

ヒル夫妻の体験をもとにしてジョン・G・フラーは「The Interrupted Journey」

（中断された旅）1966年）を出版し、ベストセラーになった。また1975年10月20日にはNBC TVが「The UFO Incident」（「UFO事件」）の素材としてもこの事件をとりあげている。

バーニー・ヒルは1969年に死した。ベティ・ヒルは現在63歳、UFO研究に専念している。

——あなた方ご夫妻が初めてUFOに遭遇してから17年、本が出版されてから12年になります。が、それらの体験はあなたのその後の生活にどのような影響を与えましたか。

ヒル あまり大きな影響はなかったと思います。ずっと仕事をもっていましたし、余暇は趣味に没頭していたので、暇などはありませんでした。



ところが3年前、病気で2度
の手術を受けたのをきっかけに
退職することにしたのです。あ
の体験が私の生活に大きく影響
を及ぼすようになったのは、仕
事をやめてからです。以来、多
くのUFO研究者や目撃者と接
触をもち、真剣にUFO研究に
とり組みはじめました。

ですが……。

——極端なUFO懐疑論者であ
るロバート・シェーファーが、
最近、あなたのレポートが事実
に基づいていないことを立証し
ようとしています。

たとえば、シェーファーと彼
の同僚フィリップ・クラスが調
査した結果、ニューイングラン

ド州で、7つのレーダーがあな
たが見たUFOを感知した、
というあなたの主張は立証でき
なかつたといっています。また、
あなたがたが見たのは木星で、
UFOに誘拐されたというのは
そのような気がしただけであろ
うとシェーファーは主張してい

ますが……。

ヒル 私たちが誘拐された話は
1965年秋、ボストンのある
新聞に強引に発表されてしま
いました。実際には取材記者のイ
ンタビューも拒否したのです。
記事が発表されてから1度だけ
その記者に会いましたが、その
時彼は、私たちがみたUFOは

7つのレーダー・スクリーンに
キャッチされていたことを教え
てくれました。

しかし、その記事が発表され
てもUFO研究者や懐疑論者か
ら何の反響もなかつたので、彼
はすっかり狼狽してしまい、私
たちが会ったときには転職しよ
うとさえていました。そんな
状態だったので、すべての記録
やファイルは捨ててしまったそ
うです。

——シェーファーがいうには、
ホワイト山脈にあるワシントン
山頂の気象観測所のレーダーは
130マイルに渡る広大な範囲
が視界に入りますが、それでも

たがらなくなりました。です
から、もしUFOがワシントン山
頂に着陸したとしても、それに
関して誰も何もいわないの
ではないかと思えます。特に目撃
記事にしようとするシェーファ
ーのような人には——。

——シェーファーは、あの事件
が起こった時間についての主張
に大きく違いがあると指摘
しています。レポートによつて
午後11時、深夜、あるいは午前
3時とまちまちのようですが。

ヒル あの夜私たちはノースハ
ンプシャー州コールブックを午
後10時ごろ出発しました。飛行
物体が最初に見え始めたのは11
時頃、私たちがランカスターに
いたときでした。

仮に彼らが見たとしても、シ
ェーファーに話すとはとても考
えられません。長年にわたって
多くの人がUFOを目撃してい
ます。なかには公表した人もあ
りますが、目撃したことを非常
に苦にしたり、いやがらせに悩
んでいる人もいます。

このようなことが頻繁に起こ
るので、UFOを目撃した人た
ちは極端にそのことを口に出し

物体は約30マイルばかり私た
ちの後を追ってきて、やがて道
路上空に現われ空中で停止しま
した。それから国道3号線から国
道175号線に入り、私たちが
誘拐された地点までずっとつい
てきました。

私たちは12時から午前2時ま
でUFOの中にいたようです。
そして、アッシュランド地区の
国道3号線に戻ってから2度目



2人の体験をもとに書かれた『The Interrupted Journey』を手にするバーニー、ベティ・ヒル夫妻

のピーツという音を聞きました。午前2時と3時の間だったようです。ですから、ある意味ではシェーファーがあげている時間はすべて正しいといえます。

文書館にあると知らせた人は、博士が長年懸念にしている人だそうです。

木星を操縦しているヒューマノイドを見たと思いこんでいる」と中傷ぎみにいつてますが、どう思われますか。

私はテープがどこにあるのか知りませんが、博士はその使用に関してはいっしょに制限されているといっていました。たぶん私たちがテープを公けにする

ことに乗り気ではなかったもので、体は巨大な星のように見えまして、しかしそれは束の間のこと

で、それから物体は動き始め月の表面を横ぎったのです。双眼鏡ではつきり見えましてから、確かに月の表面を横ぎったのですか。

1年3カ月後に 誘拐地点発見

——サイモン博士が行なった、

バーニーとあなたへのインタビュー

——テープが国会図書館にあると

あなたは発言しており、シェーファーはそれを否定しています

が。

ヒル サイモン博士に催眠検査

のテープが国会図書館が国立公

——シェーファーは「バーニー

ヒル まちがいありません。

——それは木星か、または他の星の仕業と考えることも可能だと思えますが……。

ヒル 物体は空を横断しながら多色光を放っていました。ちょうどパトカーの屋根についているライトみたいにピカッ、ピカッと断続的に光り続けていたんです。それが何であるかわからなかつたけれど、今まで見たことがないものだと思感的にわかりました。

ヒル サイモン博士とその可能性について検討しました。彼はこの体験が真実なら、私たちは誘拐された場所を発見するだろうといい、さらに「探さなくても見つかるだろう」ともいったのです。

催眠検査期間が終了してから約1年3カ月後、私たちは誘拐された場所を発見しました。ドライブの途中、国道3号線から国道175号線の方に曲がったとき、私たちは2人ともすぐにあの地点であることに気づきました。私がそこを思い出した一つの理由は「砂」です。それは海で見かけるような砂で、山中で見かける種類のものではなかつたからです。

その後、ある研究者と調査や測定をするために再度その場所へ行きました。木々と全般的な地形の関係からUFOが静止した場所を思い出したからです。UFOの直径が60から65フィートであることもわかりました。

バーニーの

腹部異物

さらに重要な証拠があります。

——確か

ピンクの粉末状物質のためにぼろぼろになり変色した私のドレスです。物干し綱に掛けておいたら、風でしだいにピンクの物質はとれていったんですが、それでもシミは完全に消えませんでした。

——その物質を分析してみましたか。

ヒル それを検査できる人や場所を探すのにかなり苦労しましたが、やっと今年の夏に、検査してくれるという人を見つけ、2人が遭遇した宇宙人のスケッチ。



今はその結果を待っているところなんです。

——あなたがたの体験が単なる空想上のものではなく、真実の体験だと裏付けるほかの根拠がありますか。

ヒル そうですね。バーニーの腹部のいぼです。バーニーがUFO乗組員に検査を受けている

ときの状態は、私にはいっさいわからなかったんです。彼はどこにもいませんでしたから。ですから、誘拐された体験が単なる私の夢なら、夫は、異星人が彼の腹部にカップを置いたなどという記憶をどうしてもつことができませんでした。それにいぼは——事件後2週間後にカップが置かれたところにできたのですが——どうしてできたのでしょうか。そのいぼは手術でとり除かなければなりませんでした。

また、私たちの体験が発表された直後のある新聞の切り抜きをとってあるんですが、それはちょうど私たちと同じ頃にホワイット山脈についてUFOに誘拐されそうになった男の人のレポートです。事実、彼はとても恐怖を感じて、UFOが爆音をたて

て彼の上へ急降下してきたと警察に報告し、さらにUFOが彼を誘拐しようとしたに違いないといっています。

——UFO乗組員があなたとバーニーを選んだ理由について、何か思いあたることがありますか。

ヒル 彼らが私たちを特別な人間であると判断して選んだとは思いません。単なる偶然の出来事だったと思います。

火曜日の真夜中近く国道3号線を走っていたのは私たちだけで、ほかには誰も通っていませんでした。あたりは労働祭の後で観光シーズンは終わっていましたので、閑散としていたため、私たちが選ばれてしまったのでしょうか。

ヒクソン、パーカーとの出会い

——1975年に放送されたNBCのテレビ映画「The UFO Incident」(「UFO事件」)をどう思いましたか。

ヒル 映画そのものは正確でした。しかしUFO自体にもっと焦点を当ててほしかったと思い

ます。UFOと異星人たちを表現した部分はほんやりして夢の中のようなでした。意図的にそうしたのでしょう。

ひとつ真剣に批判したいのは異星人の肉体的外観の描写についてです。彼らはあのような姿ではありませんでした。実際にはテレビで放映されたものよりずっと人間に近く、身長も私くらいはありました。私は1・5メートルあります。それにあれほどやせてはいませんでした。

——映画は、あの状況における人間描写、つまりあなたとバーニーの反応のしかたとか、その事がひき起こしたさまざまな個人的な問題とかはどの程度正確でしたか。

ヒル バーニーと私の関係をとってもよくつかんできたと思います。とくに私たち2人がサイモン博士のオフィスで催眠をかけられている場面は実に素晴らしいものでした。ジェームズ・E・ジョーンズがバーニーの役を演じているのを目を閉じて聞いていると、まるでバーニーがふたたびあのことについて話しているのを感じているかのようでした。

た。それに、エステル・パーソンズは催眠中の私の反応をとてよくつかんできました。

——遭遇事件以来、ほかのUFO目撃者たちとつき合っているしやるようですが。

ヒル チャーリー・ヒクソンやカルビン・パーカーと出会うまで12年も待たなければならなかったのです。長い間待ってやっと話の合う人、つまり捕えられたことのある人に会えました。

——もちろん、あの有名なミシシッピ州バスカグーラの事件のことをいつていらっしやるのでしょうか、彼らが捕えられたとどうしてわかるのですか。

ヒル 私と彼らの間にきずがあるからです。今までのどのきずなよりも強いきずなんです。

——彼らは私たちに話さなかったことについてあなたに何かを話しましたか。

ヒル はい。私自身の体験についても、今まで明かさなかったことで今後も決して話さないであらうということがあります。もちろん彼らは完全な逆行催眠を受けたことがないので、彼ら自身ですらわかっていないこと



証言をもとに作られた宇宙人の復元像を手にするペティ未亡人。

反友好的な 新来のUFO

——1961年のあの有名な遭遇以来、ほかにもUFOに遭遇しましたか。

ヒル 初めて新聞に書かれた1965年にバーニーと私は別のUFOを目撃しました。このと

もありです。これまで受けた限られたテストの中で今まで意識的に思い出したことだけをくり返しています。

き、最初の体験が真実であったという確信をはっきりもつことができました。2度目の目撃の直前、ノース・ハンプシャー州エクセター地方に多くの目撃者が現われました。このときの話をもとにしてジョン・G・フラ―は「Incident at Exeter」(「エクセターでの出来事」)を書いたのです。

エクセターは私が住んでいるところからわずか12マイルのところですが、当時わたしはエクセ

ターの児童福祉員をしており、週に2、3日はその地域の人々と仕事をしたり定期的に入出入りをしたりしていました。ですからエクセターのことはよく知っていました。

私たちの最初の遭遇が公表されると、UFOを目撃したという人々からの電話が殺到し、それがどこで起こっているのか、どの方向から来るのかなどを確かめるため、地図にマークをつけ始めました。まもなくあるパターンが地図に現われてきました。それはとくにニューハンプシャー州のある地域に集中しているのがわかりました。もう6、7年になりますが腰を落ちつけじつくり観察してノートをとったり写真を撮影したりしています。

ここを名づけて着陸地域と呼んでいますが、ここ3、4年はほかの人たちも何が起こっているか観察できるように連れて行っています。

——そこで何を見るのですか。
ヒル UFOです。あらゆる種類のUFOです。何度も観察しているうちに最初不可解である

ことも理解できるようになるものだということがわかってきました。明白に理解できるまでに何度も何度も現場に行つて観測を続けなければいけません。

たとえば、私が最初にそこに行つたときには、UFOのようなものが結合し、分離し、ふたび結合するのを見ました。1個のUFOが別のUFOの背後にあることに気がつくまでにしばらく時間がかかりました。一方が他方に接近したのですが、ある角度からはそれが見えなかったのです。オレンジ色の光、次にとつぜんグリーン色の光、それから白色光が見えましたが、これらの光が1列に並ぶと、まるで1個の円盤がとつぜん5、6個の円盤になるかのように見えるのです。もちろん実際にはたった2個のUFOがあるだけでした。

——近くでの遭遇はありますか。
ヒル 自動車の追跡ばかりしているある種のUFOについてそんな体験があります。着陸地域で駐車中、数回にわたつてUFOが私の自動車の屋根の上を舞っていました。とても近く

なので石を投げればUFOの底に当たつたろうと思います。

それから、2年ほど前に、すべてのUFOが3週間ほど完全に消えました。しかし、ふたたび戻ってきたときには非常に数が増え、また別の種類のUFOを伴っており、全体のパターンは変わっていました。

新来のUFOは以前のUFOのように友好的ではないように思います。また、ある特殊なUFOで毎晩のように飛来するものもあります。1976年から77年にかけての冬の間にしばしば目撃したのですが、それはひじょうに巨大な、明かるい色を帯びた平らな円盤でした。1977年1月のある夜、それが着陸し、周縁部に12個の大きな白色光を点灯しました。

ある退役陸軍将校とその奥さんと一緒にそこに行つていたのですが、彼はそれを見ると自動車を降りてUFOに向かって歩き出しました。するとUFOから大きな何かの塊がくるくる回りながらとび出し、彼の方に向かって一直線に進んでいきま

私はムービーカメラで撮影しようとしたが、そのとき、信じられないような音とともに緑色の光がカメラに当たり、電気回路を焼きつくしました。退役将校はこの赤いボールのような塊を見て車に駆け戻りました。するとその塊も停止し、UFOの方に戻っていったのです。

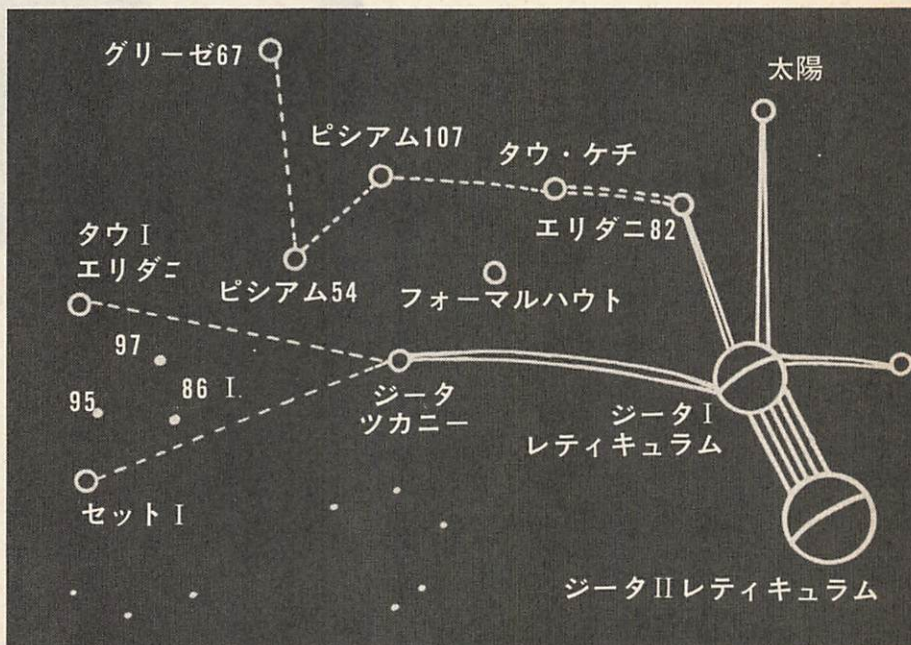
—— UFOに捕えられて以来、その乗組員と接触したことがありますか。

ヒル いいえ。異星人をちらっと見ることもありません。私が今話した地域ではこれまで誰からもUFOの乗組員を見たという報告はありません。

逆行催眠では真実はわからない

—— あなたはこれまでいろいろな場所で、アブダクティ（捕えられた人）とコンタクティ（接触をもった人）とは別であると力説していますが、どのように違うのですか。

ヒル アブダクティとはヒクソンやパーカーのような人たちです。UFOに捕えられ、調査され、そして放り出される人々です。



ことです。このような体験は精神的に深く傷つき苦しみも多いので、一般にアブダクティはた

—— もし誰かが失われた時間を体験し、その間捕われていたのかも知れないと考えた場合、どのようにすべきでしょうか。

ヒル すぐ医者にいくべきですね。失われた時間やUFOについての報告がひじょうに多い

ので捕えられたのかも知れないと勝手に思いこむ傾向がありま

「失われた2時間を体験しましたが、催眠検査を受けるべきでしょうか」という手紙をよく受けとりませんが、催眠検査はも

—— 思いませんか。

ヒル ええ、パーニーと私はその分野では世界的に著名な専門家のひとりから深い忘我催眠を受

私たちは情緒的なトラブルを解消し、その原因をつきとめるためにサイモン博士のところへ

行きました。当時、パーニーはまったく常人同様で働くこともできなかったのです。つまり、UFO体験をつきとめるためではなく、医学的な助けを求めて博士のところへ行ったのです。

UFOに捕えられたと思うている人々はたくさんいると思います。しかし、UFOが多

は催眠、それにもかんたんな段階の催眠を用いて被催眠者にUFO体験をしやべらせています。多くの場合、これらの話は途方

西尾理英子訳

口を閉ざすフォーガティ記者

今年1月、テレビニュースで紹介されたニュージールランド上空でのUFO実写フィルムは、元旦早々から、日本中の話題をさらった。

この事件の調査のため、急ぎよ、オーストラリアへ飛んだ私は、UFO撮影に成功した「チャンネルO」テレビ局のクエンティン・フォーガティ記者を訪ねた。

だが妙なことに、フォーガティ記者から返ってきた言葉は「いっさい取材には応じられない」というものだった。メルボルン郊外の静かな住宅地にある彼の家は、転動して来たばかりとい

うせいもあってか、極端に家具が少ない。外は盛夏というのに、なぜかその家には、スーッと隙間風が吹き抜けていくような空虚さが感じられた。

「いったい、どうして取材を拒否されるのですか？」

一瞬、彼は苦しそうな表情になった。額には、玉のような汗が吹き出している。

「私も、つい先日まではテレビ局の局員だったので、あなた方のお気持もよくわかるのですが……」

「ちょ、ちよつと待って下さい。もうテレビ局を辞められたんですか？」

これは私には初耳だった。「チャンネルO」のピーター・ハンラハン報道部長も、そんなことはひと言もいっていなかった。

「ええ、まあ、そうなりそうなんです。あまり詳しいことは、私の口からはいいないんですが……」

というフォーガティ記者の表情は、心の中で何ものかと闘っているかのよう。に苦しそうだ。やはり、UFOを眼のあたりにして、精神的に動揺しているのだろうか。そういえば、ハンラハン部長も、「フォーガティは、あの直後からノイローゼ気味で、ふつうの状態ではないようです」といつていた。だが、そればかりではないようだ。

「あの時のカメラマンのデービッド・クロケットと機長のビル・スタータツプ、それに私の3人は、今後とも行動を共にしようと誓っているのです。それらもあって取材には、いっさい応じられないと決めたのです」

と、彼は謎めいたことをいい出した。「では、このことだけは教えて下さい。昨年12月31日の早晩、あなたが機上から見たというものは、確かにホンモノのUFOでしたか？ 後になってあれはひよつとすると大気現象によって別の光源の光が屈折したり拡大されて見えたのではないかと思いかえされたことはありませんか？」

UFO

●日本テレビ
ディレクター 矢追純一

実写フィルムへの 科学的接近



怒ったような表情でキツパリと答えた。「そんなことはまったくありません。あの場に居合わせた全員が確認していることです。あれは確かに実在している物体、それも、信じられないほど巨大で、信じられないほど近くまで接近して来た未知の飛行物体でした。今でもハッキリまぶたの裏に焼きついていきます。あれは、誰が何というかと、見たこともない不思議な物体でした」「ではもうひとつ。それが、UFOに違いない、と感じた根拠は？」

「まず何よりも大きかったこと。フィルムには丸い光体として写っています。が、ひよつとしたら、あれはUFO全体のうちの一部分だけだったのかもしれない、と思うほどでした。それと、何ともいえず不思議な感動……恐怖心や敵対心、興奮すら湧いてはこず、心がゆつたりと安らいで、幸せな気持ちがからだ全体に広がるような、奇妙な感動に包まれたことです。そして、今、我々は、未知の世界から来た生命体に対面している、というテレパシーのようなものが伝わってきたこと。その他、まだいろいろありますが、これくらいでカンペンして下さい」

と本当に恐縮したようにいうのだった。とはいえ、フォーガティ記者の話は、現場に居合わせた者だけが伝えられる

迫真力に満ちたものだった。

札を述べて立ち去ろうとした時、無言のまま彼は、堅い握手をかわしてき

た。その眼は、よく眠れぬのか充血し

心身共に衰弱しきっているようすだった。

彼が巻きこまれている問題とは、いったい何なのか？

1 30秒間に

猛スピードで動きまわるもの

「チャンネルO」テレビ局へひきかえした私は、そこで意外な事実を知るこ

とになった。我々に、UFO実写フィルムオリジナル版を見せようと待機

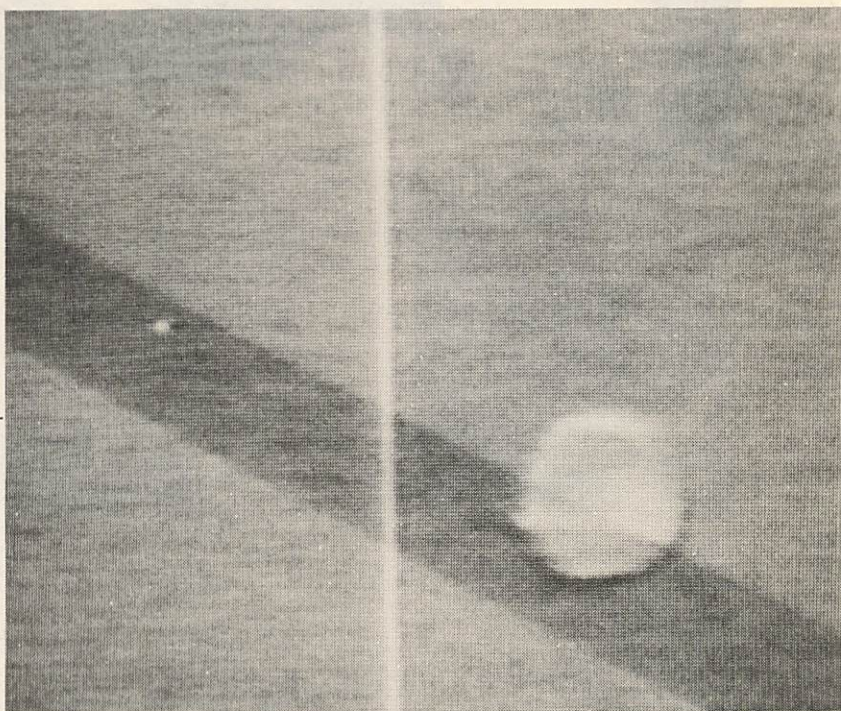
上・望遠レンズでとらえたUFO(右)と木星。一氏と右・オーケッフェが分析に使った写真。

してくれていたアラン・エドワード編集主任が、ソツとこんなことを教えてくれたのだ。

「実はここだけの話ですが、今度は、テレビ局と裁判で争っているんです。フォーガティは、あのUFO実写フィルムの著作権は、彼とカメラマンたちにもあるはずだ、と主張しているのです。それに対して会社側は、局員の制作したフィルムは、会社の権利に属するものだという見解を示して、真向から対立してしまっているんです」

「なるほど。そういう事情があつて取材を拒否したんですね」

「そうでしょう。フォーガティのいい分も一理あるんです。彼がああ取材に



出かけたのは休暇中だったんです。”チヤンネルO”のプロデューサーの要請で出かけたとはいえ、現地でカメラマンや録音係を雇い入れたのも、彼一人で行ったことです。費用も全部彼が立て替えています。それで彼は、現場に居合わせたカメラマン、録音係、それに機長と副機長ら全員に、著作権を認め、海外にフィルムを売った場合には

版権料を支払えと主張しているわけです。これに対し、彼の立て替えた費用は返す、しかし、版権は認められない、それで文句があるならお前はクビだ、というのが会社側の見解です」

これで、フォーガティの謎めいた話し方や、ハンラハン報道部長の奥歯に物がはさまったようないまわしも、納得がいった。いかにも合理性を重ん

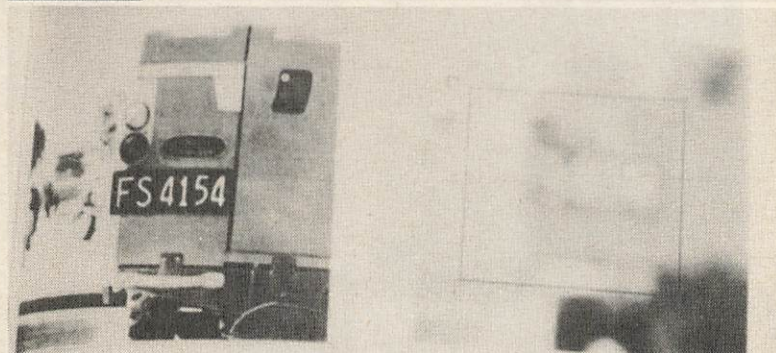
ずる外国らしい事件だ。

エドワード編集主任に案内されて、我々は、いよいよUFO実写フィルムのノークット版を見るためにビデオームに入った。室内が暗くなり、映写が始まったとたん、私は、思わず声をあげてしまった。

「これはすごい……」

UFOの動きは、信じられないほど

速く、それこそ眼にもとまらぬスピードで接近したり、遠去かったり。そのうえ上下左右とメチャクチャに飛び廻るのだ。編集済みのフィルムに、スローモーションの部分が多かったのはこのためだ。オリジナル版では、UFOの動きが速すぎて、よく見えないのだ。そのうえ驚くほど短時間のうちに、現われたり消えたりを繰り返している。

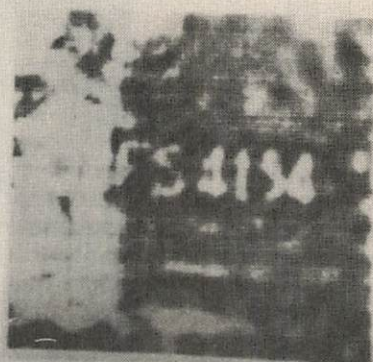


a

b



c



d

上・科学技術庁の物理工学研究所で写真を見る筆者。下・物理工学研の専門技術。ピンボケ写真bをコンピューター処理により元の絵柄aに近づけた写真(cおよびd)。

室内が明るくなった瞬間、全員が
ウーン……と唸ってしまった。

「これはホンモノだ」。誰もがそう思
ったに違いない。別室であらためてス
ロービデオに入れたUFOを見てもも
らって、ますますその感を深くした。

第一に画面を1コマずつコマ送りし
ていくと、UFOが小さな光点から大
きくふくれあがるまでの間が、わずか
1コマか2コマしかない。これは、U
FOがふくれあがるのではなく、遠く
からこちらへ接近してくるまでの瞬間
をとらえたものと考えられる。ビデオ
の1コマというのは、 $\frac{1}{30}$ 秒である。と
すれば、UFOは、わずか $\frac{1}{30}$ 秒から $\frac{1}{12}$
秒という、ほんの一瞬間に、10倍近い
大きさに見えるほどの距離を移動して
きたことになる。これは、地球上のも
のでは考えられない。

第二に、UFOが消えて、再び現わ
れるまでが、これもまた1コマ、 $\frac{1}{30}$ 秒
なのだ。 $\frac{1}{30}$ 秒で現われたり消えたりし
ているが、これも地球上の常識ではと
ても考えられない現象である。この超
スピードで、前後左右に飛び廻ったり、
現われたり消えたりを繰り返している
のだ。

この不思議な動きを肉眼で見してい
ながら、あまり恐怖を感じなかったとい
うフォーガティたちは、どこかおかし

な精神状態にあったとしか思えない。

そういえば、大勢のUFO目撃者た
ちのほとんどは、「催眠術にかかった
ように、ボートとして、キレイだなあ
とかスゴいなあと思っているのに、カ
メラに写してやろうとか、誰かに知ら
せてやろうという気持が、不思議に起
こらないんです」といつている。なん
ともいえず心が安らいで、ゆったりし
たシアワセな感じになるものらしい。

とすれば、UFOには、傍にいた人
をそのような精神状態にさせる何かの
作用があるのだろうか。それはひょっ
とすると、人間の眼には見えず、耳に
も聞こえないような、超高周波か超低
周波の振動なのかもしれない。

そんな思いにふけていた私は、エ
ドワード編集主任の声に、ハッと我に
かえった。

「私は、ここに写っているものが、U
FO、つまり、未確認の飛行物体であ
ることは確かだと思います。私たちは、
いろいろの角度からこのフィルムを分
析してみました。

第一に、ここに写っているものが、
地上または海上の光が、上空の大気に
屈折されて現われた光の虚像なのか、
あるいは、飛行機の窓ガラスに反射し
た何かの光のゴースト現象なのか、と
いう疑問について、コンピューター分

析をしてみました。

その結果、フィルム上に写された光
体は、実在するものを撮影したもので
あることが判明しました。

第二に、フィルムに写っているUF
Oのサイズについて、いろいろなレン
ズを使って実験した結果、これは、星
や漁船の灯などではないことがわかり
ました。ふつうのムービーカメラにつ
ける望遠レンズでは、星や漁船の灯は、
フィルムに写っているUFOの何10分
の1のサイズにしか写りません。かと
いって、超高倍レンズを使ったのでは
被写体である星や漁船の灯が小さすぎ

UFO＝木星説にはムリがある

へチャンネルOテレビ局を辞した我
々は、その足で、シドニーに住むアマ
チュア天文家のロバート・ラニガン・
オーケツフェー氏を訪れた。オーケツ
フェー氏が、この実写フィルムに写っ
ているものは、木星に違いないと、主
張していたからだ。

彼は、見るからに何かのマニアとい
う感じの三十代後半の男で、やせて髪
の毛はちぢれ、眼だけが異様にギラギ
ラと光っている。

「やあ、ようこそ、ようこそ。私の研
究成果を発表した新聞をご覧になりま

て、飛行中の機内からとらえることは、
不可能です。

第三に、使用したフィルムの感度か
ら計算した結果、ここに写っている物
体から出ている光は、星や漁船の灯、
あるいは他の飛行機からの光よりも、
はるかに強い光度をもっていることが
わかりました。

これらの点を考え合わせると、この
フィルム上に焼きつけられている物体
は、UFOだとかいいようがないの
です」

エドワード主任は、ニツコリとこ
う結んだ。

したか。それは結構。さあ、見て下さ
い。これが、私が分析した写真です」
と早口にまくしたてる。せっかちらし
く、ところどころドモリがちだ。居間
の床いっぱいにおびただしい数の写真
が並べられ、ピアノの上まで続してい
る。

オーケツフェー氏の話は次のよう
なものだった。

まず彼は、へチャンネルOが放映
したUFOのフィルムをビデオに録画
し、そこから1コマずつの写真を撮っ
た。つぎに、その写真を、彼の手製の

天体望遠鏡で撮った木星の写真と比較したところ、その中の何枚かが、木星の写真と非常によく似ていた。

「そればかりではありません。私が作ったスキヤンアナライザーという機械で、両方の写真の影の濃度をひとつずつ比較分析してみたんです。それをお見せしましょう。どうぞ、こちらへ」

彼に案内された汚らしい狭い部屋のの中を見たたん、私はアツと驚いてしまった。まるでジャンク屋と呼ばれる電気器具の古物商の店先なのだ。見たす限り、ありとあらゆる古ぼけた器械類が積みあげられ、放り出され、足の踏み場もない。その片隅にある、ピ

デオスコープとオッシログラフを連絡したような器械が、そのスキヤンアナライザーというものらしい。

「これを操作して、UFOの画像を1コマずつ送り、その画面を走査線で細かい部分まで分析していくと、どんな小さな影も、濃淡の度合いがハッキリと数値になって出るので。そうやってUFOと木星の写真を比較した結果、似ている部分が非常に多いことがわかったのです」

従って、UFOイコール木星に違いない、というのが彼の論旨らしい。だが彼は、かんじんな点を忘れている。UFOを撮った望遠レンズと天体望遠

鏡では、倍率が問題にならないほど違うのだ。

UFOの実写フィルムに使った望遠レンズは、250ミリまでのズームレンズ（可変倍率レンズ）で、その最大倍率よりちょっと小さな240ミリぐらいで撮影している。これは倍率に換算すると、せいぜい10倍ぐらいのものである。

それに比べて、木星を撮るのに使っ

ついに私はUFOを確信した

翌日、我々は、UFO撮影の現場、

ニュージーランドに向かって飛んだ。

ニュージーランドの首都ウェリントンには、小さな港町という感じの静かな都市で、行き交う車の量もさほど多くない。首都の空港とはとても思えないちっぽけな空港に立った我々は、まっ先に、市の郊外にある科学技術庁物理工学研究センターを訪れた。ここで、例のUFO実写フィルムを分析中だ、ときいたからである。

所長のマイク・コリンズ博士は、パイプをくわえ、カシミヤの薄茶の背広を着こなした典型的な英国紳士で、上品なジョークをさりげなくきかせながら、いろいろと話してくれた。それによると、例のUFOフィルムについては、分析することを、初めから放棄し

た天体望遠鏡の倍率は1000倍をこえている。この2つの映像を比較すること自体にムリがあるのだ。しかも、

オーケツフェー氏自身が白状しているように、木星と並べて比較しているUFOの写真は、天地を逆さまにしてある。つまり、ひっくり返しにして、はじめて両者の影が似ている。というところになるのだ。彼の推論には、どうもムリがあるように思えた。

てしまった、という。

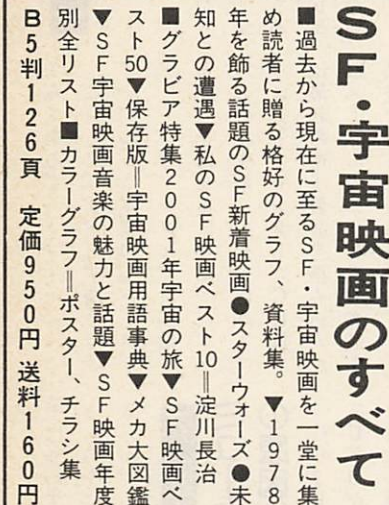
「私どもの研究センターでの専門は、人工衛星から撮った超高空写真の分析で、あまり高空から遠距離の物体を撮ったために不鮮明になった写真の解像度を高め、もとの物体の形を鮮明にする技術を研究しているのです。

例えば、ここに自動車のナンバープレート上のピンボケ写真があるとします。数字はボヤけてハッキリしません。それをコンピュータを使って細部まで分析し、もとの鮮明なナンバープレートに近い写真を作り出します。すると数字は読みとれるというわけです。従って、この分析技術では、直接ある物体を撮影した写真でないと、効果を発揮できません。

しかし、あのUFOフィルムの場合



▲空軍情報校校ジェフ・クラーク氏。



SF・宇宙映画のすべて

は、飛行機の厚い二重ガラス窓をとおして撮ったものなので、我々の技術では分析不可能ということになるのです」とすると、ここでは、例のUFOフィルムとの真偽は、最初から問題にもされていなかった、というより、専門外だったというわけだ。

我々は、車にとり乗ると、ウエリントン市に戻り、市の中央部にある空軍の情報部を訪ねた。

情報担当将校で、戦闘機編隊長でもあるジェフ・クラーク大佐は、平服のまま、オフィスで待っていてくれた。

「さつそくですが、事件当夜、戦闘機がスクランブルしたそうで……」

「ええ。あの事件の前、昨年の10月頃から、問題のカイクーラ地区では、UFOを目撃したという住民からの報告が多く、また、レーダー管制所でも確認したケースが多かったのです。」

事件当夜も、レーダー管制官から連絡が入り、同時に、住民からも電話が殺到しましたので、ジェット戦闘機に緊急発進を指令したわけです。しかし現場付近の上空を5時間にわたって捜索したにもかかわらず、それらしいものにも遭遇することはできませんでした。従って、我々としては、例のUFOは光の反射、または、光の屈折による虚像にすぎなかったのではないかと考えているわけです」

「すると、レーダーに写ったというのは、どういうことでしょうか？」

「それは、私は専門家ではないのでわかりませんが、レーダーエコーまたはゴーストと呼ばれる、虚像が写る現象ではないでしょうか？」

「しかし、肉眼やカメラには、何かの光の虚像が見え、同時に、レーダーには別の原因による虚像が写る、という

偶然は、起こり得るのでしょうか？」
「それも、私にはわかりません。ただ、我々の戦闘機は、UFOを発見できなかった、ということは確かなのです」というばかりなのだ。

我々が取材を終わって帰国した直後、
「ニュージブラント空軍が、UFOは当時上空をおおっていた大気の異常現象による光の屈折現象である、と公式発表した！」という記事が載った。

この公式発表（？）のもとになったのは、クラーク大佐によって代表される「我々の眼には見えなかったから、そのようなものは存在しなかった……」式の意見が多数を占めた結果だと思われる。さらにまた、前に訪れた物理工学研究センターのコーリンス所長が話していた「例のUFOフィルムは、UFOそのものを写したのではなく、UFOが、飛行機の窓ガラスに映ったも

のを、カメラにとらえたものだから分析不可能……云々」という件りを誤解して、「UFOは、ガラスに写った反射光にすぎなかった……」ととらえた結果なのかもしれない。

いずれにしても、ニュージーランド空軍が、わざわざ「UFOは大気の異常現象だった……」などと発表するのは、どうみても不自然だ。

そこには、隠された恐るべき裏の事情があるのだが、それはおいおい述べることにしよう。

しかし、ついに私は、例のUFOフィルムがホンモノに違いない、という確信をつかんだ。

事件当夜の管制官ジェフ・コウザーと、匿名にしてくれたら話をするというもう1人の管制官に会うことができたのだ。

(以下次号)

宇宙への招待

■今関心と興味が急激に高まってきたロケット、人工衛星、宇宙船などに関するすべての話題、資料を徹底的に集め、調査―具体的に分りやすくまとめたいわば宇宙、ロケットに関する入門書、日本で初めての宇宙科学のなんでも百科と言えるものです。

クラビ・ソビエトの少年宇宙飛行士たち、スペースシャトルについて登場！ブライベート宇宙飛行士★第2の地球、スペース・コロンニー全イラスト紹介！日本のスペース・センパイ本文★メカニズム研究★これがロケット航法だ。▼宇宙食と宇宙旅行▼未来のスーパー・ロケット▼現代ミサイル図鑑U.F.O集中講義(付録)宇宙飛行年表▼宇宙権者事典

B5判 146頁 定価980円 送料160円

創業33年 航空宇宙図書専門出版社
中央区銀座6-8-7 (株) 酣燈社
TEL 03-572-3421

イタリア

新説ノアドリア海
トライアングル

最近イタリアでは、アスコリ・ピケノとペスカナ間の海上アドリア海トライアングルで不思議な事件が続出し、漁民や航空機のパイロット、船員たちを悩ませている。

船員たちの話によると、波が穏やかな日に突然、高波が起こったり、海中からオレンジ色のマツシユルム形物体が出現したり、また船舶の計器が狂ったりするという。

パイロットの中には、海中から飛行物体が飛びだし、信じられないようなスピードで空中に消えていったと証言しているものもあり、また、淡い緑色のUFOやオレンジ色の光を目撃したという報告も寄せられている。

昨年暮には、トリール漁船員たちがこの三角海域への出漁を拒否した。というのは、サンベネデッド・デル・トロントの漁師2人が晴れた波のない晩にこの海域を航行中、原因不明の遭難により死亡する事件がおきた

からである。

こうして「アドリア海トライアングル」は本家の「バミューダ・トライアングル」に匹敵する悪名をはせるにいたった。

この謎を解くため全国ユーフロジ・センター(CUN)は最新の電子装置を積み込んだ14メートルのヨットで同海域を調査することになっている。

CUNは「宇宙からの来訪者」説を単純に信じているわけではなく、放電現象や火球のような未知の大気現象の可能性もあるといっている。また、フィレンツェのUFO研究者マルチエロ・コベッティは、新型ミサイルのテスト説をとっている。

週刊誌「パノラマ」が伝えるところによると、イタリア政府は表向きは平静を装っているが実際にはUFOに多大な関心を払っており、国際省では15年くらい前からぼう大なUFO報告資料にたえず目を光らせているという。

最近、国防大臣が軍部に提出した質問状では、今後UFOを目撃した場合には、「推進方法、構造、スピード、操縦性能」な

どについて解明の手がかりとなるものを得るように要求しているとか。

アメリカ

ミューティレーション
の原因はUFOか

昨年7月、ニューメキシコ州でUFOが目撃され、2台の車に粉末が残されるという事件があった。これがニューメキシコ

や近くの州で発生している一連のキヤトル・ミューティレーション(不可解な家畜屠殺事件)

を解く手がかりになるのではないかと、研究者に注目されている。

UFOを目撃したひとりエリ・アス・バーガス夫人によると、7月初旬、タオス北東に「明るく輝くオレンジ色の光体」が出現したという。UFOは数分間、彼女の自宅付近上空に浮かんでいた。

物体は北方に飛び去ったが、物体の真下に停めてあった車の屋根にうつすらと粉末がつもっていた。この粉末はアルバカーキにあるシヨーンフェルド研究所で分析された。その結果、粉

末はちょうど同じころミューティレーションのため検査していた家畜から見つかったものと同一の物質であることが判明したという。

このテストはダルシイの近くにあるマヌエル・ゴンザレス牧場で実施された。この付近ではひんばんにキヤトル・ミューティレーションが多発している。

120頭の牛を囲いに入れ、1頭づつ出入口からだして紫外線で検査したのである。

このテストの結果、牛5頭の身体に「キラキラ光る粉末」が付着していることがわかった。これらの牛から皮をサンプルとして採取し、比較対照するため粉末の付着していない牛からの皮も採取した。

シヨーンフェルド研究所で粉末のついていた皮を分析したところ、カリウム含有量が通常の70倍以上にも達していることがわかった。

UFO事件のときに車の屋根で見つかった粉末も4日後に同じ研究所で分析され、興味深いことに、やはりカリウムとマグネシウムを大量に含んでいるこ

とが発見されたのである。

分析にたずさわった研究所のスタッフたちは、これら2つの粉末の異常な濃度は、空中で自然に生じるものではないと語っている。トラックの屋根の粉末は塗料が酸化されたものだという可能性も考えられないわけではないが、同研究所ではさらに研究を進める予定である。

専門家によると、ニューメキシコ州はミズリー、アーカンソー州と並んでキヤトル・ミューティレーションがひんばんに起こっている地帯で、同州では昨年だけで35件のキヤトル・ミューティレーションが確認されているという。

オーストリア

UFO、トラック
を追跡

オーストリアのトラック運転手が、1978年の3月5日、UFOと思われる光体に出会った。

この運転手は、リークリークからホーカーへ向かっていたが、午前2時頃、パラチルナの町を出たところでタイヤがパンクし

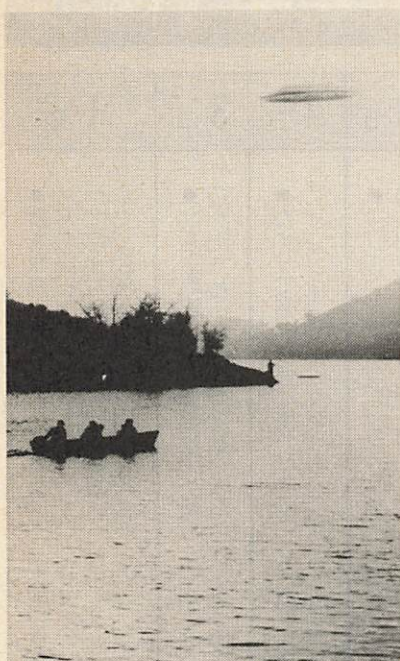
てしまった。

タイヤを交換していると、奇妙な感じにおそわれた。誰かに見つめられているような気がする。しかし、あたりを見ても誰もいない。

気のせいだとかたづけ、彼はトラックに戻ってコーヒーを飲み、タバコを一服してから再び出発した。

数分たった時、突然、青みがかった緑色の光がトラックの前方に出現したという。

「たいして注意しませんでした。というのは左手に鉄道が走っているのです。その標識だろうと思っただけです。ところが、その光は2〜3フィートほど上下に動きはじめました。



正体を確かめてやろうとヘッドライトを上に向けたところ、その光が届く前に緑色の光の下に2つの赤い光が現われ、右手の方向に45度の角度でヒューツと飛び去りました」

緑色の光はいったん消えたが、30秒後、またもや現われた。今度は道路から15〜20フィート上空に静止している。赤い光はなかった。

「その光体はゆっくりと下降していました。路上5フィートのところで、ヘッドライトの光を強くして向けてみました。ところが、またもや光があたる前に2つの赤い光が現われて、ものすごいスピードで飛んでいったのです。

緑色の光体はすぐ戻ってきましたが、高度20フィートより下

降しようと思わず、こちらがいろいろスピードを変えても、つねに150〜200フィート前方を進んでいました。何度か光を

向けたのですが、いつも同じ結果でした。こんな状態が15分は続いたのです」

たまたま別のトラックがとおりかかったので、合図をして止めたところ、光体は静止し、運転手がトラックから降りたところ、電球が消えるように消えてしまったという。

日本・兵庫

8ミリカメラで UFOキャッチ

2月3日、神戸市のアマチュア写真家が同市上空を飛行する UFOを2度にわたって8ミリカラーフィルムにとらえることに成功した。このフィルムは2月28日午後2時からサンテレビで放映された。

撮影したのは同市兵庫区に住む会社員知念正朔（まさとも）さんで、最初に UFOを見つけたのは2月3日。

この日、知念さんは勤務先の自動車工場で作業中、上空に出

没した UFOを5回にわたり目撃し、手元に置いていた8ミリカメラで撮影した。

UFOはいずれも銀色に光る球体で、かなりの上空に位置し肉眼でもピンポン玉ほどの大きさに見えたという。

二度目の撮影は2月8日午前11時過ぎ、同工場内で行なった。飛行物体は最初の撮影時よりかなり低空を飛び、真上を東の方向に通過したときにはおわんだにみえたという。時間にして2分たらずだったが、飛行物体はやはり銀色で、頭上通過後ふたつに分裂し、並行して東の空に飛び去ったという。

知念さんは1月にも2度、UFOを目撃しており、次の出現に備えて職場に8ミリを持ちこんだ直後のできごとだったという。2回とも、撮影時には、同僚数人がいっしょに目撃している。知念さんは、「テレビなどの UFOの話には疑問をもっていたが、UFOを目撃したときには興奮しました」と語っている。

日本・熊本

阿蘇火口に UFO 出現

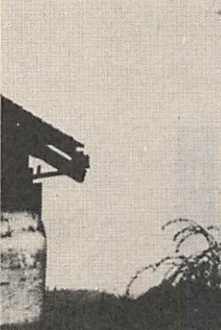
2月に入ってから熊本県阿蘇郡阿蘇町は UFO の話題でもちきりであった。というのは阿蘇町にある赤水ホテルの従業員数人が UFOらしい物体を目撃したからである。

目撃者の話を総合すると、UFOが現われたのは2月5日午前0時40分ごろのことと、北外輪山上にオレンジ色に輝く円錐形の異様な物体を目撃、約30秒後に消え去ったという。

物体が発する光は、さながら溶鉱炉の火をみるようで、外輪山のりよう線がはつきり浮き上がって見えるほどの強烈な明るさだったという。

阿蘇地方では、50年5月13日にも、岡山県から来た観光客の撮影した阿蘇中岳噴火口の写真の中に円形の物体がとらえられている、一時話題を呼んだ。

地元ではまた現われるのではないかと期待して「毎晩必ず一度は空をみる」という人もいたという。

16日	15日	14日	12日	11日	6日	4日	3日	1日
●ゴードン・クーパー少佐はフエイスで宇宙航行中、赤色の尾をひいた緑色の怪物体を目撃（75年） ●米国・テネシー州で16日の晩か	●京都市左京区大原に住む河上おつさん宅で深夜、庭先にまぶしく光る身長約40センチくらいの小人	●アルゼンチンで早朝、濃霧中をトラックで走行中のネストル・ウルッチは、強烈な光を発する物体と遭遇。あつという間にトラックごと呑みこまれ、なかにいるいろ	●ケニアで、奇妙な物音に目を覚ましたチャールイ・ベンソン夫人は	●米国・オレゴン州マクミンビルで、農夫ポール・トレントは妻とともに北東の空に滞空するUFO	●スウェーデン・スキリガリイにある射撃場付近を車で走行中だった	●カナダで暗い夜道を車で帰宅中のイーター夫妻は、突然強烈な光	●北海道釧路市で天体観測中の渡辺和郎さんら5人は、20個ぐらい	●群馬県高崎市に住む引田貞好さん方の庭石30数個にツメでひっかいたような原因不明の傷が発見された。引田さんは前日の深夜、自
								
ら17日の早朝にかけてフットボール場ほどもある、巨大なピラミッド型のUFOが出現、警官4人とハイウェーパトロール1人によつ	が出現、同時にコマのような形のUFOも現れた。事件後河上さんは目に痛みを感じ涙が止まらな	検査されたあと地上に戻された。（76年） ●米国・フロリダ州オカラにある米海軍バインキャッスル基地のリーダーにUFOがキャッチされた。	部屋中を動き回る光り輝く円盤を目撃。物体は小型で熱を発してい	を発見。飛び去る直前に撮影に成功。コンドン委員会の写真分析者ウィリアム・ハートマン博士は調	たラルフ・テールンは北東上空から降下してくる円盤状の物体を発	を浴びた。同時に車が空中に浮上、そのまま400メートル走つたの	の光体が逆V字型の編隊を組んで東から西へ飛行するのを目撃。物	宅前の麦畑上空に滞空する、不思議な火の玉状の物体を目撃している。（77年） ●フィリピンのもーテイングで、
て目撃された。物体は赤と緑の光を点滅させ、直径は約90メートルだったという。（75年）	いという症状に悩まされた。（74年）	物体はとつぜん方向転換し、猛スピードで消滅。コンピュータでコントロールする最新式レーダーでも追跡できなかった。（78年）	たが、やがて回転をはじめ、縮んで消滅してしまった。（77年）	査の結果、きわめて満足でざる写真と証明。（50年）	影に成功した。（71年）	ち、光は消え車体は道路に落下した。（71年）	体は音もなく急スピードで飛び去っていった。（69年）	午前2時ごろ、彗星観測中のアマチュア天文家が、オレンジ色に光る卵型の物体を発見、物体は音も航跡も残さず飛び去っていった。
								 （78年）

その他	30日	28日	27日	24日	22日	20日	19日	18日	17日
●米国においてケネディ大統領がアポロ計画の開始を宣言。(61年) ●宇宙友好協会(現在のCBBアイ	●シヤム湾南方を航行中の英国船テレマカス号の船長と水夫2人は	●オーストラリア南部のソールズベリーで3人の青年が光の柱を目	●フラジル・イタジユバ市にUF	●アルゼンチン・メンドザ市上空に昼すぎ、円盤型の物体が飛来。中央に偵察カメラのようなものを	●フラジル、サンパウロの国道上を走行中のオニルロン・バベロは、ピカッとまぶしい光を浴び、道ば	●カナダ・ファルコン湖付近でミシヤラク氏は鉱石採集中UFO着	●イギリス・ウーバングリーンで午後9時ごろ、フリケットの試合	●高尾山でキャンプ中、山下正純氏他2名は夕暮の空をドームを持	●チリ・サンチャゴ北方にあるエ
●「ミステリアス」の機関誌「円盤ニュース」創刊される。(58年) ●米国の宇宙科学ステーション、	●午後7時すぎ、巨大な3本の光のシマが放射状になって回転しなが	●午後7時すぎ、巨大な3本の光のシマが放射状になって回転しなが	●真撮影に成功した。(75年) ●マレーシア・クアラランフルで午前6時50分ごろ、突然空中に皿型物体が出現。マレイ日報の記	●つけ、落葉運動をしながら降下した。その物体はあたかも軍本部や重要施設を観察するがのような行	●たの草むらに車ごとつつこんだ。外に飛びだすと約10メートルの上空にUFOが滞空。チューフ状の	●陸を目撃。機体に近づき手を触れたとたん大火傷を負った。病院に	●を終えた3人の少年は閃光を放ちながら上空を飛来する物体を目撃。	●つた3機の円盤型物体がオレンジ色に輝きながら接近し、すぐに急	●前11時35分ごろ、前年10月以来た
●スカイラフ1号打上げ。(73年) ●フランスに公式UFO研究機関G・E・P・A・N(未確認空中	●数分後、今度は逆方向に回転する	●数分後、今度は逆方向に回転する	●者がこれを撮影。物体はゆつくり回転しながら水平飛行を行ない、周辺部からはまばゆい閃光を放っていた。(68年)	●動をとつた。(71年)	●怪光を発し、その光に包まれた車はガラスのように透けて見えた。(73年)	●収容されたが、検査の結果、放射能障害におかされていた。(67年)	●物体はソンプルレ口型で周辺から光を発していた。(78年)	●スピードで方向転換し飛び去つていくのを目撃。(56年)	●体を、1時間のうちに3枚撮影することに成功した。(68年)

その日、つぎつぎとカルテック（カリフォルニア工科大学の略）のジェット推進研究所の大スクリーンに映し出される画像の前で、集まった専門家たちはしばし呆然、声もなく立ちつくすのみであった。

大スクリーンに映し出されているのは遙か6億3000万キロのかた、といってもあまり実感がでない。地球と太陽の距離に比べればなんとその千倍も遠い木星軌道にある謎の衛星群。いまだかつて人類が初めて目にする木星の衛星の、じつに見事な、しかし鮮明なカラーのクローズアップ写真なのだ。

CLOSE ENCOUNTER WITH JUPITER

木星大接近 生きて いる衛星イオ

●科学ジャーナリスト
斎藤守弘



「これはもう解釈の域を超えている。そこに働いているのは、この地球とはまったく違った化学であり、まったく違った物理学であり、そしてまた、まったく違った天体諸力であるというほかない」

大胆な仮説で知られる宇宙生物学のカール・セイガン博士ですら、画像を見つめて息をのみ、短いコメントをつけるのがやっとだったという。木星には13個の衛星があり、あと1個、いちど発見が報告されたのみで、そ

木星に大接近した惑星探査機ボイジャー1号が送信してきた数多くの鮮明な写真。そのなかで最も驚異的な発見は、衛星イオの表面の噴火現象だった。本当に活火山があるのだろうか。イオ大噴火のナゾに挑んでみよう。

の後未確認のものを含めれば衛星の数は全部で14個。さすが太陽系中随一の巨人惑星にふさわしい子たくさんである。

そのうちの大きい方4個は、すでにガリレオが手製の望遠鏡で発見し、いらい「ガリレイ衛星」とよばれる。

しかし、なみの衛星と違い他の惑星のそれに比べてずばぬけて大きい。第I衛星イオと第II衛星エウロパはその直径がほぼ月と同じクラス。第III衛星ガニメデと第IV衛星カリストはだいたい水星と同じ大きさで、それぞれ衛星というよりも惑星級の貫録十分なのだ。

ただし、大きいのはこの4衛星だけ。あとの約10個はみなちび助であり、だいたいアステロイドくらいの大きさ。

直径にして10キロないし150キロくらいしかない。木星に近い方からこれらの月を順に並べみると、いちばん内側が五番衛星アマルティアで、そのあとほぼ等間隔にイオ、エウロパ、ガニメデ、カリストと続き、これが第一グループをなしている。

第二グループは順に六番衛星、十番衛星、十二番衛星、十三番衛星とならび、その軌道はたがいに重なるように接近しているが、第一グループとは大きな間隔で離れている。このため、かつて1つの大衛星であったのが分裂し

最も驚異的かつ予想外だったのは、第1衛星イオの表面で、活動中の「活

き」を送信してきた。

さて今回、正確には今年3月5日の午後9時42分、計算通り木星との最近接地点を通過した惑星探査機ボイジャー1号によって撮影されたのは、この3つのグループのうち、内側の5個であり、その驚くべき表面地形の数々をバッチリ高性能カメラにとらえ、地球に送信してきた。

たのではないかともいわれる。

第三グループはこれまた第二グループから大きく離れ、第十一番衛星、七

番衛星、八番衛星、九番衛星とつづく

が、この4個は内側の2グループと大

きく違う特徴をしめす。すなわち、そ

の軌道の回り方がなぜ逆向きなので

ある。したがって、このグループもま

たかつて1つの天体だったのが4個に

分裂したのだろうといわれる。

さて今回、正確には今年3月5日の

午後9時42分、計算通り木星との最近

接地点を通過した惑星探査機ボイジャ

ー1号によって撮影されたのは、この

3つのグループのうち、内側の5個で

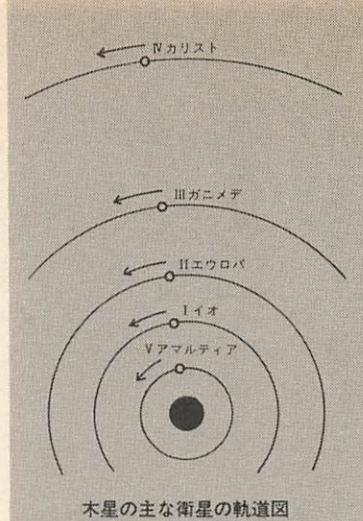
あり、その驚くべき表面地形の数々を

バッチリ高性能カメラにとらえ、地球

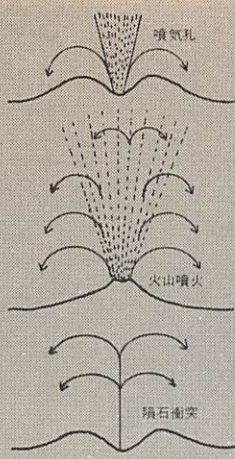
に送信してきた。

最も驚異的かつ予想外だったのは、

第1衛星イオの表面で、活動中の「活



ボイジャー1号の高性能カメラがとらえた木星の衛星イオの表面。今回の探査で最も驚異的かつ予想外の発見をもたらした。



物質を吹き上げる3つの原因

火山」がいくつも発見されたこと。これは地球外の天体における確認された最初の噴火現象であり、地球の月よりもより、水星、金星、火星をひっくり返して、これほど確実な噴火現象の写真はまだ撮影されていない。

イオに6つの

活火山

とりあえず3枚の写真が発表された(3月13日〜15日)が、最初の発表の段階ではその3枚が同一の活火山活動を時間の順に撮影したのか、あるいはそれぞれ3つの別の火山の噴火をとらえたのか、明らかでなかった。

3枚(以下A、B、Cと略称)とも、撮影の角度がやや異なるのである。また写真は衛星イオの縁のあたり、暗黒の宇宙を背景にして、ちょうど吹き

あがる噴水のように、どう見てもイオの地表から何かが舞いあがっている。正式にNASAも発表しているが、だしもしそこに噴火を連想するのである。それに対して写真Bでは、イオの縁でなく、やや手前の方で噴火が起こっており、一面に明るい表面の、そこだけ黒っぽく、中心部から周辺へ羽毛状のものが放射しているようだ。これは写真Aをやや真上から眺めれば、そんな風になるだろうと思われる形なのだが、はたして同じ火口なのかどうか、はつきりしない。

どちらもボイジャー1号が木星に最接近する12時間前の3月4日に撮影している、その噴火の煙は衛星の表面から96キロ以上の高さに達し、その状態が1時間52分にわたり観測された。

一方、写真Cはやや変わっていて、Aと同じく衛星の縁の方の激烈な光景、たぶん大噴火の瞬間と思われる激しい物質の飛び散りをとらえているが、その現境は前二者と比較にならぬくらいで、噴火物のスピードも時速3500キロ(前二者は約1600キロ)、噴煙の高さはおよそ800キロまで達したというからさじまじい。どうやら前二者とはエネルギーの違ったタイプの活火山と思われる。

ジェット推進研究所の発表によると、

衛星イオの表面には少なくとも6つの活火山があり、そのうちの1つは直径50キロという大スケール。およそ、その爆発のさじまじさが察せられよう。そうした激烈な噴火と溶岩噴出をおこなったらしい火口が、約3万キロまでイオに接近したボイジャー1号によって撮影されている。ポツカリ口をあけた中心の火口から、黒く八方へ流れ出しているものがあり、どうやら粘性の低い溶岩のようにみうけられる。

実際、吹き上げる噴煙とその周辺の温度を測定した結果、他の表面の温度がマイナス約160度であるのに対してその部分は摂氏約93〜38度。およそ温差にして200〜250度も地表の平均より高いことが判明した。むろん、地球の噴火山でも見られる傾向である。

こうしたいくつもの証拠から、NASAは衛星イオに撮影された異常現象をまさしく「地球以外の星で初めて観測された活火山活動」と断定したのであり、たしかに予想外の大発見であることに間違いない。

しかし大自然というものは、あるいはこの宇宙はなかなか一すじ縄ではない。イオに活火山があるとすると、これまでのほぼ定説とされた天文知識にとつて、いろいろ不都合なところびが目に見えて露呈してくる。

まず、イオの大きさの問題がある。直径は3320キロ。地球の月の直径が3476キロだから、約0.5%小さいだけ。ほとんど等しい大きさといえる。にもかかわらず、地球の月にはイオ表面におけるほどのスペクトルな噴火現象は起こっていない。かろうじて時たまアマチュア天文家により「煙突の煙のような立ち昇り」が報告されているのみ。これはなぜだろうか。

定説とされる太陽系起源論にしたがえば、噴火を起こすほど内部から惑星なり衛星を加熱するのは岩石に含まれるウランやラジウムなど放射性元素の発する熱の蓄積であり、そうした重い元素はだいたい内惑星(水星・金星・地球・火星)のあたりに集中している。したがって、その外側にあたる外惑星、つまり、その一つである木星軌道のあたりになれば、そうした重い元素は激減するはずであり、そうなればとても地球の月でさえ起こらない噴火活動が本来イオに起こるはずがない。はたしてイオの表面は大噴火しているのか。

それとも、これまでの太陽系起源論のどこかに見落したミスがあるのか。そうした宇宙認識上の重大問題を、ボイジャー1号は提起しているのである。

イオの

噴火現象

ところで、あらためてそうした問題意識をもって前述紹介の3枚の写真を検討してみると、噴火にははいかに不審な点がいくつか現われてくる。

その第一は、表面から高く吹きあげるガスと火山物質の、その噴きあげ方だ。写真Aではちょうどキノコ形で、かなり広くカサがひろがり、根部もまたかなり幅広い。地球上の核爆発などの際できるキノコ形に似ていなくもな

いが、もつとずっと茎の部分が短い。

だいいち、キノコ雲は地球大気の大気抵抗のせいのできるのに、イオ表面ではそうした大気がほとんどない。あつても地球の大気の1000万分の1、ごく稀薄なプラズマ状態とおもえばよい。

では、なぜイオ表面の噴煙がキノコ形になるのか。

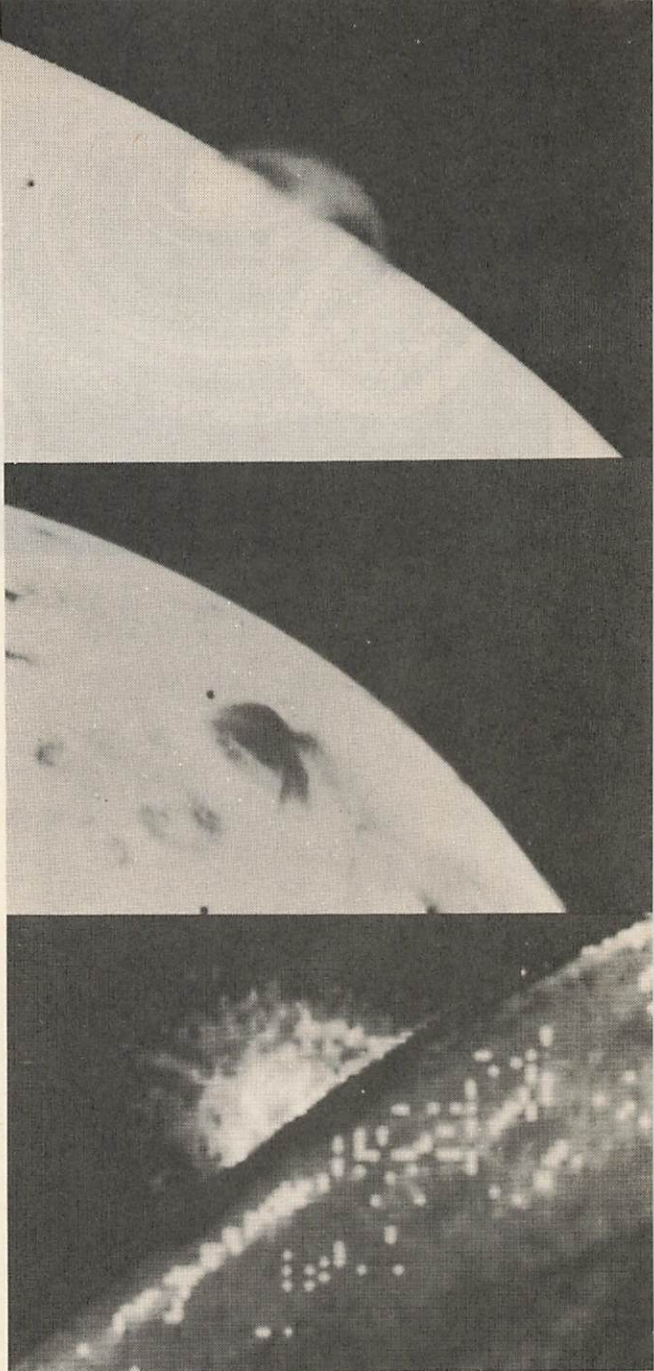
ガスなしいし火山物質を地表高く吹きあげる原因には3つ考えられる。すなわち大噴気孔、火山、隕石衝突である。そして、それぞれ噴煙の吹きあげ方に特徴があるから、その点からどれにかなるのか見分けることができるかもし

れない。

もし噴気孔とすればどうか。小規模のものなら温泉地でも見られるように、地面下の高圧によるガスや水蒸気の噴出であり、すさまじい勢いで周囲に岩石をはねとばす。原始地球の初期段階には、そうした惑星規模でのデ・ガシグ（ガス放出）が起こったといい、かつて月面のクレターの成因についても、この説があてはめられたことがある。したがって、イオの表面でそれが起こっても不思議ではない。

が、デ・ガシグとすれば、その噴煙は表面に垂直あるいはある鋭角をもつた柱状となり、その根元あたりで放

イオの噴火現象をとらえた写真。上から写真A、B、C。



物線状の物質投出がわずかに起こることになる。つまり、時たま月面で見られる煙の立ち昇りと似た様式であり、ボイジャー1号のような対称形のきれいなカサ形にはどうしてもならない。

では、火山の噴火ならよいのか。

ご承知のように、火山の噴火もまた基本的に噴気孔と同じく柱状噴煙といえよう。違うのは大量の火山弾と火山灰を伴うことであり、大部分はたんなるガスの噴気孔説よりはるその投出物がかなりの高度までカサ形を描き易い。

困るのは噴火の持続時間だ。ボイジャー1号は1時間52分にわたり、それを観測したという。もし火山なら、そんな短時間で噴煙活動を停止しないのは、火山国日本に住む私たちには常識だろう。

ボイジャー1号が発見した溶岩を流出した火山（前出）にしてもそう。巨大なヒトデのように八方へ黒い溶岩があふれ出たように見えるけれども、そんなに溶岩というものはいつべんに流れ出しはしない。ちなみに空から富士山を見下ろせばわかるが、やはり頂上の火口から四方八方へ溶岩流が流れ出ているにしても、みなそれぞれ流出の時代が違っていて、同時ではない。

それに大量の溶岩をいっぺんに噴出すれば、山自身が大陥没を起こさねば

ならぬのに、ボーイジャー写真ではその形跡が認められない。しかも不思議なことに、火口の近くでなく、遙か離れて溶岩流の末端のあたりに厚く降り、それをおおい隠しているようにさえ見える。

この黒い溶岩流の同時放射状流出の謎。それはむしろ写真Bの観測によって裏づけを得られるようだ。前述したように、黒い羽毛状のものが周辺へ向かって放射状に、しかも立体的に放物

線を描いているのが確認できる。にもかかわらず、中心部から立ち昇る柱状の煙はまったくあらわれていない。いわば低い噴水状の大量の黒い砂だけの、吹きあがり。ちょうどそんな風だと思えばよい。

決定的とも思えるのは、写真Cの激烈な大爆発現象だ。噴火とすれば高さ800キロに達する大爆発なのだから、さぞや地平線にそそり立つ大火山が見えるかと思えば、そういうものはまったく認められない。むしろ大爆発は、地上でというより空中で起こっているようにすら見うけられる。爆発の中心部が空中にあり、そこから放物線を描いて投出物が広範囲に落下しているようなのだ。これはもう噴火とは考えられない。隕石の空中爆発としか、それは説明できない。

隕石の落下とすれば、横の方から見ると噴水状になり、上から見てカサ状になるその謎が難なく解けるのである。では、そういう類い稀なイオ表面への隕石落下をボーイジャー1号は幸運にもカメラにおさめたのだろうか。月面での隕石落下はまだ一度も観測されていない。

もうひとつ、イオの活火山活動を裏づける証拠として、一足先に1973年、木星軌道をかすめたパイオニア10

号の観測データがある。それによれば、イオの軌道には火山性起源のガスと思われるものが充満している。イオウ、ナトリウム、カリウム、水素などの雲であり、それぞれ特徴ある分布をしている。

以前、イオのスペクトル観測から、その表面100キロの付近にナトリウムのごく稀薄な雲の存在が知られている。地球でも超高空にナトリウム原子の集中層があり、おもに海から吹き上げる微粒の海塩の分解によって供給されるのではないかといわれる。しかし、イオではそのナトリウムが公転軌道に濃く集中し、木星をぐるりととり巻くドーナツ状のリングになっている。つまり、イオの表面からたえずナトリウムは供給されているのだ。

それは水素の場合、もっと明瞭だ。やはりイオの軌道にナトリウム雲を包みこむかたちで広くひろがっているが、全軌道のおよそ3分の1だけ。主としてイオの後に、長い彗星の尾のように、イオの前方ではすぐ消えてなくなってしまう。この分布から、水素の供給源は木星でも太陽でもなく、まさしくイオ本体をおいて他にないというのだが、さてこの水素、ほとんど宇宙空間へ失われても供給されている。いったいその補充のメカニズムがなんな

のかかわらず、これまでの謎となっていた。

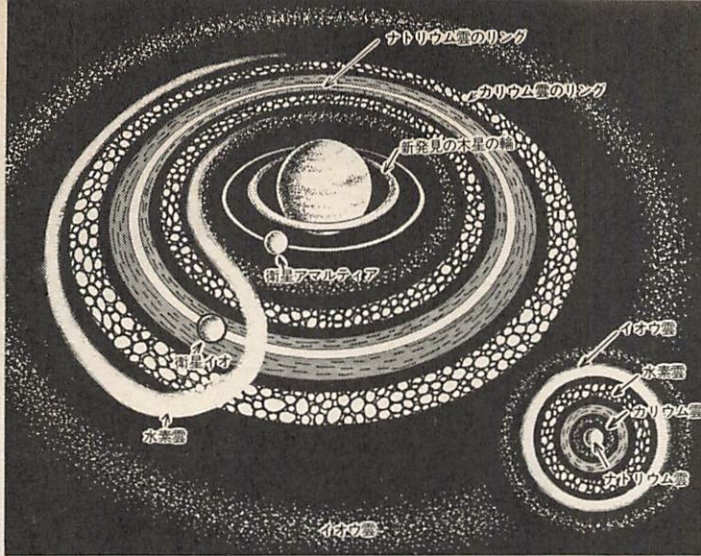
一方、カリウムはだいたいナトリウムの環と似た分布をしめし、イオウ・イオンの方は水素の雲よりもっと広い範囲にひろがっていると考えられる。しかし、いずれにしても供給源はやはりイオ本体をおいて他にない。

いいかえれば、衛星イオはその表面からたえずまなくイオウ、ナトリウム、カリウム、水素を宇宙に空間へ放射するじつに不思議な天体なのである。

それで、これまでイオの表面はその反射スペクトルの分析などから、どこもかしこも塩だらけ。まるで地球上の海の水がいつべんに蒸発し、あとに残った塩だけが残った。ちょうどそんな世界と思われていた。なぜ塩だらけになったのか。科学者たちの考えでは「イオの生まれた頃、表面にあった大量の海水が、内側で近いため木星の熱にあぶられて蒸発。あとに塩だけが残った」という。

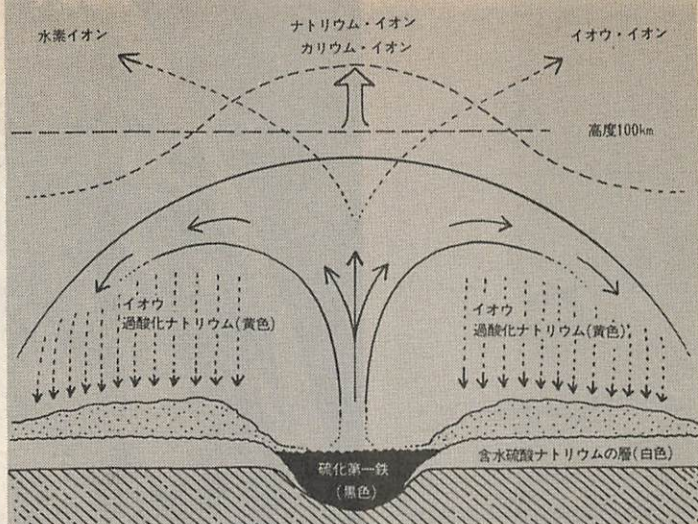
氷と霜の衛星 エウロパ

それに対してエウロパは木星からやや遠く、それだけ熱の影響をうけな



つたので、表面ににじみでた水はそのまま凍って厚さ50キロに達した。だからエウロパの岩石だらけの表面には、ところどころ深い氷のクレターが口を開けている。実際、この推定は今回のポイジャー写真によって、ある程度の裏づけを得たようにみえる。

エウロパの直径は3050万キロ。イオより約20%小さいその表面は、なほ全面的に氷と霜におおわれているようで、それでもなおかつ誕生時の



隕石衝突によるイオの表面物質の熱分解仮説模式図

巨大な隕石のインパクト盆地らしい地形が識別できる。そして、その地形を横切って縦、横に無数の断層線が走っているのは、エウロパが宇宙塵の雲から固った時の自己凝縮の跡であろう。まったく同様の自己凝縮が衛星イオでも起こったはずだ。ところが、ポイジャー写真によると、まるで違ったひどいきび跡のような異地形がいくつかある。太陽系で他に例のない異常な表面だった。

カラー写真で見たイオの表面は、濃い黄色を主調に、赤褐色、白、黒、青などが入り混じりじつにカラフルな感じ。あらかじめ予想していた白一色とはえらい違いだった。だいたい極付近は黒っぽく、中緯度地帯に下ると赤褐色と濃い黄、そして赤道地帯を中心に明るい黄と白色の部分が幅広くひろがっている。この著しい色調の相違。それはおそらく表面物質の成分の違いからきているのだろう。

たとえば黄色の部分。これはどうやらイオウの灰物質らしい。この部分からはね飛ばされるか、吹きあげられるかして、軌道上に広くひろがるイオウ・イオンとなるのだろう。

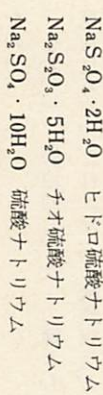
地球上でもイオウは火山性地形に伴っている。イオの表面には、そうした中央火口部に多い噴石丘そっくりの

地形があり、黄色く輝いている。ほかにもそういう中央の孔と、周りの黄色い円形部分の特徴が多く、それからすれば、まさしく火山性の地形と考えて、むしろ当然にすら思える。そこには通常の隕石衝突で説明されない何か、つまりプラス・アルファが働いているのである。

そのプラス・アルファとは、隕石衝突による表面物質の熱分解かもしれない。

まず表面の白色に広く輝く地域。それはエウロパのように、かつて全面をおおっていた水分蒸発のあとの大塩原の痕跡か。

そうとすれば化学的には地球の海塩と違うが、色はやはり白色の硫酸ナトリウム塩なのだろう。なぜかといえば、硫酸ナトリウムはカリウムを除いて、イオの放出する謎のイオン雲のすべてを含んでいるからだ。



いま、この硫酸ナトリウムの塩原に猛スピードの隕石が激突したとする。

その熱エネルギーのせいで、一時的に分解が起こり、みな原子のナトリウム

(Na)、イオウ(S)、水素(H)、酸素(O)に分解する。

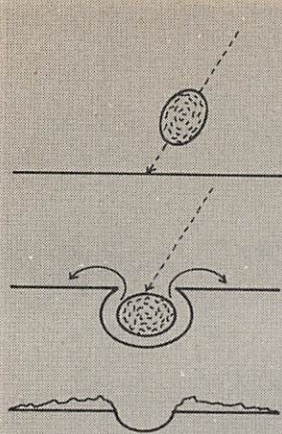
このうち、蒸気となったナトリウムは空中高く100キロ以上に舞いあがり、軌道空間に飛び出してしまいが、残りは温度降下とともに水の分解した酸素と再結合。黄色っぽい過酸化ナトリウム(Na_2O_2)となって地上に降り積る。

むろん、この黄色い部分には熱分解して宇宙へ吹き飛んだ残りのイオウ分も含まれるし、ほかにイオウは硫素と結合して無色の無水硫酸(SO_2)にもなるだろう。

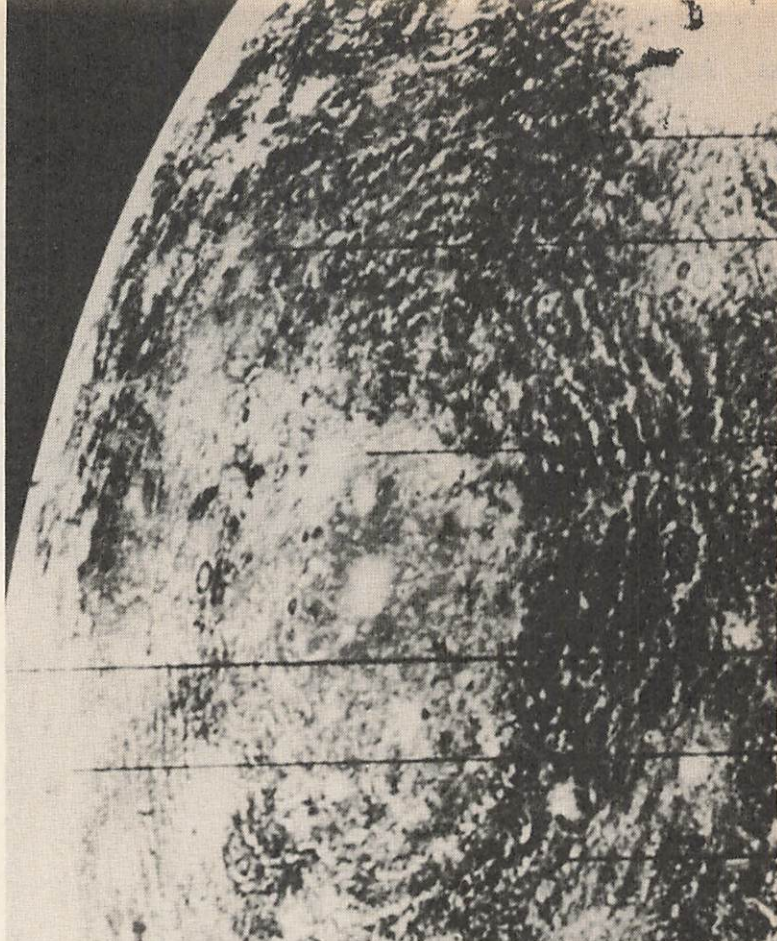
イオ表面にある水分は、このようにして遊離した形でなく、硫酸ナトリウムの結晶に含まれているので反射スペクトルにあらわれないのか。しかし、水分が存在することは軌道上の水素雲から明らかであり、おそらく捜せば同じく水の分解から生じる遊離酸素も、ナトリウムやイオウと結合した残りとして、わずかながら存在が確認されそう。

この予測が的中すれば、ここにあげた筆者の表面物質熱分解仮説の一つの証拠になるだろう。だが、酸素雲は水素雲と反応してすぐ水に戻るの、そうした軌道空間の酸素雲の検出はひじょうに困難だろう。

もう一つ、軌道空間で検出された大量のカリウムについて。これはおそらく



カリストの地形の「凍った津波」説



▲不思議な同心円状の多量のクレーター地形をもつ衛星カリスト

く衝突隕石そのものから解離するの
らう。隕石には酸化ナトリウム(Na_2O)
とともに、量的にかなり多い酸化カリ
ウム(K_2O)が含まれるのだ。
となると、イオの表面でところどこ
ろ真黒い点となって見える部分、これ
は硫化第一鉄(FeS)であり、同じく赤
褐色になった地域は飛散した水酸化第
一鉄($\text{Fe}(\text{OH})_3$)の粉末の堆積、そ

してもっと赤っぽい部分はいわゆるベ
ンガラと呼ばれる硫化第二鉄(FeO)、
できているのだろうか。

もともと地球の地殻の元素存在度か
らしてもカリウムと鉄は、その豊富さ
において同じくらいのパーセンテージ
なのだ。

なお、ごく局部的にブルーの輝きも
見られるが、これはたぶん硫酸銅($\text{CuSO}_4 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$)か、でなければ水酸化第二銅
($\text{Cu}(\text{OH})_2$)の結晶、ないし堆積地な
のだろう。

イオの表面は、こうした化学元素に
おいても実にバリエーションに富んで
いる。

大発見! 木星の輪

だが、それにしてもなお謎が残る。

いったん誕生したあと、エウロパのよ
うに自己凝縮して大塩原となったその
表面を、再び二次的ににきび面にした
大隕石群。それはどこから来たのか。

どうやら、それはボイジャー1号に
よって発見された木星の「環」から、
というのが大きな可能性として浮かび
上ってくる。

NASAは最初、ボイジャー1号の
送ってきたデータを信じられなかった
という。衛星アマルティアの内側で「偶

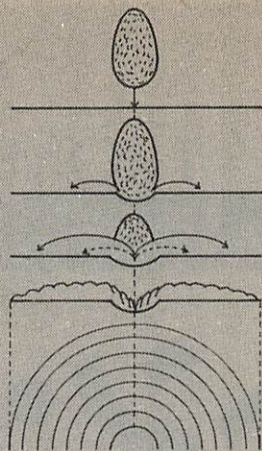
然」11・2分間、カメラシャッターが
作動するよう、セットしてあった。N
ASAの大スクリーンに映ったのは、
微細な物質の流れを示す無数の線状の
流れだった。

慎重を期してNASAは数日間、発
表をためらった。その間にデータをチ
ェックし、再チェックし、間違いなく
無数の小石大の破片のリングであり、
その厚さ約1キロに、地球からはほと
んど紙のように薄く、直接見るのは不
可能であると断じた。だが、それなら
なぜ、発見絶好の位置に「偶然」カメ
ラがセットされていたのか。

実はソ連の有名な天文学者フエセン
コフ博士がもう10年以上も前から、木
星の輪の存在を予言していた。長年の
観測の結果、木星の赤道にそってひろ
がるという、土星のように傾かないの
で地球からはごく薄いその影しか観測
できない。ちょうど真横から見ると
だとその正確な位置を算出していた。
NASAがこの予言を知らないはずは
ない。

新発見の木星の輪を、その長年の観
測と予言の功績にちなんで「フエセン
コフ環」と命名する雅量が果してアメ
リカにあるかどうか。たぶん「ボイジ
ャー環」に落着くのでは……

この木星の輪がいつごろできたのか。



筆者による変形隕石衝突説

こうした奇妙な疑似火山地形はみあたらない。

ガニメデ。これはその密度1・95から、その半分が水と氷の塊りだと考えられていた。ところがアメリカのジェット推進研究所で強力なレーダービームをガニメデに発射、1時間7分で6億キロを往復してもどつてきた微弱な反射電波をコンピュータにかけた結果、ガニメデの表面はかなりデコボコの岩石と金属物質で、そのあちこちらが広く氷や霧におおわれていると予測された。

付近の小惑星帯から接近したアステロイドの一つかもしれない。その破片には木星表面から蒸発した着色物質が厚くこびりついていたとすれば、イオの表面、とくにその赤道地帯に集中している謎のカラー化学物質の大堆積は衛星内部からばかりでなく、そのようにして一部、木星本体から運ばれてきた可能性すら生ずる。

この予測はほぼ的中といつてよい。ボイジャー写真ではほとんど地球の月と同じような外観を呈し、これまた月の「海」とそっくりの巨大な隕石のインパクト盆地らしい地形が判別できる。表面のどこどころ緑色になっているのは金属鉱床の分布なのかもしれない。

一方、カリストはひじょうに脆い塊りで、隕石と宇宙塵と氷がごちゃやまぜになり、まだ一度も熱せられていない。たしかに密度はいちばん低い1・6で、太陽系誕生間もないころの原始物質の貴重な博物館といわれた。だが今回、ボイジャー1号はこの衛星上に、不思議な同心円状の多量のクレーターを発見した。

この異地形について、US地質研究所のレーダーブロン博士は「凍った津波説」をとらえた。巨大な隕石の衝突で表面の水が解け、衝突地点からあふれ出たのが急速に再び凍結したのだらうという。

だが、よく似た地形が月や水星でも見つかっており、かなり固い地面と大隕石の衝突を考えねばなるまい。それは、衛星アマルティアのような変形大隕石だったのだろうか。ボイジャー1号

の撮影によると、この衛星は高さ130キロ、長さ220キロ、横にひきのばしたような微妙な形だ。こうした変形大隕石の低速衝突の例はまだまったく研究されていない。

ひよつとすると、カリストの低密度はその内部に四通八達したクモの巣状の空洞があるせいであり、世にも珍奇な、いかなれば「迷路トンネル星」である可能性すらある。

それゆえ、この4つの衛星は原始天体の進化の順をあらわしているともいえる。カリスト（その表面地形の年代40億年）を内部から熱するとガニメデ（同10億年前）になり、ガニメデをさらに熱するとエウロパになり、そしてイオ（同1000万〜1億年）になる。この7月、予定されているボイジャー2号がどんな新しい最接近写真を送ってくるか楽しみなことだ。

組立簡単、三点セット（座禅用、横臥用、実験用）¥4,900

驚異のピラミッド・ハウス

四角錐の中に謎の力がある



各種ピラミッド・ハウス 鉄製、メッキ、組立簡単

	鉄製	アルミ製	送料
●大（座禅用）長サ160cm	¥6,900	¥6,000	
●中（横臥用）長サ80cm	¥6,400	¥6,000	
●小（実験用）長サ25cm	¥3,000	¥500	

各種3点セット及び2点セットは、大・中のみ兼用です。

お申込方法

住所、氏名、品名をハッキリ書いて現金書留でご注文下さい。

（株）東京メールサービス

〒116 東京都荒川区東日暮里5-28-2-5
TEL03(805)0821（カタログ・切手200円）

発売二年 全国より大反響

銅製セット（大・中・小）¥12,000（送料共）

RIES FROM UFO ARCHIVES—■日高実男

ジョージ・アダムスキーは帰ってきたのか

トン・ミステリー

アーサー・ブライアント、51歳。彼は、南西イングランドのダートムーア刑務所の近くに住んでいた。5年間この刑務所の刑務官をした後、老人ホームの管理人として、気ままに暮らしていた。

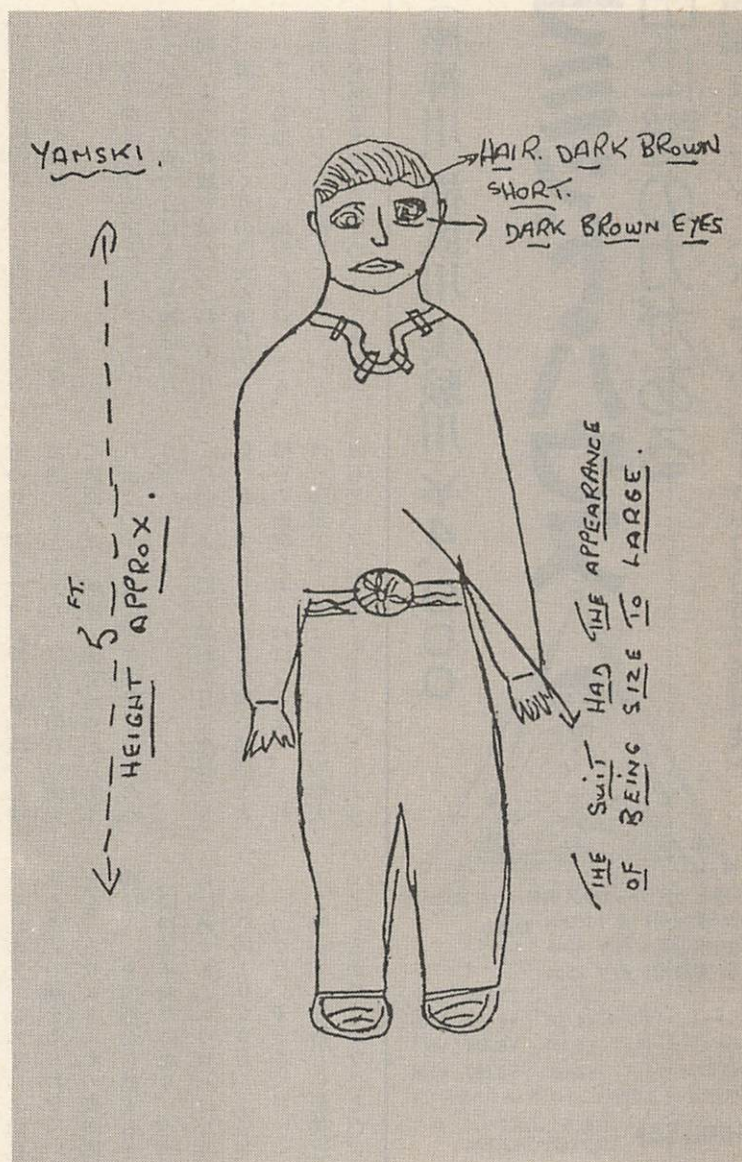
1965年4月24日の夕方、ブライアントは日課であるスコリトン草原への散歩に出かけた。午後5時30分、目的地に着いたブライアントは、ふと

町の方をふりかえった。そのときである。「アッ、あれは?!」ブライアントは恐怖のため、その場に釘づけとなり、不思議な物体を凝視していた。

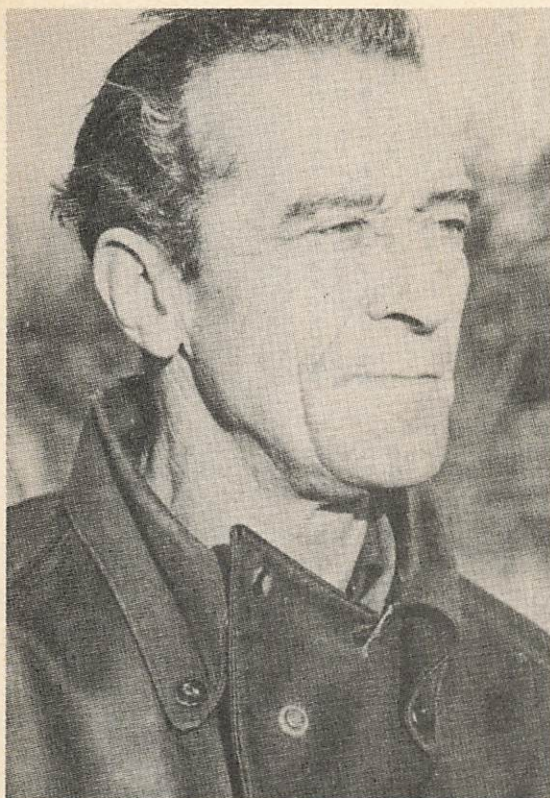
巨大な円盤状の物体がこつぜんと空中に出現したのである。それは、時計の振り子のように左右に揺れながら、彼から25メートルぐらい離れた空中に静

止した。地上から約1メートルの高さのところだった。やがて、中央付近にハッチらしきものが見えてきて、潜水服のようなものを身につけた人物が3人現われた。そして、そのなかの1人が、ブライアントにむかって手招きをしたのである。

このとき、不思議なことにブライアントはなぜか恐怖心が薄らいでいくのに気がついた。そして、ひきよせられ



▲金星から来たというヤムスキーは、地球人の少年のような顔つきだった。茶色の髪と黒褐色の目で、身長は1.5メートルぐらい。ちょっとだぶだぶのスーツを着ていた。英語を話したが、アメリカなまりがあった。



▲金星人「ヤムスキー」と会見したアーサー・ブライアント

UNSOLVED MYSTERY

スコリ

今から14年ほど前、イギリスで一人の老人が、ヤムスキーという金星人に話しかけられるという事件が起きた。あの有名なコンタクティ、ジョージ・アダムスキーが死んだ翌日のことである。この金星人は、アダムスキーの生まれ変わりだったのだろうか。調査が進むにつれ、事件の謎は深まっていった……。

るがごとく、小さな道の鉄柵を越え、彼らの方へ近づいていった。彼がそばに行くと、謎の人物たちはヘルメットをぬいだ。3人のうちの2人は、金髪で、顔が異常に広かった。肌は黄色をしており、ヒゲなどは見当らない。眉

ヤムスキーと名乗る少年

14、15歳の少年は、グループのリーダーらしく、ほかの2人よりも自由にふるまった。一見、ロシア人風の少年は米語なまりの英語でブライアントに話しかけてきた。

少年はヤムスキーといい、ほかの2人とともに金星からやってきたのだとブライアントに告げた。

「もし、ここにデス・レス・がいれば

とまつ毛は長く整い、鼻はズングリしていて、瞳は青く、全体に気品が漂っていた。しかし、手の指は4本で、親指にあたるできものがなかった。最初呼吸のしかたが不自然であったが、だんだんきちこちなさがとれ、いつのまにかスムーズになっていた。

3人めは、地球人そっくりの容貌をし、金髪でショートカット。濃い茶色の眼をしており、14、15歳くらいにみえた。その少年は小柄なため、服がダブつき、腰のベルトもビツタリとフィットしていなかった。くつは地球のものとは大差なく、2本のストラップがついていて、底は厚めだった。銀色の潜水服のようなものを着ている3人は、動くたびにスズはくでできているようなどき、そんな音をたてた。

すべて理解してもらえないのに……」

と、少年はつぶやいた。ブライアントには、なんのことかさっぱり理解できなかった。

ほかの2人は、近くの羊の群れに関心をもったようだ。彼らはこれまでに羊を見たことがないのかもしれないとブライアントは思った。

不思議なことに、ささいなことで

▶目撃者のブライアント氏のスケッチと証言をもとに描いたヤムスキーの似顔絵。この絵を見た目撃者は、あまりにそっくりなので驚いたと語っている。



もパニック状態に陥る羊たちはなにともないようにのんびりと草を食べていた。

ふたたび、ヤムスキーが話した。

「われわれは、あなたにメッセージをもってきたのです。あなたはジプシーの血をひいていますね。だから、私はあなたにコンタクトしたのです。ぜひとも、デス：レス：に伝えてほしいことがあるのです」

ヤムスキーは、デスとかレスとかいう人物の友人のように思えた。彼は、デスとかレスとかいう人物にサンスクリットの解説作業を終世つづけてほしいということをしきりに告げたがっていた。デスとかレスとかいう人物は5年前にその仕事をやめてしまったというのである。ヤムスキーは、それが残念でならないと、涙ながらにブライア

▶最初の証言をもとにした円盤搭乗員の似顔絵。地球人とかけはなれているというほどではない。目撃者の意見では、目と鼻、それに髪の毛の形や長さが違っているとのことだった。



ントに訴えるのだった。

熱心に訴えられても、ブライアントは全く見ず知らずのデスとかレスとかという人物に、どうしたらこのメッセージを伝えられるのかと、困惑してしまっただが、ヤムスキーはその困惑を見とおすかのように言った。

「私がすべておせんだてをします。だから、心配しなくてもいいのです」

また、ヤムスキーは、我々の理解を超えた驚くべき生命体の存在、すなわち生殖の目的で人々を連れ去っていく他の天体の邪悪な勢力が実在することについて語った。この勢力こそ、ポルターガイスト現象を生じさせる張本人だというのだ。

このあと、ブライアントは船内に招き入れられた。宇宙船の内部は金属性で、ふれるとひんやりしていて、多少

▶目撃者の意見を参考にして描き直した円盤搭乗員の似顔絵。目が大きくて鼻が低く、額がとて広い。髪は頂部から側面へいくにつれ多くなり、あごのところで終わっている。



ヒリヒリした感じがした。部屋は三角形に仕切られていて、家具らしきものはなかった。入口付近の容器にヘルメットが置いてあった。ブライアントはその1つを手にとってみた。外側の耳の部分に奇妙なコイルがついており、内側にはマイクロフォンに似たものがついていた。呼吸フィルターらしきものはどこにもなかった。そのとき、左の部屋のなかにテレビに似た小さなスクリーンがあるのに気がついた。まるで、スペクトルを思わせる、さまざまな色光が上方へ移動していく様子が写し出されていた。別のブロックへ行く途中、チラツと天井へ目をやると、

微光を放つ三角型の小球があった。

最後の部屋へきたときだった。何かを暗示させるかのように、1枚のガウンが床になげだされていた。紫色の地

に美しい一輪のバラの花の刺繍がほどこされていた。なぜか、ブライアントはこのガウンに魅かれた。

元の場所に戻ったブライアントは、船体の動力についてたずねた。これに対して、「イデオモーター運動」だという答えが返ってきた。

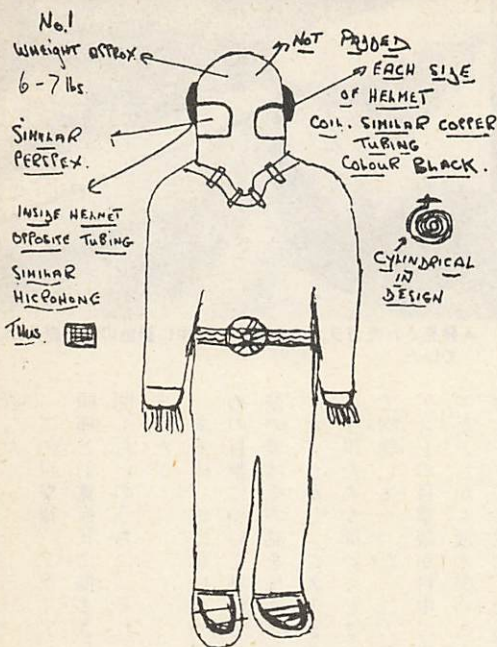
ヤムスキーは、またブライアントに会いにくる約束をした。そして、1ヵ月後にマンテルの証拠を示すから、夕方の青い発光体に注意してほしいと告げた。

「マンテル？」 ブライアントには、さっぱりその意味がつかめなかった。

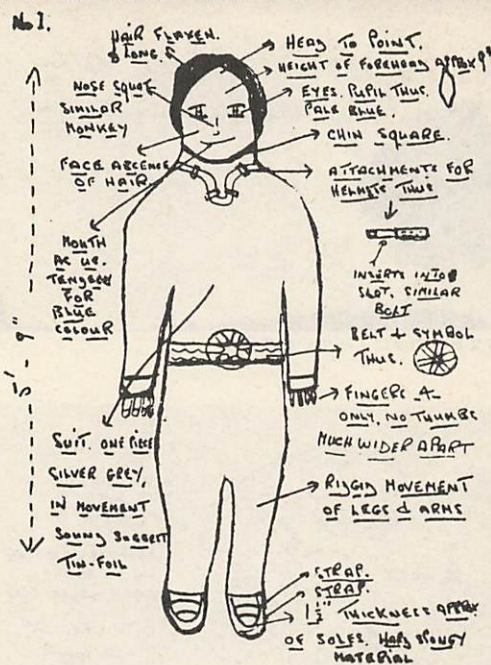
「私たちは、あなたに会って本当によかった。感謝しています！」

ほかの2人がはじめて口を開いた。やがて、別れのときがきた。ブライアントは機体からとびおり、10メートルほど離れたところまで走り、サヨナラを交わした。ヤムスキーたちは、円盤のなかに入り、ハッチが閉じた。機体は、上昇するやいなや空中に消失した。群らがる羊たちも、円盤が飛び去ったときに、その飛行を追うかのように頭をその方向へむけた。

「まるで夢を見ているようだった……」ブライアントは自宅でお茶を飲みながら、つい今しがたの体験についても思いにふけていた。



▲円盤から降りてきたときの搭乗員の姿。ヘルメットで顔は見えなかった。目撃者はヘルメットを持ってみたが、6〜7ポンドの重さで、両側にコイルがついていた。



▲目撃者のブライアント氏が描いた円盤搭乗員。指が4本しかなく、額が広いというような詳しい説明が書き込んでいる。ヤムスキー以外の2人はそっくりだったという。

青い光体、頭上に現わる！

「イデオモーター運動？」 「デスあるいはレスとはだれのこと？」 「マシテル？」 …… こうしたことが交錯

しつつ、脳裏をよぎっていた。しかし、結局はつぎに起きる何かを待つしかなかった。

「おやつ、あの音は？」

6月7日午後10時30分、ベッドに入ろうとしたやさきのことだ。だんだん強くなるブーンというハミング音にブライアントは気がついた。このあたりでは聞き慣れない音だ。彼は、表へとびだし、夜空を見上げた。

翌朝5時30分に目覚めたブライアントはバイクを持ちだし、物体が降りたと思われる場所へかけていった。あたりはほの暗く、曇り空だった。しばらくするうちに、彼は草木が枯れているのをみつけた。彼はそこで散在している奇妙な金属片に気がついた。それは幾分輝いているようにみえた。彼はそれらを拾い、カバンにつめた。

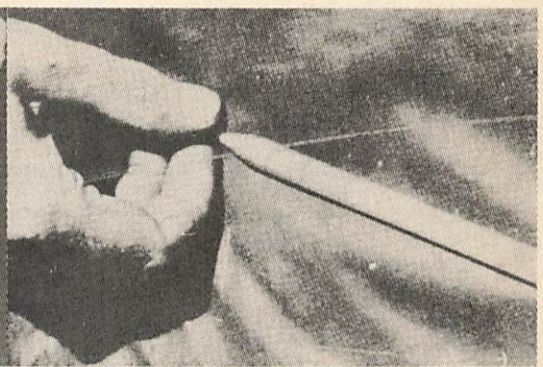
そのとき、ブライアントが目にしたのは、南西方向から近づいてくる青い光体だった。その光体はコースをフラフラと揺れながら直進してきた。そして、彼の家の真上で静止したが、豆粒ほどの大きさにしか見えなかった。それでも、不気味な音がエコーのように響きわたった。澄みきった夜空に、吹きわたる強風がためたく肌をさした。見守るうちに、青い光体は次第に北東へ移動し、降下しつつ視界から消えてしまった。

彼らは約束を忘れていなかった。また戻ってきたにちがいない。ブライアントの胸には、感動がこみあげた。そして、彼は光体を見失った小道の方へかけおいていった。もしかしたら、ま

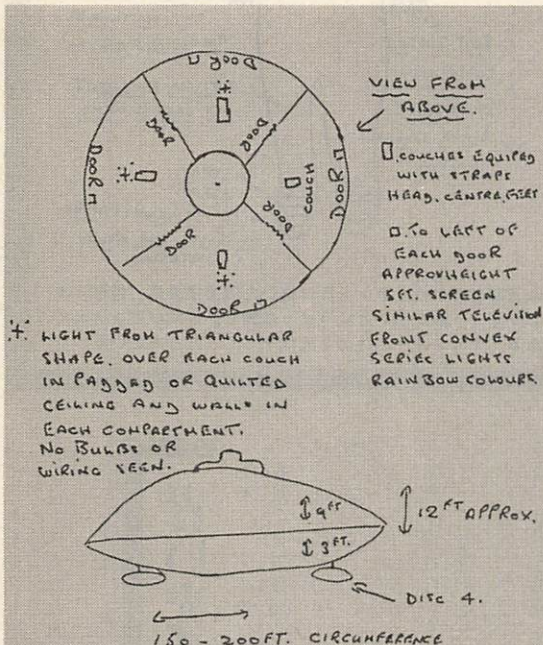
それから数日間、ブライアントがその地域周辺をくまなく探索したところ、銀色の砂と黄色味がかった紙片の入った小さなガラスびんを発見した。紙片には「Adelphos Adelpho」（兄弟から兄弟へ）と古代ギリシア文字が書かれていた。さらに、ボルトやナット類、そして星のような目盛りがついたコンパス、曲ったブレイドがついたタービンのようなものも発見された。



▲ガラスビンの中に入っていた紙片



▲発見されたガラスの容器。この中に銀色の砂と紙片が入っていた。



▲目撃者が描いた円盤の模式図。上から見たところと側面から見たところが描かれている。円盤は周囲が45-60メートル、高さが約3.5メートルだった。この図では円盤は4つのコンパートメントに分かれているが、目撃者は確か3つだったと思うと証言している。

フライアントはたいせつにそれらを保管した。

この目撃後、フライアントは激しい頭痛と幻覚症状に悩まされたが、2週間くらいのうちに、それらは消えてしまった。

ある晩、彼は思いきって、妻に2度めの目撃について話してみた。案の定彼の妻はその話をまるつきり信じなかった。しかし、このときの会話を彼らの子供たちが聞いてしまい、翌日学校で吹聴しまくった。このため、フライアントの目撃談が村中に広まってしまった。しかも運の悪いことに、バックマートレイに住む、たちの悪い女性記

者の耳にも入ったのである。彼女は、これぞとばかりにサウスデボン・ジャーナル紙に、フライアントの記事を勝手気ままにデッチ上げて掲載した。

このニュースを読んだ人々がつきからつきへとフライアントをたずねてきた。なかには警官もまじっていた。

「おまえの庭に、ロシア人のような宇宙人が現われたというのは本当か?」
「全く、めいわくな話だ! この忙しいのに!」

警官はうさん臭い目で、フライアントにつめよった。近所の農民たちも白い目でフライアントを見るようになってた。脅迫まがいの手紙も舞いこむよう

になり、彼の妻は神経をすりへらし、病床についてしまった。ゆううつな日が続き、フライアントは困りきっていた。

ある日のこと、フライアントは仕事の合間、手にした新聞の記事に目をとめた。それはエクセター上空を飛ぶ怪飛行物体を目撃したという学生の談話だった。その日時は、フライアントが2度めにUFOを目撃した日時とピッタリ一致していた。さらに、この日のほかの目撃者もさがしているのに、目撃者は名のりではいいという、天文学者のヘドドリー・ロビンソン氏のコメントも付加されていたのである。

フライアントは、思わずひざをたたいた。

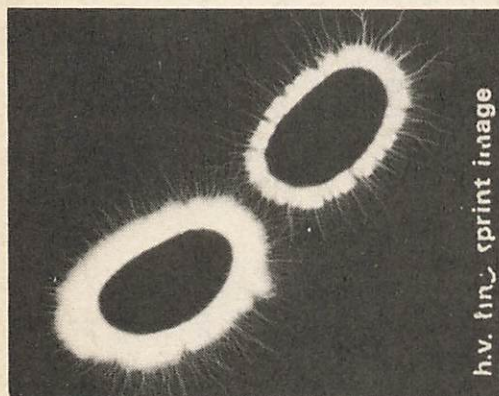
「そうだ! この人なら相談にのってくれるかもしれない」

急に目の前が明るくなり、帰宅するや、すぐにロビンソン氏に手紙を書いたのである。ただし、2度めの目撃に關してのみを書いた。

その後、フライアントのことは、BUFORA(英国UFO調査協会)の知るところとなり、やっこの奇妙な事件に対するまともな調査がはじめられることになった。

一方、フライアントは、BUFORA宛にこれまでの体験を手紙で送りつ

キルリアン写真 & バイオフィードバック



h.v. fun. sprint image

キルリアン写真セットTKP-101

素晴らしいキルリアン写真の世界をその目で確かめて下さい。カメラは必要ありません。

¥28,650(送料共)付属品、説明書付。

キルリアン写真キットTKP-102K

キルリアンセットTKP-101の高圧コントロール部及び付属品のキットです。あなたのセットを組み立てて下さい。

¥12,200(送料共)説明書付。

ESPテスター TES-03

エレクトロニクスを応用したESPテスターです。あなたの予知能力を測定できます。

¥3,500(送料共)説明書付。



バイオフィードバック・モニターBW-300

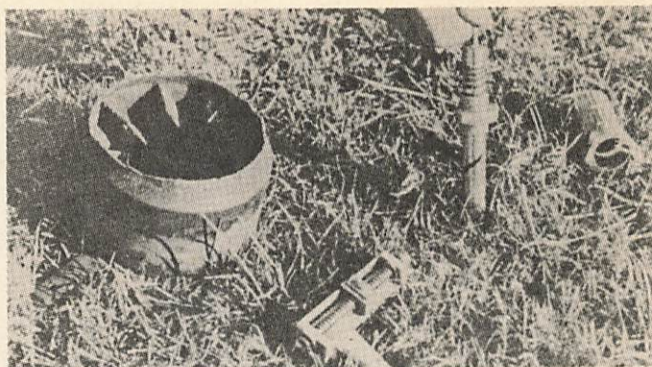
アルファ波を感じし、トレモロ音で知らせます。ストレスを取り除き、集中力を養えます。

¥18,500(送料共)説明書付。(輸入品)

カタログの御請求は下記まで

(株) テクノニクス

〒326 足利市鹿島町1156 ☎0284(6)8073



▲金属片の一部。墜落したマンテル大射機の破片か。

づけた。BUFORAのスタッフ、ノーマン・オリバー氏とアイリーン・バツクル嬢は、この手紙をなんども読むうちに、いいしれぬ興味をおぼえた。2人はブライアントを訪れることにしたのである。金属片は新聞紙に包まれて、たいせつに保管されていた。アイリーンはそれを見つめて深く調べた。すると金属片のうちの1つに「LONG」と文字が刻まれているのを発見した。彼女はすぐにそれらが円盤の破片ではないことを悟った。なぜなら、その文字はれっきとした英語だったからである。高性能のマシンの一部のように思えるその金属片は、よくみがかれ、

汚れはどこにもなかった。

後日、彼女はブライアントに金属片をみつけた場所へ案内させた。そして歩きまわっているうちに、2つの環痕

ヤムスキーはアダムスキーか

一方、ノーマン・オリバーは、ヤムスキーという人物にたいへん興味を示していた。ブライアントの手紙を読んでいるうちに、ヤムスキーはひょっとしてアダムスキーの生まれ変わりではないかという思いがわきあがってきたからである。ノーマンは、ブライアントにヤムス

を発見した。その付近の草は枯れているが、アイリーンの調査では、現場からそれ以上のものは何も発見できなかったのである。

「ヤムスキーは、14、15歳にしかみえなかったというのですが？」

「ええ、その通りです。でも、私にはもう立派な大人に思われました」

「彼の技術は確かだったのですか？」

「私には米語がまじった中部ヨーロッパ

パ人が話している英語のように聞こえました」

「しぐさで気づいた点は？」

「ヤムスキーは、ときどき4本の指を前後に動かしていました。語気を強めたときなど、腕をまわしました」

さらに、ブライアントはつづけた。

「そう、そういえば、こんなこともつぶやいていたみたいだ。アマー、アモー、いやちがう……。カルマ……。そうカルマだ。カルマの力が実際に作用したと言っていました」

ノーマンはさらにたずねた。

「あなたは催眠術をかけられたとか、あるいは心霊的な体験をしたのではありませんか？」

「いや、そんなことはない！ あれは絶対に実際に起こったことだと確信しています」

ブライアントは、円盤から降りてきた3人に対して少しの疑惑も抱かなかつたという。それより、3人といっしょのとき、とてもハッピーな気持ちだったと言っているのである。

彼はノーマンの質問に対して、淡々と自己の体験を語った。

ノーマンは、ヤムスキーの言ったイブシロンの勢力についてきいてみた。

「イブシロンというのは、オリオン座のなかで、5番めに輝きの強い星のこ

とでしょうか？」

「イブシロンの前か後に、ダニ……。もしくはタルニ……。言うことばがついていたような気がします」

ブライアントは、ウーンと考えながら答えた。

これはエリダヌス座のイブシロン・エリダニをさしているのだろうか？とノーマンは考えた。

つぎに、ノーマンは心理学者ではないが、ことばによる連想テストをブライアントに試みた。

天文学者——星。マンテル——光。死亡記事——死。フライ——風船。狩り——犬。

パロマー・バナマ。ガンマー・ベークン。ジョージ・フレッド。トルーマン——ピール。ヤムスキー——円盤。土星——星。

マザー・クラフト——編物。十二宮——誕生日。

この連想テストで、ブライアントが天文やUFOに関する知識が乏しいことがノーマンにもわかった。

ノーマン・オリバーとアイリーン・バックルは話しの合い間に、アダムスキーのイメーヂを織りこんで、調査をすすめていった。

デスあるいはレスというのは、デスモンド・レスリーにちがいない。彼はアダムスキーの親友であった。

マンテルの証拠というのも2度めの

目撃に少なからず関係しているはずである。ブライアントがみつけた金属片はマンテル大尉の乗った機体の残骸の一部ではあるまいか？

1965年4月23日、アダムスキーは死去している。

「アダムスキーが生まれ変わるとしたら、幼児としてではなく、転生のときから成人者の肉体を得るであろう」

——アリス・K・ウェルズ——

ブライアントとヤムスキーのコンタクトは、アダムスキーがワシントンで死去してから約12時間後だった。ブライアントはこのことを知るはずがなかったし、自分の言っていることにウソはないと強く主張した。

ブライアントの母は、スペインのジブシーだった。ヤムスキーは、彼がジブシーの血をひいているからコンタクトしたと言ったのだ。アダムスキーはもとをたせばジブシーである。

ノーマンは、さらに重要な手がかりが第1回めのコンタクトのなかに秘められているのに気づいた。それは、ブライアントが宇宙船の内部で見た、バラの刺繍がついた紫色のカウンのことである。明らかに、ブライアントに見せるためにおいてあったにちがいないと思われる。

1962年3月27日、アダムスキー

は宇宙船に同乗し、土星へ到着後、ある会議に出席したと主張している。このとき、全員にカウンが配られたのである。アダムスキーに与えられたカウンのそでには一輪のバラの花の刺繍がしてあったという。このことは、わずかの人にしか知られておらず、まして1962年にブライアントがこの旅行記を知っているはずがなかった。

ノーマンとアイリーンの追跡調査はつづいた。後日、アイリーンは興味深い実験結果を伝えている。

それは、透視能力者が物品にふれ、その由来などを当てる、つまりサイコメトリーの実験を行なったということである。ある超能力者に例の金属片のいくつかをふれさせたところ、興味深い結果が得られたという。

主な回答はつぎの通りであった。

「何が破壊された……。船または飛行機が葬り去られる……。ある派の人々が興味を示している……。英国で発見されるだろう……。物体から落ちる……。悲劇……。恐怖……。ブーンというハミング音がする……。まるで空飛ぶ円盤のなかにいるようだ……」

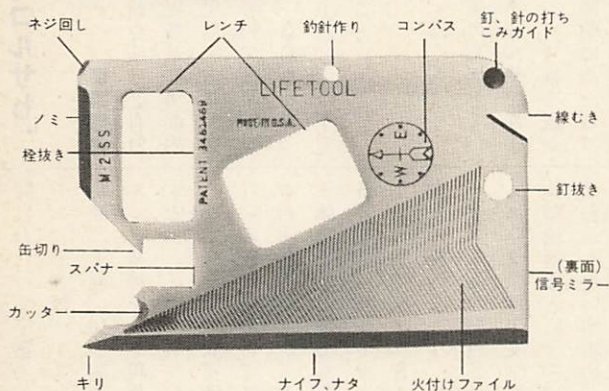
カルマの法則は、実際に作用したのだろうか？ はたして、アダムスキーは帰ってきたのだろうか？

特報! 値下げ断行

Ray-Ban® 現地(U.S.A)価格に大接近! 《好評通信販売中》
5割引キャンペーンが、標準小売価格のオール5割引
標準小売価格を変えた! 君ならどう使いこなす!
ヘビィデューティなこの2品

U.S.Aからスゴイ奴がやって来た!

これが今話題のサバイバルツール(ライフツール) Made in U.S.A



●レイバン + サバイバル = セットで通信販売中
標準小売価格のオール5割引 <ライフツール>
特別セット価格

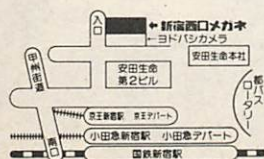
一例

シューター(金・スモーク) + サバイバル(ライフツール)
市場調査価格 8,100円
5割引価格 セット価格
標準小売価格 15,000円 → 7,500円 特別サービス価格 4,500円 → 3,500円
合計セット価格 11,000円

※その他、どんな組み合わせも可能です。
※もちろん、どちらか単品にてでも通販OK。
※ただし、単品販売の場合、サバイバルは特価4,500円
レイバン年間販売実績20,000本を誇る

新宿西口メガネ

東京・新宿西口・ヨドバシカメラ隣り
営業時間 AM10:00~PM8:00 年中無休
でんわ 東京03-348-3360(代)



●お申し込み方法
お申し込みは、レイバン + サバイバル又は、レイバンのみ、サバイバルのみを明記し、レイバンのモデル名、レンズの色と住所をご記入の上、現金書留あるいは代金引換にてお送りください。なお送料はサービスさせていただきます。
●お申し込み先
〒160 東京都新宿区西新宿11-6 協立ビル
新宿西口メガネUFO係
プレゼント化粧パッケージも用意致しました。ご注文の際に、お申し出ください。
※おことわり 品切れの際は、入荷予定日をお知らせ致します。又、ご返金も致します。

諸君おなじみのレイバンと、今評判のサバイバル用具《ライフツール》がドッキング。どう使いこなすかは君の自由。サア、君なら、どうする。

カナダ森林警備隊、パイロット必携!
たとえば、冒険派の君に
たとえば、地震や災害時の緊急備品に
40通り以上の活用ができるサバイバル用具の決定版
●サイズ:ヨコ82×タテ56×巾1.6% ●ケース・解説書付
●重量:100g ※アメリカアリソンフォージ社製

SHOOTER<シューター>(大)



	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン	ミラー
金	¥15,000→7,500	¥18,000→9,000	¥19,000→9,500		
ブラック	¥16,000→8,000		¥20,000→10,000	¥19,000→9,500	

アウトドアズ・マンⅡ(大)

アウトドアズ・マン (中)

	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン	ミラー
金	¥13,000→6,500	¥16,000→8,000	¥17,000→8,500	¥16,000→8,000	
ブラック	¥14,000→7,000		¥18,000→9,000	¥17,000→8,500	

CARAVAN<キャラバン>(中)

	スモーク	グリーン
金	¥12,000→6,000	
ブラック	¥13,000→6,500	

METALⅡ(大)

METAL (中)

	スモーク	グリーン	濃スモーク	フォトサン
金	¥12,000→6,000			¥16,000→8,000
ブラック	¥13,000→6,500			

DECOT<デコット>(大)

	スモーク	グリーン	イエロー
金	¥16,000→8,000		¥19,000→9,500

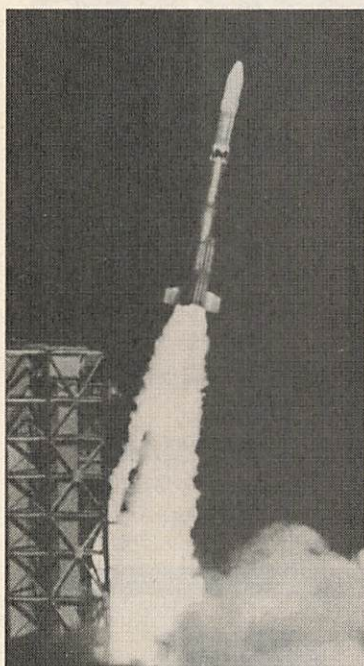


サイエンス・ニュースフロント

■ X線観測「コルサb」軌道に

東大宇宙航空研究所は2月21日午後2時、鹿児島県肝属郡内之浦町にある鹿児島宇宙空間観測所から、第4号科学衛星「コルサb」をミュー3C型ロケット4号機で打ち上げ、ほぼ予定の軌道に乗せることに成功した。

「コルサb」は「はくちよう」と命名され、宇宙の墓場ともいわれるブラックホールや中性子星などがだすエックス線を観測して、その謎の解明にあたる。「はくちよう」は直径75・5センチ、高さ65・5センチの正八角柱で重さは96キロ。3月上旬



から本格的な観測を開始、1年間にわたって宇宙のエックス線やエックス線バースト（星が数時間に1回、10秒間ぐらい強いエックス線を出す現象）を観測する。

バーストは球状星団や18等くらいの弱い星からでていることが判明しているが、その現象の正体はいまだ謎である。1975年以降、米マサチューセッツ工科大学の衛星「SAS3号」などの観測により、30個以上のバースト源が発見されている。

エックス線天文学観測は、天体望遠鏡などによる光学観測ではわからない宇宙の状態を、エックス線を観測することによって知ろうという天文学の新しい領域であり、宇宙進化の解明に

むけて今後の研究が大いに期待されている。

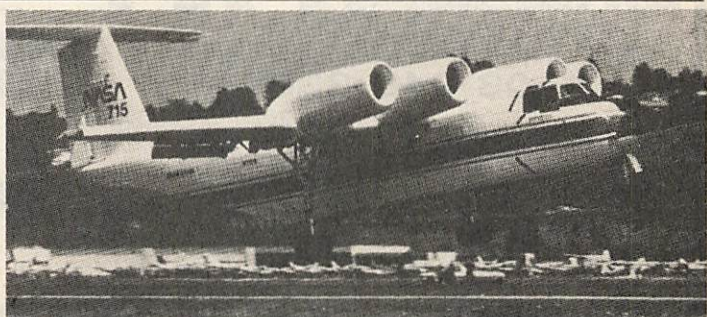
■ 静かなジェット機 QSR A

飛行機といえばとなく騒音が問題になるが、ボーイング社では、米航空宇宙局（NASA）のために、静かなジェット機のため、静かなジェット機の決定版といえるものの試作機を完成させた。

この飛行機は、音の静かな短距離で離陸する研究用航空機という長い名前の頭文字をとってQSR Aと呼ばれる。

QSR Aは、短距離離陸機の性能にくわえて、エンジンとエンジン室に特別の防音処置をほどこしてあるので、離陸時の騒音はほんのわずかな範囲に限られるのである。

写真下は、処女飛行で飛び立つQSR A機。



世界のどこにでも24時間以内に送ることができるという新しいシステムを、3月から実験的に運用すると発表した。

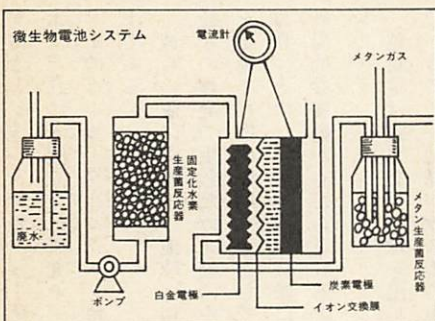
「インテルポスト」と呼ばれるこの装置は米郵政公社の関連機関インタナショナル・エレクトロニクス・メッセージ・システムが中心になって開発した。

このシステムは10秒間で手紙を電子装置で読みとりコピーし

■ 通信衛星で手紙郵送

アルゼンチン郵便公社は2月5日、通信衛星を使って手紙を

Science Newsfront



廃水利用で 電気ができる

■ ■ ■ ■ ■
 廃水処理、発電、燃料（メタンガス）発生が同時にできる微生物電池が、東工大資源化学研究所、鈴木周一教授の研究室で成功した。

通信衛星を通じて電送する。発信から受信までの所要時間はわずか1分たらずである。手紙のほか、写真なども送信することができるといふ。

当方はアルゼンチン、米国、英国、フランス、オランダ、ベルギー、イランの各国の間で運用されるという。

この電池で得られる電気量はごくわずかなので、すぐに実用化は無理だが、将来は廃水利用のエネルギーとして大いに期待できるといふ。

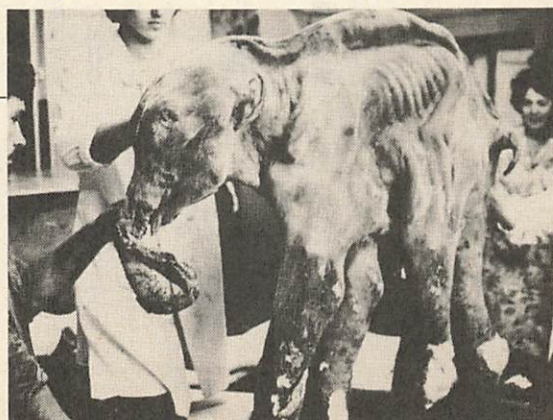
この微生物電池は、廃水中の有機物を食べて水を発生する水素生産菌と、その水素と空気中の酸素から電気をつくる燃料電池、それに水素生産菌が食べ残した有機物を処理してメタンガスを発生する、メタン生産菌をうまく組み合わせたものである。

1961年にNASA（米航空宇宙局）が微生物電池の実験成果を発表したが、実用化までにはいたらなかった。鈴木教授らはこのNASAの実験結果をもとに研究、開発にとりこんでいた。その結果、最近になって水素生産菌を寒天で包んで固定化すると、水素発生能力が長時間保たれることを見出し、実用化へ一歩前進した。

マンモスの赤ちゃん シベリアで発掘

■ ■ ■ ■ ■
 一昨年の7月シベリア北東、

ヤクート自治共和国コリマ川流域の永久凍土層から、生後約6カ月のマンモスの赤ちゃんがほぼ完全な形で発見されたことはすでに既報である。その後さまざまな調査と保存措置を施され1月末からレニングラードのソ連科学アカデミー動物学博物館で一般公開され話題をよんでいる。



恐竜絶滅の原因は 超新星？

■ ■ ■ ■ ■
 内臓、組織、脳、神経細胞などがそっくりそのまま残っており、専門家はじつに貴重な資料。現在それらの研究は進行中である。

マンモスの繁栄期は4万年前から始まり、第4氷河期のもつとも寒い時期（1万7000年）前に死滅したとされている。

ソ連の科学者の判断では、この赤ちゃんは4万年前の遺体であり、当時シベリアはもっと温暖で草の多いステップ地帯だったといわれ、この赤ちゃんの死亡原因は寒さによるものではなく何か他の理由によるものだと思われる。

このほど、大気の研究をしている3人の科学者が、その謎を解き明かすと思われる仮説を発表して話題となっている。その科学者とは、米国立大洋大気局大気学研究所のジョージ・レイ

サイエンス・ニュースフロント

ド博士とジョン・マカフィー博士、それに米国立大気研究センターのポール・クルツツェン博士である。

彼らの説によると、地球は超新星の爆発で生じたガス雲の中を1億年程度の周期で通過しており、そのたびに地球の気候に破局的な変動がもたらされるといふ。

超新星は強力な宇宙線を出しているので、地球がガス雲の中を通過すると、地球大気は通常の100倍から10000倍の宇宙線にさらされる。このため、大気中のオゾンの89パーセントが破壊される。オゾンが防いでくれるおかげで地表に達する紫外線は通常の10倍程度である。

しかし、可視光線のうち青から緑の範囲のスペクトルは大部分が吸収される。こうして、地表の平均気温は約3度低下する。この気温低下によって世界中が干ばつになり、まず植物が減り、次に多くの動物が滅亡したのだらうというのである。

MHDで50%も 熱効率アップ

現在、各国でMHD発電の開発が進められている。これは電磁流体力学方式による発電で、高温の電離したガスを磁界に流すことによって、電流を生じさせるというもの。火力発電機と組み合わせれば、熱効率を現在

より50パーセント上げられるとみられている。

米空軍のアーノルド技術開発センターでは、このMHD発電用に巨大な磁石を作っている。大きさは、長さ9・6メートル、高さ4・5メートル、幅3・3メートル。中空の銅製コイルの重さだけで100トン、総重量は750トンにも達する。

磁石は水冷で連続動作させた場合に3・5テスラ、窒素冷却で間欠動作させた場合6テスラの磁束密度がある。これは地球磁場の10万倍にあたる。

アーノルド技術開発センターでは、エネルギー省の後援を受けて、この磁石を用いたMHD発電によって石炭から電気をとりだす研究を進めている。

最古のエジプト王墓 発見

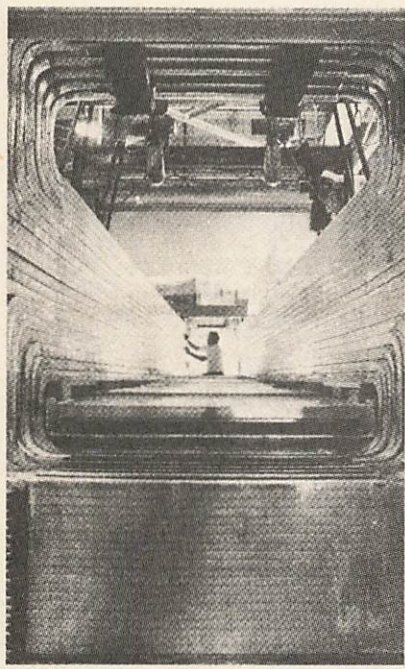
米シカゴ大学東洋学研究所員ブルース・ウィリアムズ氏は2月28日、これまでの古代エジプト初代ファラオ（国王）よりさらに数百年さかのぼるとみられる国王が存在していた考古学的



証拠を発見したと語った。ウィリアムズ氏によると、この証拠は現在のエジプトとスーダン国境に位置するヌビア低地として知られるナイル川沿いのクストゥルの墓地で昨年発見された。

この墓地は紀元前3400年から3050年ごろのものとみられ、同氏の話では、この時期の富者の墓には美しい絵模様の大きなつばが2〜5個発見されるが、この墓地の調査を進めると周辺の墓から1000個を超えるつばが発見され、それは単に富者の墓というより王の墓とみざるをえないという。

さらにこの説を裏付ける証拠として、墓からは王位を示す紋章や宮殿、王座などの線画も発見されている。



Science Newsfront

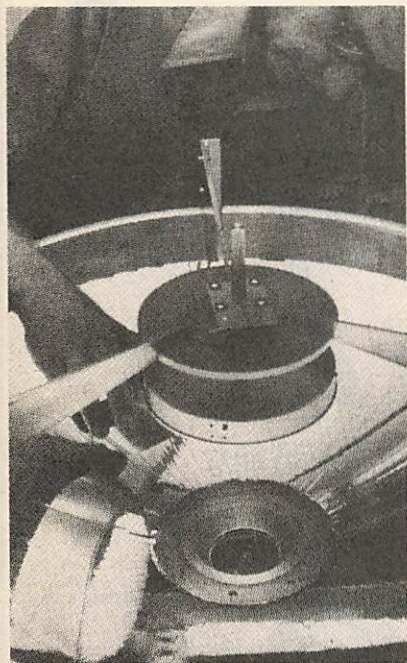


太陽エネルギーで 国際空港を照明

アリゾナ州スコッツデールにあるモトローラ社の電子機器事業部では、フェニックスのスカイハーバー国際空港のため、太陽エネルギー集積器の設計開発に取り組んでいる。

この集積器を使うと、太陽の光は磨き上げられたアルミニウム製のパラボラに反射して、パラボラの上にある小さな反射板に行く。その反射板の底部で反射された光が最新型の光電池に集められ、電気に変換されるのである。

集積器は75列設置され、太陽



の光を自動的に追跡する。この計画はエネルギー省のプロジェクトの一環として進められているもので、まだ最終認可はおりていないが、完成すれば新空港のターミナル・ビルの電力をまかなえる世界最大の光電池太陽発電所になるだろう。

ネズミ、リスの被害から電線を保護

アメリカの電話会社では、ネズミやリスなどの動物に電話線やケーブルをかじられ、毎年数十万ドルにもぼる被害をこうむっている。

ベル電話研究所の技術者と内務省所属の2人の生物学者は、



この被害に対する防止策を講じるため、こうした動物が物をかむ習性を測定する装置を開発した。

この装置で実験したところ、ノルウェーネズミは1週間に1万8000回もかみつぎ、そのかみつぐ力は1平方インチあたり7000ポンドということがわかった。また、大形の灰色リスなら、1平方インチあたり2万2000ポンドに達する。

この研究成果をもとに、ベル電話研究所では、架空線をネズミやリスやキツツキの害から守るため、新しい保護手段を考案している。それは、力を入れてかめないよう三角形にしたプラスチック製の保護カバーで、太陽に熱せられていたものを防ぐ

ため白い色にしてある。

また、別の手段として、ミシシッピー西部では、動物がかじっても歯がたたないステンレス被覆の引き込み線を採用しているという。

新説！胸毛のある人は酒に強い

2月26日ウィーンで開催された「ワインと健康に関する会議」で報告されたところによると、胸毛のある男性は、毛がなくてぺりした胸の人より酒が強いという。

発表したのはウィーンの内科医ヘリバート・ターラー博士である。同博士によると胸毛のある男性は、ない人より酒に酔いにくいという。

また、医学的にはまだ解明されてはいないが、健康を害さないようにするための許容飲酒量は女性の場合は、男性の3分の1程度だという。ちなみに、肝臓障害を起こさない限度は、1日あたり男性がワイン1本分（0・7リットル）、女性は0・25リットルだという。

100m先の新聞の見出しが読める

驚異の高性能！
ズームでせまる大迫力！
ズーム望遠鏡TZ-100

33→
100倍

望遠鏡で見たと同時にカメラ・望遠レンズ撮影ができるオールマイティーパネル板付。望遠鏡・パネル板共、総てのカメラ三脚に取付可能。

●目で見たまの正立像で遠くはなれた人の細かな表情が手にとるようわかる！●月のクレーターが顔前に迫り、土星の環、木星の縞が見える！●明るくクッキリしかも鮮明に見える大口径60%アクリルレンズ！●望遠鏡観測と同時にカメラ・望遠撮影もできるオールマイティーパネル板付の新機構！●倍率アップ、ダウンがワンタッチのズーム機構。どんなカメラ三脚にも取付けられるマウントと初めての人でもスグ楽しめる小型精密設計！●倍率/33-100倍連続可変ズーム式、総金属製、総重量(脚含)/1.8kg、全長/630mm携帯用金属脚付(脚高38-53cm)、使用説明書付。

特別価格
18,500円
(送料 500円)

超望遠ズーム1,000m

ズームで迫る400%(8倍)~1,000%(20倍)
見る←撮る=万能機



特別価格
19,800円
(送料サービス)

望遠鏡で見た大迫力をそのまま写真に撮れる高性能機！肉眼では見えないものがバッチリ撮れる！非常に高価な超望遠カメラレンズに比べ、望遠鏡として使えるだけでなく、付属のカメラ用アダプターリングで一眼レフカメラに簡単に取付けでき、400~1,000%の超望遠レンズになります。本体はアルミ合金製で手持撮影もできる小型軽量機。倍率/8-20倍、重量/490g、長さ/19cm、対物レンズ/45%アクリルコート、1,000m先の視界/95-58m、実視界5.4-3.37度。【付属品】ハードケース、ゴム見口、レンズクロス、カメラアタッチメント、レンズキャップ、説明書。※お申込みの際は手持の一眼レフカメラのフィルターサイズ(46%, 49%, 52%, 55%, 58%)を明記して下さい。

超高倍率ズーム双眼鏡

ジャーマンタイプ・10~30倍=3倍比ズーム



特別価格 **19,800円**(送料サービス)

10・11・12……28・29・30倍と今までにない広範囲の倍率変化が楽しめます。しかも30倍と超高倍率/1000m先の目標が33mと真近に引き寄せられ眼前に迫ります！視界の広い10倍から30倍の超高倍率まで、ズームレバーでワンタッチで倍率が連続的に変えられます。超高倍率ズーム双眼鏡はスポーツ観戦、ドライブ、登山、野鳥観察、天体観測、消防、林業、漁業等々、幅広く使える万能双眼鏡です。
■対物レンズ/大口径50%アクリル採用で映像是鮮明。ボディ/軽量アルミダイカスト製。ジャーマンタイプ。見口/メカネをかけたまま見られるゴム見口。寸法/巾190×高さ170×厚さ60mm。重量/1kg。
■付属品 携帯用ハードケース、レンズキャップ、レンズクロス、ケースバンド、説明書。

初心者にも見やすく使いやすい 天体/地上両用望遠鏡！

天体望遠鏡 TJ-691

理科振興法準拠品

60%ヨーク式経緯台
上下微動装置付



対物レンズ/アクリルコート
D=60mm、F=900mm、分解能1.93秒、極限等級10.7等星、接眼レンズ/SR-4.5%、SR-9%、H-20%、倍率(1)内2×バロー使用時200×(400×)、100×(200×)、45×(90×)、接眼部/ラックピニオン式、付属品/5×24%ファインダー(十字線入)、2×バローレンズ天頂プリズム、ストレート式サンスクリーン、スライド式二段三脚、全長/890mm、鏡筒/軽合金製。

特別価格
18,800円
(送料1,000円)

星の動きを確実にとらえる 経緯台式の最高級機！

天体望遠鏡 TS-692

理科振興法準拠品

60%ヨーク式経緯台 上下・水平微動装置付



対物レンズ/アクリルコート
D=60mm、F=900mm、分解能1.93秒、極限等級10.7等星、接眼レンズ/SR-4.5%、SR-9%、H-20%、倍率(1)内2×バロー使用時200×(400×)、100×(200×)、45×(90×)、接眼部/ラックピニオン式、付属品/5×24%ファインダー(十字線入)、2×バローレンズ天頂プリズム、ストレート式サンスクリーン、フレキシブルハンドル、スライド式二段三脚、全長/890mm、鏡筒/軽合金製。

特別価格
23,000円
(送料1,000円)

天体の連続観測が可能な 高級赤道儀式！

天体望遠鏡 TK-693

理科振興法準拠品

60%赤道儀兼経緯台 赤経赤緯微動及目盛環付



対物レンズ/アクリルコート
D=60mm、F=900mm、分解能1.93秒、極限等級10.7等星、接眼レンズ/SR-4.5%、SR-9%、H-20%、倍率(1)内2×バロー使用時200×(400×)、100×(200×)、45×(90×)、接眼部/ラックピニオン式、付属品/5×24%ファインダー(十字線入)、2×バローレンズ天頂プリズム、ストレート式サンスクリーン、フレキシブル(2本)、赤道儀一式、モータードライブ(138枚)取付可能スライド式二段三脚、全長/890mm、鏡筒/軽合金製。

特別価格
38,000円
(送料1,000円)

ハイコンパクトフラッシュ速写カメラ



(撮影時)



(収納時)

●収納は撮影時より2cmコンパクトになり、しかもスライドカバーがレンズ、フラッシュを保護、他にない高級機。●目標に向けシャッターを押すだけでバッチリ！●標準望遠の切換えはワンタッチ。しかも強力ストロボ付。●高感度フィルムを使えるカードリッジ式。巻上げは速写もでき二重巻ミスがないアプッシュアップ方式。●サイズ14.5cm×5.7cm×2.8cmケースストラップ、フィルム、電池付。

デラックスタイプ 特別価格 **16,800円**
(送料500円)



スタンダードタイプ 特別価格 **11,500円** (送料500円)

サイズ16.5cm×5.7cm×2.8cm ケース、ストラップ、フィルム、電池付。

カタログの注文方法

広告掲載商品の他海外・国内一流メーカー品を多数掲載/詳しいカタログをご希望の方は切手100円の手封の上、右あて先までお送り下さい。急送します。

〒100-91 東京・中央郵便局
私書箱1973号

ご注文は電話又はハガキで

■お急ぎの方は品代金と送料を合せた金額を現金書留でお送り下さい
■電話は0473(43)5055(営業時間午前9時~午後5時、日・祭日は休業)
■ハガキは(右図参照)ご注文品名をハッキリ書いて下さい。10日以内に代金引換郵便で送ります。商品配達の際品代金と送料の合計金額を配達人に渡し商品をお受けとり下さい。
(不良着品・ご不満の場合は5日以内交換・返品可)

(株)モアーライフ
〒113 東京都文京区本駒込2-25-16

商品部電話
0473(43)5055

※印の無いものは無効です

(ハガキのウラ)

18 電年氏住品
才 話 名 所 名
未 番 号
は 保 護 者 署 名 印

(あて先)

〒100-91
東京・中央郵便局
私書箱一九七三
三 係
03 係

本誌を読んで答えてください!

豪華賞品が
当たる!!

UFOと宇宙クイズ

今月号の賞品

金賞

カシオ・バイオレーター
(ポラックス ¥6,000) 2名



●あなたのバイオリズムがワンタッチで出ます。健康管理、セールス、受験勉強事故防止、旅行、スポーツに応用しましょう。相性判断もできます。

銀賞

UFO革命

横尾忠則著
(晶文社 ¥1,500) 10名

●コンタクティーたちの証言、目撃スケッチ、撮影写真を集めた、UFOドキュメント。さらに各界の異才たちとの対談を収めてある。本書は、宇宙時代を生きぬくための意識革命をわれわれに迫る。



銅賞

UFOステッカー

(当社商事部 ¥500) 30名

●メタリックな玉虫模様でラミネート製。3種類のうちのどれか一つ。



3月5日、アメリカの外惑星探測機ボイジャー1号が太陽系最大の惑星木星に最接近しました。

木星は「三太陽系」と呼ばれるように14個もの衛星をしがえしています。このうち2個は水星よりも大きく、残りの2個も地球の月と同じくらいの大きさをもつ大衛星です。ところで、今回のボイジャー1号の観測により、4大衛星のうちのひとつに活火山があり、アンモニアやメタンを含んだ大気と硫黄が存在することが分かりました。このことは生命存在の可能性にもつながるといわれています。さて、この衛星は次のうちどれでしょうか。

①ガニメデ
②カリスト
③イオ
④エウロパ

応募のきまり

- 必ず官製ハガキを使用し、左下の応募券を貼ってください。
- 締切り 昭和54年5月20日。当日の消印有効。
- 発表 『UFOと宇宙』7月号(6月20日発売)誌上。正解者多数の場合は抽選で決定します。

ハガキの書き方

- あて先 〒110 東京都台東区上野5-11-6 ヤマトビル ユニバース出版社
- 『UFOと宇宙』5月号 クイズ係
- 裏面には、あなたの住所・氏名・年齢・職業(学生は学校名/学年)、そして次の順序でお書きください。
- ①解答
- ②本誌を買った理由・動機
- ③本号で良かった記事の題名を2つ
- ④本誌への感想、またはこれから本誌に載せてほしいと思われる企画
- ⑤今後、賞品として希望される商品名

3月号クイズ当選者発表!

『UFOと宇宙』3月号のUFOに関する米政府の機密文書を国連で配布したUFO研究家は③のコールマン・ケビクツキーが正解でした。応募総数1238通、正解1197通、抽選により、左記の方々が当選されました。

★金賞

「オーラメーカー」1名

二関正俊(宇和島市和霊東町)

★銀賞

「前世を記憶する20人の子供」5名

松本純一郎(愛媛県東宇和郡宇和町)

橋将紀代(大阪市鶴見区茨田横堤)

江沢康幸(江東区南砂)

仙波正司(愛媛県周桑郡丹原町)

田沢恵子(綾瀬市上土棚)

★銅賞

「UFOステッカー」30名

賞品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

The Modular Pyramid System

モジュラー・ピラミッド・システム

—その瞑想効果の謎を追う—

科学の針がとらえた瞑想の世界

マジェーションや直感的なひらめきの増大、予知能力の開発、そして限りないやすらぎ…。私たちの精神世界に数々の効果をもたらす瞑想状態は、一体どういうものなのでしょう？1929年、ドイツ人のハンス・ベルガーによる脳波の発見は、ひとつの客観的な答えを示しました。次の表は、周波数別に4つに分類された脳波と、人間の精神活動との関連を明らかにしたものです。この研究に基づき、最近では瞑想者が入る高度な意識状態が、アルファ波やセータ波を発生させていることが確認されています。

脳波と精神状態の関連

●ベータ波 (30～14ヘルツ)

私たちが普通の日常生活を行っている状態であられる脳波。客観的意識。

●アルファ波 (14～7ヘルツ)

目を閉じ、きわめて精神がリラックスしている時にあらわれる脳波。

●セータ波 (7～4ヘルツ)

深い瞑想状態や出る脳波。麻酔状態下や肉体感覚を失った状態でもあらわれる。

●デルタ波 (4～0.5ヘルツ)

無意識状態や昏睡状態の時にあらわれる脳波。胎児もこの周波数。意識的活動は不可能。

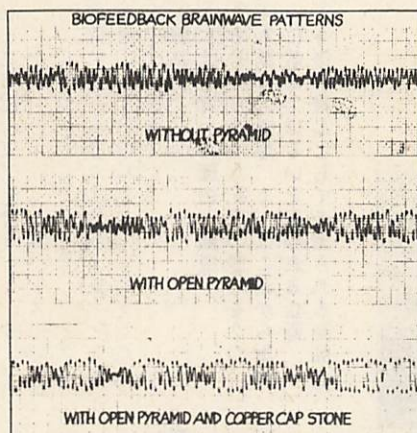
ピラミッド・エネルギーの脳波実験

のグラフは、フレームで形どっただけのピラミッドの内と外で比較実験した脳波です。昔から数の謎と神秘が知られている、ピラミッド・エネルギー。その作用は私たちの脳波にまで及び、アルファ波とセータ波の領域を刺激して、その強さを2倍以上にしていることが確認できます。

つまり、ピラミッドの効果を利用すれば、誰でも簡単に、そしてスムーズに……瞑想世界を経験できるのです。

●写真は6フィート・ピラミッド(アルミパイプ製)

●当社では合計68種のピラミッド製品(すべてアメリカ製)を取り扱っております。ハガキで下記へお申し込み下さい。詳しい説明パンフレット(無料)をお届けします。



(上) ピラミッドなし
(中) ピラミッドの中で
(下) 頂上に銅製ピラミッド・カバーをとりつけたピラミッドの中で

エネルギー効果抜群の 〈モジュラー・ピラミッド・システム〉

このユニークなピラミッド・テントを開発したのは、アメリカのピラミッド・プロダクツ社。ピラミッド・エネルギーの研究に関しては、世界で最も実績のある会社として知られています。組み立て時間は、わずか2分。あらかじめエネルギー加工を施してあるアルミパイプとチェーンが、ピラミッドのプロポーションを正確に再現。パイプとパイプの間に目に見えないスクリーンを形成して、強力なエネルギー効果を発揮します。

横尾忠則氏をはじめ、ミッキー・カーチス氏、中岡俊哉氏も利用しているこの〈モジュラー・ピラミッド・システム〉で、あなたも瞑想の世界へ旅立ってみませんか。

もちろん、このピラミッド・エネルギーはいろいろなことに応用でき、可能性は無限です。

●アルミ製ピラミッド・テントは3フィートから21フィートまで各種、銅製ピラミッド・テントは6フィートのみございます。

6フィート・ピラミッド(ベーシック3フィート・ピラミッド+エクステンションキッド1セット) ¥21,500(送料¥1,100)

ご注文は現金書留か郵便振替(東京4-21690)で商品名を明記して当社宛お申し込み下さい。

●この製品は、現在特許申請中。日本で製造・販売できるのはマンカインド株式会社だけです。

マンカインド

株式会社

〒150 東京都渋谷区渋谷2-2-6 青山ホワイト・アドビ5F ☎東京03(498)2921

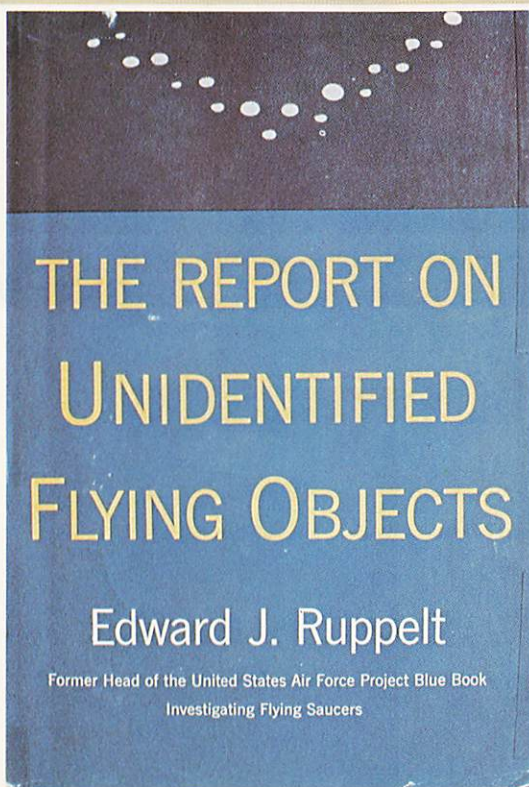
A Pictorial Guide to the UFO Literature

カラーで見る 海外UFOブックス

北山弘のプライベート・コレクション大公開

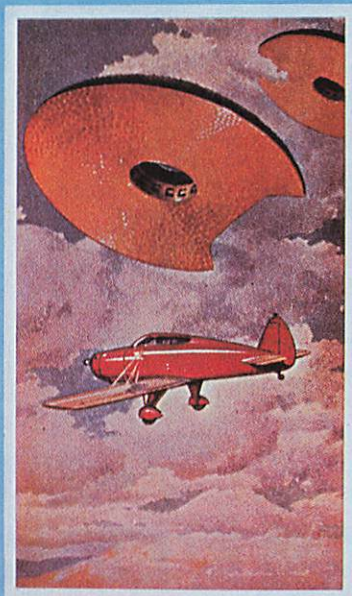
写真・解説／北山 弘 (UFO 研究家)

膨大な数にのぼる海外のUFO図書のなかから、名著の評判が高いにもかかわらず日本ではなかなか目にする機会のない本を集めてみました。初版本ならではの風格をもった美しい表紙カバーをお楽しみください。



The COMING of the SAUCERS

\$2.50



By Kenneth Arnold & Ray Palmer

"The Coming of the Saucers" Kenneth Arnold & Ray Palmer (1952, Amherst)

▲「空飛ぶ円盤」という言葉の生みの親アーノルドと雑誌編集者バーマーとの共著。レイニア山上空における劇的な目撃の詳細もさることながら、その後、ワシントン州タコマ市沖のモーリー島で起きた目撃事件の調査と、そのミステリーじみた結末がとくに興味深い。

"The Report on Unidentified Flying Objects" Edward J. Ruppelt (1956, Doubleday)

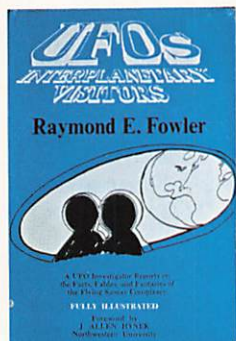
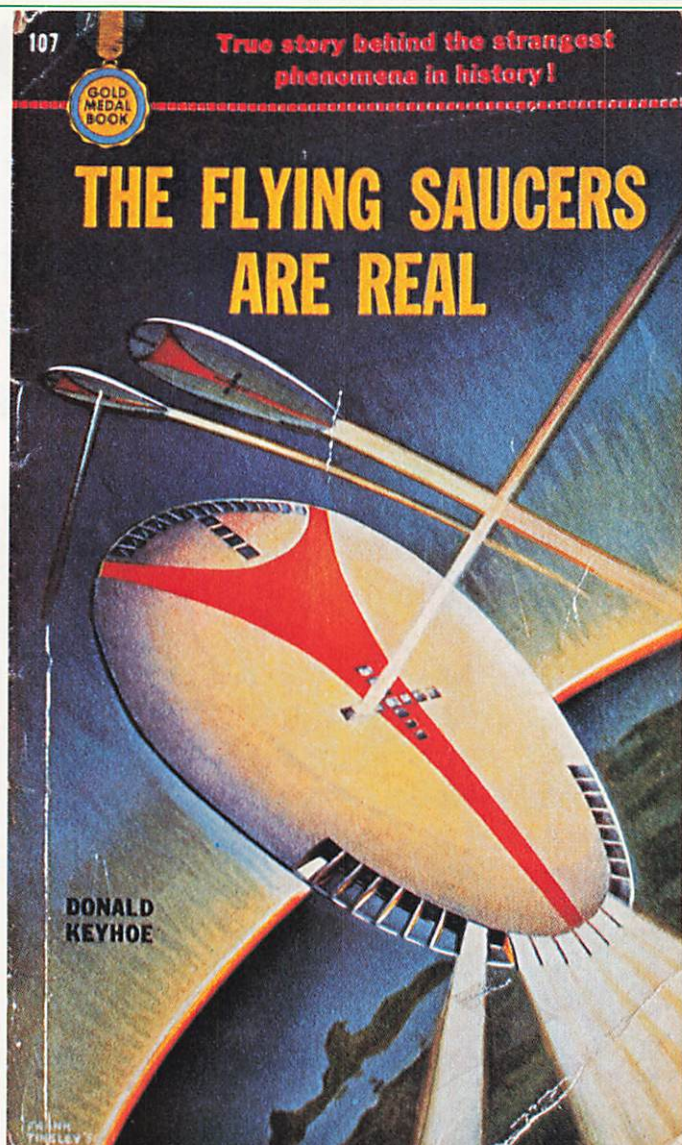
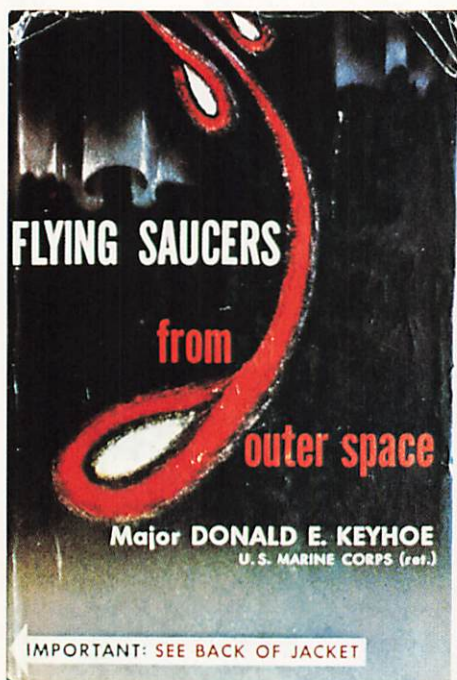
▲米空軍のUFO調査機関プロジェクト・ブルーブックの責任者が在任中における調査記録をまとめたもの。何百という資料を駆使して、UFOの存在を力説している。最後は、「Only time will tell.」（いずれ時が解決してくれるだろう）という名セリフで結んでいる。

"The Flying Saucers are Real" Donald Keyhoe (1950, Fawcett)

▶科学的UFO研究家として有名なドナルド・キーホーの第一著。空軍の公式見解などを含む長期の調査の結果、地球は空飛ぶ円盤によって綿密に調査されているという根拠を見いだしたと主張。空飛ぶ円盤=外宇宙よりの宇宙船説を唱え、全米に一大センセーションを巻き起こした。

"Flying Saucers from Outer Space" Donald Keyhoe (1953, Holt)

▼引用された資料の大部分が、米空軍のパイロットやレーダー員などが遭遇したUFOケースによって占められている。さらに、巻末には、資料が空軍から提供されたことを証明する署名入りの公文書の写真が載っている。



"UFOs Interplanetary Visitors"
Raymond E. Fowler
(1974, Exposition Banner)

▲ハイネック博士からも高く評価されているUFO研究家の著書。空軍、NICAP、APROなどの資料をもとに、全米におけるUFO現象を分類、考察している。とくに320例もの目撃者のスケッチは、類似のパターンが見られ、UFO現象の存在を強く裏づけるものの一つとなっている。

●ジャーナリストのベストセラー

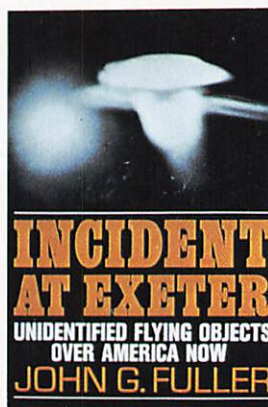
"The Interrupted Journey" John G. Fuller (1966, Dial)

THE INTERRUPTED JOURNEY:
Two Lost Hours "Aboard a Flying Saucer"
"The strangest story of our time—the abduction of an American couple aboard a UFO—as revealed by them under therapeutic hypnosis."

by John G. Fuller
Author of INCIDENT AT EXETER

With an Introduction
by Benjamin Simon, M.D.

"Incident at Exeter" John G. Fuller (1966, Putnam)



▲いわゆる宇宙人によるアブダクション・ケース（誘拐事件）のはしりとなったヒル夫妻の体験をとりあげたドキュメント。とくに、サイモン博士の催眠実験で引き出されたヒル夫妻の会話の部分は迫力満点である。

▲著名なジャーナリストによる、米田ニューハンプシャー州エクセターで発生したUFOフラップ（1966年9月）の克明な調査レポート。この古典的な接近遭遇ケースは全米の関心をよび、空軍当局をあわてさせた。そして、この年から翌年にかけて空前のUFOブームが押し寄せた。

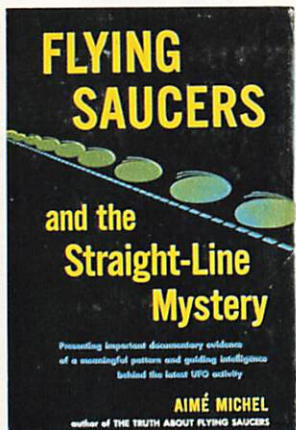
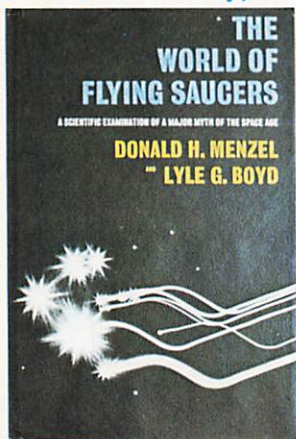
FRANK EDWARDS flying saucers— serious business

WHAT IS THE TRUTH ABOUT THE STRANGE OBJECTS THAT COME
down from the sky

"Flying Saucers—Serious Business" Frank Edwards (1966, Lyle Stuart)

▲名ラジオ解説者だった故フラン
ク・エドワーズのUFOに関する第
一著。多方面にわたるUFO事件の
資料を駆使して、UFOは外宇宙か
ら飛来してきていることを示唆、
さらに政府はUFOについての事
実を公表すべきだと訴えている。

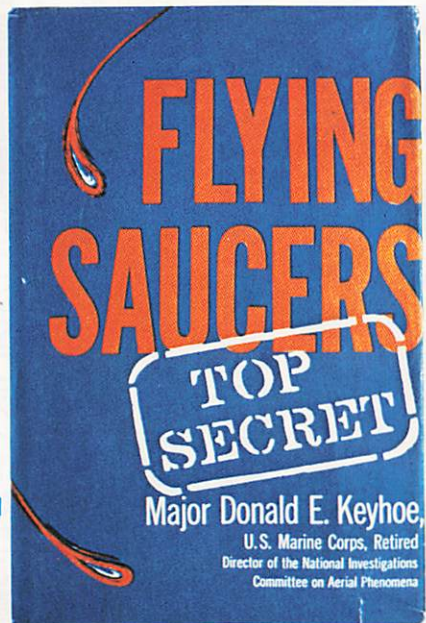
"The World of Flying Saucers" Donald H. Menzel & Lyle G. Boyd (1963, Doubleday)



●キーホーの初期四部作

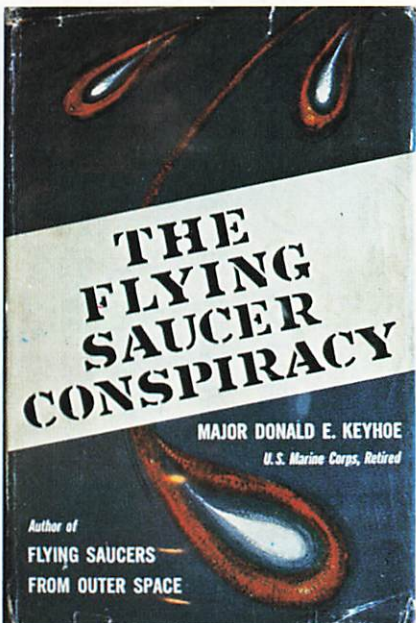
"Flying Saucers: Top Secret" Donald Keyhoe (1960, Putnam)

▼NICAP (全米空中現象調査委員会) による
UFO事件の調査記録と、政府とのUFO問題に
おける抗争を取りあげている。圧巻は、プロジェ
クト・ブルーブックの責任者ルッセルトにあてた
キーホーの公開質問状である。



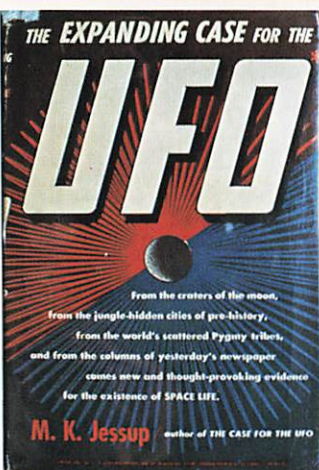
"The Flying Saucer Conspiracy" Donald Keyhoe (1955, Holt)

▼空軍内部でサイレンス・グループが暗躍し、U
FO情報を大衆から隠蔽しようとしていること
を暴露。後半では、重力場推進をはじめ、見えな
い円盤や、円盤が高速で飛行するにもかかわらず
衝撃波を出さないことなどを論じている。



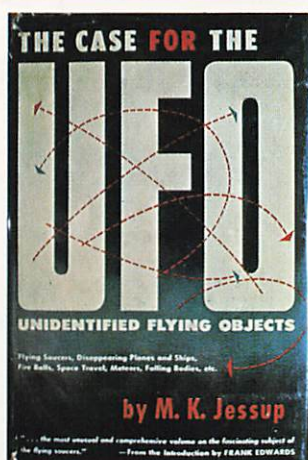
▲円盤否定論者として悪名が高いメン
ゼルの博士は、あらゆる自然現象のなかか
らUFOと誤認されやすいものをピック
アップし、なぜ誤認されるのかを解説し
ている。とくにトリンダデ島で撮られた
有名な土星型UFO写真に関する記述は
興味深い。

●天文学者の歴史的考察



"The Expanding Case for the UFO" Morris K. Jessup (1957, Citadel)

▲前記著書の続編ともいうべきもの。
月面の異常現象、空中から出現して降
ってくる岩、魚、肉片、失われた文明
など、オカルティックな要素がたぐん
に含まれている。



"The Case for the UFO" Morris K. Jessup (1955, Citadel)

▲天文学者でもある著者が、歴史的に
みたUFO現象と、それに伴う異常現
象の記録を網羅したもの。UFOは、
地球と月の重力中立点に永久に存在す
ると述べている。

全国書店で好評発売中!!

につぽん宇宙人白書

宇宙人はすでに日本列島に潜入している！不思議な宇宙人体験の話は数をまじつつある。謎につつまれた宇宙人の活動を探るために現地を訪れた筆者がコンタクトイーたちに直撃取材、事件の全ぼうを明らかにしていく。本書には宇宙人問題の真相を解くカギがかくされている。

■あなたのすぐ側に異星からの訪問者がいる

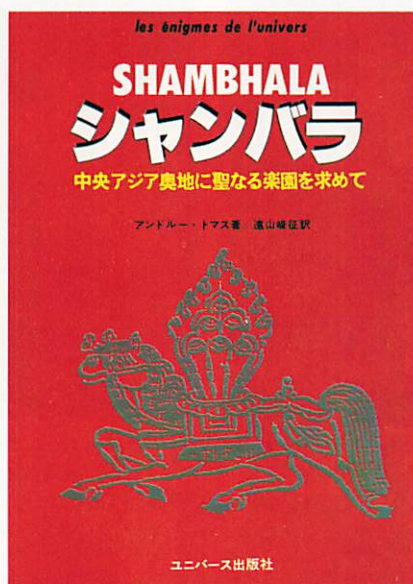
中央アジア奥地に聖なる楽園を求めて

シャンバラ

好評発売中

ヒマラヤ山中の奥深く眠る伝説の国「シャンバラ」は、古代文化の源泉だった。そして、この王国から遣わされた使者たちは、人類を導き、その危機を救ってきた――。太古史研究の第一人者がシャンバラにとり組んだ「常識を超える真実」の書。

■伝説の王国シャンバラの深奥にせまる！



アンドルー・トマス著
遠山峻征訳
定価 1300円 (送料160円)



本誌編集部 内野恒隆著
定価 980円 (送料160円)

科学は“月伝承”の正しさを証明した

満月に 急増する 自殺、出産 犯罪

ティモシー・ハックラー



BLAME IT ON THE MOON

BLAME IT ON THE MOON

1974年1月の最初の週のことである。このとき、世界中の海が異常な荒模様を呈していた。アメリカ西海岸では、今にも大潮に襲われそうな状況だったが、1月8日になって案の定猛烈な直撃に見舞われた。

フロリダ州マイアミでは、残忍な、それとも多くの場合まったく理由のない殺人や暴力事件が次々と発生していた。1月21日付のマイアミ・ニュース紙の見出しには、「市警察、殺人事件数の急激な増加に衝撃」と書かれている。特に警察の注意をひいたのは、いくつか

の犯罪が奇怪な性格をもっていることであつた。

だが同じように奇怪といえは奇怪なことは、これらの出来事——荒れ狂う海とマイアミでの奇々怪々な殺人事件——は、みな一つの力からひき起こされていると、ある科学者が信じていることである。事実この科学者は、数カ月も前からこれらの事件の起こることを予言していた。

この、マイアミの臨床医であると同時に研究医でもある精神病医、アーノルド・L・リーバー博士は、まだ若い

インターンだった頃、同僚の医者たちが暴力の発生を満月の周期と結びつけて話しているのを聞いたことがあつた。月が人間の行動に影響を与えるという考え方に、リーバー博士が触れたのは、それが最初であつた。が、当時は彼も、そんな話は迷信としか思えなかつた。

しかし長年、実際に精神病の治療にあつた間に、うわさは、病院の関係者ばかりでなく、警官、消防士、救急車の運転手、バーテンダーなどの間にまで広まっていたのである。

そこでリーバーは、この月伝承の真偽を確かめるための研究にとりかかった。フロリダ州デード郡で、1955年から70年までの間に起こった殺人事件の記録の分析である。その表をコンピュータにかけたところ、驚くほどはつきりしたパターンが浮かびあがってきた。殺人件数の率は満月のときにピークに達し、その後24時間のうちにふつうの水準に低下、さらに新月のあと、第二の上昇が続くという形になるのである。

このリーバーの研究の他にも、満月のとき、奇怪で暴力的な行動がふえるという迷信を肯定していると思われる研究は、実はたくさんあるのだ。

ニューヨーク市警察の二つの管轄区における犯罪記録を集めた犯罪学者の

ドリス・アン・スタイルは「満月の晩になると、犯罪が目立って増加する。これは月の影響としか思えない」と述べている。

ブライアークリフ・カレッジの研究者は、3万4318件もの犯罪例を研究した結果、犯罪は「あきらかに満月の間に、他の時期よりも多く発生する傾向がある」という結論を出した。

満月と犯罪とのつながりを、すべての研究者が証明したわけではないが、関係ありという結論を出した研究者の数は今やかなり多数にのぼっている。

そこで、ある精神病医は、次のように述べるにいたつた。「何らかのつながりがあるということを否定するためには、何千人、とまではいわずとも、何百人ものそれら研究者たちが全員、謀りあつてうそをついていると思わなければなるまい」と。

■満月に狂った殺人鬼ザムの息子

1973年後半に入ってから、リーバー博士は、自分の理論の検証を試みた。その結果、殺人件数は満月のときだけでなく、新月のときにもピークを示している事実を発見し、おおいに衝撃を受けたのである。満月と新月は、月の29・5日の周期の中の二つの相で





あり、共にこの時期には、月の引力の地球に与える影響が最大になる様が目撃され、また感じられる。それは、このとき月、地球、太陽が、ほぼ一直線上に並ぶからである。各天体の重力場と重なって強まるのだ。このことは、海洋の潮汐が通常示している反応によってわかる。

しかしリーバーは、月に反応するのは海洋だけではないという仮説をたてた。その著書『月の影響』の中で、リーバーは次のように述べている。

「もし人間の有機体としての身体を、地球の表面にある元素と本質的には同じ元素から、同じ割合で形成されているミクロコスモス（約80%が水で残り、20%が有機物と無機物）と考えるなら、月の引力は、人間の水分にも同様の影

響を及ぼすと考えられるであろう」

これらの「生物の潮汐力」は、それに伴うホルモンの変化と結合して、神経や筋肉の感覚に影響を与える。素因のある人なら、このような変化だけで、情緒的なバランスを崩して爆発するには充分であろうということだ。

リーバーの記事がはじめて雑誌に載ってから間もなく、タイム誌が、1974年1月に、天体の周期が完全に一致する瞬間が来ると報じた。すなわち、地球と月と太陽がほとんど完全に一直線上に並び（「衝」と呼ばれる配置）、その結果、地球におよぶ月と太陽の結合された引力が、異常に強くなるという。さらに、月と地球との間の距離は、ふだんの平均値24万マイルより2万3000マイルも縮まり、21万7000

マイルになってしまふ。このことも、潮汐力が異常に強くなる原因である。

リーバーは、マイアミ市警やマスコミ、救急病院などに、騒乱や緊急事態にそなえるよう警告を発した。「はたして、最悪の事態が出現した」と数々の報告が、危惧のあつたことを裏づけている。「新年の最初の3週間で、殺人件数は前の年の1月中旬に起こった殺人件数の倍に達した。警察はこの事態、特に犯罪のほとんどが残忍であり、時には明確な動機を欠いているという事実」に注目している」と。

これは、古来、多くの人間性の観察者たちが信じていた、あの「月の狂気」なのであろうか？

有名な法律学者のサー・ウィリアム・ブラックストンは、人間は満月の影響で殺人を犯すこともあり得る、故に、その者は「ルナティック（気ちがい）」なのだから、故意の殺人として罪を宣告するべきではないと唱えた最初の人である。

「ルナティック」を彼は、「平静期をもつ、すなわち自分をはつきり意識するときとまったく自覚のないときとがあり、かつまたしばしば月の変化に左右される者」と定義づけた。（ルナシー「狂気」は、月を意味するラテン語 Luna からきている）

ルナシーの理由をもって無罪を主張

した最初の殺人者は、ロバート・ルイス・ステイブンソンの「ジキルとハイド」のモデルとなった、イギリスの労働者、チャールズ・ハイドである。ハイドは、新月と満月のときに、無意識の殺人に駆り立てられるのだと主張した。（同情的でない判事は、結局彼に有罪を宣告した）

最近の例で、満月に踊らされたと思われるもつとも有名な殺人鬼は、ニューヨークの「サムの息子」である。彼は計8晩（そのうち5晩が新月か満月だった）、犯罪を犯した。「科学的に説明することはまったくできませんが、しかし、満月に暴力や犯罪の数がふえることは確かです」と、ニューヨーク警察心理学研究所の所長も、最近述べている。

■ 狂気の原因は 電磁場の乱れか

しかし、月はどうのようにその影響をおよぼすのか？ 地球というこの惑星に住む生命に、かくも大きな変化をひき起こす原因を、科学的に説明できないものか？ というわけで、これまでいくつかの理論が提出されてきた。

夜空を見上げたときまず気がつく、満月のいちばんの特徴は、その暗々と輝く明かるさである。この光の強さだ



分の方にひき寄せている。その結果盛りあがった海水が地上を襲うと、大潮となるわけである。

同時に、地球の重力場は、月の上にもおよんでいる。宇宙飛行士のジェームズ・アール・ウィンは、この相互引力を次のように描写している。

「月は地球の表面にある潮汐に影響を与え、実際に地球を月の方向にひっぱっている。このことは、月をよく見てみれば実によくわかる。地球が月におよぼしている引力の結果、月がゆがんでいるのが見えるはずだ。なぜなら、月は地球にむかって、西洋梨のような形になっているからだ。だから、地球が物質としての月にそのようなことができるのなら、月も地球に対して同じようなことをしているだろうと想像できる。そしておそらくは、人間にも影響を与えているだろう」

しかし、多くの科学者は、月の重力が人間の行動の変化の直接の原因であるとすることに困難を感じている。たとえば、月の引力に反応するためには、きわめて大量の液体が必要であるということも、否定するわけにいかないからだ。

科学者たちが直面しているジレンマは、まさにそこである。すなわち、一人の人間の比較的小量の体液が月の引

力に反応し得ると信じることは、常識に反するという点だ。しかしそれでもなお、暴力的で奇怪な行動の発生がピークを示すのは、引力が最大になる瞬間、新月と満月のときなのである。このジレンマに対する解答を得るため、先ほどの光と引力という要素以外に月がもっているどのような力が、地球上の生命に影響を与えているのかという研究が続けられた。そして科学者たちはついに、3番目の条件（三つの中ではおそらくもっとも「魔術的」な要素であろう）に気づいたのだ。

月は人間の体内に「生物学的潮汐」をひき起こして、それが異常な行動を起こさせているのだという意見は、月の引力に反応するためには、大量の水分が必要だという根拠に基づいて、ほとんどの科学者により否定されている。

しかし、彼らは、満月は地球の海洋だけでなく大気の中にも、同じような変化をひき起こしているということにすぐ気づいた。

われわれ人間は、電磁波のほとんど無限のスペクトルからなる、電磁場と総称されている目に見えない力の領域によって、絶えずかこまれ、ぶつけられ、浸透されている。この電磁波は、長さにして10億分の1メートル以下から1千メートル以上まで、かなりの幅がある。

光は、10億分の400メートル（青）から約10億分の700メートル（赤）までの幅があり、電磁波のスペクトルのほとんど無限小の部分に近いところに位置している。電磁スペクトルの他の99・99%の部分は、人間の目には見えない。光より波長の短かい側には、紫外線、X線、ガンマー線、宇宙線の順に並び、波長の長い側には、赤外線、マイクロ波（レーザーを含む）、テレビジョン電波、ラジオ電波と続く。

「電磁気図の上で見れば、人間の視力と聴力がとどく範囲は実に狭い、ということを発見することは、私たちにとても大きなショックである」と、UCLAの神経精神研究所の心理学研究者であるセルマ・モス博士は記している。「私たちが実際に見たり聞いたりできる範囲は、私たちを取りまいているエネルギーの広大な海の中の、ほんの微視的な部分にすぎないのだ」と。

このエネルギーの海は、われわれを取りまいていてだけでなく、われわれの身体の一部をも成している。しかしすべての有機体は、それ自身の電磁場をつくり出しているということも、よく知られている。エール大学の解剖学教授、ハロルド・サクストン・バー博士は、すべての生物を取りかこむエ

けでも、ある有機体の中のホルモンにある種の反応をひき起こすのに充分であり、このことについては、いくつかの証拠もある。しかし、人間が戸外にいたが家の中にいたが、あるいは空が快晴であれ曇であれ、そういった条件とは関係なく、月は等しく行動に影響を与えている。

月の重量は、 81×10^{18} にもあり、太陽系の中の衛星としては最大のものである。それだけに地球におよぼす引力の影響は著しく、地球をおおう水を自

BLAME IT ON THE MOON

ネルギー場をはじめて正確に測定した人である。かれは、このエネルギー場に自ら、「生命場」または「場」と名づけ、これが、時間が経つにつれ変化すること、また、惑星や地球の大気の電磁場のように、これも新月と満月のとき、強度を増すということを発見した。

まずこの研究の先頭に立ったのは、ギューズ退役軍人病院のロバート・O・ベツカ医師である。彼は、精神病院への入院状況を地球の磁場の強度と比較して、「地球の磁場の強度がほんのわずかに変化するだけでも、人間の神経系に影響を与え得る」という結論を出した。さらに、「磁場の騒乱がふえると、脳の神経活動が増し、人によつては、これが精神の病気の爆発を引き起こすひきかねになる」と述べている。

その次に精神病医のレナード・J・ラビック博士がバーのテクニックをとりにいて、エール、デューク、ペンシルバニア各大学のそれぞれの付属精神病院の患者の場を測定した。彼は、二つの重要な発見をした。第一は、患者の行動の乱れは、その者の場の変化と関連しているということ、第二は、新月と満月のときに、患者たちの心理状態の揺れの振幅が大きくなるという

ことである。

アメリカ人のある研究者は、地球の電磁場の低レベルの変化が、「頭痛、疲労、記憶力の減退、興奮性、不眠症、心理的不安定」をひき起こすという、ソ連の研究に注目した。

しかし、これをどのように説明したらよいのか？

次の手がかりは、思いがけぬ方面、気象学の方から与えられた。そしてまたしても、古い迷信や伝承は、科学が予想する以上に正確なところを見抜いている、ということが証明されたのである。

■正電荷の鉄がひき起こす精神異常

1962年に、ニューヨーク大学工学カレッジのドナルド・A・ブラドレーとマックス・A・ウッドベリー、マサチューセッツ工科大学のグレン・W・ブライアーは、気象台で過去50年にわたつて収集された1544の記録を研究して、いくつかの「まったく驚くべき確かな結果」を得た。そしてのちにその発見を次のように要約した。

「合の太陰月の第1週と第3週の真ん中近く、特に新月と満月の配置があつた3～5日後に、北アメリカでは、降雨量が極端に多くなるという著しい傾向がみられる」。

向がみられる」。

自分たちの統計を信じかねた3人の研究者は、このようなサイクルが南半球にも存在するかどうか確かめるために、オーストラリアのシドニーにいる気象学者、E・E・アグリーとE・G・ブラウンに手紙を書いた。すると驚いたことに、偶然にもアグリーとブラウンも独自の研究によって、まったく同様の発見をしていたのである。しかしアメリカの場合と同じように、「降雨の異常に関するわれわれの研究は、気象学界では未だにうさんくさい目で見られているし、降雨に対する月の影響を指摘しても、良い反響が得られそうもない」という理由で、発表がみあわせられていたのである。

この他にも、ハリケーンは新月と満月のときにふえる傾向があるとか、雷雨は、新月と満月のあとでは、上弦や下弦のときの3倍も多く発生するとかいう研究がある。

しかし科学者たちは、満月と雷雨と人間の奇怪な行動との間には、必ず何かのつながりがあるという確信を未だにもてないでいた。

当時、トロントのレークシヨア精神病院に勤務していたシェルドン・H・ゲラーは、この問題を、次のように述べた。「伝承では一般に、心理的アン

バランスにおちいりやすい人は、陰鬱な天候のとき、あるいは満月のときに、もっとも異常な行動を示しがちであると主張している」と。ゲラーは研究チームをひきいて、精神病院の外來患者たち、およびその患者と病院との接触のすべてについて、79日間にわたる追跡調査を行なった。その結果のグラフは、満月や嵐のような気象との間に積極的な相互関係があることを示している。ゲラーは、「これらの発見は、高温、高湿、低気圧などの特徴をもつ不快な気象になると、精神病院に来る患者の数も増加するという仮説の正しいことを証明している」と述べた。

だが、この場合も結局、同じ疑問が生じる。嵐の状態が、どうしてこのような精神異常をひき起こし得るのか？ということだ。その解答は、最近までアメリカの科学者の間では、低い評価しか与えられていなかった研究分野——健康に与える鉄の影響の研究——の中にあった。

鉄とは、それが通常の状態にあるとき有している数より1つかそれ以上の数の電子を失ったか、または加えている原子である。その通常の状態では、原子に含まれる電子の負の電荷が、その原子核の正の電荷とつりあいを保っている。だから、原子がその電子の1

つを失うと、正の電荷を持つ鉄となり逆に電子が1個加わると、負の電荷の鉄になるのである。

そのほとんどがヨーロッパやソ連で行なわれたものであるが、最近では合衆国農務省も行なっているこの方面のたくさんの研究によると、大量の負の鉄は、実験室の植物や動物の成長を促進し、逆に正の鉄はその成長をためし、逆ということだ。しかし、鉄が影響を与えるのは、実験用の植物や動物に限られるわけではない。

ジェイムズ・B・ピール博士によると、「嵐の前線が近づいてくると、大気中の鉄のバランスと静電界極性が影響を受け、空気中に正の鉄が増えてきて、その結果、天候に敏感な人が、応時間の減退や頭痛その他、一般的な気分の低下を起こす」ということである。

これは、いわゆる「魔女風」が吹くとき、天候に敏感な人が示す反応と同じである。魔女風とは、スイスのフェーン風、南仏のミンストレル、中東のハムシン、アメリカの西部とカナダのチヌーク風である。ヨーロッパの科学者たちは、これらの風が吹く前、すなわち嵐の起こる前の時間または数日、空気が正の鉄で過充電の状態になるとを発見していた。その結果、天候に

左右されやすい人々の精神の健康にあまりにも猛烈な影響があったために、ドイツの一部では、かっとしたために犯してしまった犯罪については、法廷が状況酌量の余地を認めている。これらの「病風」には、暴力的犯罪、自殺、自動車事故の増加が伴うということ、は、明らかにされている。

科学は「伝承」の正しさを証明した

アーノルド・L・リーバー博士は、現代の研究がどのような位置にあるかを、次のように簡潔に述べている。「われわれは、その各部分、各有機体が、天体の周期と共鳴しあっている体系として、宇宙を新しく見直し始めたばかりである。科学者は、古代人がすでに知っていたこと、天の調和は、たくさんの不調和をも排除するものではないということ、を、今再発見しつつある」

「妊娠と出産」

科学は、他にもある月の「伝承」や「迷信」の正しさをも証明した。

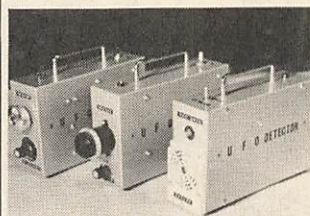
人類の歴史で、月は古来、豊饒（ほうじょう）（すなわち生産力）の女神としてあがめられてきた。それなのに科学者は、月の周期の平均値と月経周期の平均値がまったく同じ——29・5日——であり、人間の妊娠期間の平均値266日が、

UFO探知機

超高感度

国産唯一の本格的磁気探知機！

現在320台が全国で活躍中！！
既にUFO探知成功20件！！



左からT-5・T-3a・T-3b型

T-5型…¥9,000
T-3a型…¥18,000
T-3b型…¥19,000
(近日値上げ予定)

■その他、連続観測用のACアダプター及び補助電池ボックス(新製品)があります。

申込先：〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606

折田 至

Tel. 044-866-8347

●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

月の周期の正確に9倍であることを発見して驚いたりしていたのだから、その方がよほどオドロキである。この一致を説明する理論を考え出した科学は、未だに一人もいない。

ある大都市における50万件の出産例について、一つの研究が行なわれた。対象となった女性の大半は、このような民間伝承をおそらく聞いたことがなく、月の相などにはまったく無関心であると推定される。この研究によると、出産率は満月の前日から増加しはじめ、満月でピークに達し、翌日になると急激に落ちる、ということがわかった。

「狼人間」

人間の奇怪で暴力的な行動を満月と結びつける民間伝承の中には、満月の力で血に飢えた狼になつてしまうあわれな人の話がある。精神病の専門領域では、これを「ライカントロピー(狼狂)」[患者が自分を野性の動物、通常は狼であるという妄想を抱く精神異常]と想定している。

ヒューストンの精神病医、ハーバー・A・ローゼンストックが、つい一昨年、そのような症例を報告している。「アメリカ精神病学会誌」に、「自分を狼であり、爪をもった動物であると思ひこむ妄想のために、緊急に精神病的検討の必要がある」として提出された

ストレス解消！ 冥想への導入！

—脳波バイオフィードバック装置

アルファトーン

(1年間保証)

商標登録
特許出願中

アルファトーンは冥想、精神統一、自律訓練等の効果を飛躍的に高める装置です。従来、形だけの冥想をしても心身ともにリラックスしたよい状態を習得するのは大変なことでした。

近年、科学の発達により、心の状態を示す5種の脳波のうち、アルファ波が多いときに精神的に安定した状態となることがわかってきました。

アルファトーンはこのアルファ波を感知し、あなたに知らせてくれる装置です。アルファトーンによって心の安定した状態を知り、その状態を持続する様に訓練すれば、あなたはいつどんなときにもリラックスし、精神的安定状態を保てるようになるのです。

＜アルファトーン1＞ テープ付 16,800円(送共)

心がリラックスし、アルファ波をキャッチするとランプが点滅し、こころよい音がします。

＜アルファトーン2＞ テープ付 19,800円(送共)

アルファトーン1にメータを付けたもので、アルファ波の量(リラックスの度合)がわかります。

＜アルファトーン3＞ テープ付 29,800円(送共)

アルファトーン2に、精神統一の助けになるような音(反復音)を常時発する様にしたもので、音に合わせて呼吸をします。この為、安定した正しい呼吸法を習得することが出来ます。

更にテープレコーダと組合わせるとイヤホンからミキシングされた音が聞こえるミキシング機能付です。

ご請求くだされば資料をお送りします。
お申し込みは現金書留にて下記まで。

〒248 鎌倉市小町1-15-17 ☎0467(25)3035

橋本電子研究所U係

インスピレーションテープ

このテープを毎日聞きながら寝ると、あなたの潜在意識が浄まります。この為、あなたの性格は積極的になり、靈感を受けやすく、運命が好転します。試験に合格した、ノイローゼが治ったなどの礼状が沢
◆D-1 就寝と起床番組 2,500円(送共)
◆H-1 成功と幸福の為の言葉 2,500円(送共)
◆H-2 幸福と成功の為の言葉 2,500円(送共)

4Dメータ(四次元波受信機)



テレビ(アフタヌーンショー、11PM等)で放映され大反響を呼びました。サボテン等植物の感情の変化を音で聞くことが出来、将来霊界ラジオにもなり得るものと期待されています。京都の小原氏はこれを人間に用いて霊界通信に成功されています。ウソ発見器としても応用できます。
◆A型(普及型) 39,000円 〒1,000円
◆D型(大型) 79,000円 〒2,000円

49才の既婚婦人」のことが記されている。その患者は、それまでしじゅう狼の夢を見ていたのだが、ついに家族の前で着物をぬぎ出し、のちには、ウーウーとうなり声をあげたり、ひっかいたり、ベッドをかんだりして狼を演じだしたのである。かの女自身の証言によると、かの女が鏡の中の自分を見ると、「私自身の身体の上の、顔のある部分に、狼の頭が見えた」そうだった。その患者は入院して薬物治療を受け、ただ一つの事件をのぞき、良い反応を示した。その事件は、次の満月のときに起こっている。

狼狂は、今日ではめったにみられないが、中世ではごくありふれたものだった。16世紀には、ヨーロッパ全土に狼狂がはびこり、人々を恐怖におびえさせた。1520年から1630年の間に3万件近い目撃が報告されている。たとえばフランスのドールの議会は、1573年に、「この地方に横行している狼人間を、狩り串や戈槍、槍、火なわ銃、棍棒などを用いて、狩り出し、捕えて縛りあげ、殺害するため」一致協力すべしという命令を公布している。伝説では、狼狂すなわち狼人間というのは、満月になるまでは見たとさまったく普通の人間と変わらないとされている。狼人間は本物の男や女なの

だが、満月になると意識するしないにかかわらず精神に変調をきたし、気の狂ったふるまいにおよぶというのである。しかし、今となつては、この伝説の真偽をたしかめるすべはない。
「出血」 医学の祖とされる5世紀のヒポクラテスの時代から、外科医たちはすでに、満月のときに手術をすると出血がひどくなると信じていた。こうした考えは、今世紀になっても続いている。フロリダ州タラハシーの外科医エドスン・J・アンドルース博士は、次のように語る。「科学者たちは、このような仮説が民間伝承や迷信にすぎず、科学的な裏付けはまったくない、

と口をそろえて言います。しかし、あいにくなことに、彼らは自分たちの主張を実証するデータを集めようとしたことはないので」
アンドルース博士は過去3年間以上のデータを集めてみた。すると、手術後にひどい出血をした事例の82パーセントが上弦の月から下弦の月までの間に起こっていて、ちょうど満月のときにピークに達することがわかった。
「このデータは、まさに決定的ともいえるものでした。おかげで私など、月の光はロマンスのためだけにあっていて、手術はアフリカの魔術師のように闇夜にしか行なっていないので



はないかと思いはじめたほどです」

ウイスコンシン州ラクロスにある有名なベイン病院で神経外科部長の要職についているノーマン・シーリー博士は、同僚の外科医たちの証言を集めてアンドルース博士の結論を確認している。シーリー博士はまた、アメリカじゅうの血液銀行についても調べてみた。博士によると、「輸血の需要がもっとも多いのは、きまって満月のときとその後2日間です。緊急事態でないかぎり、満月のときは外科手術を避けるようにすべきです」

〈種まき〉 農事暦をみると、種まきに適した時期について、月の満ち欠けに関連させてさまざまなアドバイスが載っている。しかし、種まきに最適の時期としては、一般に満月もしくはその近辺とされている。すでにみたように、満月のころ降雨量が最大になる。

ノースウェスタン大学のフランク・A・ブラウン博士は、研究室での実験ですくなくともいくつかの種子については、満月のころに吸水量が最大になることを実証した。つまり、月が満月になったとき降雨量が増えるだけではなく

く、ある種の植物には、そのときが吸水に最適の時期だという知識が「あらかじめ組み込まれている」のである。

■ブラウン博士の 思いがけない発見

〈ESP〉 月が人間や動物の行動に影響を及ぼすさい、なにが媒介となっているのだろうか。この問題を探究した研究者たちは、ひとりならず、ESP（超感覚的知覚）という不確かな分野に踏み込んだ。ある人々からは、昔からの伝承や神話の現代版とされている分野である。

ブラウン博士は、月と生物の行動との相関を実証するため数々の実験を行なっている。そうした実験のひとつで、博士は月の満ち欠けによってそら豆の種子の吸水量が変動することを確かめようとした。また、種子の電磁場を人工的に変化させて、この相関関係を変えられないかどうか調べてみた。その結果、博士の仮説は立証された。

しかし、この実験データをコンピュータにかけたところ、まったく思いがけないことが明らかになったのである。そら豆をお互いに接近させておくと、そのうち半分は吸水量が増え、残りの半分は吸水量が低下したのである。しかも、この2組の「役割」は、数日

後には逆転した。そら豆は、なんらかの方法で「意志疎通」を行なっているともいえるのだろうか。

フロリダ州マイアミの精神病医、アーノルド・L・リーバー博士は、この実験について次のように述べている。

「このことは、2つの種子の間で微妙な電氣的メッセージがやりとりされていることを暗示しているのではないだろうか。意識にのぼらないコミュニケーションによって、1組の種子が新陳代謝を活発に行ない、もう1組が消極的な役割をひきうけるという合意がなされるわけだ」

ブラウンの思いがけない発見によって、ソ連のアレクサンドル・ブレスマンの理論、「電磁場は、地球上の有機体と宇宙とをつなぐ環としてのみ使われているのではなく、ある一つの種に属する有機体（例えば、その飛翔バタインを一瞬の間に、それと同時に変える鳥の群）の間の、コミュニケーションの方法としても使われている」という理論を、補強する結果となった。

星が何かの影響を与え得るというようなことを想像していったり、まして、月を使って誰かの未来を予言したりしているような研究者は一人もいないのに、月と人間の行動とのつながりに関する研究を、まるで占星術であるかの

—「自己暗示訓練用テープ付」全6本セット—

こころハツラツ！ 元気モリモリ！

新しい自己変身と自己改造テープ集

行動意欲増強 (心の自信回復)テープ

心にいつも強い意欲と活力感を

完全に心身をリフレッシュさせ新しい「行動意欲増強法イメージ訓練」を実践していくことにより、あなたの心と身体に強い意欲と活力感を植えつけていきます。そしてその訓練を自分でどこまでも継続していくことによって、あなたが真の行動意欲と自己自信が確実に定着していきます。

- 自分自身に強い意欲と自信を植えつけた方へ……
- 困難や障害にたじろがぬ強い自分になりたい方へ……
- 自分の無気力を自分で克服していききたい方へ……
- 自分自身の行動力と活力感を高めていききたい方へ……

S.E.I.式新自律訓練法 全9ステップ完全習得テープ

従来の自律訓練法よりはるかに確実で、より高い効果が期待できる今話題の新自律訓練法テープです。

今までの自律訓練法は、自律神経そのものが弱っているにもかかわらず、それを言葉で「強く重い」「暖かい」という自律訓練の結果から入っていくことに習得の困難さ効果の低さ等の原因がありました。S.E.I.式新自律訓練法では、私達の自律神経そのものの働きを内部から大きく確実に開発していくもので、だれにも確実に習得できるように全体がキメ細かに構成してあります。安心して実践して下さい。

- 心身の自己コントロールを自分で高めたい方へ……
- 疲れにくい爽やかな心身と自分を作りたい方へ……
- 自律神経や身体の働きを高めていききたい方へ……
- 自己催眠効果を高め自己暗示力を深めたい方へ……
- 自己集中力を開発していききたい方へ……

心のクリーニング法テープ (新しい心の浄化法)

—別ページ参照—

名称	テープ数	価格	分割の場合
A 行動意欲増強(心の自信回復)テープ	1個	5,200円	
B S.E.I.式新自律訓練法	6個	22,800円	4,000円×6回
C 心のクリーニング法テープ	1個	4,200円	

特別価格

A+Bセット価格 25,600円

B+Cセット価格 24,500円

A+B+Cセット価格 29,500円(分割の場合 5,000円×6回)



お申込みはハガキ又は電話にて、下記へお申込み下さい。(品名、又は、御希望セット内容及び支払い方法明記の事)代金は現品到着後あと払いです。

S.E.I.自己確立科学センター U-5A 係

〒160 東京都新宿区荒木町5-9 津の守会館5F
TEL. 03(357)7619(代)

ように考えたがる学者もいる。誰も、満月と電磁場スペクトルと人間の行動の間に、はっきりとした因果関係があることを発見したとは主張してないのだから。しかし何らかのつながりがあるということを示す証拠は確かにあるのだ。それにもかかわらず、このつながりを発見しようと努めている研究者は、未だに、科学の「ルナティックな落ちこぼれ」の部分としてかたづけられてしまっている。

そのような懐疑主義は、なにも今に始まったことではない。ケプラーがガリレオに、海洋の潮汐は月の影響によるものかもしれないと述べたとき、ガリレオは、その考えを、「オカルト的空想」とかたづけしてしまった。その次の世紀になって、海洋に対する月の影響力はもはや否定することはできなかったが、月が他の力ももっているかもしれないという考えは、まさに現代にいたるまで否定されているのだ。1971年に、ハワード・D・キング博士は次のように書いた。「月は、温度、降雨、またはその他のいかなる気象に対しても、まして植物の成長や動物の行動に対して、何の影響力ももたないという事実は、今では科学的事実として充分確立されている」。キング博士の「充分確立された科学的事実」

は、具体的な一つ一つの事例によってくつがえされてきた。しかし、科学界のエスタブリッシュメントたちは、その最後に残された足がかり、——月は、おそらく人間性にはいかなる影響も及ぼし得まい——にしがみついている。ある科学者たちは、自分たちの行動と目に見えない宇宙の力とが、つながり合っているという考え方そのものに、脅威を感じているように見える。しかしながら米航空宇宙局のロバート・ジャストローは、その著書「神と天文学者」の中で次のように述べている。「われわれ人間は一般に、自分の信念が証拠の事実と矛盾すると、イラ

イラし、不一致などないと思ひこむか、または、そこに含まれている意味を無視してしまう。科学では、このことを「推論の拒否」と呼ぶ。そして、科学者さえもが、その例外ではない」だが、現代の合理的な科学が、われわれの「原始的な」祖先の直観の多くが正しかったことを証明するため、これからも努力を続け、いつの日か、「魔術と科学は、知識の獲得という同一目的を目指す、二つの形式である」という人類学者クロード・レヴィ・ストロースの信念を証明することは明らかである。

森マリ訳

本誌(1978年7月号)に掲載された、日大UFO研究会副会長岡本譲治くんの『新発見グロドファー・フィルムはインチキではない!』に、私は強く反論する。岡本くんに対しては、ことに失礼なことを述べることを許していただきすが、それはあまりにも自己撞的な未熟な立論だと思う。

愚者の手細工めいた、欺瞞臭ふんぶんなる、このフィルムについて論ずることは、貴重な時間の浪費という感じが深い。しかし、岡本くんの文中には、私の著『UFO日本侵略』から、私の意見を引用し、「高梨氏のように簡単にナンセンスと決めつけることはできない」と、批判と非難を浴びせかけている。正面切って反論するようなばかげたことはやめておこうと思っていたのだが、名指しで批判された以上、一応の反論を發表すべきだと考え、ここで、私の意見を明らかにしたい。

●岡本譲治くんの支持説への疑惑

▶高梨純一氏(右)と、全日本大学連合代表の岡本譲治氏。



まず、このフィルムについて論ずることが現時点において時間の浪費だと考えるのは、これまで私が何度も指摘してきたように、このグロドファー・フィルムは日本でだけ騒がれ、本家本元のアメリカではまったく無視されている

ということからである。

実を言うと、空飛ぶ円盤騒ぎの発端以来ずっと内外の資料を集め、海外の研究団体と連絡をとって研究を進めてきた私ですら、このフィルムの存在を知らなかった。たしか昭和47年、東京で開催された、日本空飛ぶ円盤研究会主催の『空飛ぶ円盤25周年記念講演会』で、著名なM氏が上映してみせたとき、はじめてこのばかばかしいフィルムを知った。一目見ただけで「ばかばかしい」といい切ってしまうのは、軽率で横暴だと非難されるかもしれない。けれど、私はこれまでの長年のUFO研究の蓄積の上に立って言っている、これまで一目見て、「ニセもの!」と判断したものは、つぎつぎにその私の判断が正しかったことが証明されてきている。

実際、その後調べたところ、ジェームズ・モズリー編集するところのアメリカの赤新聞的UFO情報誌『ソーサー・ニュース』に一度だけ、そのフィルムの一コマが掲載されているのを発見しただけで、その他にはどこでも見ることができなかった。

だから、いわばUFO研究界の「のけ者」——昔の人間社会でいえば、「無宿者」——が、わが国で無批判的に紹介されたのである。そして、それを見た、Nテレビ局の著名なディレクターY氏が、これはおもしろいということ、その後繰り返し、このフィルムを彼の担当する特別番組で放映してきた。そこで、何も知らないわが国の一般UFOファンの間に、「ああ、ああいうのが本家本元のアメリカでは認められているのだな」という誤解を与えて、評判になったのだ。

アメリカのUFO研究者にいわせると、「こんなフィルムにひつかかるなんて、なんて日本人はトンナ国民だろう!」ということになる。そんなわけで、われわれの目から見ても明らかに粗雑なつくり物である。しかも、本家のアメリカですら、市民権をもたない「まやかしの然たるフィルム」の吟味に、少しでも頭を使うなんて、まったく貴重な時間とエネルギーの浪費だ(そのあいだにもっと本格的研究ができる)と思うのである。

でも、いったん評判になると、それ

グロドファー!フィルムに 激しく反論する

をそのまま鵜呑みにしてしまう人もたくさんいるし、また権威に反抗して擁護してみたくなる人も出てくるし…、まことにこの世は、うるさく、わずらわしいものである…。

アダムスキー肯定の ロドファー・フィルム

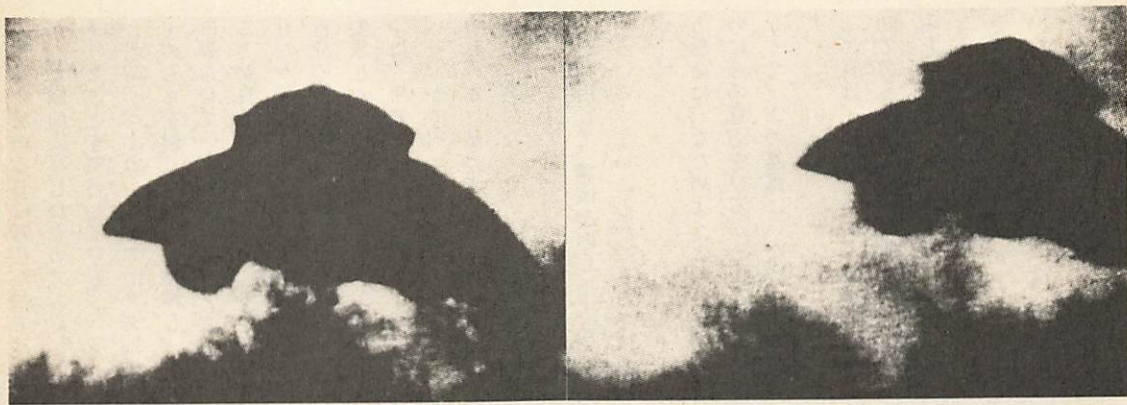
本論にはいつて、岡本くんの所論がどうして自己撞着的なのか？について述べてみよう。

彼は同文章のはじめの方で、

「私もアダムスキーが6インチの望遠鏡で撮影したと称する、いわゆるアダムスキー型円盤および葉巻型母船の一連の写真群については、さまざまな理由から肯定することはできないし、また彼の体験談を信じることもできない」と、アダムスキーを全面的に否定している。それにもかかわらず、ロドファー夫人のフィルムについては、そこに写っている円盤が、

「円盤全体が傾いている場合でも、アダムスキーいうところの『円盤の磁気柱』に相当すると思われる上部のどっばりと底部円柱のどっばりは常に地面に鉛直で、これは撮影の間中ずっと維持されている」

ということをもって、その肯定の論拠としている。



これはおかしくはないか？ つまりアダムスキーを否定しながら、アダムスキーが設定した概念に基く理論をもって、このロドファー・フィルムを支持しているのだ。

これは、完全な自己撞着であり、こういう矛盾した考え方で組み立てられた理論は、たいした価値をもたないといえるのではないだろうか？

それに、ついにながら、同フィルムにおいても、軸線はけっして地面に対していつも鉛直ではない。無論、この奇妙な近鉛直性維持と、それよりも、もっと奇怪な「弾性変形」などが、このフィルムの最も大きな謎であり、特徴であることは認める。しかし、私はこれもなにか特別に凝った写真の撮り方によって（もちろん模型をつるしてだが）、つくりだされたものだと考えている（本当は凝ったのではなく、偶然にもこんな「失敗作」ができたのだらうと考えている）。

その後、東京で岡本くんに会った時に、彼は、

「なんとか、これと同じフィルムをつくることを考えてみる」

と言っていた。私は、彼がその聡明な頭脳を正しい方向に働かせ、このフィルムの真相を解明してくれることを望んでいる。そうでなければ、また貴重

な時間を浪費して、私自身がやらなくてはならなくなるから…。

アダムスキーの失敗作 ロドファー・フィルム

ロドファー夫人のフィルムについては、さらにもっと都合の悪い事実がある。

それは2、3年前の夏、当時京都大学UFO超心理研究会の代表だった浅井総一郎くんが、南米や北米に調査に出かけた時の話である。彼がロドファー夫人に会って、話をきいたところ、「あのフィルムは、実は私が撮ったのではなくて、ほとんどアダムスキーが撮ったものだ」とうちあけられた。

これは最近、このフィルムの批判に関して、林一男くんから注意されたことである。なるほど、当時そういう話をきいたおほえもあるし、またなにかの雑誌に載った帰朝座談会の記事の中にもそういうことが書いてあったのをおぼえている（ブレイボーイ、昭和50年7月29日号）。そしてまた、私もこれにはありえないと考える。

というのは、例の有名なアリゾナ州の砂漠の中での「金星人」との会見当時、アダムスキーの下で秘書兼小使いの兼運転手—つまりなんでも屋の下男の

ような仕事をしていた、ジェラルド・E・ペーカーという男の話からも推測されるのである。

ずっと以前（正確にいつて、1954年）、ジェラルド・E・ペーカーは、「アダムスキーの著書『空飛ぶ円盤実見記』の中で、私が撮ったことになっている写真（高文社発行、高橋豊氏の訳本中、ヘジャラルド・E・ペーカー軍曹が立っていた丘の上を高速で飛び去る瞬間をとらえて、彼がブローニー型コダック・カメラで撮影したものとして口絵頁に掲載）は、本当はアダムスキーが撮ったもので、彼からお前が撮ったことにおけといつてもいいうけた」と、暴露した。

以来、この本の再版以後は、この写真の説明からペーカーの名前がぬかれている。また、その暴露の中で、ペーカーはさらにつきのような事実を語っている。

ペーカーが撮ったとされている写真が写っている、ブローニー・フィルムのロールには、まだほかにも円盤の写真があったが、アダムスキーの命令によって、破棄した（できが悪かったから？）現に、ペーカーが撮ったから？——現に、ペーカーが撮ったことになっている写真は、最もあいまいなものである！。また、これらの写真は、あ

本に書いてある日に写したのではなく、もっと以前に写したものである。このようなことを明言している。

当時、ペーカーはすでにアダムスキーのもとを離れていた。結婚し、平和に暮らしていたのであるが、これらのことが良心にひっかかって平穏でいらなかった。そこで、アダムスキーに自分の名前を取り除いてくれるように要求した。それに対して、アダムスキーは、手紙で、

「せっかくベスト・セラーになっている私の本に載って、きみも私と同じくらい有名になった。きみも空飛ぶ円盤のことをよく知っているのだから、それを利用して、講演などしてまわれば、いろいろうまいことができるではないか……」

と懸命に、なだめようとした。が、ついにその意志をひるがえすことができなくて、この暴露にいたったのであった。

これは、当時たいへん有名になった話であるが、こういう前例からして、私には浅井くんの情報が、「はーん、なるほど！」とたいして驚きもせずを受け入れられた。

つまり、アダムスキーは、初期に撮った写真の中、できのよくないものを雇い人のペーカーにやり、彼が撮った

ことにして恩を売り、自分の写真の裏付け証拠としたのである。

同様に、ロドファー夫人のフィルムの場合にも、アダムスキー自身がその理論に従ってつくった8ミリフィルムのできがよくなかったので、当時側近にいた彼女に与えた。そして、彼女自身が撮ったものとして、自分の写真の裏付け証拠になるようにねらったもの……と推測される。

つまり、ロドファー・フィルムは、アダムスキーの「しくじった」、かすのフィルムということになる。

さて、そうだとすると、どうなるのだろうか？ 今度の場合、今さら言うまでもないことであろう……。岡本くんは、アダムスキーを全面的に否定しながら、その彼自身がつくって他人名義にしたフィルムを認めている。しかもアダムスキーの概念を根拠にして、それを支持するという、思いがけない結果を招いているのである！ まったくとんでもないことだ！

ここまで考えてきて、アダムスキーのやり方というものがはつきりしてきたではないか。こうなった以上、われわれの推測は当然、もっと大きく飛躍せざるをえない。

それは、私がかねてから、この「アダムスキー・リドル（謎）」の唯一の解

UFO教育グループ

〒350-12埼玉県入間郡日高町高萩2648-38
振替東京3-54681

宇宙における人類の理想を、ジョージ・アダムスキー氏が伝えた先進惑星文明の社会と哲理から探究し、役立てるための情報教育機関
会員制なし 無条件自由参加

刊
行
資
料

進化した宇宙人その他の惑星に関する質疑応答集——アダムスキーの質疑応答集の決定版。73問答。350円送料100円
UFO教育センター来日記念講習会記録——アダムスキーを継ぐ四人のコンタクトティーによるセミナー 頒価1360円（送料共） 刊行予定・予約受付中

情報誌
教育

UFO教室

年3〜4回発行 B5判簡オフ32頁
頒価一冊360円 送料140円
予約購読は四回発行分で2000円
送金は全て郵便振替を御利用下さい

説明・研究会

毎月一回、都内で説明研究会開催。初心者用、哲学研究、科学研究等の分科会形式もあり。案内御希望の方は往復葉書でお問合

釈法として疑ってきたことである。今や、アダムスキーのやり方に対する、私の「新発見」によって、それがまったくの真相である可能性が非常に強くなってきたと考えざるをえない。

それはなにかというと、アダムスキーの写真を支持する唯一の確実な証拠とされている、コンストンのUFO写真である。これもまた、ベーカーやロドファー夫人の例にもれず、アダムスキーの手が陰に働いてできた「裏付け証拠」ではないか？ ということがで

きる。だとすれば、アダムスキーの写真そっくりの円盤の写真が撮れたことも、アダムスキーの写真では印刷の際、トリミングで現われていない、四つめの丸窓が写っていることもじゅうぶん

納得できる。最近、アメリカの科学的なUFO研究団体GSWによって発展させられたコンピューターによるUFO写真の厳密な分析、鑑別法で、アダムスキーの円盤写真（ベル型も葉巻型も共に）はトリックと断定された。それから考えてもコンストンのUFO写真が本物であるとは思えなくなる。すると、これもアダムスキー自身の手によってつくられたと考えざるをえない。あるいは出版社の手によるとも考えられるが、

その著「実見記」を出版したウェブニール・ガーバンが、第二著「同乗記」の出版を拒否したいきざつから考えて、それはなさそうだ。やはり、アダムスキー自身が裏付け証拠として、つくったのであろう。

ただし、私はこの場合には同じ模型が用いられたわけではないだろう？ という疑問をもっている。そんな模型を、海を渡ってイギリスまでもっていくのはたいへんだし、そんなヤバイ品物を手もとから離すような危険なこと

はしなかったらうと考えられるからである。第一、そんな危ない代物の模型をいつまでも残しておいたとは思われない。そこで、私は（他にもこう考える研究者がいるが）、写真を引き伸ばして、台紙にはって、切り抜いたものを使っ

たのではないかと考えている。だとすれば、その正体をごまかすためにピンボケにしたのかもしれないし、これまた、失敗写真の「廃物利用」かもしれない。現に、NICAPの金字塔の資料集「UFOエビデンス」では、このコン

指摘している。

謀略家アダムスキー

さて、ここでもう一つ、アダムスキーの謀略説の証拠と思われるものをあげておこう。

それは、あの悪評高き「ストレイス書簡」である。このアメリカ国務省の一員によって差し出されたようにつくりあげられた一書簡が、同省の古い書簡用紙を使って、デッチあげられたま

ったくのマヤ・カシラしいことは、当時のマックス・B・ミラーと、ジェームズ・ビラード両氏の調査によって、はっきり立証されている（その詳細と分析については、近く日本宇宙現象研究会から発行する予定の「アダムスキー批判」特集号に発表の予定である）。複雑な議論は別にして、私がこの「書簡」の原文をはじめ読んで、すぐに

がきの文章の感じとまったく同一だということである。

だが、これは感受性の問題なので、人によって意見も異なると思うから、私も強くは主張しないが、私は私の印象を信頼して話を進めたい。

やはり、この「書簡」もまた、アダムスキーがどこからか入手した国務省の古い用紙を使って、どこかのタイプで自らの文章を打ちこみ、自らの評判の裏打ちをしようとした？ と私は考えるのである。

もしそうだとしたら、これもまた、アダムスキーの方策の一つと考えることができると思う。彼は、あらゆる手段で、ぬけぬけ自分の主張を客観的に裏付ける証拠をつくりだし、さらにその立場をより強固にするための背景をもつくりだそうとしたのだ。

いずれにしても、アダムスキーの物語は、今日の科学的知識から考えて、どうしても真実性のないものと思えない。

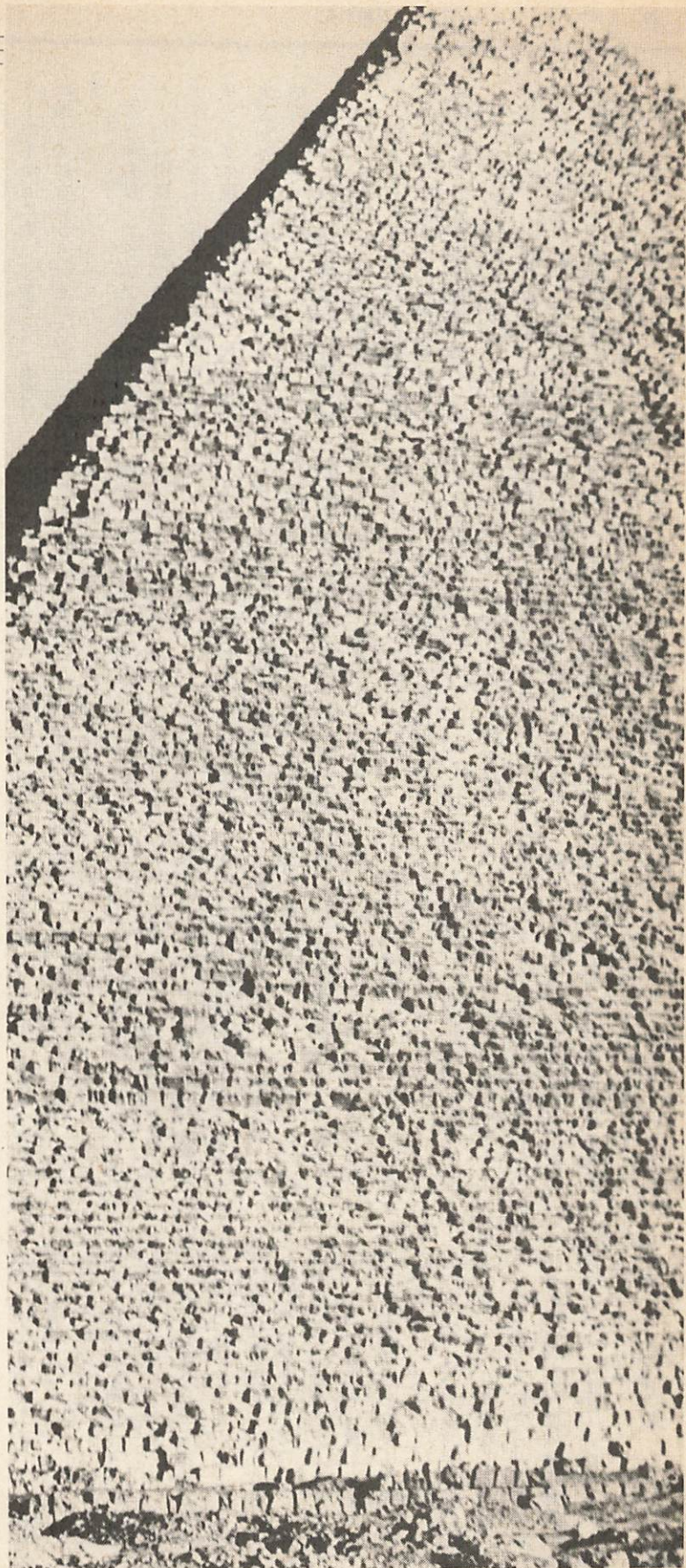
かつて、だれかが言ったつぎの名言のように、こんなまやかしのもの、ゲテモノは、西の海にさらりと投げ捨てて、本当の空飛ぶ円盤の謎の解明につながる、正しいUFO研究の方向に進もうではないか？

「死者をして永遠に眠らしめよ……」

次に、ピラミッド内における生体への作用について考えてみよう。ピラミッド内において、生体は乾燥するといわれているが、これを電磁気学的に考えてみる。水は磁化されると、液状結晶の強くなった状態になり、逆に磁気を取り去ると水は水蒸気になりやすくなる。これは、磁場が熱を与えると弱くなること、および、熱を与えると水は気化することから推測される。したがって、ピラミッド内において、物が乾燥するということは、磁場を収縮する作用が働いていると考えられる。ピラミッドの形は鉄の結晶構造——鉄の結晶形体は正八面体である——と似ており、その形体ゆえに、磁気に敏感に作用する性質を持つといえよう。その作用はピラミッドの頂点付近で顕著であり、上空に熱エネルギーを出すための磁気異常を発生させる。

このように、ピラミッドが地球上の磁場に影響を与えていることを考えると、従来、ピラミッドは π の発見を記念した建造物といわれてきているが、より深い意味を持っていると考えざるを得ない。2年程前、バミューダ海域において、ギゼーのピラミッドと同等のピラミッドが発見されたが、この場所はギゼーのピラミッドと同緯度上にあり、その経度はちょうど90度離れた地点となっている。ピラミッドの存在による磁気異常が、地球の運動に影響を与える程重大なものであると仮定すれば、これらのピラミッドと同じ緯度線上に、それぞれ90度ずつ離れてあと2個のピラミッドが存在するはずである。なぜなら、地球の表面上で同緯度があり、しかも正方形を形づくる4個の頂点にピラミッド群が存在すれば、地球の運動になんらの影響も与えなくなるからである。この計算によると、残り2個はハワイの北東、東シナ海もしくはその近辺の中国大陸に存在することになる。

以上、仮説を交えてピラミッドを考察してみたが、ピラミッドは今後より多くの研究を続けるに値する建造物であるといえよう。 ■



ピラミッドの幾何学的考察

——その生体への影響をさぐる——

太田 明(投稿)

エジプトのピラミッドについて、その幾何学的な精密さは様々な角度から研究されている。特に、その四角錐の底辺の一辺の長ささと高さの比は、円周率をもとに計算されるものであり、ピラミッドは円周率の発見を後世に残す建造物であるとする定説がある。しかし、円周率の近似値が当時、どの程度まで知られていたかということと、ピラミッドの形体の持つ電磁気学的な意味を考察すると、非常に興味深い仮説が成り立つ。そこで、まずピラミッドにおける円周率の近似値を考えてみることにする。

〔第1図〕は半径1の円が $\frac{1}{4}$ 円周回転した図である。すなわち、

$$OO' = \frac{\pi}{2}, \quad OX = \frac{\pi}{4}$$

となっている。そして、中心Oと両円周の交点P、Qを結ぶ三角形OPQは〔第2図〕クフの大ピラミッドの断面の三角形HABと相似な図形となっている。ただし、2点A、Bは底面の正方形の対辺の中点である。ところで、〔第1図〕から明らか

のように $\sin^{-1}\theta = \frac{\pi}{4}$ となっているが、 $\pi \div 3.1415927$ を用いると $\theta = 51^\circ 45.45'$ となり、現実のピラミッドの $\theta = 51^\circ 52'$ と比べると $6.55'$ の誤差を生じてしまう。この誤差は無視できるものであろうか、あるいは、建造者の能力がそこまでの正確さを持ち得なかったのであろうか。

ピラミッド建造は周知の通りの大事業であり、特に方位の正確さにおいては比類ないものである。方位と角度とでは、考えるまでもなく、方位の方が精度を保つ上で困難さがある。なぜなら角度は視覚に訴えるものであるのに対し、方位は目で見

ることができないのだから。したがって、 $\theta = 51^\circ 52'$ には何か別の意味を与えるのが妥当のように思われるのである。

〔第3図〕は円Oに内接する正方形と、円O'に内接する正六角形をかき、さらにその正方形と正六角形のそれぞれに内接する円をかいたものであるが、この2円はほぼ接している。2円O、O'の半径を1とすれば図で、

$$OA = \frac{\sqrt{2}}{2}, \quad O'B = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

となっているから、 OO' は $\frac{\sqrt{2}+\sqrt{3}}{2}$ に近

似できる。〔第1図〕で $OO' = \frac{\pi}{2}$ だから、 π は近似的に $\sqrt{2}+\sqrt{3}$ と分割できることになる。そして、 $\pi \div \sqrt{2}+\sqrt{3}$

として、 θ を求めると $51^\circ 52'$ が得られるのである。つまり、ピラミッドにおける円周率の近似値は $\sqrt{2}+\sqrt{3}$ となっているわけである。

さらに考察をすすめ、〔第2図〕

の四角錐の斜辺HCの長さを求めてみよう。HA=1とすれば、四角錐の高さは $\frac{\pi}{4}$ であるから、

$$AC = \frac{1}{2}AB = \sqrt{1^2 - \left(\frac{\pi}{4}\right)^2}$$

$$HC = \sqrt{AC^2 + HA^2} = \sqrt{1^2 - \left(\frac{\pi}{4}\right)^2 + 1^2}$$

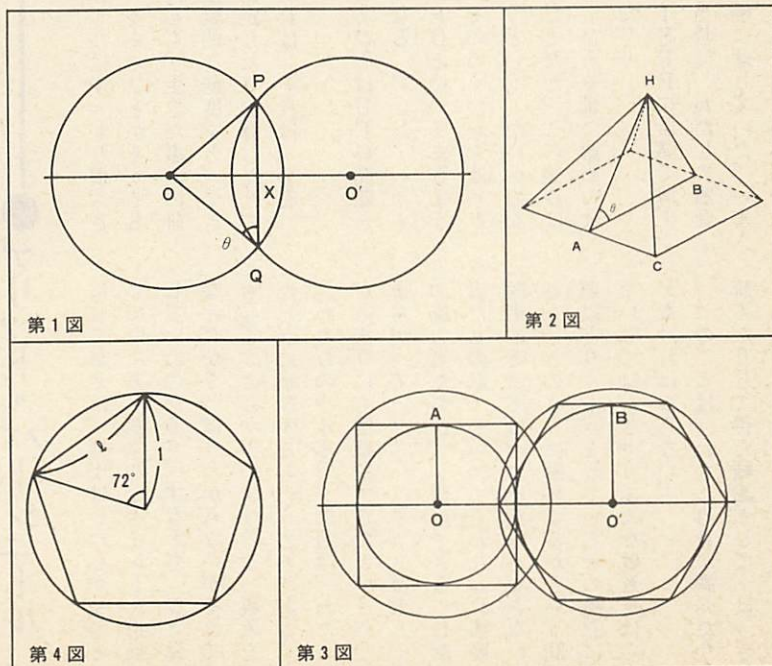
$$\div 1.1752931$$

となるわけだが、この数値は半径1の円に内接する正五角形の1辺の長さに近似する。すなわち〔第4図〕すなわち〔第4図〕で、

$$l = \sin 36^\circ \div 1.175575 \text{ となるから、}$$

$$l/H C = 1.00024 \text{ となっているのである。}$$

以上を総括すると、ピラミッドには、円に内接する3種の正多角形の1辺の長さが表わされているといえるが、これはあながちこじつけとはいえない。



第1図

第2図

第4図

第3図

● フォローアップ

ハイネック博士を批判した 天文学者の転向論文

● ゲリット・バーシユール

世のなかで物理的事実とみなされているものの範疇からとすると、はみ出しがちな現象を研究しようとする、ひとからとかくのレッテルを貼られることを覚悟しておかねばならない。なぜだろうか？ どうやらこれは信じるということについてわれわれのあいだにかなり厳格なルールが存在することからくる当然の帰結らしい。

天文学を例にとると、そこでは、原子や分子からなる宇宙、恒星や星雲や惑星やそのほかさまざまな現象を含む宇宙、これが研究の対象になっている。われわれが基本的にいだいている先入観にしたがえば、宇宙の現象はすべて、物理と数学の基本法則のみを用いて、いつの日かかならず説明しつくされるはずである。その意味で、基本法

則とどうもなじみそうにない現象については、その「事実性」を「否認」する必要がある。

こうして、天文学者たちはもっぱら観念の世界でのみその精勤ぶりを発揮し、新しく発見された現象すべてについて、なまじりうるかぎりの精巧な物理モデルをつくりあげる。

宇宙の大爆発による生成の問題が、どうにも手に負えない難問として残されているが(たとえばRobert JastrowによるGOD AND THE ASTRONOMERS参照)、そのほかの点では、天文学者たちの仕事はじつにうまくいっている。

信じるということについての基本的なルールは、物理的な宇宙を扱う際の科学的な方法の一部をなしているが、

わたしはこのルールにすっかり慣らされてしまった。多くのひとがそうであるように、わたしも、生きた事実の研究にたいして懐疑的な態度をとってきただ。物理的に測定したり記録したりできないものがあれば、それは「事実」ではない。

しかし、そこでひとはUFO問題とぶつかることになる。アレン・ハイネック博士は、UFOの持つさまざまな性質について、そのいくつかをはつきりとつきとめようという、たいへんな試みをしてきたひとだが、この試みは最近ある映画で、ひろく世に認められるところとなった。

1974年のISPEの会議で博士の講演を聞いた当時は、わたしの懐疑的な傾向は最高潮に達していた。いま

にして思えば、博士はわたしが見落としていたある基本的なポイントを指摘していたのだらう。すなわち、ひとは、なんだかさっぱりわからないがそれでも「事実」としかいいようのない現象を、たしかに経験するということである。

わたしのハイネック批判は、わたしがあまりにも懐疑的すぎたという点でまちがっていた。ハイネック博士とその協力者たちが、「信用できる」目撃者たちの話、といってもわれわれ懐疑論者にとってはおよそ意味をなさない話を、どのように解釈するかという問題にとりくもうとしているその熱意にたいしては、じゅうぶんな敬意をはらわなければならない。

このことは、わたし自身が調べたり読んだりして得た結論として、はつき

りと言うことができる。UFO問題について博士がどのようにして独自の仕事を展開していくのか、また、すべてのUFO現象にあてはまる単純な説明がはたして存在するかどうか、こういったことについてあれこれとアラ探しをしようと思えばいつまでもそのタネはつきないだろうが、これだけははっきりしている。すなわち、あるひじょうに複雑な問題にながしかの光を投げかけようとして、自分たちにできることを地道に実行しているひとたちがいるということである。

わたしがこれを書く理由

わたしがこれを書いているひとつの理由は、この問題に関心があるひとたち、とりわけ、公然と懐疑的な態度を示しているひとたち（つまり「かたくな」な科学者たち）にたいして、われわれがふつう事実とみなしているもの、すなわち宇宙を構成しているさまざまな要素のわれわれの単純なモデルと、まったく調和しない諸現象があり、それについて信じたいほど多くの証拠が現に存在することを示したいからである。

おそらく、ひとはこのようなことを自分で経験してはじめて、信じることができるのかもしれない。あるいは、

ほかのだけれど、明らかに事実と思われる現象をじつさに経験したということについて、すくなくともその可能性を認めることが、なんらかの結論を引き出すための前提となるのだろう。だが、その経験をどう解釈するかはまた別の問題である。

ハイネック博士の1974年の講演にたいするわたしの批判的な論評は、あるひじょうに複雑な問題に、もっとはつきりとした展望をあたえようという、どちらかというとかたくなな科学者の側からのまじめな努力であったと考えていただきたい。

UFO問題は、たとえばまったくのつくり話など、本筋からはずれた要素をいろいろと含んでいて、わたしたちがこの問題を完全に解明することは不可能のように思われる。おそらく、答えはいくつかあって、そのどれかが正しいという性質のものかもしれない。

また、そうであってはならないのだが、UFOというひとつのカパンのなかに、いろいろな現象がいつしよくたに詰めこまれているというのが実情かもしれない。

わたし自身の最近の調査や経験、それに「かたくな」な科学者たちが「事実ではない」として攻撃の対象にしているような記事から得た知識をもとに

していえば、いまのわたしは、ふだん目にふれるよりずっと多くのことが世のなかで起こっているという事態を認めないわけにはいかない。ジャック・ヴァレーは、ユーフォロジについてこれまででもっとも興味深い本（THE INVISIBLE COLLEGE）を著したひとだが、このヴァレーの理論と問題理解をくわしく検討してみるならば、UFO問題が、宇宙のどこから地球を訪れている宇宙船があるかないかなどという問いをはるかに越えた問題であることに気がつくだろう。

さらに、どういったひとがどういった種類のUFOに出会ったなどという話をあれこれ並べたてることも、あまり意味があるとは思えない。特定の個人の経験内容は、そのひとのものごとを理解する能力に左右されるし、またひとがなにかを知覚するときは、その情報ルートはつねにごく狭いものでしかないからだ。

わたし自身の先入観

本題にもどろう。以前に書いたもののなかで、わたしはハイネック博士を先入観と誤った価値判断の持ち主だと言った。だが、わたしも先入観にとらわれていたのだ。先入観は、われわれすべてが持っているものにち

がいない。さらに、われわれの判断も、過去の経験と、その経験の解釈とから構築される、ある枠組を基準にしてなされるものなのだ。われわれをとりまく宇宙を理解するには、この宇宙をモデル化する方法をさがし、それによって、より深い宇宙理解と、さらに進んだモデルをつくる可能性とを追求しなければならぬ。

今日の科学は、宇宙について知りうるかぎりのことが、たんに観測方法と測定方法さえ正しければすべて明らかになると教えている宗教のようなものではないだろうか。この教えは、物理的な宇宙については当たっているかもしれない。しかし、この世に存在するものの持つさまざまな性質のなかには、^①秤や物差しで計れない要素がいくつもある。

いまのところ、これらの要素は、われわれが科学と呼んでいるものの域外に置かれてしまうことになるのだろう。だが、それにもかかわらず、こういった説明のつかない現象の根底には、ほかならぬ科学者の存在、つまり、生きた観測者の存在がかかわっているかもしれないのだ。

いっぽう、懐疑論者はこう反論する——それはあんまりだ、われわれの手に負える問題ではない。

しかし、いまのわたしならこう答える。偏見のない科学者としてわれわれ自身の存在を探究しようと思えば、われわれの知識の辺境に、いまの科学の埒外にあるとしかいいようのない現象が見えてくる、というたいへん現実的な問題におそかれはやかれ直面しなければならぬのである。

基本法則と明らかになじます、これ以上研究しても無駄だとして切り捨てられてしまう現象とは、じつはこういうものなのである。ハイネック博士とその率いるUFO研究センターが現在とりにくんでいるのは、まさにこの種の現象なのである。

ひとりの科学者がこういった「超自然的」な現象を扱おうとすることは、変わり者よばわりされる危険をあえておかすことを意味している。もちろん残念ながら「ほんもの」の変わり者もまるでろうそくに引き寄せられる蛾のようにこの種の問題にとびついてくる。だが、変わり者かどうかを判断するのはいったいだれなのか？ わたし自身の個人的な見かたからすると、わたしは過去において、ハイネック博士にたいし不当にきびしい立場をとってしまったように思う。

いまでは、わたしも博士と同じ虫にとりつかれている。ひとたびこの虫に

とりつかれると、宇宙にはわれわれの目に直接ふれる現象以外のものも存在することを認めるようになるのだ。

もうひとつの超越的な問題

いままで順調な道を歩んできた科学者が、たとえばUFO研究のような一種難解な分野にかかりあうことは、科学者としての自殺行為に等しいという声をよく耳にする。しかしそれならば、なにもないところから（あるいはすべてがあるところから？）宇宙がどうしてできたのだというような、べつの種類の「超越的」な問題をどう扱うのか、仲間に尋ねてみるがよい。なんの答も返ってこないだろう。

探究者としてのわれわれのつとめは、つねに広い心を持ちつづけることにあるはずだ。ひとの研究についてはとやかく言いながら、自分は「ノー・コメント」ではすまされないだろう。

わたしがこれを書いているのは、いまでは自分はUFOの存在を信じていると言ってみずから科学の世界から葬り去るためではない。そんな単純な問題ではないのだ。この種のことからを扱ううえで、つまり、奇妙な現象がどのように知覚されるかを研究したり自分の経験をひとに伝えようとしたら（いいかえれば、ひとにもわかるよう

なことばで説明しようとしたら）するうえで、問題となるのはやはりなんといつても、そもそもこういった経験にかかわることがすべて、今日の科学者や科学の手に負えないものであるらしいという事態に、われわれがようやく気づきはじめたばかりであるということだろう。

「目にふれる現象」以外のものがあるとうに宇宙に存在するとしたら、それを扱うにはどうしたらよいのだろうか？

まえに書いたもののなかでわたしがとくにハイネック博士を批判したのは博士がパプア島事件について述べたときに、ジル神父を信頼できる目撃者と評価した点であった。博士がああ話をしたのはウォーターゲート事件で世のなかが大さわぎをしていたところで、当時われわれは、このさきだれを信じたらよいのかさっぱりわからないといった霧囲気のなかで生活していたことも事実だ。

しかしいまにして思うのだが、この種の研究をどこまで進められるかは、最終的には目撃者個人の誠実度にかかっている場合が多いのだ。

誠実度とはつまり、このひとは自分にとっての「事実」をほんとうに経験したのか、あるいは、つくり話でひと

をだまそうとしているのか、または、ちよつとひとの気をひきたたくて軽い気持ちでウソをついているのか、といったことだ。ひとが経験したことを解釈するためには、人間について、人間がどのように行動し、どのように宇宙を知覚しているのかについて、ずつと多くのものを学ぶ必要がある。

さらに、われわれ自身が、自分たちなりの宇宙理解にもとづいてどのような宇宙モデル化しているのかについても、学ぶべきことはまだまだある。

そうなると、どの宇宙理解を考慮の対象として選ぶかといったことまで、問題となってくる。たとえば、今日の神祕は、21世紀のわれわれにとつての神祕と同じものののだろうか。あるいは、やがてわれわれの宇宙観に劇的な変化が起こり21世紀のわれわれは、いまとりにくんでいる不思議な現象の問題とはまるでちがった問題に直面することになるだろうか。もしそうなれば、いまはまだ神祕とされている不思議な現象など、なぜもっと早く解明できなかったのか、それこそが不思議に思われるのではないだろうか。

UFOの問題を天文学者が扱うことが、その解答を宇宙に求めることを意味しているとすれば、わたしはUFO問題は天文学者の守備範囲ではないと

心に落ちつきを！ 体に爽快感を！

—新しい自己開発と自己コントロールテープ集—



心のクリーニング法テープ (新しい心の安定法)

—心に大きな落ちつきと安定感を！—

自分の心をどこまでも客観的に見つめ、引出していくことによって自分の心を常に冷静で、さわやかな心に戻していく為の自己コントロール用訓練テープです。あなた自身に大きな落ちつきと心の安定感が得られます。(「文化放送」取材内容同時収録)

- 心の落ち着きや安定感を高めていきたい方へ…
- 心のあせりや空しさ、心の不安等を自分自身で取り除いていきたい方へ…
- 心のだるさや疲労感を取り除き心の豊かさやみずみずしさを取りもどしていきたい方へ…

—完全手引書付—



S.E.I.式新自律訓練法

—全9ステップ完全習得テープ—

—全く新しい自律訓練法です—

—従来の自律訓練法よりはるかに確実で、より高い効果が期待できる今話題の新自律訓練法テープです—

今迄の「自律訓練法」は「自律神経の働き」そのものが弱っているにもかかわらず、それを言葉で「脱が重い」「暖かい」等という自律訓練の結果(現象)の方から入っていく事に習得の困難さや効果の低さがありました。この「S.E.I.式新自律訓練法」は私達の自律神経の働き、そのものを身体の内側から確実に大きく開発しながら、結果的に私達の自律神経や心身の働きを大きく高め自分自身を深いトランス状態に導いていきます。それが全体で9ステップ(段階)に分かれ、キメ細かに設計されていますから、このテープを実践していけば誰でも確実にこれを習得していく事が出来ます。

- 心身の自己コントロールを自分で高めたい方へ…
- 疲れにくい爽やかな心身と自分を作りたい方へ…
- 自律神経や身体への働きを高めていきたい方へ…
- 自己催眠効果を高め自己暗示力を深めたい方へ…
- 自己集中力を開発していきたい方へ…

—「自己暗示訓練用テープ付」全内容6本セット—

行動意欲増強(心の自信回復)テープ

—別ページ参照—

名	テープ数	価 格	分割の場合
1 心のクリーニング法テープ	1 個	4,200円	
2 S.E.I.式新自律訓練法	6 個	22,800円	4,000円×6回
3 行動意欲増強(心の自信回復)テープ	1 個	5,200円	

特別価格

- ①+②セット価格 24,500円
- ②+③セット価格 25,600円
- ①+②+③セット価格29,500円(分割の場合、5,000円×6回)

お申込みはハガキ又は電話にて、下記へお申込み下さい。(品名、又は希望セット内容及び支払い方法明記の事)代金は現品到着後と払います。

S.E.I. 自己確立科学センター U-5B係
〒160 東京都新宿区荒木町5-9 津の守会館5F
TEL. 03(357)7619(代)

「変化」を認めるとき

いまでもそう思っている。むしろ、解答があるとすれば、それはひとつの惑星上に住むひとつの種としてのわれわれ自身のなかにこそ求められるのではないだろうか。こうして、知性を持った生物が宇宙の巨大なスケールとどう調和していくのかが、しだいにわれわれの目に明らかになってくるだろう。

さまざまなアプローチを試みようとしている。
物理法則があらゆる事象の原因と結果を定めるものでないことは、すでにわれわれの知るところである。たとえば、量子力学や宇宙大爆発生成論などがそう。どちらも因果律に厳密に従っているとはいえない。(アーサー・ケストラー著「偶然の本質」1972年参照)だがそれにもかかわらず、科学者が問題をとりあげるときは、科学者の態度というの、あらゆる事象は因果律によって説明されるはずだといったものにかんがりがちなのである。

それは「事実」の探求に責任を感じているわたしにとっては、(以前の)懐疑論者や研究者たちの少数派の集団が、事態のなんであるかをつきとめようと広範な努力をつづけていることにたいして、それを支持する一文を発表することが本質的な意味を持っているように思われるのだ。このようなものを書くことによって、逆にわたし自身が、脱線科学者だのユーフォロジへの転向者だのといったレッテルを貼られるおそれがあることは、じゅうぶん承知しているつもりである。念のためにいっておくが、どちらのレッテルもまちがっている。しかし、信じるということ

についての世のなかのルールからはみだした現象にかなして、すくなくともその「事実性」を認めるぐらいのことは、宇宙の本性をさぐる探求者を自負しているわれわれひとりひとりに課せられた責任であると確信する。
これからわたしは宇宙についてさらに学んでいくつもりであるし、また、事実というものについてのわれわれのモデルも変わることだろう。このような変化をみとめたときにはじめて、われわれは宇宙とわれわれ自身とのよりよい理解に向けて、希望を持つことが許されるのである。

資料提供 A・ハイネック/遠山峻征氏

真珠色に輝く

針状UFO

1977年5月12日、私の友人のリー・エルダースとトム・ウェルチの2人が、アリゾナ州フェニックスの東の空に出現した、真珠色に輝く針状の不思議な物体を、一連のカラー写真に撮影した。

私のUFO研究も30年になるが、こんな物体にはまだ出会ったことが一度もない。ある意味ではジェット機の飛

行雲にも似ていたが、そんなに簡単な説明ですまされる代物ではない。それは30分以上にわたって観測されたが、

相当な勢いで空中を動きまわっていたにもかかわらず、雲のように消えてなくなるといった様子はなかった。最初発見されたときには高空にいたが、南（東の方だったかもしれない）の方へ動き出すと高度を下げて、いったん停止し、ふたたび上昇をはじめて北の空へ戻っていった。

最初に発見したのは北32番街のスパニッシュ・ガーデンズ団地のプールで日光浴をしていた人たちである。数分間見ていたあと、そのうちの1人がリーのアパートで昼飯を食べていたリーとトムを呼びにいった。

この現象を撮影しようと、2人とも

この宇宙空間には無数の宇宙船が航行をつづけている。付近で起きた超新星の爆発からのがれたのか、白色矮星となりはじめた彼自身の太陽から脱出したのか、あるいはみずからの意志で銀河系航行の旅に出たのか——。巨大な宇宙船が世代を重ねながら宇宙を旅する史上最大スケールのUFO論。

カメラを手にして外に飛び出した。2人はそれぞれ何枚かの写真を写したのだが、もう1枚写そうとしてファインダーをのぞくと、物体は突然消えてしまった。1人は望遠レンズを使用していたので、視野をさまたげられることはなかった。

彼は物体が北西の方へ矢のように飛

び去るのを見た。そして2人とも、この不思議な物体を何枚か撮影することに成功したのである。

その物体がふつうのUFOとはあまりにもかけはなれているので、次の事件が起これなかったらこの報告も大して注目されないまま終わったことであろう。ところがそれから17日後の5月29日午後6時ごろ、ツーソンに住むブルース・ジンマーマンが、同じような針状の飛行雲のような物体（複数）がツーソンの北の空を東から西へ飛行しているのを撮影したのだ——5機の物体が波状飛行をしたうえに、横滑りまでして見せて、西の地平線に消えていったのである。これらの物体は、直径にくらべて全長がびじょうに長かったので、最初は宇宙船とは考えられなかった。

これらの事件も、私の友人であるレ

考察

UFOの起源

(第1回)

AN ORIGIN OF UFO

ウェンデル・ステイブンス特別寄稿

新連載

イ・スタンフォードがいなかったら、他の多くの報告と一緒にそのままとお蔵入りとなってしまうかもしれない。レイはUFOの研究者として長い経験を有するばかりでなく、テキサス州オースティンの近くでは、スターライト・インターナショナル計画の指導者という立場にもある人である。

1978年レイは幸運にも、グラスからフェニックスに向かって高空を飛ぶジェット旅客機から、例の針状の雲のような物体を目撃し、それをカメラにおさめたのである。彼はちゃんと準備をしていたのだ。左の翼の端の向こ

うの空に特徴のある細長い雲のような物体を発見したとき、彼のひざの上には、偏光フィルターをつけた8ミリカメラが置かれていた。その物体は奇妙な脈動を続けていたので、雲ではないことはすぐ分った——フェニックスの東の空で目撃されたのと同じように数秒間という短い周期で長くなったり短くなったりしていたのである。彼は最初写真を数枚撮影したのち、偏光フィルター付きの望遠レンズに持ちかえて数フィートのフィルムを回しつづけた。

偏光フィルターのおかげで、物体を取巻くかすみのような大気の奥の、先

▶1975年5月12日、アリゾナ州フェニックスでリー・エルダース氏が撮影に成功した針状UFO

▼フェニックスの撮影現場で話し合う右から2番目がW・スティーンズ氏、2人おいた後向きの人物はエルダース氏



端を切り取ったような円筒形の胴体がよく見えた。物体は両端からブラズマの炎を脈打つように吹き出している。炎は物体の全長の3倍から5倍の距離ほど噴出しては消えていったという。私はフェニックスの写真を8インチ×10インチに引き伸ばしてみた。ところが

どうだろう。驚いたことに、針状の物体の両端から吹き出されるプラズマの炎の跡がこの写真でも認められたのである。スタンフォードは、UFO事件のこの現象について広範囲な研究をおこなっている。

スタンフォードは、フェニックスの物体の大きさと距離を推測し、直径は150フィート、全長3000フィート、撮影距離は20〜30マイルという結

論を得た。彼が旅客機上から撮影した物体と比較したうえでの結論である。

私たちは古代文学を研究し、インド古代史では、「ヴィナス」、アトランティスでは、「ヴァリクス」と呼ばれる航空機がしばしば登場することを発見した。古代インドの聖典である「ヴェーダ」には、高度な文明を持つ人たちが「ヴィマナ」に乗ってやって来て、当時の人々に技術的知識を与えたと述

べられている。

異星人とのコンタクト

トは毎年7万回

つい最近ブリュッセルのクラリーネム研究所から郵送されてきた関係記録の抜粋には、この研究所で行なったUFOの起源に関する研究が述べてある。

クラリーネム研究所は、この数年間多数の科学者の研究を総合した結果、宇宙こそは進化した人類の自然生息地である、という基本的結論に達した。

彼らはこの生命を生み出す惑星を、ある種の果栽培器にたとえている。そこでは、生命が誕生し、知的生物にまで進化し、技術を発達させたあと、二度と帰らぬ旅に出ていく。故郷である惑星を離れるほどに技術を発達させた人類は、生命のために望ましい条件をすべてたずさえていくことができる。だから故郷の惑星に戻ることも、また他の惑星に行くことでさえも、すでに学び終えた教訓や試練をくり返して経験するいわばあともしりではないのだ。彼らのすばらしい創造物が彼らの望むものは何でも作り出してくれるというのに、何を好んで大地を耕しに戻る必要があるだろうか。

さらに彼らは、他の惑星でまだ進化の途上にある人類を研究し、その人類の生活体験をもとにして、おびやかすことなく彼らに援助の手をさしのべるためにその惑星を訪問する可能性はあるであろう。だからといってあともどりの仲間入りをしたいと願う者はほとんどいないであろう。多くの者にとつてそのようなことは実際上不可能だからだ。

惑星上の資源の枯渇、人口過剰、居住性の悪化、太陽の死や超新星の爆発などの大災害といった宇宙の自然現象が故郷を離れる動機となりうる、と同一研究所の科学者たちは指摘する。そのように進歩した社会なら、事件の発生を数千年以上も前に予知することも可能だろう。それだけ時間があれば充分である。人口の急激な増加も有力な誘因となる。その場合人々は、何回にも分かれて故郷を離れることになるだろう。

危機が過ぎ去ったあとも同じような運命が、環境に順応して生き残った人々を襲うかもしれない。彼らは以前の有力な理性的種族と同じようにやがて技術を発達させ、同じことをくり返すようになるだろう。

さまざまな計算にもとづいて行なわれた研究所の科学者たちの計算による

▲西インドネシア海上に出現したUFO





▲超新星「かに」星雲。新星は周期的に爆発し、ちぎれ雲みたいになってしまう

と銀河系内にある人類の生息が可能な惑星——私たちの地球も含めて——が異星人とコンタクトする回数は年間7万回台に達するという。UFO目撃報告を基礎として考えれば、この計算は地球人と異星人の推定コンタクト回数と比較的よく一致している。また実際に体験されたUFOとのコンタクトケースが無数のパラエティに富んだものであることがある程度まで説明できるのである。

この研究によると、種々様々なUFO

Oの乗員たちは、前述したような脅威にさらされて、故郷である惑星を脱出した人類が避難所として建造し、宇宙を航行している人工世界から出発したものではないかと考えられる。

これらの人工世界のうちあるものは全長数百キロ、直径数十キロと推定される巨大な中空の円筒である。これらは人々を乗せて船のように宇宙を航行し、小さな国家ほどもあるその内部で、何代にもわたって住み続ける人々にとっては、彼らの世界でもあり「世界船」

とても名づけたほうがピッタリくるのではないかと、と科学者たちは考えている。

また、それらは1隻だけで航行するかわりに、光速度なら数秒とかからない数百キロの間隔で10隻程度の船団を組んでいることも考えられる。これらさまざまな「世界船」は、人口構成だけではなく、気候や内部の地理的配置からみてもいろいろと変化に富んでいることだろう。そうであれば、この船団の住民たちは地球でわれわれが楽しんでいるような変化を求めて一つの世界船から他の世界船へと訪問して回ることもあると考えられる。

それぞれの「世界船」の内部表面には、たぶん100万人もの人々が住んでいることだろう。電気的に数千度まで熱せられた面積数平方メートルの酸化金属でできた「人工太陽」がむらなく配列されて、下方の「田園」を照明し、熱を与えているかもしれない。これらの酸化金属——そのあるものは高温の下では良導体となる——は電磁誘導で熱せられているとも考えられる。計算によれば、そのために必要な面積は、照明される面積の10万分の1以下でよい。このような人工太陽が、周囲に損害を及ぼさないように反射器の底に置かれ、数キロおきに配置されている。

る光景を想像してみてもほしい。

“宇宙船”飛来の

三大理由

生命の住む惑星を持つ太陽系の付近を通過するときこれらの「世界船」の中には、しばしば目撃され、「葉巻型UFO」と騒がれているずっと小型の宇宙船——往復便——を発進させるものもあるだろう。葉巻型宇宙船が地球の大気内に入ると今度はさらに小型の宇宙機が発進させる。これらの小型宇宙機が私たちの地球を訪問し、着陸して植物、土壌、動物などの標本を採集するのである。ちょうど私たち自身が他の惑星に着陸したときにするようにである。

私たちは宇宙船の着陸の記録をとりはじめてから30年あまりであるが、その回数はまことに多い。ジャック・ヴァレーによれば毎年数万回にのぼる。しかし着陸は、ふつう夜間人里離れた地点で行なわれるため、目撃されるのは、ごくわずかである。そのうえそれらの目撃例も、嘲笑されるのがいやだつたり、または無頓着からあるいは単に目撃者が報告の仕方を知らなかったりして、報告されるのはそのごく一部分である。これらの訪問者の外観は驚

くほど多種多様であるため、彼らの故郷である惑星も地球付近の限られた範囲内でなく各方面におよんでいることは明らかである。

だから、星々をへだてる距離が気の遠くなるほど長いものであり、生命を生み出した惑星はそのごく一部に過ぎないことを考えれば、訪問者たちがやってきてまた帰っていくには、大変な時間を要するだろうことも明らかである。地球上で知られている生物ではその生命が現在より100倍も長からうとは考えられないことである。最大限

100人程度を収容する宇宙船で、何代にもわたって目的を受け継いでゆかなければならないだろう。

したがって魔法にでも頼らないかぎり、残る答はこの物語の最初の部分でお話したことに帰着するしかあるまい——もちろん、私たちの太陽系の周辺を航行する世界船の数が充分多いと考えるのはこの世界船の数の多さという点であり目撃報告が毎年数千件にも達する理由を説明するに充分な数の世界船の航行が行なわれていること

は、やがてお分かりになるはずだ。

この問題については、3つの場合を考えなくてはならない。

1、付近で起こった超新星の爆発による惑星放棄。

2、私たちの太陽系同様、彼らの太陽が最終的に白色矮星となる前に1万倍もの輻射熱を発する赤色巨

星となるのを予知した住民たちが、その惑星を放棄する場合。

3、世界船がその惑星の人口のほんの一部を乗せて自分たちの意志で銀河系航行の旅に出る場合。

この第三の場合には、私たちが驚かせる事実がかくされていることはやがてお分かりになるはずだ。

超新星出現による惑星放棄

星が爆発を起こして数時間で私たちの太陽の10億倍から1千億倍も明るく輝くのが超新星である。その星に惑星があればむろん蒸発してしまうし、また——私たちに関心を起こさせるのはこの点である——それから数10光年も離れた太陽系の惑星上の生命さえ全滅してしまうだろう。

これらの超新星は、現在知られている割合では約30年に1個、銀河系の赤道面に近い腕の部分に特にひんばんに出現する。惑星から100光年の範囲内に出現する超新星についてはD・ラッセルとW・タッカーの、50光年の範囲内についてはM・A・ルーダーマンの研究がある。50光年以内の範囲でこのような大破局が起こる可能性は、1億年に1回以下と計算されている。

超新星が周囲に及ぼす悪影響で特筆

すべきものとして、噴出ガスの膨張のため発生する豊富な宇宙線をあげなくてはならない。超新星との距離が、30光年以下であればその強度は、私たちが現在地球上で受けている宇宙線の400倍にも達し、同じ強度が1000年間も持続する。このような宇宙線は原子を電離させ、その周囲の原子との関係を変化させる。これがDNA（デオキシリボ核酸）の分子の長させん状構造に起こると、核酸の構成部分であるヌクレオチドの1個が変質したり位置が変わったりする。それがもし精子、卵子を製造する細胞、または直接胚種に起これば、その結果生まれてくる子供の成長に変化が生じる。これが突然変異であり、子孫に遺伝する。突然変異も現在の400倍に増加するだろう。

新星とそれから生じた膨張ガスから

自転速度 (km/秒)	光度 (太陽=1)	近太陽系内の星の数 (1000 PC ³ 、つまり3万立方光 年の空間あたりの星の数)
275~150	> 300,000	0
160 165	13,000 630	B0~B9: 6
150 125	80 20	A0~9: 9~10
75 20	6.3 2.5	F0~F9: ~10
< 0	1.3 1.0 0.8	G0~G9: ~11
< 10	0.4 0.16	K0~K9: ~12
< 10	≤ 0.06 ≥ 0.001	M0~M9: ~65

スペクトル分類	説明(各部類はそれぞれ10の下位部類に分類される。例：B0～9)	星の温度 (単位力氏1000度)	星の質量 (太陽=1)	星の半径 (太陽=1)	安定寿命 (年)
O	きわめて熱い。2イオン化ヘリウム優勢。	50,000	40	≥ 18	$< 8 \times 10^5$
B	1イオン化ヘリウムおよび水素優勢。B0からB9へ増加中。	B0: 25,000 B5: 15,600	17 7	9 5	8×10^6 8×10^7
A	水素優勢。2イオン化カルシウムAOからA9へ増加中。	A0: 11,000 A5: 8,700	3.5 2.2	2.8 1.7	4×10^8 2×10^9
F	2イオン化カルシウム優勢。鉄その他の金属FOからF9へ増加中。	F0: 7,600 F5: 6,600	1.8 1.4	1.3 1.25	4×10^9 6×10^9
G	2イオンカルシウム優勢。鉄その他の金属豊富。	G0: 6,000 G2: 5,800 (太陽) G5: 5,500	1.07 1.0 0.4	1.03 1.0 0.93	11×10^9 12×10^9 17×10^9
K	金属を多く含有。CHおよびCNがKOからK9へ出現中。	K0: 5,100 K5: 3,900	0.8 0.7	0.75 0.55	28×10^9 7×10^{10}
M	極赤色星。酸化チタン(MIO)がMOからM9へ豊富に増加中。	MO: 3,600 M5: 3,000	0.5 0.4	0.25 0.11	$> 10^{11}$

第1表 スペクトル分類による主系列星の特性と分布(近太陽系)

はX線とガンマ線が発生する。しかし大気の妨害があるので宇宙線にくらべるとその害は小さい。だが太陽からの紫外線を防ぐオゾン層が減少したり消滅したりするから、紫外線から避難する必要が生じる。だがこれは——少なくとも人類にとっては——比較的容易なことである。

このような現象の影響をこれ以上くわしく述べるつもりはないが、ラッセルとタッカーの2人は、恐竜は太陽から約100光年ほど離れたところで起こった新星爆発のため全滅したのだと考えている。30光年という近距離を考えるなら、放射の強度は11倍となり、私たちはずっと苛酷な条件に苦しまなければならぬしその条件は大型生物には耐えられないものとなるであろう。生物が大型化すればその寿命も長くなつて悪影響の蓄積も大きくなるうえに、繁殖率は小さくなってそのため突然変異の発生率は高くなる。

たとえば、ネズミは人と違って数カ月で大人になり、年に数回子供を産む。つまり子孫の生育可能性が高いのだ。だが極端な話をすれば、ほとんど2時間ごとに倍增する微生物では放射線の悪影響への抵抗力ははるかに強い。実際、核反応装置の水槽の中で繁殖する微生物もいるのである。

放射線の強度と被爆の関係は次のように説明することもできる。培養基中の酵母菌細胞は、一定量の放射線を与えると3時間で死滅するが、倍增するには2時間しかかからないとすれば、死滅の速度より増殖の速度のほうが速いから、培養基の中では菌が増え続けることは明らかだ。いっぽう、人間の細胞の半数が3時間で死滅すると仮定すると、細胞の有機的複合体である人間自身は、3時間もたたないうちに死んでしまうだろう。

もし同量の放射線が10年——3時間の3万倍である——にわたって降りそそぐとしたら、死んでしまうのは彼だけではない。子孫を増やすどころか、人類自体が終末を迎えることになる。細胞はきわめて短時間で再生するという人があるかもしれないけれども、神経細胞や脳細胞は再生不可能であり、結果は同じことである。このように、30光年以内の近距離で超新星の爆発が起こると、人類は地球を放棄するか、または厚さ数メートルの岩石の陰で何世代にもわたって隠れていなければならなくなる。ここで強調しておきたいが、このような宇宙線の強度はまず第一に新星爆発に伴って起こる宇宙の磁場の形状の変化で決定されるものであり、予測不可能なことである。

放射線の強度と被爆の関係は次のように説明することもできる。培養基中の酵母菌細胞は、一定量の放射線を与えると3時間で死滅するが、倍增するには2時間しかかからないとすれば、死滅の速度より増殖の速度のほうが速いから、培養基の中では菌が増え続けることは明らかだ。いっぽう、人間の細胞の半数が3時間で死滅すると仮定すると、細胞の有機的複合体である人間自身は、3時間もたたないうちに死んでしまうだろう。

水中の動植物については、厚い海水が防護壁となってくれるだけでなく、魚類、その他の水中動物の成長サイクルが非常に短いことと、1回の産卵数が非常に多いために致命的な放射線被爆や、その結果の有害な突然変異を免れる率がきわめて高いことなどから話はおのずと変わってくる。ただし、成長サイクルが長く繁殖率が低い動物は別であって、彼らは海中から姿を消してしまっただろう。このことは、人類を含めた大型動物にとっては、地上でも海中でも同じことである。

毎年467個の星が危機に

私たちは、新星の爆発が近づいたために故郷である惑星を放棄しなければならなくなる文明が1年にどのくらいあるか推定しようとしているところだ。それは可能だと私は思うが、それには4段階の準備が必要となろう。

a、30光年以内の範囲に超新星の爆発が差し迫っている惑星がどのくらいあるか？

私たちの銀河系内の星間距離が平均5光年であることはすでに知られている。しかし、ほとんどの新星爆発が起

こる腕の部分では星が多く密集しているうえに、あちこちに集まって星団を形作っている。したがって実際には集中度がずっと高いわけで、爆発の迫った新星付近にある星々の平均距離は約2光年と考えてよいだろう。つまり、半径を30光年とした球の中には、約1万4千個の星が存在することになる。超新星は約30年に1度出現するから、毎年467個の星が1個の超新星から30光年以内の距離で危険にさらされていることになる。(14000/30=467)

b、これらの467個の星の中に生命の存在する惑星が何個あるのか？

そのためには、ある星が私たちの太陽の0.5から1.4倍の質量を持っていることが必要だ。つまりその星が太陽系同様F5からK5級の星であるということである。質量が太陽の1.4倍以上ある星のことはいっさい考えないことにする。それらの寿命が、生命が——少なくとも地球上で——知性を有する段階に到る45億年に達しないからである。質量が太陽の0.5倍以下のM0からM5級の星のことも考えないことにする。生命が存在する可能性がなさそうだからだ。

クラフト・A・エリックはこのような問題を詳細に研究した。太陽の付

名前の波動で人生は3度ツキを呼ぶ

人生は3度
転換する

キミの名前は前生の記憶だ!! 名前の中に前生の個性が示されている。その個性を知って運勢のツキをもっと強くしよう!

成功カード

使用法等は添付文書参照

個人別ガイドブック(9月発行)で成功する職業が決まります。歌手ならレコード大賞とれる人。小説家、作詞家、スポーツ選手、末は大臣、首相まで全て網羅されています。9月より5,000円になりますので、それまでにお買求めの方には9月中にガイドブックも差しあげます。2,000円

恋愛カード

〈只今予約受付中〉

個人別ガイドブックで知り合う好きな異性が決まります。名前の波動が異性を引き付けるのです。そして恋に成功する秘法が全て網羅されています。4月発売 3,000円

●ご希望の方はハガキに住所・氏名・生年月日・希望カード名を記入してアストロジイ宛にお申込みください。

チャンスタイムカレンダー
——プレゼント中——

株式会社 アストロジイ
東京都文京区本郷3-31-4

近の銀河系ではM0からM5級の星が全体の50パーセントを占めている。私たちが今考えようとするF5からK5級の星は約25パーセントにしかすぎない(第1表参照)。このようにして、ある超新星から30光年以内の467個の星のうち、問題になるのは、その25パーセントのわずかに117個だけである。

c、そのうち何個の星が惑星系を持つか？

フレッド・ホイルは、銀河系には約1千億個の太陽系が存在すると推定した。ヘルムート・アプトは1977年

4月に、北半球において肉眼で見える123個の太陽と類似している星の研究を発表して、惑星系を有するのはその約20パーセントだけだと結論した。その他は連星である。フレッド・ホイルの推定とはあまりにも差が大きい。連星同士の間隔が充分大きいとしても——そして、その周囲を惑星が取巻いているとしても——それらの惑星に生命が存在するとは考えられないので、これらの星は除外せざるをえない。

つまり、それらの惑星に、進化した生命が存在するためには、連星の数個の太陽の輻射が相当に安定したものでなくてははいけないし、そのうえ、惑星

ははまわる。紀州山中でインドの詩聖タゴールや英國の
 困の一切が突如異次元の世界に変貌する。同じ体験をし
 死の深淵にかくさまよって奇跡のようになる。彼がそこ
 から彼の眼に人生の苦難が幼児の戯れほどに見える始める

死―それは
新しい誕生だった

高原滋 著

¥980 160円

同原滋著

●19歳で新聞懸賞小
説に当選し、反俗
的といふが、世に
子孫を遺すの幸を
負ふに失ふべき重
い犠牲を要するの
三エスエーの愛を
婚入の愛を見重ん
度、人々の心を死
うとも自殺の殺を
怖くし、自ら殺す

●奇跡的に甦った純文学作家が自己の死の始終を冷徹に見つめた稀有の記録

d、これらの23・4個の星のなかで、地球と同じように生命の存在が可能な条件を備えた惑星を持つ星が何個あるか？

この問題に答えることはひじょうに難しい。観測データがきわめて乏しいからである。地球や他の惑星――その

温度が4000度台であり、気圧は地球の1000倍にもものぼることが分かっている。

そのうえあまり太陽に接近しすぎているため、地球上に見るように大気中の炭酸ガスを岩中に閉じ込めることで気温を下げて「気候」条件を改善し

このようにして、117個の星のうちだの20パーセント——23・4個だけが、私たちの太陽系と同じような惑星を持っていて、そうだとすることになる。

の軌道も許容できないほどの変動のある不規則なものであってはならないからである。したがって、連星はまったく考慮の外に置いてもしつかえないだろう。生命が存在しそうな惑星の数をもっと控え目に見積ったほうがよさそうである。

もつとも近いのは火星と金星だが、これらとて私たちはやっと知り始めたばかりである——から推測するほかはない。太陽一家を構成する9惑星のうち疑いなく生命が存在しているのは地球だけであり、それも45億年を経てやっと知性のある生物の出現が可能となつたばかりである。火星にはわずかではあるが大気がある。しかし、この惑星に知性ある生物が存在するとしても現在ではその証拠はまだほとんど発見されてない。長い間第二の地球と考え

生命の出現を可能にすることが無理なのである。

9惑星のうち1個にだけ生命を持つことが許されている。これは、他の太陽系の惑星にもやはりあてはまるのだろうか？ 私たちには推測するしか方法はない。フレッド・ホイルは、生命の出現を可能にする条件が存在する確率は10分の1から1000分の1台で、けっしてそれ以下ではないと考えている。

ここではなるべく悲観的な見方を
もとに、私たちの太陽系と同様な惑星
系の存在する可能性として、フレッド
・ホイルの100分の1という推定を
採用することにする。

毎年新星から30光年以内の距離に存在すると考えられる23・4個の太陽系のうち、生命は存在するが新星の爆発のため住むことができなくなりそ

うな太陽系の数は $0 \cdot 234$ 個にまで減ったといつてよい。

この推定のために私たちは暗黙のうちには、惑星上にひとたび生命が発生するとそれは常に進化を続け、私たちよりもはるかに進歩した文明——1000万年前の私たちの祖先が現在の私たちの文明を想像することもできなかったように、今の私たちには想像も及ばぬ段階——を持つようになると仮定している。

私たちの推論が妥当であるためにはこの生命の永続性が大切なのである。このことはまたあとで研究することになる。ひとたび生命が惑星上に出現すると、快適な外部条件が継続するかがりそれは完成めざして進化を続けるのである。

(以下次号)
増野一郎訳

前世を記憶する20人の子供

■転生の実在を史上初めて科学で実証
 米ヴァージニア大教授 イアン・ステューヴンソン編
 原著 ヴァージニア大学出版局刊 今村光一訳
全三巻 定価各千円
 千160円

私は霊界を見て来た

E・スウェデンボルグ
今村光一抄訳
¥680=160円

史上唯一の霊界探訪者とされる超能力者の体験

書店売切れは書店注文か代金同封直接小社へ
叢文社 東京都神田猿樂町1-4
 久松ビル 03(295)0159

HUMANOID ENCOUNTER ON JAPANESE MOUNTAINTOP

By Jun-ichi Takanashi
(MUFON Director for Japan)

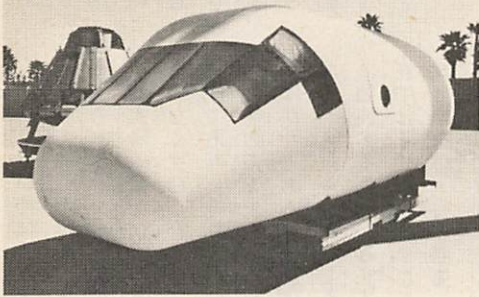
On the night of November 6, 1978, one of the most popular TV night programs, called "11 PM" (pronounced literally "ELEVEN PM" in English) being presented each night Monday through Friday, from 11:15 p.m. to 12:25 a.m., which quite frequently features both UFO and occult subjects, came out with a very strange, eerie encounter with a weird humanoid on the top of a mountain in Sagami City in Sagami Prefecture, in Japan by an amateur wireless operator ("ham") on the night of October 3, 1978.

The unfortunate witness is Mr. Hideichi Ameno (29) who operates a quick bar called "Juri" after the name of his baby daughter. On that night, having stationed his mobile unit car on the top of a mountain nearby to get an unobstructed reception of wireless



Hideichi Ameno, humanoid witness

year-old daughter, Juri, who had been a eyes, they were very small and



日本のUFO事件 海外で注目

科学的なUFO研究で知られるMUFON(相互UFOネットワーク)はこのほど、機関誌『MUFON UFOジャーナル』131号と132号に、近代宇宙旅行協会会長でMUFONの日本代表でもある高梨純一氏の記事を掲載した。

131号には、昨年8月に北

『宇宙博』再開

半年の会期を終えて1月に閉

海道航空自衛隊レーダーがUFOを捉えた事件、続く132号には、本誌でおなじみの「天野秀一氏宇宙人遭遇事件」が紹介されているが、レーダー事件の方は、目下米国の週刊新聞「ナショナル・エンクワイアラー」紙によって調査が進められているという。

発行所
UFO時評社〒110 東京都台東区上野5-1-6 ユニバース内
電話 03(832)1341-44

幕した宇宙博が、「国際児童年」を記念して3月24日から再開された。会場は前回と同じだが、オービター乗務員室模型(写真)など多数の展示物を追加し、内容の一新をはかっている。料金は児童のみ前回の半額(中学生400円、小学生200円)。

会長は笹川良一氏。名誉会長は大平正芳氏。

UFOライブラリーの地鎮祭行なわれる

去る3月14日、日本空飛ぶ円

盤研究会会長・荒井欣一氏が自宅跡に建設する「光星ビル」の地鎮祭が盛大に行なわれ、荒井氏は参列者の注目の中で最初の一鍬を入れた。(写真)

このビルの5階にはUFO研究家待望の「UFOライブラリー」が開設されるため、8月末のビル完成、9月中旬の「ライ



ブラリー」オープンが待たれている。

なお、同ビル建設中の荒井氏の移転先は品川区東五反田2-21-11 D-Kマンション五反田536号。

バラ十字会が

全国大会

来たる5月27日、バラ十字会日本本部が、全国のバラ十字会員(ロージクルシヤン)を集め

各種研究サークルだより

日本大学UFO研究会

会長・岡田正

このたび、当会では、機関誌『UFO RESEARCH』の発行を再開しました。購読希望の方は、

返信用封筒(50円切手貼付のこと)を同封のうえ、左記の住所までお知らせ下さい。おり返し「購読申し込み書」を送付いたします。

〈〒211 神奈川県川崎市中原区木月3-1151 岡本譲治〉
全国大学超常現象研究会連合

代表・岡本譲治

た初の大会を、東京都府中市で開催する。

当日は、会員にとって興味深い実験の数々が紹介されるほか、参加者を中心とした各地の下部組織プロナオスが結成される。

以後、ロージクルシヤンたちはプロナオス単位で集合し、情報交換、各種実験、懇談などの活動を続けていくことになるという。なお、大会には会員以外は参加できない。

大学連合では、この春、新たに大学生になられたUFO・超

常現象研究家のみなさんに、各大学の研究会を紹介いたします。詳しくは、左記までお問い合わせ下さい。

〈〒141 東京都品川区西品川1-5-8 電03(492)0374 藤本文彦〉
東京大学UFO研究会

会長・藤本文彦

札幌の木津幸恵さん、御住所をお知らせ下さい。
〈〒141 東京都品川区西品川1-5-8〉

早大UFO超古代文明研究会

代表・秋山健一



▲デザートセンターに立つ葦沢氏

昨年11月、子安克己氏率いる「早稲田大学UFO研究会」の解散にともない、旧会員を中心に当会が結成されました。

現在は、UFOと超古代文明の2つを柱として活動中です。

昨年は調査のため北陸を訪れましたが、今年の夏には、北海道東北地方への長期調査旅行や、合宿等を予定しています。また、

近々、ワセダUFOジャーナル『流星』を発行する予定です。

〈〒112 東京都文京区小日向1-21-13 秋山健一〉

UFO教育グループ

代表・安斎純夫

去る1月22日から2月9日まで、当会の葦沢潤一郎氏がアメリカ、メキシコを旅行し、多数の写真と、貴重な情報を得て帰国しました。詳しいことは別の機会に報告します。

2月初旬に來日した米UFO教育センターの古山晴久氏は、全国13カ所での講演スケジュールを精力的にこなしています。4月下旬の講演は22日(日)の島根と、29日(日)の富士吉田を予定していますので、参加希望者は電話0423(44)2506、葦沢までご連絡下さい。

なお、5月の定例懇談会は、5月19日(土)午後1時から4時半まで千駄谷区民会館(渋谷区神宮前1-1-10)で開催します。

〈〒350-12 埼玉県入間郡日高町高萩2648-38〉

SPNW

大阪等一支局・窪雅孝

SPNWは発足以来、山本佳人氏を中心に、特殊な情報(世界の精神的、物理的変動)を入力する組織を設け、それらの情報の体系化をすすめると同時にスタッフとともに様々な活動を

続けてまいりました。

このほど、活動の成果を公表するため、大阪市での講演会を企画しましたので、ふるってご参加下さい。

5月4日(金)午前9時半から午後5時。大阪府立労働センター6F(大阪市東区京橋3-15、地下鉄「天神橋」下車)講演内容は「宇宙哲学実践ポイント」他、入場料1500円。詳細は当局まで。

〈〒592 大阪府堺市浜寺諏訪の森西3-272 インシヨンドイオ703号〉

重力研究所

所長・清家新一

12相高電圧の「円形増幅器」が、2次コイル2万3千回で作動。30キロヘルツ、2万5千ボルト以上はでている模様です。また、ダブルソレノイドの円盤模型の動作を各面からチェック中です。

ドイツのUFO機関誌「UFOナツハリヒテン」に、当方の「時間反転発振器」が紹介されました。

機関誌「宇宙艇」45号、「逆重力機関の組立方」、「超相対

性理論」(5訂版)、「円盤機関始動せり」(大陸書房刊)発行中。

〈〒798 愛媛県宇和島局私書箱33号〉

マイジャー超科学研究所

代表・小島隆夫

当研究所は、UFO、超常現象をはじめ、哲学、社会思想、宇宙思想等、宇宙におけるすべての現象を多角的視野から研究し、その真理追究を目的として活動しています。3種類の機関誌「Science News」(不定期刊)「埼玉の宇宙学」(季刊)「Super Science」(連絡紙)

も順調で、現在「Science News」5号を発行中です。主な内容は、「日本UFO研究界の知られざる部分(旧CBAの資料公開)」および社会変革の思想について。

なお、現在新会員を募集中。



詳しくは、50円切手同封のうえ左記まで案内書をご請求下さい。

〈〒330 埼玉県大宮市高鼻町4-129-2〉

福澤諸のアストロ・ジョッキーからひと言
アストロ・Jでは毎月テーマを決め、全国からお便りを募集しています。これまで「あなたの行きたい惑星は」「月にUFO基地はあるか?」などと続けてきましたが、4月と5月に限りテーマは自由です。楽しいお手紙をどしどしお寄せ下さい。

なお、採用された方には放送分のカセットをもれなくプレゼントいたします。あて先は〒890-91 大分市今津留3-1-1 大分放送「福澤諸のアストロ・J」今月のテーマ「係」

「UFO時評」では、各種研究サークル、研究家の方々からのお便りを募集しています。UFO宇宙人情報のほか、会員募集、催し物のお知らせ、近況報告、活動予定等、内容は自由。できれば代表者の顔写真、サークル活動の写真、機関誌を添えてお送り下さい。あて先は「UFOと宇宙」編集部UFO時評係。採用分には掲載誌進呈。

編集部



ブックプラザ

Book Plaza

UFOのすべて

トータルな視点で とらえたUFO論

赤間 剛著

UFOの正体はなにか。いわゆる正統派とされているのは、UFO宇宙船説だが、異端派となると、それこそ無数にあげられる。本書の筆者は、軍事秘密兵器説である。

こうした主張自体、それほど目新しいものではない。だが、著者のユニークな点は、これがUFOの3つの顔の一面にしかすぎないということにある。

著者によると、UFOの正体

多種多様な形態で目撃されるUFOは、最新兵器とまさに相似形をしている。また、UFO目撃多発地帯は、軍事基地の場所とみごとに重なっている。あるいはまた、UFOのEM（電磁）効果とは、未来兵器を利用した生体実験であるとする。

個人の見解が基底にあるかぎり、物理的な実体（軍事秘密兵器）を直接のキッカケとして、UFOへの信念は絶えず浮上する。

これを共同の観念としてとり込み、支配の道具として利用したのがCIAだという。

CIAは、一方で著名な科学者を動員してUFO肯定論をおさへこんだ。もちろん、秘密兵器の正体を隠しとおすためであ

る。だが、他方では、オカルトじみたナンセンスなUFO説をこつそりと広め、反共のための文化謀略をくりひろげた。

これに対して、CIAの政策を批判する民間のUFO研究団体や一部の科学者は、UFO宇宙船説を唱え、外敵の攻撃という脅威をちらつかせながら人類を団結させようと図っている。

この二潮流をあやつっている真の支配者はだれか。その意図するところはなにか。

宇宙の果て

宇宙に寄せられる 科学者の情熱

チモシイ・フェリス著
斉田 博訳

「激突する宇宙論」とサブタイトルにあるように、宇宙の謎解きに情熱を注ぎこんだ科学者たちの闘争の歴史が興味深く書かれている。

宇宙よお前はどこから来た？
これから先どこへゆく？——この誰しも抱く疑問に、人生の大

本書の内容を、かなり図式的に要約すると、だいたい以上のようになる。やや目の粗い投網をかぶせたという感じで、網の目から逃げ出す魚もいるにちがいないが、UFOというものを初めてトータルな理論的枠組の中に位置づけたものとして注目値する。

本書によって、やっと理論がUFO現象に追いついたといえるだろう。（N）

（三一書房 980円）



に天体観測に熱中する。この少年はやがて著名な天文学者となる。——こういうエピソードがいきいきと人間味豊かに描かれていておもしろい。

科学の進歩のためには、ケンカすることも辞さない科学者たちの態度は、人間としての根源的な在り方をさしめしめ、私たちに熱い感動をおぼえさせる。

著者チモシイ・フェリスはUPI通信社、ニューヨークポストの科学ジャーナリストとして活躍中であるだけに、単なる概論的宇宙書で終わっていない。

フェリスは膨大な資料を巧みに駆使し、冷徹なジャーナリストの視線で科学と人間のかかわりあいをとらえている。（I）

（地人書館 2200円）



UFOのすべて

人間は死んだらこうなるだろう

岡部金治郎著

(第三文明社 780円)

人間は死後どうなるか——という疑問は誰しも一度は考えたことがあるだろう。

ところが、これに対する答えはいまだ謎である。人類の科学は地球を滅ぼすまで強大になったのに、肝心の人間の死後に關する研究はほとんど無視されている。

科学者にとって物質やエネルギー問題、大脳の構造や働きについては、その力を充分に發揮するが、精神的機能發揮の根源であるところの純粹自我についてはどうも苦手のようだ。「生まれ変わり」の本は多少でているが、科学的立場から書かれた書物は、これが初めてかもしれない。

(K)

古代インドの神秘思想

服部正明著

(講談社 390円)

最近、インドに関する書物を書店でよく見かける。なかでも紀行やヨガ関係ものが多く、ちよつとしたインドブームの様相を呈している。

ところが、インド民衆の大多数の信仰となっているヒンドゥー哲学・宗教思想の源泉であるウパニシャッドについて書かれた書物は少ない。ごく少数の専門書があるのみで、特に深い関心を持つ者でなければ、その思想について知る機会がほとんどない。本書は古ウパニシャッドのうち、特に初期の作品数篇を扱っている。そしてそれらの数説を、古代的な形態のままとりあげ、思想的に分かりやすく解明してくれる。

(Y)

ホロスコープの作り方

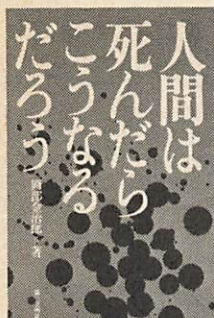
流智明著

(ジック出版局 560円)

私たちがこの地球上に生まれ、たとき、出生地から見て太陽、月、惑星等の位置、そして東の地平線上にどの星座が上昇していたかを知ることが占星術の基本になる。そういう星や星座の位置を記号で表示したチャートのことをホロスコープという。

よく週刊誌などに載っている星占いのものは、私たちが生まれたときの太陽の位置だけを見て占っている。もちろん太陽がどの星座に位置したかも重要な要素になるが、月や惑星の位置、座相(惑星間の角度)をも調べなくてはならない。いままで専門家だけにしかできなかった占星術をこの本は教えてくれる。

(K)



赤間剛氏の推薦する3冊

(ルポライター)

私の本棚から



いわゆるオカルト本なる書物を収集して5、6年になった。このたび「UFOのすべて」(三書房刊。980円)というまとまった作品を書いたが、オカルトのなかでUFOほど壮大なテーマはなかったからだ。

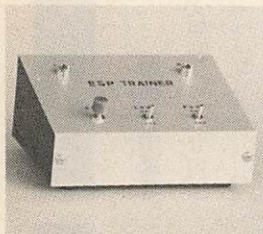
UFO書を読み最初に感じたことはまずユダヤ・キリスト的な神との類似性であった。聖書の世界を思い、次にユダヤ人問題を考え、「UFO的なもの」が世紀の偽書といわれる「シオンの議定書」につながる面を発見した。UFO研究者の多数は愚にもつかぬ連中が多いが、それは問題への接近角度が直線コースだからだ。この問題を解するには戦略的迂回路をとり、左右あるいは後方から揺さぶっておき、正面攻撃しなければならぬ。たとえば左ジャブは世界を征す……というふうに巧みにやらないと相手(UFO)にカウンターの取られるのだ。

UFOにかぎらずオカルト一般の本質的考察にさいし数冊の書を本棚に捜すと、まず「自然の弁証法」(F・エンゲルス)での「心靈界での自然研究」がある。次に「共同幻想論」(吉本隆明)があり、最後に一連の精神分析学の書があげられる。マルクスやエンゲルスの書は、一見、オカルト書と関係なく思えるが実はそうではない。ハイネック博士にならうといえ、高位の地点(意識、知識の高い段階)から見れば全部、お見通しであり、右の人々は余りに低級すぎてこの種の問題につき合っておれないだけだ。

UFOにかぎらずオカルト一般の本質的考察にさいし数冊の書を本棚に捜すと、まず「自然

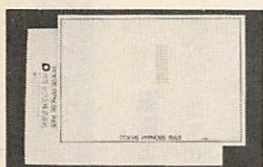
ESP能力を強化する!!

超能力を強める ESPトレーナー (超能力開発訓練機)



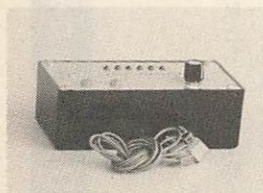
ESPトレーナーにより、テレパシー、プレコグニション(未来予知)、クライヤボヤンス(透視)などの能力を強めるトレーニングができます。 10,000円

だれにでもできる催眠術 ストークビスのヒプノ板



ドイツの催眠術研究家ストークビスにより考案されたもので、だれにでも容易に催眠術ができるようになります。 1,500円

バイオフィードバックにも使える ウソ発見器(ラブテスター)



GSR(皮膚電気抵抗)を応用したもので、心の変動がランプの点滅で分ります。2人で手をつないで使えば楽しいラブテスターにもなり、1人でバイオフィードバックとしても充分使用できます。 6,000円

デラックス ESPカード(超能力実験用)



太陽、月、金星、木星、冥王星のシンボルマークのついたカードです。ESP能力の程度を試したり、強化したりするのに役立ちます。又、友人や家族で楽しむこともできます。 1,200円



ダウジング・ オーラ検出に カメロンの オーラメーター

アメリカのダウザーとして有名なバン・カメロンが考案した鋭敏に作動する振動増幅バネを用いた水平指示振子です。水や紛失物の探知だけでなく、人体のオーラも検出できることから、この名がつけられました。 10,000円

バイオリズムをワンタッチで算出 カシオ・バイオレーター



あなたの身体、感情、知性のバランスがワンタッチでできます。このバイオリズムを利用して、健康管理、セールス、受験勉強、事故防止、旅行、スポーツに応用しましょう。相性判断にも使えます。 6,000円

リズムメーター



バイオレーター同様、バイオリズムが簡単に求められます。又、長期の変動がグラフに出ますので大変便利です。 1,500円

※上記商品には詳しい説明書がついています。

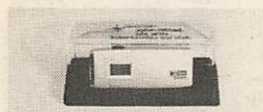
不思議な商品!!

2億年前の生きた化石 カプトエビの卵



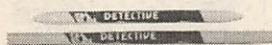
カプトエビは2億年前にすでに生存していたと云われ、学術的にも貴重な生物です。飼育は簡単です。2億年の昔をあなたの手元に引き寄せてみませんか。 1,000円

太陽電池内蔵の懐中電灯 アキュラックス(西ドイツ製)



太陽電池付のスゴイやつ。直接太陽光線から充電します。ボディは軽くて丈夫です。電灯線からも充電できます。 8,000円

ラブサインペン(西ドイツ製)



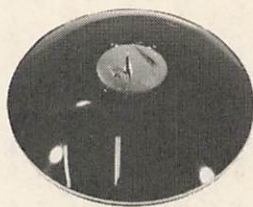
細い方で、字や絵を書き、反対側のペンでなぞると書いたものが浮き出ます。ラブライター、交換日記、試験勉強に使用しよう。 300円

電気ではありません 化学の灯・サイリウム(アメリカ製)



化学的に発光するサイリウム。水の中でもOK。釣りの時の魚寄せ、パーティーのムード照明にも最適。キャンプ、ドライブ、登山の安全灯にもどうぞ。 1,000円

三次元実像 ミラージュ(アメリカ製)



2枚のバラボラ鏡による三次元実像。底に置いた物体がまるでミラージュの上に置いてあるように見えます。手で思わずつかもうとします。直径34cm高さ9cm 15,000円

消えるボールペン(西ドイツ製)



紙でも布でも手に書いたら反対側のインク消して、サッと消せます。あまりイタズラしないように。 300円

驚異のピラミッド・パワー!!

ピラミッドパワーの研究は 現在先進各国で積極的に 進められています。我々の身の廻りでも色々な実験が出来ます。正確に縮尺されたピラミッド模型を好条件の下に置くと、あなた自身も驚く様な実験を楽しむ事が出来ます。あなたも何か新しい発見に挑戦してみましょう。



ピラミッドーA

透明高級プラスチック製、大変美しくそのまゝインテリアとしても最高です。もちろん中の状態を外から観察できるので、実験にも最適です。(底辺 約24cm 高さ 約15cm) 6,000円



ピラミッドーB

実験を楽しんで頂く透明プラスチック製、折たゝみ式、ピラミッドです。(底辺 約24cm 高さ 約15cm) 1,000円

ピラミッド・ペンダント

(アメリカ製)



G.S



T

ピラミッド・エネルギーをあなたのものにしましょう。一晩ピラミッドの中に入れてから身に着けるとさらに効果が高いと言われます。(Gは金色・Sは銀色・Tは金色の美しいペンダントです。Tは中央の部分が磁化され、中に小さな物が入れられます)

G 3,000円 S 3,000円 T 4,500円



ピラミッドーMP

瞑想、実験用組立式ピラミッドです。底辺 約 180cm、高さ 約 115cmで、中にゆったり坐れます。アルミ合金の止金で正確な角度が得られます。13,000円

ピラミッドーM

瞑想、実験用ピラミッドの止金です。パイプは各自、好きな長さの物を使って頂きます。パイプの太さや長さの計算は説明書に書いてあります。お徳用です。9,000円



ピラミッドーS

ピラミッド・パワーが金属中では最も高い真ちゅうにニッケルをメッキした高級折たゝみ式、瞑想用ピラミッドです。(底辺 約 180cm 高さ 約 115cmです) 25,000円



ピラミッド・ネックレス

(アメリカ製)



ペンダントと同じように使えます。アクセサリとしても最高です。ピラミッドの中央は夫々磁化されています。5,000円

あなたにも念力がある!!

人は誰でも念力(超能力)を持っていると言われます。ただ永い間、念力を使う必要がなかった為、潜在能力となっていました。しかし練習を積み、あなたも自分の能力に気がつき、それを強化する事が出来ます。これらの器具は潜在能力開発の基本となるものです。

念力開発器

(ロジクルッション・ダイヤレット)



ダイヤレットであなたは自分に念力があることをすぐ確認できますし、訓練によって、それが強化されて行くのが分ります。バートン字団はダイヤレットを使い自己の念力を強化して、実生活にも役立て、いました。7,000円

プランセット

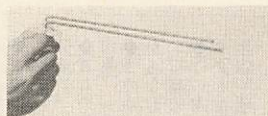
(西洋式こっくりさん)



プランセットはそれを行う人の意志とは関係なく、自然に動いて文章や図形が記されるもので自動書記とも呼ばれます。プランセットの実験は精神統一にも有益で、家族や友人と楽しめます。5,000円

ダウジング・ロッド

(宝探しロッド)



このロッドで不思議な力を発揮できる様になります。少しの練習で多くの人が、紛失物やかくされた物を発見できる様になります。又ピラミッド・パワーによる効果の実験も出来ます。3,000円

魔法の振子

(シュブロール振子)



魔法の振子は、潜在能力開発のもっとも基本となる道具の一つです。同時にピラミッド・パワーによる振子のゆれ実験も出来ますし、占いや 集中力の強化も出来ます。2,000円

※上記商品には、詳しい説明書、練習方法等の解説書がついてます。

〒103 東京都中央区日本橋小舟町 2-7

発売元

ポラックス株式会社U係

TEL (03) 666-0511代

技術指導

潜在能力開発研究所

●カタログ請求は200円切手同封して下さい。
ご注文は紙に商品名、住所、電話番号、氏名を書き捺印の上代金を現金書留封筒又は郵便振替(東京・4-8703)でポラックス株式会社 U係にお送り下さい。
[送料はサービス]

UFOの謎を解明するロングセラー小説／五井野正著

七次元よりの使者

著者は作家という形をとっているが実は……

送料

1冊160円

2～3冊200円

なんと350円！



■オーソンより この本を書かれた方は私にとって唯一最高の方である。この本は今まで誰によっても解かれることのない太陽系宇宙の問題を解明している。私はこの本は宇宙の真の姿をえがき出していると思つて読んだ。とんでもない本が出た。地球にはとんでもない人がいる。今、最低の地球は最高の人によつてすばらしいもの、太陽系の中心、銀河の中心となる。

■セムジャーゼより この本はすばらしい。地球人に今いちばん必要なものを書いてある。私は最大最高の賛辞を送る。

第0巻(四六判 160頁)
地球の地軸は傾き、今その中でヒマラヤ聖者やアトランティス人、宇宙人は？ 最後のドラマがくりひろげられる。

●ただいま、大好評発売中の超特価本第0巻(350円)についていろいろな噂がとんでいます。「この価格は一時的な赤字出血サービスで続かない」などと。しかし当社ではこの特価をくずしません。常時在庫がございます。

第一巻(既刊) 定価750円
UFOによつて少年に何が起つたのか
第二巻(既刊) 定価750円
富士山に異変が……

読者の声

- ◆もう何というか面白いといおうか、感嘆の一語につきます。(京都市・丈達俊才 18歳)
- ◆七次元の第0巻、ショックとビックリ。トシチャンカンゲキしました。(神奈川県秦野市・諸星幸代 18歳)
- ◆この本にはすばらしいとか面白いとかですませない何かがある……(旭川市・島田三枝 51歳)
- ◆著者の博識におどろかされたことが最大の印象。(京都市・萩原正幸 23歳)
- ◆この本はなんでもないように書かれているからなおさら奥深いものを感じました。(川崎市・金沢弘子 20歳)
- ◆この本との出会いから宇宙人たちのコンタクトが始まった。(清水正代)『UFOと宇宙』昭和52年8月号宇宙文字解説者)

創栄出版株式会社

〒162 東京都新宿区市谷左内町31渡辺ビル1F
振替／東京6-90403 電話03(260)2889

CONTACTS 読者の

コンタクト

広場

編集部からのお願い◆できる限り多くの方々のご意見や情報、イラストなどを掲載するため、声欄に投稿される方は、400字詰原稿用紙2枚程度に内容をまとめて下さい。また、UFO目撃情報・文通しよう・UFOファン集まれ・イラスト・蚤の市に投稿される方は必ずハガキ(ハガキと同じ大きさも可)をご使用下さい。なおイラストは黒色のペンなどで書いて下さい。

声.....	112
UFO目撃情報.....	114
文通しよう!.....	115
UFOファン集まれ!.....	116
読者のイラスト.....	117
蚤の市.....	118



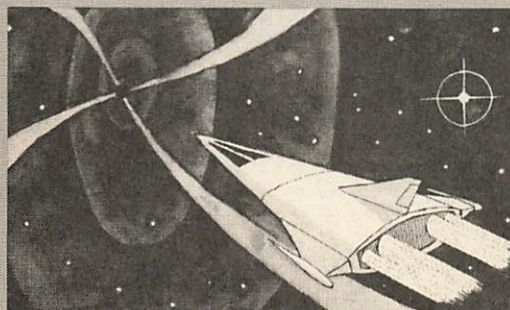
田中世志子(山口県防府市仁井令)

金野 潤(宝塚市末広町)

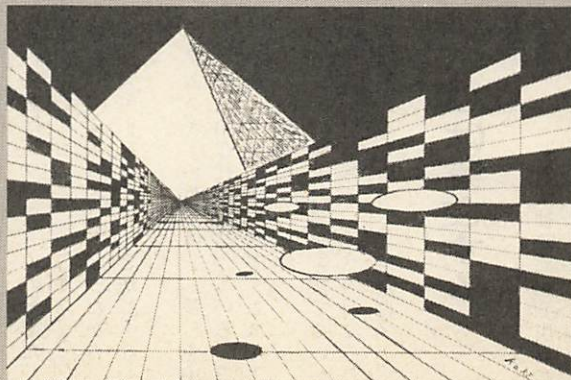
読者のイラスト

亀井英泰(富山市北代)

松本裕(栃木県上都賀郡栗野町)



BLACK HOLE



量子論的時間論に注目

柏谷昌弘

(〒356 埼玉県上福岡市駒林191)

昨年の2月号に、運命が存在するから予言が当たる、という意見が載っていましたね。私も以前は、そのように考えたことがありました。でも、今は少し違っています。

結論からいいますと、運命はあるが絶対的なものではなく、時間球が膨張して、それを結晶化した時に確定するのではないかと、思うのです。

例えば、ピンポン玉のような球体を考えます。球の内部が過去で外部が未来、そして殻の部分が現在と考えるわけです。私たちは、常にこの殻の表面に生きていて、球の膨張にともなう殻の面積の変化を「時の流れ」として感じていないのでしょうか。

この場合、球の内部(過去)は「歴史」と呼ばれる結晶構造を有しており、外部(未来)は、地球上の全人類の想念や、天体の位置、太陽黒点の数などが複雑に絡み合った不安定な構造を有していると考えられます。そして、こ

の球が最大限に膨張した時点が宇宙の終焉です。つまり、時間は宇宙の一生を一区切りとして飛び飛びに流れるというわけです。

このように考えてみると、量子論的時間論というものが、もつと注目されてよいのではないかと思うのですが、どうでしょうか。

UFOに抱く夢

佐々木笙子(主婦)

(〒274 千葉県船橋市二和町31-279)

私がUFOに興味を持つようになったのは、ごく最近のこと。テレビのUFO特集番組を、ちよくちよく見るようになってからである。

本当にUFOって何だろう、と思う。いろいろの説がある。でも、何が何でも幻覚だとして、否定する人の立場には立てない。なぜならば、長い間にわたって世界中の多くの人たちが、同じような物体を見ているということは、でっちあげにしては、いささか手がこんでいる気がするからである。やはり、UFOは飛んでいるのではないだろうか。

しかし、残念なことに私は、まだ一度もUFOを見たことはない。この1年間、気がついたときには、空を見上げて観察するクセをつけたが、ついにUFOは、私の前に姿をあらわさなかった。でも私は、あきらめずに、このクセと野次馬根性を持続したいと思

つている。

時々、見上げる青空はまたそれなりに、スカッとさせてくれるし、夜空の星をながめるのも、「人間って、この広い宇宙から見れば、ちっぽけなものだなあ」と、つくづく思わされて、とてもよい精神安定剤になるから……。

まあ、私の希望としては、UFOは、「UFOの正体見たら枯れ尾花」というようなガツクリくるような代物であって欲しくはない。やはり、地球以外の惑星の宇宙人が、この地球を偵察するために飛ばしている物体であることを願う。

そのうち、いつの日にか、UFOの正体が解明される日がくるのだろうか。その日が待ち遠しいような、恐いような気がする。

やはり、UFOはUFOであつたほうが、夢があつていいのだろうか。

アダムスキー哲学は正しいのだ！

森砂樹夫(高3)

(〒343 埼玉県越谷市大沢3-16-20)

何故、みんな信じないんだ。何故、みんな、アダムスキーを批難するんだ。自分で考えられないことは、全部、「嘘」にしてしまふ、今日の現代科学と同じじゃないのか。

月にも、また、金星にも人間は住んでいるんだ。太陽系のすべてに、人間は生存しているんだ。

ただ、マスコミを通じて流される情報だけを信じているのなら、政府も認めていない円盤を、ここで何故語らなくてはいいけないんだ。何故、真剣に円盤を論じなくてはならないんだ。

我々の心には、やはり同胞に対する愛があるから、異星人を待ち望むし、また、信じる気持が生まれるのだ。

これは、直感が、宇宙の英知が、今の僕たちに気づかせてくれているのだ。地球で生まれた科学だけが正しくて、その他のものはすべて、嘘でデータで幻覚だといっても、真理はあくまでも真理なんだ。

地球を中心とした発想では、宇宙の真実の姿を理解することはできないだろう。

この発想は、ファシズムの発想だ。権威を中心において、そこから「もの」を見るファシズムの見方だ。だから、アダムスキーを信じる事ができないんだ。

アダムスキーの哲学は、「愛」を中心とした自由な社会を語っている。それなのに、宇宙を飛んだアダムスキーを信じられないとは……。

みんな、地球上の発想を捨てないかぎり、異星人たちは、我々の前にその姿を現わさないだろう。絶対に！

UFOは実在する

鷺坂光太郎

(〒521-12 滋賀県神崎郡能登川町本町二区)



声



UFOは実在する。広い大宇宙には、地球より発達した惑星が数多くあると思う。宇宙でもっとも文化の進んだ惑星が地球のみとは、とうてい考えられないからである。ないとすれば、それはとても不可解なことであり、あるとすれば、その星からの訪問者が地球へ来ることは当然である。地球人でさえ別の世界、例えば月などへ現実に行っているではないか。

問題は、なぜ地球上にUFOの遺物が存在しないのかということである。地球上には、何ひとつとして落下しないのか。落下することもあるはずである。長い年月の間には、何かがあるべきである。それが無い。UFOはやはり、架空の物体なのだろうか。いや、それにしても、あまりにも目撃者が多過ぎる。

その理由を裏付けるものが、ただ一つある。それは電位差である。

地球その他の天体には、必ず電位がある。地球と月および太陽系の星は同電位と見なされるが、その他の星は同一ではないことは明らかである。その

電位差が何千万ボルトかは不明だが、電位差のある天体が地球上に落下すれば、どうなるであろうか。

地球電位は今、0度としている。これは人間がつけた電位であり、宇宙からみれば、何万ボルトなのかはわからない。仮に一万ボルトとし、宇宙天体物が一千万ボルトとすれば、地球上に落下した宇宙天体物はただちに爆発して、原子になってしまふ。つまり、影も形もなくなってしまうのである、せいぜい燃跡を残すのみであり、長い年月とともに、それもなくなってしまうというわけである。

どの文献を見ても、宇宙人は約1メートルぐらいの身長としてある。それなれば、地球と同じ電位の星から来たと想像されるし、地球上に降りることもできるはずである。しかし、その形跡はない。となれば、現在目撃されているUFOは、電位差のある星からのものであると考えるのが妥当ではないだろうか。

私はUFOについて、このように考えているのである。

弁証法からの未来展望

櫻井克典

(〒154 東京都世田谷区野沢1-29-20)

我々が現在知るところの自然科学は、実験・観察・帰納・仮説・演繹・実証または反証という形式論理における同一律(矛盾を排する)に基づいて

あらゆる事象を解決し得ることができたのです。それは、ルネッサンス以来の啓蒙主義に立脚し、あらゆる観念論的なことによる偏見、例えば、キリスト教による天動説などを排してきたのです。

そのために、UFOなどの超常現象的なものは、矛盾として受け入れられませんでした。ゆえに、今日の自然科学者の多くが、それらを信じないもの納得のいくものと思います。

しかし、これでいいのでしょうか。我々の科学は進歩するものです。いや、しなければならぬはずですから。かつて、アインシュタインが、これまで完璧とされていたニュートンの力学法則に生じた矛盾を、新しい理論で解決するに到ったように、今日の自然科学は、多くの矛盾を、弁証法的に解決しなければならぬときにきたように思われます。

なぜ、弁証法などという哲学用語が生じたかは、哲学の理論が、すべての科学理論の根底にあるからです。

すでに我々は、素粒子論者たちにおいて、弁証法的に解決しようとしていく先駆者の姿を見るのです。

弁証法を利用しない人にとって、この客観世界の弁証法的関係(矛盾超常現象)は、ただの混乱してしか見えない形式論者(二律背反を認めず同一律による)の立場に立っているにすぎないのです。だから、新しい理論をうちたて、非合理的ものを解決し、弁証法でいうなら止揚(アウフヘーベン)

つまり、より高い次元へ到達しなければならぬのです。

ちよつと難しくなりましたが、これから超常現象を解決する超自然科学の統一理論をたてることが、これからの課題だと思ひます。それができるために長い年月が必要であることは、いうまでもありません。それを確立するのは、我々若い人たちの手によるものであることも忘れてはいけません。

議論の前に疑念を！

田野村真

(〒192 東京都八王子市曙町1-16-4)

一時期、異常なほど撮影されたライティング・ライツが、まるで見られなくなった。

だからといって、作爲的であるとか、いうわけではない。この世界にも流行といったものがあるのだろうか。どうも納得がいかない。

UFOはまだ未知の存在である。それゆえ、万能的な部分が秘められていて、少々、暗におちない点があつてもそれでかたづけられてしまふ。

けつして、UFOに対して否定的なわけではない。

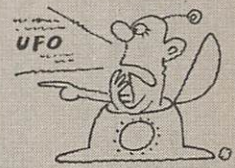
ただ、目の前に提案された物は、誰の目撃であるとか、どこで認定されたとかいうことは、一切、削除して観察しなければならぬ。

まず、議論をする前に、疑念を持つことが大切なのではないだろうか。

★ ★ ★
 ①倉谷 昇(29・会社員) ②東京都目黒区碑文谷2-11-3 ③2001年9月7日8月2日午前11時15分〜40分断続的に3回出現 ④中央区築地1-11(勤務先ビルの14階窓より) ⑤晴れ ⑥15分から5分間、30分から10分間 ⑦ナシ ⑧肉眼 ⑨本誌掲載の横浜のUFOに似た形状。白または銀色の球状で、やや天地に偏平(パチンコの球

①目撃者の氏名・年齢・学年その他
 ②目撃者の住所
 ③目撃日時
 ④目撃地点
 ⑤天候
 ⑥目撃継続時間
 ⑦同時目撃者
 ⑧観測方法
 ⑨物体の形状
 ⑩飛行状態その他

UFO



目撃情報

をややつぶした形。見かけの大きさは皇居から飛びたった白鷺と同じ程度。11時15分頃、窓から外を見ていると突然、高田馬場上空あたり(池袋高層ビルのやや左)に前記の形のUFOが現われ、ゆっくり左方へ水平飛行(仰角5度前後の低い空)。新宿高層ビル群の手前で次第に形がうすくなり消滅。引き続きそのあたりの空を観察していたところ、約10分後、同じような物体が同じ場所に突然出現。同様の速度とコースで飛行し次第に消滅。次には消滅したと同時に、また最初と同じ場所に新しく1個現われ同じコースで消滅した。

★ ★ ★
 ①金指千亜樹(17・高2) ②静岡県沼津市下河原町15-1-3 ③1979年2月11日午後6時26分 ④沼津市下河原団地駐車場 ⑤晴れ ⑥1〜2分間 ⑦金指幸子(母)、通りがかりの男女2人 ⑧肉眼 ⑨星のような感じ。⑩たまたま、近くの自動販売機へ清涼飲料水を買うに行こうとしたときのこと。外が暗くなっていたので母と連れだって家を出た。月がきれいだと話しながら夜空を見まわすと、西の空に星みtainな物がキラキラと点滅していた。星かなと思っていたしばらく見てみると、北の方向へ移動して下にさがった。ジグザグに飛び始めた。また、UFOかと思って、母と2人でそのまま1〜2分間見ていたが、そのうち、家の陰に隠れて見えなくなってしまうた。

Behind Your Conscious Mind...

あなたの意識の背後にある...



●五感の世界に限られる必要はないのです! 視覚・聴覚・触覚などは、人生の実在のほんの一部にしか発現してくれません。この外面的意識の背後にはより広大な認識の世界があります。そして超能力の印象が時として意識に現れることがあります。危険の予感、直観の不思議な力、言葉で話す前に考えが通じる...これらは、あなたの未開発の超能力の一端を示しています。これらはあなたにも開発できるのです! パラ十字会は世界中の会員に毎年七百万通以上の教材を親書として郵送しています。

▼パラ十字会は、長い歴史をもち、宗教・政治団体とはまったく無関係の立場で、哲学的探究を目的としている同人組織です。本会は、幾世紀も保存し続けてきた未公開の英知を、希望者に対して通信教育方式により、一般公開する活動を現在、世界的に展開中に行っております。
 ▼古代の奇蹟とカネ神として伝承されているこの裏面には、古代人が探究した自然の法則、人間の精神の働き、意外な、人生の諸問題の対処方法など、ユニークな視点、英知の叡知が内包されています。
 ●詳細を説明した小冊子「人生を支配する」(日本語版を無料でお送りします。資料請求券添付の上、左記に「ハガキ」でお申込みください。)

■申込先 〒165 東京都中野区若葉3-49-16
 パラ十字会 日本本部 AMORC 事務局 U-18 係

The ROSICRUCIANS

米カリフォルニア州サンノゼ市
 パラ十字会 AMORC 世界総本部

資料請求券
 U-18



宇 宙人と接触するにはまず地球人と。地球人の皆さん、お手紙下さい。
塩原未知子
(〒999-42 山形県尾花沢市横町4029)

私 は、いろんなことを想像するのが好きです。もちろん、SFやUFOもノ手紙を通して話をしませんか？お手紙待っています。
伊達寿江(16)
(〒716 岡山県高梁市南町78-1)

U FOや心霊に興味を持っています。空手も大好きです。楽しそうな方、文通しませんか。
倉地由美(17)
(〒250 神奈川県小田原市久野1859-6)

U FO、宇宙、シャムバラ、アゲムスキーの生命の科学、テレパシー、いろいろな星の文化などについて語り合える横須賀市内の女性の方(16)20歳ぐらいの方希望。文通しましょう。電話は金・土の午後2-3時。
木元実
(〒238 神奈川県横須賀市平作2-20-11羽貝3号 0468-53-9475)

U FOについて、まだまだ未熟な私に、だけれどUFOのいろいろなことを、教えて下さいませんか？
佐々木昭子(17)
(〒100 秋田県秋田市広面釣瓶町60)

当 方、宇宙人との交渉の末、フライング・ソーサーを一基借り、国際間と宇宙間の貿易を計画する者です。情報その他なんでも御連絡下さい。文通も受け付けています。
網矢清(21)
(〒790 愛媛県松山市正門寺1-4-24)

宇 宙を愛する方なら、どなたでもかまいません。お友達になって下さい。
岩本みゆき(19)
(〒488 愛知県海部郡弥富町大字前ヶ須新田字勘助走り50-1東名阪工事事務所内)

全 国の悩み事のある男女、私でよかつたら手紙出して！(切手、同封してネ)
吉田和代(24)
(〒653 兵庫県神戸市市長田区4番町5市住12-339)

宇 宙哲学、人生、人間等について語り合います。老若男女問わず。お手紙下さい。
北条憲一(19)
(〒189 東京都東村山市秋津町4-40-8)

死 とは、ゴール地点でもあり、次へのスタート地点でもあります。そこへ着くまでに、あなたが知りた。宇宙に興味のある方、文通して下さい。待っています。
原田達夫(14)
(〒731-31 広島県広島市沼田町伴6708)

U FOのつたことのある女性、あるいはのつたことのない女性でも結構です。近くの人で同年齢の方、文通して下さい。
井指元宏(17)
(〒435 静岡県浜松市安松町35-7)

空 飛ぶ円盤の試作実験をしてみたいのです。が、アドバイスしあえる友達を探しています。当方、重力研究所入会したての初心者です。
油井司汎(35)
(〒140 東京都品川区南大井4-3-19)

宇 宙関係の職業につくのが私の夢です。宇宙について語りあえる友達がいません。特に女性の方、お手紙下さい。
山本明美(14)
(〒756 愛媛県大洲市670-5)

僕 の趣味はBCL、SWLです。UFO、心霊、異次元世界、テレパシーなどに興味のある方、文通しよう。男女問いません。
五十嵐和美(15)
(〒092-02 北海道網走郡津別町高栄区8-1)

僕 は、UFOとSFに関係のあるレコードを集めるのが趣味です。SF音楽の交換をしましょう。
三橋信彦
(〒605 京都府京都市東山区三条大橋東3-40)

私 達は自分が一体何者なのか忘れてしまっています。だから想い出す必要があるのです。私は「星の網渡り」という小説の構想を練っています。呼びさます小説。とてもいいまじうか。私は津軽人ですという自負のある女性の方、お手紙下さい。返事は必ず書きます。
柏谷昌弘(20)
(〒356 埼玉県上福岡市駒林191)

私 はUFOと少年の町ZFとセリカと浮浪雲の好きな男です。10-12歳の方、私の話を聞いて下さい。
速見芳男(20)
(〒323 栃木県小山市下初田733)

条 件1、動物、マンガが好き。2、占いを信じている人。3、未確認動物がいると思う人。4、その手紙を書かない人。お便り待っています。
天瀬佐紀子(中3)
(〒020-05 岩手県岩手郡雫石町御明神25-69)

U FOと幽霊に興味を持っています。人に話せないような恐しい体験をした方、手紙待っています。
森田君夫(17)
(〒337-03 長野県木曽郡開田村末川)

S FやUFOが好きで、宇宙などについて語りあえる人、容姿をあまり気にしない同年代の女性、文通しましょう。
岩下史郎(16)

念 力の強い方、特別の能力を有する方、近くに住んでいて時々会える人を希望します。返信率99パーセント。
滝口喜世実(17)
(〒166 東京都杉並区阿佐ヶ谷南1-34-13)

S Fやアニメに興味のある方、気楽にお話ししましょう。できれば同年齢か、それ以上の独身の方。
江刺孝子(23)
(〒031 青森県八戸市吹上松富町1-106)

U FO、霊、占い……。かわいい女の子と文通希望。
河上修二(23)
(〒653 兵庫県神戸市市長田区4番町5丁目住10-252)

ダ ウジング・ロッドに興味があり、成功している方、文通しませんか。なるべく近くの方。
鈴木一浩(17)
(〒313-04 茨城県久慈郡金砂郷村上利貝)

あ なたと出逢う為に、そして、もう一人の私と出逢う為に世界をさすらっています。全国の皆さん、摩訶不思議な私とコンタクトを。
山本圭子(学生)
(〒156 東京都世田谷区羽根木1-14-16)

私 は、空飛ぶ円盤に魂をうばわれた一大学生です。どこでも、どんな時でも円盤という声を聞くと振り向かれる方、お便り下さい。
山埜勉(20)
(〒576 大阪府交野市大字星田2996)

U FO、ネッシー、クッシー、雪男、すべて興味があります。屈斜路湖近くにお住みの方、湖またはクッシーに関する情報をお持ちの方、文通しましょう。
伊藤浩志
(〒534 大阪府和泉市寺門町214)



共 同生活者募集。条件は本誌No.43の私の投稿(P.116)に答えてくれた方。場所は東京都練馬区(池袋から急行で12分の所)。8畳洋間ベッド付。部屋代負担分、月12000円。当方夜学生、趣味ギター・読書。自己紹介と写真同封の上、左記まで。

三輪高志(22)
(〒350-12 埼玉県入間郡日高町高麗本郷750-1 栗原方)

U FO友の会に入会しませんか? 会費は無料。千葉県浜野町上空によく現れるUFOに興味がある方は是非一度おいで下さい。電話は午前10時〜午後9時。
陳野すみれ
(〒260 千葉県千葉市浜野町606 ☎0472-66-3987)

ド カベンファンクラブでは会員募集中。会費500円前後。小学生もOK。詳しくは50円切手同封の上、左記まで。
根本美織(中2)
(〒564 大阪府吹田市山手町3-17-B505 ☎06-387-6069)

時 間研究所では現在タイムマシン実験機第1号製作中です。興味ある方を募集します。50円切手同封の上、お手紙を。
上田昌宏
(〒567 大阪府茨木市下井9-15 ☎0726-43-6809)

私 は、小さいながら研究会を作っています。この4月で3年になります。そこで本誌愛読者諸氏の論文・意見文を募集します。優秀者、参加者には粗品を進呈。としどし御応募下さい。
宮崎恒夫

(〒389-25 長野県下高井郡野沢温泉村前坂)

考 古学・天文学・超常現象・哲学・アニメ・SFなど何にでも興味を持ち、常に研究していく会「ラ・ムー(太陽神)」ではあなたの入会を待っています。会誌「ジュビター」は2/3カ月に1度発行。往復ハガキで連絡下さい。
横沢妙子
(〒424 静岡県清水市押切4-12)

我 が「中国拳法研究会」では只今会員を募集中。詳細は年齢・武術経験の有無などの自己紹介を50円切手同封の封書で。もちろん武術経験のない方でも、女の子でもOK。毎月1回、拳研究会。を発行。
丹羽利広
(〒454 愛知県名古屋市中川区愛知町29-10)

漫 研。アーティストSUNクラブ。では全国的に会員大募集中。(高2が中心) 少女漫画を愛する高校生以上の方、カット2枚同封の上連絡下さい。
大島広次
(〒040 北海道函館市宮前町3-23)

様 々なエネルギー(活動)について、私たちがとのかかわり(生活)の中でみつめ、発見した事を発表する場を持ちたいと思つてゐるあなた! 方法、スタッフ、名案求ム! 試案送ります。(50円切手同封を)
米岡敬司
(〒570 大阪府守口市寺方本通り2-2-1)

U FO研究会。レスキューの会員募集中。熱意ある中2以上の人を希望。会誌も発行予定。入会希望者は自己紹介、50円切手同封の上、連絡を。資料も求めています。
仁階堂孝(中2)
(〒820-05 福岡県嘉穂郡唯井町下白井西1270-35)

宇 宙に生じるすべての現象を研究するマイジー超科学研究所へ入会しませんか。東大UFO研、日本宇宙学研究会とも連絡があり、創立6周年になります。埼玉県の方、特

に歓迎。50円切手同封の上、連絡を。案内書急送します。
マイジー超科学研究所
(〒330 埼玉県大宮市高鼻町4-929-2 小島方)

S F愛好会。鳳天沙流。結成。中高校生諸君集まれ。同人誌の発行も予定。詳細を知りたい人は50円切手同封の上、左記へ。細井光博(15)
(〒372 群馬県伊勢崎市柳原町79-4)

志 賀祐子ファンクラブと共にUFO研究会結成。UFOに興味のある方、一緒に楽しいクラブにしませんか。入会希望者は往復ハガキにて連絡を。
宮崎克己
(〒919-05 福井県坂井郡坂井町下新庄2-4-1)

U FO、宇宙について科学的調査、実験、コミュニケーションを行なう研究会結成。興味のある方、連絡下さい。高校生以上が望ましいが、熱意のある方はどなたでも。
手塚正雄
(〒316 茨城県日立市東成沢町2-1-21)

僕 はUFOファンの一人です。今までにUFOを見たことのある方、いつ、どこで見たかを教えてください。
庄司豊
(〒699-06 鳥根県藤川郡斐川町大字鳥井73)

K UNC、会員募集中。UFO、ESPをはじめ超常現象の研究をしています。不思議な体験された方の体験談をお待ちします。
伊藤陸史(16)
(〒981-15 宮城県角田市角田字南111-3)

ア ニメ、DJ、SF、マンガ同好会「アルカディア・2001」では会員募集中。希望者は現金15000円と超ロング自己紹介文を送って下さい。
土井正美
(〒460 愛知県名古屋市中区橋1-8-2)

空飛ぶ円盤の科学的研究誌

宇宙艇

隔月刊

(増頁)

B5判

内 容 A) 空飛ぶ円盤の理論研究 B) 空飛ぶ円盤の試作
C) 時間反転機の理論研究と試作

☆ 部分品を頒布します(カタログは、宇宙艇巻末にあり)
誌代 4,000円(6号分) 入会金 500円(誌代にプラスのこと)

超相対性理論(五訂増補版)

定価 5,000円

新発売

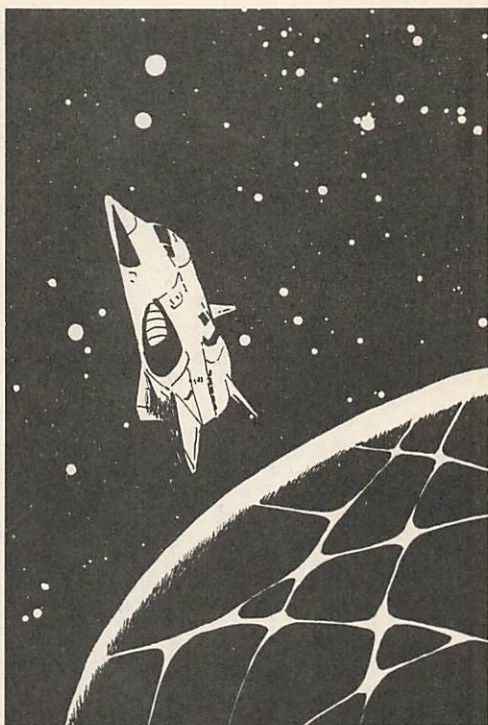
〒 240円

振 替 徳島 28986 (又は現金書留にて・切手は不可)



重力研究所

〒798 宇和島市中央局私書箱33号



▲祖父江慎（愛知県一宮市北方町）



► 亀井英泰（富山市北代）



譲って下さい

▼松本著士の物ならマンガ・ボスターンでも譲って下さい。(安価なら多少の傷物でも可。また「リッターズ・グレイ」782月「791月」中学数学3(啓林館)・中学英語3(ニューホライズン)のアンチョコをご希望の値段で譲ります。ハガキで連絡を。相川恵美子(〒166 東京都杉並区成田東1-23-19)

▼去年の暮れ放映されたTV番組「知られざる世界」の謎のUFOを斬る(初公開コンピュータ分析)をビデオに収めた方、御連絡下さい。

高村 徹(〒03 北海道札幌市西区山の手3条2丁目)

▼「天国の証」「フェノメナ」「存在の詩」「一万年後」「ノストラダムス大予言原典」「聖書とUFO」「生命の科学」「ナ・ゲーム」「トーチエ氏の心の法則」「惑星直列」「十番目の惑星」「方舟から一羽の鳩が」「神の千年王国は近づいた」「ピラミッドパワ」「太古の宇宙人」「七次元よりの使者・1巻」「宗教問答」「失われたムー大陸」「幻のレムリア大陸」「アトランティス大陸」「高橋信次氏の著した本を譲って下さい。

米沢龍子(〒018-53 秋田県鹿角市十和田馬内字小比泥18-3)

▼「七次元よりの使者」五井野正著、第0、1、2巻を適価で譲って下さい。

相川千里(〒851-33 長崎県西彼杵郡西彼町平原1659-10)

▼「ファントム」No.2(6(美品に限る))を1冊1000円で譲って下さい。僕の持っている「COM」との交換も可。

間瀬朋哉(〒472 愛知県知立市山屋敷町高場11-1)



▼ウルトラQ、マン、セブンに関するものなら何でも譲って下さい。高価買入。「マンガ少年」773月号「783月号」との交換も可。UFO写真を1000円位で譲って下さい。禁断の惑星の写真との交換も可。

千田孝一(〒021 岩手県一関市青葉1-1-9)

▼スケート・ボードを適価で譲って下さい。ハガキか電話で連絡を。

織田宏幸(〒82 宮崎県延岡市伊達町2-5830) 0982-323562

▼「科学忍者隊ガッチャマンII」の第12話「Drラップの秘密」の録音テープを5000円位で譲って下さい。(主題歌・次回予告も入っているもの)。また、「ガッチャマン」に関するものを安価でお譲り下さい。

安田由美(〒300-32 茨城県筑波郡大穂町佐793-2)

▼本誌No.11と二見書房のビーバン・クリスチエ著「西洋呪い術秘伝」、UFO関係の本を安価で、堀江美都子さんが歌っているテレビ漫画・映画の主題歌のレコードやテープ、彼女の写真など彼女に関するものを適価で譲って下さい。往復ハガキで連絡を。

前田洋一(〒673-01 兵庫県明石市二見町東二見543-2)

▼NHK「キャプテン・フューチャー」を録音された方連絡下さい。「キャプテン・フューチャー」のセル画・資料等の関係物を譲って下さい。

青井聖子(〒602 京都府京都市上京区大宮通下立売上ル家永町787)

▼本誌No.11、「エンigma」No.2(5、0UT)No.1(8、「地球ロマン」No.1(5、「SFマガジン」No.1(24 大陸書房シリーズ、99の謎シリーズ、各種研究会会報、タロットカード、ペンダント等を適価でお譲り下さい。ハガキで連絡を。

下田勝一(〒371 群馬県前橋市朝日町4-17-9)

▼本誌創刊号「No.10(なるべく美品)」を7000円で譲って下さい。送料当方負担。

石橋龍二(〒813 福岡県福岡市東区大字土井36-12)

▼SFテレビ映画「ウルトラセブン」の「セブン暗殺計画」(前・後)「史上最大の侵略」

(前・後)のカセット・テープを1週間貸与して下さい。お札に生テープ(TDK・DCI-60)を差し上げます。連絡は往復ハガキで。(札幌市内の方で手渡しできる方大歓迎)

生出雅己(〒001 北海道札幌市北区北十条西1丁目)

▼モデルガン長物、ラインエッジシフトガン、トミーガン、グリースガン、モーゼルカービン、ラングラー、MP40、ウージー、以上1万円位で譲って下さい。

諏訪公則(〒323 栃木県小山市南小林498)

▼ハヤカワSFシリーズ・ポケット版を、特に「盗まれた町」「鋼鉄都市」「最終戦争の目撃者」「3000...1」「人間の手がまだ触れない」「破壊への二時間」「都市」の初版をお持ちの方お譲り下さい。レオ別冊「リボンの騎士③」を10000円位、「マンガ少年」の創刊号を3000円・4000円でお譲り下さい。いずれも美本希望。往復ハガキで連絡を。諸君啓二(〒814 福岡県福岡市西区茶山2-9-32)

▼本誌No.11と40、その他、UFO写真、天文写真(データ付)、UFOに関する本、資料を無料譲って下さい。ただし先着1名様に電卓(6000円)を、抽選で天文に関する本(2名)、宗教に関する本(学校の教科書に使用している・3名)、中学・高校参考書(5名)を差し上げます。

倉田 守(〒463 愛知県名古屋市中区小幡栗ノ木72-4)

▼本誌創刊号「No.41を一括して譲って下さい。市価の3割引位でお願いします。

佐野一弥(〒864 熊本県荒尾市四ツ山町3-2-14)

▼遠州光学機械の10・24倍ズーム双眼鏡を1万5000円・2万円位で譲って下さい。(他社のズーム双眼鏡でも可)送料当方負担。往復ハガキで連絡を。

高橋紀夫(〒245 神奈川県横浜市中区中田町805)

▼「大いなる幻影(初版)、オペラ・ハット、狼の惑星、アラビヤのロレンス、真夜中のカウボーイ、YOU(ユー)、シェルフールの雨傘」その他40年位前から70年代前後までの映画のパンフレットを持っている方は是非譲って下さい。「風とライオン」のLPを持っている

譲ります

いる方は譲って下さい。

松本義夫(〒370 群馬県高崎市片岡町1-19-1)

▼ブレイン教育学館の催眠指導テープと説明書を25000円で、太極拳の指導書を半額で、オリバス・OM1をクロム1万50000円、ブラック2万円、OM2をクロム2万円、ブラック2万50000円以上譲って下さい。

金子 扶(〒010 秋田県秋田市山王中園町2-34)

▼SONY社製カセットコーダーP&DII(TC2/00A)ただし専用キヤリグケースも含む。是非譲って下さい。往復ハガキで連絡を。

五味川充(〒332 埼玉県川口市市中青木4-13-2)

▼「バラエティ」78年11月号を適価で譲って下さい。

岩垣寛光(〒682 鳥取県倉吉市瀬崎町2751-4)

▼「伊賀の影丸」1-13巻(東邦図書出版社刊)を30000円で、「少年同盟」1巻(虫プロ刊)を50000円で譲ります。その他いろいろの絶版本があります。

石田秀一(〒472 愛知県知立市山屋敷町東山11-8)

▼ボラロイドEE-88型ランドカメラを80000円で譲ります。キッス、ランナウェイ、岸本加世子、相本久美子、森田つぐみ、フィンガー5、太陽にはえろ、カーペンターズ、ダニエル・ブリン、吉田拓郎、キャプテン・ハローック、ガッチャマン等のレコードを譲ります。送料当方負担。往復ハガキで連絡下さい。

思地良憲(〒723 広島県三原市西野町2734-4)

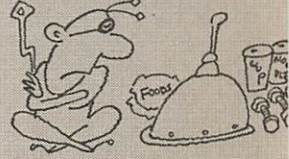
▼スターウォーズアルバム(英語)、SF誌、スタロログを適価で譲ります。日本全国の宗教に関する資料・リストを欲しい方は返信用封筒と定額小為10000円分同封の上連絡下さい。

浜崎昌澄(〒857 長崎県佐世保市藤原町7-54)

▼LP・ビートルズ「レット・イット・ビー」

Contact

蚤の市



「ア・ハード・デイズ・ナイト」「リボルバー」ボールマッカードニー&ウィングス「ロンドン・タウン」「レッド・ローズ・スピンドウエイ」を各1200円で譲ります。いずれも良品。連絡は往復ハガキで。送料別。

松井博昭(〒930-02 富山県中新川郡立山町浦田)

▼ソニー卓上ステレオ・クロコッEX-2KD定価798000円の新品同様を4万円で譲ります。

高岩一雄(〒328 栃木県栃木市大町21-10)

▼「新・ルパン三世」1-8巻と「バンドラ」をまとめて18000円、「空手や拳法の本」を4冊と「ブルース・リーのカラーシネアルバム」「空手着」をまとめて45000円、「ルパン三世の秘密公開」(原画セルやアイロンプリント入り)「ルパン三世F.C.会報7ヵ月分」と入会申込書枚・会員証・会員手帳(未使用)をまとめて20000円、その他多数あり。送料共。往復ハガキで連絡を。

鈴木志雄(〒468 愛知県名古屋市中区天白町平針住宅14-13)

▼中国戦「狐狗狸さんの秘密」、大内淳義「マイコン入門」P・トンブキンス「サボテンが喋った」、大羽弘道「邪馬台国は沈んだ」、三田悠之「心理ゲーム」、ライオン社刊「54年度私ランキング」以上を定価の半額で、マンガサークルの会誌3000円を送料共3400円で、オリジナルカレンダー(bycomic)「サクル・セレクトイデ」21×15cm16ページ1色オフ刷を1冊2000円で譲ります。まずは往復ハガキで連絡を。

王秀媛(〒462 愛知県名古屋市中区西味鏡4-407)

▼念力開発器70000円を35000円で、ブ

ランセット50000円を25000円で送料別で譲ります。新品同様。往復ハガキで連絡を。

鈴木豊(〒177 東京都練馬区石神井町1-11-33)

▼「チンペイの天才、秀才、バカ」3000円、「未知との遭遇」7000円、「ピンククレディ」6000円、「ピンククレディ」27000円、「ユーモア人間世界」3000円、「ピンククレディ」サマーファイヤー77のLP2枚組25000円、「ピンククレディ」チャレンジコンサートパンフレットと近代映画のサマーファイヤー特大型6000円、以上譲ります。価格応議可。すべて送料共。連絡は往復ハガキで。電話は午後6時〜7時に。

野崎健二(〒706 岡山県玉野市玉原2-18-6204 0863-316645)

▼「ブルース・リーの本」「スクリーン実伝ブルース・リー」「ドラゴン怒りの鉄拳の映画の本」「決定版ブルース・リー」「不滅のブルース・リー」「空手スタードラゴン大特集」「スクリーン・ブルース・リー」リアルバム「ブルース・リー」外国版」以上7冊を一括送料共30000円で譲ります。バラ売りも可。

森山茂生(〒838-15 福岡県朝倉郡杷木町穂木坂138 09466-21789)

▼「左きき用フレッシュ」シャーロットキヤスター(サンバーズ)4万5000円、ケース98000円を合わせて3万円で譲ります。

中川 興(〒989-52 宮城県栗原郡若柳町福岡四ツ谷43-12)

▼「シチズンデジタル時計(アラーム付、1年間使用、市価3万40000円)を1万70000円以上で。東芝のステレオヘッドホンとLP「かぐや姫おんすてーじ」以上2点を5000円。『ENCYCLOPEIDIA Y EARBOKK1976』48000円を28000円で、「ハンデック電気」17000円を10000円で。その他、本やLPなど多数あり。往復ハガキで連絡を。

千葉 誠(〒222 岩手県大船渡市根町字桑立根原56-5 01922-72780)

▼「四柱推命入門」「中国占命法」「陰陽五行入門」「ミッドラ・超古代の予言」「読心術入門」「合気道入門」「天才バズル」「バズル天才志願」各4000円で譲ります。

助原晃宏(〒440 愛知県豊橋市東小浜町10

0 芳賀忠雄方)

▼「橋本研究所のバイオフィードバック」を85000円、カセットテレコを30000円、記憶術の本4冊を15000円で譲ります。すべて送料込。往復ハガキで連絡を。

佐分兼治(〒491 愛知県一宮市東出町2-5000円で譲ります。手塚治虫の本を集めている方一報下さい。

野沢信平(〒189 東京都東村山市本町2-23-13)

▼「ロマンアルバム」「ヤマト」「サイボーグ009」「ロビン」「デビルバム」その他、イラストアルバム「松本」「石森」「永井」「ちば」「ランデブー」創刊号No.4、「ランデブー」コミック「創刊号」No.3、その他アニメの本などを譲ります。往復ハガキに希望品と希望価格を書いて下さい。

間瀬朋哉(〒472 愛知県知立市山屋敷町高場11-1)

▼「ルガーP08(4インチ・金属製) 火薬未使用・送料共50000円、モデルガン用手入れセット(未使用)送料共10000円、GUN」792月号(新品同様)送料共4000円、まとめて買って下さる時は、送料共61000円で譲ります。往復ハガキで連絡を。

太田 明(〒465 愛知県名古屋市中区萩原町1-18)

▼「日本BCL連盟「短波」No.1、26、「電波技術」(近代科学社)74、75頃、「ラジオの製作」73、76各号、「世界放送局めぐり」「海外放送はギミのもの」「世界の放送BCLのすすめ」「短波に強くなる」(フルバックス)76以上適価で譲ります。連絡は往復ハガキ。宮廻和男(〒690 島根県松江市東茶町7-20)

▼有名高校受験模キモキテスト「国、英、数、理、社」と解答送料共14000円、「面接試験問題」5000円、催眠術のカセットテープ(上下)30000円、なんでも百科「800円」(「念力強化法」7800円、「歴史年代事典」6000円、「UFO目撃情報」「UFO物証情報」「UFO調査」「宇宙人」「宇宙科学」「古代宇宙遺跡」各3500円、その他多数あります。20000円分の切手でリストを送ります。

日本GAP

宇宙的人間への成長を指導する世界有数のUFOと宇宙哲学研究の国際的大集団

会員募集

■ジョージ・アダムスキーとほう大な書簡を交わしたわが国UFO研究界の先駆者久保田八郎が、アダムスキーの要請に従って1961年に創始した日本GAPは、UFO問題に関連してア氏の生命哲学と生命科学の研究促進活動を展開し、今や会員約2千名を擁する世界屈指のUFOと宇宙哲学研究グループに発展、人間の宇宙の自覚に指導的役割を果たしています。■日本GAPはアメリカGAP本部(ジョージ・アダムスキー財団)公認唯一の日本支部として、密接な連携下に機関誌発行、月例研究会(東京は上野の文化会館)、年次総会を開催し、全国10カ所に支部を設置して各地で月例研究会を施行し、会員の精神の向上と良きカルマの形成に絶大な貢献をしており、UFO事件の追跡のみにとどまらず、宇宙の法則の探求実践を主唱して救われた人は無数にいます。■今年夏は大挙してアメリカGAP本部訪問の旅を実施の予定。■不定期刊機関誌「GAPニューズレター」は現在66号を発行中。本格的活版印刷B5判・極上アート紙・40頁・UFO問題や他惑星の偉大な人類存在の認識と宇宙の法則の啓蒙専門誌。

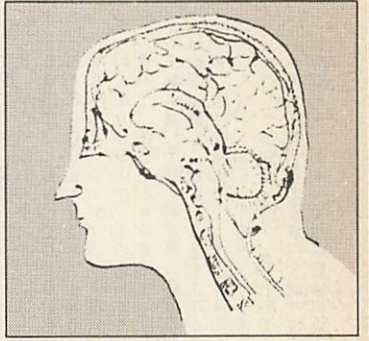
「GAPニューズレター」第66号主要記事=「アダムスキー哲学の偉大さについて」S.ホワイティング/「ジョージ・アダムスキーの思い出」フリットクロフト夫妻/「幻影と巨石の国へ(2)」久保田八郎/その他有益記事を満載。

第66号 ¥500 200

★ハガキに「入会案内書希望・U 5月号」と明記して下記へお申込み下さい。

〒133 東京都江戸川区本一色町365-818 日本GAP(主宰・久保田八郎)電話(03)(651)0958・振替東京4-35912

キミの かくれた能力 を引き出し、 頭脳をもっと ヨクしよう!



頭脳強化通信講座

◎ アメリカのカール・ヘニングの脳生理学・深層心理学理論にもとづく能力開発システム「ボータ原理」によって、宇宙瞑想・イメージ心理法の技術を習得できます。

◎ 大脳の眠っている細胞を活性化して、記憶力・思考力・数理解力・創造力・分析力・集中力・行動力・指導力などの能力が強化されます。

◎ 1日10分の自宅訓練を短期間行うだけで十分効果があがる最新教材を使い、段階を追って基礎から一步一步積み上げ、高度な技術を習得できるよう、懇切な指導をいたしますので、誰でもスグできます。

説明書
無料

ハガキに住所・氏名を明記の上、お申込み下さい。

申込先

〒104

東京都中央区銀座2の8の17
中川ビル1号室
唯超学会U係

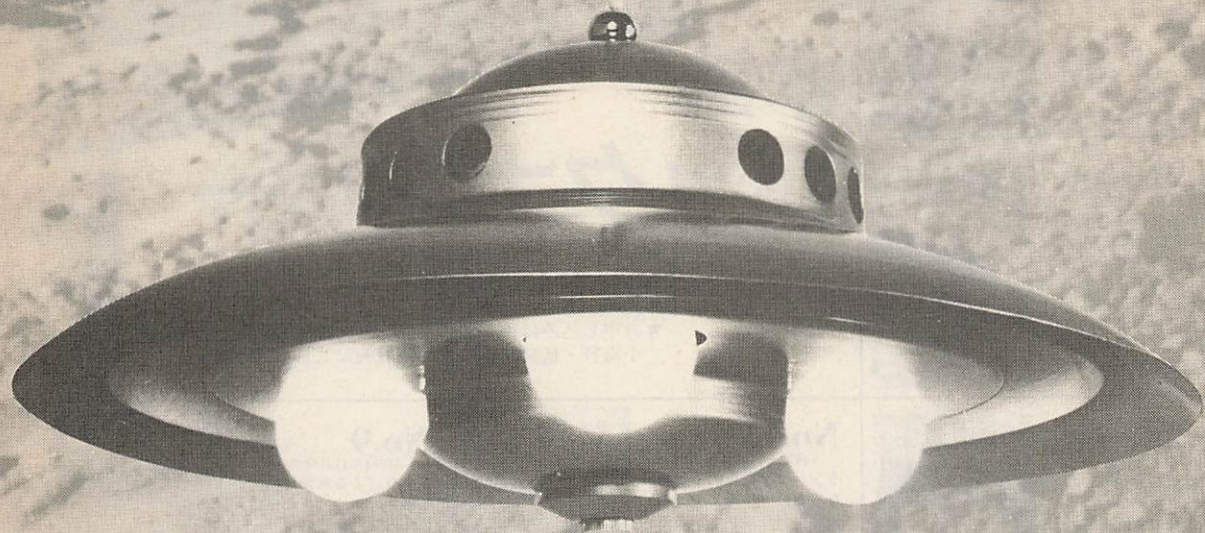
音羽幸男(〒601-13 京都府京都市伏見区醍醐西大路町2-81)
▼大場久美子のLP「微笑メロデー」「カレンダー」「シングル」「キラキラ星あげる」「サイン入り」を3枚まとめて譲ります。希望価格明記の上、往復ハガキで連絡を。ブルース・リール商品との交換も可。
開田吉彦(〒370-06 群馬県邑楽郡邑楽町秋妻下川原19-20)
▼UFO写真カード(68枚)を1枚70円(〒共)で譲ります。切手で買いたい方は1枚80円(20円切手を使用のこと)で譲ります。
渡瀬親夫(〒274 千葉県船橋市高根台5-1-277-107)
▼「パイオニードバックGSR2」を1万円、ナショナル電子ソロバンPanac8207(JE-8207)を3000円で、「秘法ヨガ入門」「超能力入門」各400円で譲ります。往復ハガキで連絡を。
谷川幸秀(〒515-25 三重県一志郡一志町波瀬2402-2)
▼テレビゲームDAAZZLA(新品)を4000円で、スーパーホームジンを25000円、グリップとパワーエクスパンダを25000円で譲ります。ブルワーカーを70000円、60000円で譲って下さい。
平沢雅利(〒085 北海道釧路市春日町3-6)
▼LP「衝撃のUFO」を15000円で譲ります。ピンクレディーのカレンダーを進呈。往復ハガキで連絡を。
松波信雄(〒330 埼玉県大宮市大谷1693)

▼ラジコンカー「ボルシェ936」キット(組立て済)大きさを8500円で譲ります。送料当方負担。往復ハガキで連絡を。
西村英雄(〒743 山口県光市中央町13-8)
▼アポロ12号8ミリフィルム(カラー、スリバー18、200フィート)を80000円で譲ります。
前田 稔(〒110 東京都台東区台東4-12-5)
▼松本零士のマンガコミックス「セクサロイド」1、4巻、「元祖大四畳半大物語」1、4、6、「悪魔荘物語」宇宙戦艦ヤマト」を1冊送料共3500円、「松本零士の世界」400円、アニメ画集「銀河鉄道999」500円、ヤマトのパンフレット2000円、「スクリーン増刊・キングコング」「恐怖映画のすべて」「別冊ロードショー・ジョーズ」各300円、その他、ウルトラマンシリーズ関係のものとの交換も可。
千田孝一(〒021 岩手県一関市青葉1-1-9)
▼「エニグマ」No.1-4を20000円、「幻の近江京」「世界のUFO写真集」「UFOの正体」を25000円、「恐怖新聞」「ドカベン」「おそ松くん(3冊)」を14000円、「サーキットの狼(1-14)」を44000円、その他多数あり。高級ラジコン(塗装済み)カウタンクLP5000Sを80000円で譲ります(ウルトラマン・写真セル3枚を進呈します)。往復ハガキで連絡を。
坂間健司(〒661 兵庫県尼崎市塚口町4-10)

交換しましょう

▼「ルパン三世」のLP、映画のパンフレット、漫画4・5巻をまとめて25000円で譲ります。お札に「マジンガーZ」「グレート・マジンガー」「どろろ」を進呈。
瀧ノ上昌美(〒020-01 岩手県盛岡市青山1-19-53)
▼僕のバイオニア社のラジカセRK-7777「キヤリングケース付とあなたのテクニクス社ブレイヤーズ」1900とです。スクラブック1000トランスミッター+電子プロロックスST-100と小型ステレオスピーカーとです。40000円でチューナーと交換して下さい。
杉本浩二(〒644 和歌山県御坊市湯川町財部705-12)
▼マンカインド社のピラミッドエネルギーエネレーター(4×5インチ)をお持ちの方「かもめのジョナサン」「未知との遭遇」「スター・ウォーズ」「コンピュター入門」「哲学の復興」「ノストラダムス大予言の秘密」「シンセサイザーのすべて」UFOステッカー2枚、映画のパンフレット20冊と交換しましょう。連絡は往復ハガキで。
阿部誠一(〒675-13 兵庫県小野市上本町2355-2)
▼ロングブーツをお持ちの方、僕の持っている、あらゆるヤマトのボスター、パンフレット、ピンナップ、切りぬき、TVと映画のテ

ープ、レコード、小説、セル画、トランプ、バネル等(2万円相当)と交換して下さい。
本嶋伴通(〒855 長崎県島原市萩ヶ丘1006-1)
▼ソニースタジオ1990ラジカセ(半年使用)をボケットカメラ、または反射望遠鏡と交換して下さい。連絡は ☎03-7002-8843 午後8時以降。
宇佐見良夫(〒158 東京都世田谷区等々力2-22-4 4つみ荘)
▼僕の持っている「COM」「ぐらんこん」とあなたの持っている「COM」「ぐらんこん」と交換して下さい。まずはハガキで連絡を下さい。
間瀬朋哉(〒472 愛知県知立市山屋敷町高場11-1)
▼私の持っている8ミリ撮影機(AX1000フジカ・レンズF11・自動絞り・サイレント)未使用か、許可不要強力エアライフル(SS9000型ボルトアクション式)とUFO探知機(アダプター付・全機能完動品)を交換して下さい。パイオニードバックGSR2とでも結構です。国鉄大塚駅までなら持って行きます。往復ハガキで。
伊藤浩志(〒594 大阪府和泉市寺門町2-4)
▼TM等UFOに関する本とギターの楽譜(アルペジオ、スリフィンガー)を交換して下さい。多数の場合は抽選になりますのであしからず。
高田すみ子(〒655 兵庫県神戸市垂水区千代ヶ丘2-4-7)



↑ここにふれると明かりがバツ／消す時もバツ／のタッチスイッチ

これがスチール製 高級UFO型コードペンダントだ

●ボールランプ(25W×3・但し40W使用可)●大きさφ390×200%●タッチスイッチ付

NEW!! 本格的UFOステッカー



シール面は、当社で新しく開発したメタリック模様です。
ワンポイントアクセサリーとして、差をつけよう。

3枚1セット ￥1,000 (送料共)

- パブレストランの照明に
- 喫茶店・スナックの照明に
- お店のディスプレイとして
- ショーウインドのアイキャッチとして
- 新しいインテリア用品として

スチール製・シルバームッキ仕上げの美しい本格的な照明器具です。このコードペンダントは、当社開発商品のため、一般商店では、販売しておりません。直接当社へお申し込みください。

特別価格 ￥13,800 (送料共)

購入方法

ご注文は、品名をはっきり書いて、現金書留または郵便振替にて、ユニバース出版社商事部迄、お申し込みください。

株式会社ユニバース出版社商事部

〒110 東京都台東区上野5-1-6ヤマトビル
振替 東京1-119478

No.20 ¥430

(1976年9月発売)
 <口絵>火星の大地他/ト
 ラビス・ウォルトン事件
 の真相/東北地方UFO
 事件/UFOインタビュー
 /月はUFOの中継基
 地か①/(続)宇宙・引力
 ・空飛ぶ円盤③ 他



No.21 ¥430

(1976年11月発売)
 <口絵>ビレネーの怪他/
 日本のUFO研究者3人の
 主張展開/精密UFO大
 図鑑/UFO事件完全年
 譜/空飛ぶ円盤の推進原
 理/月世界はUFOの中
 継基地か②/私は宇宙人
 に身体検査をされた 他



No.22 ¥430

(1977年1月発売)
 UFOは石を食べていた
 /チベット山中の金星人
 基地/金髪的女性宇宙人
 としばしば接触/女性3
 人を身体検査した巨大U
 FO/着陸した円盤に宇宙
 人の死体/UFOアメリカ 他



No.23 ¥430

(1977年3月発売)
 <特集>ジョージ・アダム
 スキー/闇夜に牛が殺さ
 れた/UFO写真のコンピ
 ューター分析/女性宇宙
 人セムジャーゼとの会
 話/星・生命の始まるこ
 所/大ニューヨークの
 郊外に円盤着陸④ 他



No.24 ¥430

(1977年5月発売)
 <特集>戦後UFO30年史
 /ウィンチェスターに出
 現したUFOと不思議な
 人間/謎のニューヨーク
 大停電/驚くべきコンタ
 クトの全貌/UFOに家
 族をさらわれた 他



No.25 ¥430

(1977年8月号)
 <特集>謎の黒い影/宇宙
 人の言葉の解読に成功/
 私は円盤に乗った宇宙人
 に救われた/UFOと謎
 の奇怪な生物①/聖書と
 宇宙人①/メキシコのコ
 ココに奇妙なUFOが
 着陸! 他



No.26 ¥430

(1977年9月号)
 超能力少年/怪物ビッグ
 フットとUFO/UFO
 と謎の奇怪な生物②/奇
 跡! ルードの聖泉①/
 超能力の謎は科学で解
 けたか/聖書と宇宙人②/
 恐怖の地下洞窟・タ
 ジョスに潜入 他



本誌

バックナンバー

★1~8, 10号は売切れです。

★送料...50円(1冊につき)

★振替...東京1-119478

★お申し込みはお近くの書店、または現金書留・振替・
 小為替・低額切手などで当社宛にご注文ください。

No.15 ¥390

(1975年11月発売)
 ランシング夫人の不思議
 な写真/ドラギニヤンの
 怪事件/ワルストンの奇
 怪なロボット/聖書の予
 言とスペース・プログラ
 ム①/原子・銀河系・理
 解②/ソ連圏のUFO現
 象③ 他



No.16 ¥390

(1976年1月発売)
 三原市の驚異コンタクト
 事件/テレポーテーション
 とテレパシー/聖書の
 予言とスペース・プログ
 ラム/X博士の怪UFO
 事件/作図によるアダム
 スキー型円盤解析の試み
 /名古屋に円盤/ 他



No.17 ¥390

(1976年3月発売)
 アポロ飛行士が撮ったU
 FO写真初公開/UFO
 は地球の救済にのるか
 /ビーター・フルコスの
 驚異的大発見/アポロ飛
 行士は月で地球外文明を
 見た/奇跡を起こす方法
 /巨大円盤横須賀に 他



No.18 ¥390

(1976年5月発売)
 UFO同乗事件/私は宇宙
 人のクビをすげかえた
 /マヤと飛鳥を結ぶ宇宙
 人の遺産/森林伐採工
 トラビス・ウォルトンのU
 FO同乗事件/(続)宇宙
 ・引力・空飛ぶ円盤④ 他



No.19 ¥390

(1976年7月発売)
 私はUFOを何度も見た
 /ムーディ軍曹砂漠で円
 盤に誘拐される/世界の
 12の魔の墓場/宇宙人は
 なぜ人類と正式に交流し
 ないのか/大地震は予知
 できるか/火星生物発見
 の旅 他



No.9 ¥400

(1974年11月発売)
 UFOによる米空軍機追
 尾事件/スペインに出現
 した円盤と乗員/ジョー
 ジ・アダムスキーはまだ
 影を投げかけている/宇
 宙・引力・空飛ぶ円盤④
 /地震の謎をにぎるマン
 トル対流! 他



No.11 ¥360

(1975年3月発売)
 月面は円盤の中継基地か
 /ニューヨークの着陸
 事件/原子・銀河系・理
 解①/東北、関東東をよ
 ぎったUFOの大編隊/
 アダムスキー型円盤、尾
 道市に出現/宇宙・引力
 ・空飛ぶ円盤⑤ 他



No.12 ¥360

(1975年5月発売)
 甲府市にUFO着陸/古
 代の天空人/オーストリ
 アの光るカタツムリ状物
 体/原子・銀河系・理解②
 /ソ連圏のUFO現象①
 /長野県に落下した小型
 円盤/重力波とは何かシ
 ベリアの謎の大爆発 他



No.13 ¥360

(1975年7月発売)
 千葉市にアダムスキー型
 円盤出現/円盤の宇宙人
 を見た/宇宙交信のため
 のテレパシー通信/円盤
 現象を解釈するためのア
 インシュタインの3つの
 基本事項/ソ連圏のUFO
 現象② 他



No.14 ¥390

(1975年9月発売)
 1897年の謎の飛行船/私
 は金星文字を解読した/
 大気圏外生命体とのコン
 タクト/実在する超感覚
 と念力/ソ連圏のUFO
 現象③/円盤をよく見る
 人/マルセル・オム教授
 の不思議な発見物 他



No.39 ¥430

(1978年月刊10月号)
全米UFOシンポジウム
／スペース・コロニー①
／太陽誕生の謎／聖書と
宇宙計画／チャールズ・
フォートのふしぎな世界
①／地下を通る宇宙エネ
ルギー／A・ハイネック
博士最後の講義 他



No.34 ¥430

(1978年月刊5月号)
〈特集〉日本にもあった宇
宙人遭遇事件／UFOの
作った異次元カーテン／
ファティマの奇跡①／天
体カカログのなぜ／横尾
忠則対談：富田勲／日本
のUFO事件の全貌①
他



No.27 ¥430

(1977年月刊10月号)
ワシントンのUFOパニ
ック／宇宙人からテレバ
シー・メッセージを受ける
科学者たち①／謎の第
10番惑星／奇跡！ルー
ルドの聖泉②／沖縄にUF
O着陸？／米アリゾナ州
メサの怪物体 他



No.40 ¥430

(1978年月刊11月号)
宇宙人の死体が米軍基地
に隠されていた／三重
県鈴鹿市にUFO大接近
／超能力者が明かすU
FOの秘密／宇宙大衝突
の脅威／第5回世界宇宙
考古学会議／惑星錬金工
学 他



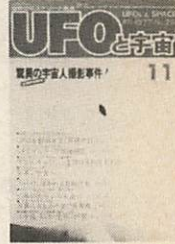
No.35 ¥430

(1978年月刊6月号)
〈特集〉UFO飛来学説
異次元説、地球空洞説、
生物説、海底基地説、空
中生物他／横尾に宇宙人
現わる／横尾忠則対談：
南山宏／(続)宇宙・引力
・空飛ぶ円盤②／ファ
ティマの奇跡② 他



No.28 ¥430

(1977年月刊11月号)
驚異の宇宙人撮影事件／
宇宙人からテレバシー・
メッセージを受ける科学
者たち②／スパイに使わ
れる超能力者／灼熱の密
林より永遠に①／聖書と
宇宙人④／UFOを観測
する百眼の巨人 他



No.41 ¥430

(1978年月刊12月号)
総編集：UFOスペシャ
ル78／グレンダ国のゲ
リー首相再び国連総会で
UFO演説／荒井欣一氏
にインタビュー／新ピラ
ミッドロジー／日本の科学
者に問う②／牧師が宇宙
人の指示で農夫に／ 他



No.36 ¥430

(1978年月刊7月号)
〈特集〉よみがえったア
ダムスキー：C・ブロッ
プ直撃インタビュー、ア
ダムスキーの弟子たち、宇
宙人を診察した医者他／
横尾忠則対談：古山晴久
／銀河大渦巻の謎／UF
O製造秘密工場 他



No.29 ¥430

(1977年月刊12月号)
売切れ



No.42 ¥450

(1979年月刊1月号)
座談会・第一線研究家の
UFO展望／UFOと宇
宙哲学／またもUFOの
人間誘拐／スイス・コン
タクト現地探訪／UFO
と遭遇？オーストラリア
でセサ機失踪／石森章
太郎UFOコミック 他



No.37 ¥430

(1978年月刊8月号)
G・ルーカスは宇宙人
と会ったか？／神秘の鏡
びたナイフ／横尾忠則対
談：秋元秀成／異星人の
メッセージか？UFOの
シンボルマーク／人類惑
星間大移動史／C・ブ
ロップ直撃インタビュー② 他



No.30 ¥430

(1978年月刊1月号)
フレッド・ステックリン
グ氏に聞く／各界著名人
特別寄稿／共産圏UFO
事件簿／聖書と宇宙人⑤
／シベリアの爆発は別な
惑星の宇宙船？／ハロー
・異星人、こちら地球
他



No.43 ¥450

(1979年月刊2月号)
来日したステーブ・ホ
ワイティング／世界の女
性予言者79年を見る／超
多重宇宙の謎／小特集・
ジャンバラ／国連政治委
にUFO案件／テレバシ
ー新戦略／石森章太郎
UFOコミック「天敵」 他



No.38 ¥430

(1978年月刊9月号)
New York 上空を何が飛
んだのか／ゲリー首相
に特別インタビュー／空
飛ぶ円盤墜落す／「虫
の穴」から恒星間飛行／脈
動する太陽の謎／宇宙文
字の起源を探る／宇宙
の知的生命を探る 他



No.31 ¥430

(1978年月刊2月号)
世界5大予言者1978年を
診断／セムジャーズは何
を語ったか／星からの無
人探測船／ライヒ博士の
UFO撃墜装置／月は異
星人の宇宙基地か②／コ
ンドン白書批判／宇宙教
育の原点を探る 他



本誌
保存用

特製バインダー

¥500

- 『UFOと宇宙』を破損・紛失しないために、このバインダーをご利用ください。
- 6冊とじこめます。
- 荷造送料 1～2個 ¥350
3～4個 ¥700

〒110 東京都台東区上野5-1-6ヤマトビル

☎東京03-832-1341

ユニバース出版社

No.32 ¥430

(1978年月刊3月号)
国連で採択されたUFO
問題の真相／巨大UFO
の怪光線で火傷した運転
手／世界宇宙考古学会報
告／横尾忠則対談：札幌
の異星人コンタクト／
金星人の足跡を解説 他



No.33 ¥430

(1978年月刊4月号)



売切れ

6月号予告(大増ページ特大号)

●都合により内容を変更することがあります。

100ページ超大型特集

全世界UFO研究誌掲載論文集

米国/ミューフオン・ジャーナル、インターナショナルUFOレポート、アプロ・プレティン、UFOインベストイゲーター、ジャスト・コース、アンダスタンディング他 英国/ビューフォー、FSRフランス/ルミエール・ダン・ラ・ニユイ、フェノメナ・スバシアル他 アルゼンチン/クワルタ・デイメンシオン デンマーク/UFO NY ドイツ/UFOナハトリヒテン 台湾/宇宙科学 カナダ/UFOカナダ、カナディアンUFOレポート スウェーデン/SUFOR 日本/GAPニューズレター、ジュフォーラ、未確認飛行物体、空飛ぶ円盤研究、UFO、宇宙機、宇宙船、UFO教室、アペロユーホロジスト他 その他/イタリア、アイルランド、スペイン、メキシコの研究誌

米空軍が調査した中東地域のUFO事件

ノストラダムスの第三次世界大戦詳細予言

連載再開続・聖書と宇宙人 クロード・ボリロン

5月号 UFOと宇宙

編集後記

★ボイジャー1号が10億キロのかなたから地球に送信してきた木星像は、われわれに新たな驚きを与えてくれました。かつて地球の衛星月やお隣りの惑星火星から送られてきた映像があまりにも殺風景で、生命活動があふれている地球との大きな隔たりに落胆したものです。しかし、ほんの2軒お隣りの木星とその衛星たちの躍動ぶりはわれわれの目を見張らせます。毎時360キロメートルという嵐が地球の3倍もの地域にわたって吹き荒れている大赤道、激しい火山活動が続ける衛星イオなどは宇宙が永遠の死の世界では決していないことをまざまざと教えてくれます。木星観測を終えて土星へ向かったボイジャー1号と7月に木星に接近して1号以上に詳細な観測を行なう2号に、人間の、地球人の未来が託されているかのようです。

★5月初めに本誌増刊号『不思議世界百科'79』が発売されます。最新の解説と200点にのぼる写真で世界のミステリーを一望におさめた貴重な一冊です。書店でご覧ください。(Y)

投稿歓迎

本誌ではUFOおよび一般ミステリー問題に関する原稿、写真、研究発表等を広く募集しています。原稿はなるべく原稿用紙(タテ書き)をご使用ください。なお、投稿された原稿はお返しいたしません。

あて先 〒110東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル ユニバース出版社「UFOと宇宙」編集部

その他、興奮の写真と記事満載!



ル・チンシュタークのUFO研究論

斎藤守弘

大オリオン星域の謎

UFOと宇宙 1979年5月号 第46号
定価 四五〇円 送料五〇円
発行 昭和五十四年五月一日
(月刊/毎月二〇日発売)

編集人 矢沢 潔
発行人 遠矢直輝

発行所 株式会社 ユニバース出版社
住所 〒110 東京都台東区上野五―一―六 ヤマトビル
電話 〇三(八三三)―一三四―一四四
振替 東京一―一九四七八
印刷所 株式会社サンニチ

年々購読料 六〇〇〇円(年間十二冊、送料共)
書店で入手できない場合は、本社へ直接ご注文ください。
本誌掲載記事・写真の無断転載を禁じます。
海外の記事はすべて翻訳転載権取得済。

35%一眼レフ用
スリコール

リライアンス交換レンズ

200% ¥14,000
135% ¥13,000
35% ¥12,000
500% ¥24,000
300% ¥18,000
400% ¥21,000
2倍・3倍テレコンバーター ¥7,000・¥11,000

驚異的
低価格

35%F2.8 ¥12,000・300%F5.6 ¥18,000
135%F2.8 ¥13,000・400%F6.3 ¥21,000
200%F4.5 ¥14,000・500%F8 ¥24,000

(Pマウント・ケース付。プリセット式絞込測光・35%一眼レフ専用)

2倍・3倍テレコンバーター

標準レンズ50%に付けると100%又150%の望遠レンズに望遠
レンズ200%に付けると400%の超望遠レンズになります。
¥7000・¥11000

●交換レンズ・テレコンバーター購入希望の方はお持ちの35%一眼レフカメラ名を記入の上ハガキでカタログお申込み下さい(電話は不可)

超ミニ天体望遠鏡 チビテレ22

世界最小!! 最短長わずか17cmの天体望遠鏡



¥13,800

(三脚なし)

天体でも地上(正立左右逆像)でも使えます。月面、土星の環、木星、金星の観測に。人物、風景の観望に超小型軽量で携帯性抜群、カメラ用三脚使用可能

■小さくてもこの性能

アクリルマウントレンズ口径40mm 焦点距離220mm
倍率70倍55倍35倍28倍18倍本体最短長17cm最大径51mm
(附属品)天頂プリズム、パローレンス、接眼鏡2個
照準器、卓上型三脚、携帯用ケース

・カメラ用四段エレベーター三脚付 ¥19,000(指定注文)

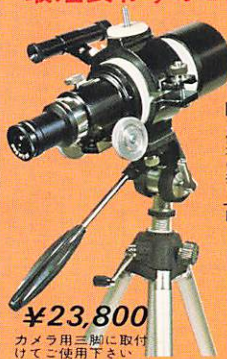
・卓上三脚付 ¥14,800(指定注文)

・別売部品、地上プリズム(正立左右正像) ¥3,000



超ミニ天体望遠鏡 チビテレ300

最短長わずか21cmの天体地上兼用望遠鏡



¥23,800

カメラ用三脚に取付
けてご使用下さい

天体でも地上でも使えます。月面や土星の環、木星、金星の観測に、人物、動物の観望に。小型軽量ですので旅行に持ちこたがいにできます

■小さくてもすごい性能

アクリルマウントレンズ口径50mm 焦点距離300mm
倍率125倍100倍50倍30倍15倍(地上用)50倍15倍
本体最短長21cm・最大径70mm
(附属品)地上プリズム、天頂プリズム、パローレンス
接眼鏡2個、2x照準器、三脚取付バンド、携帯用ケース
カメラ用四段エレベーター三脚付 ¥28,800(指定注文)

■別売部品・カメラアダプターC ¥4,500・15倍に使用
に126mm・144mmの超望遠カメラレンズに使えます。
35%一眼レフ専用・カメラ名をお知らせ下さい。



昼夜兼用望遠鏡 MG7

¥18,700 ケース付

ズームスコップ TZ820

ズーム望遠鏡として8倍~20倍、35%一眼レフカメラに付けると400%~1000%(間接式)及720%~1800%(直接拡大式)のズーム超望遠カメラレンズに使えます。

●間接式は標準レンズのフィルターネジにネジ込みます。取付リング49%・52%・55%・58%の4種あります。
●直接拡大式はカメラボデーに直接取付けます。
●国産35%一眼レフカメラのほとんどに使用できます

B型 ¥24,800

(35%一眼レフカメラ
名とフィルターサイ
ズお知らせ下さい。)

A型 ¥21,800

間接式400~1000%専用
(フィルターサイ
ズお知らせ下さい。)



☆ご注文は必ずカメラ名をお知らせ下さい

人間の目よりグリーンと明るい広視野小型望遠鏡です。肉眼では見にくい暗がりが良く見え、夜の公園や暗い室内も驚く程良く見えます。昼間も鮮明にブレが少なくはつきりと、広い視野が得られます。

●明るさの秘密は短焦点レンズF3.9・集光力、人間の目の50倍、人間の瞳孔に理想的に設計された口径比倍率・レンズ、プリズムの全面に増透処理。
●35%一眼レフカメラに付けると超望遠カメラレンズになります。600%F12・750%F15・900%F18・1250%F25・1400%F28・1550%F31・1700%F34の7通りに使用します。
●対物レンズD50mm F1.95、接眼鏡オルソナー28mmレンズ構成3群6枚、重量570g、長さ21cm、倍率7倍カメラ使用部品不用の場合指定注文 ¥14,000



標準レンズ50%で撮影 600%で撮影 900%で撮影 1700%で撮影

高級ズーム望遠鏡 Z50

驚異の高性能
天体地上兼用

Z50

アクリルマウント
口径50mm



総金属製
総重量1.8kg
本体長58cm
脚高42~108cm

大迫力
倍率ズーム変倍 27倍~80倍

(カメラ用エレベーター
四段三脚付)

¥15,800

本体のみ価格 ¥10,800

(カメラ用三脚お持ちの方は本体のみ指定注文下さい。)

普及型・昼夜兼用望遠鏡 MG8



¥9,900 ケース付

重量430g・長さ17cm・倍率7倍

人間の目よりグリーンと明るい小型望遠鏡です。肉眼では見にくい暗がりが良く見えます。昼間も夜もブレが少なく鮮明に見え、警察官、ガードマン、警備員の必需品です。

★MG7と機能上異なる点・カメラの取付不可、通常の視野、レンズ構成3群5枚

標準レンズ切換式ストロボ 望遠レンズフラッシュ 内臓のポケットカメラ



ケース付 ¥12,000

シャッター・1/125秒 ストロボガイドNo16
大きさ・59mm×30mm×16mm

ワンタッチで標準から望遠に室内や夜間はストロボでピント調節は必要なし鮮明に写せます
軽量で小型わずか250gフィルム装てんはかんたん
標準25%望遠40%ワンタッチ切換式
シャッター・1/125秒 ストロボガイドNo16
大きさ・59mm×30mm×16mm

35%フィルム現像と引伸し現像がカラー・白黒 かんたんにできる カラーフォトセット



フィルム現像と引伸し現像がでるで秘密の写真もOK/カラー写真も7×10mm判に伸せます。現像剤、印画紙は後日追加購入ができます(数量割引有)

カラーフォト12点セット ¥9,500

(内容)引伸しプリンター・カラー白黒現像定着剤及印画紙・カラーフィルター・ネガハサミ・フィルム現像タンク・計量カップ・現像バット・使用指導書等

☆ご注文は電話又はハガキで/東京03(850)6110・(859)1331

(全品送料無料) 営業時間 午前10時~12時 午後1時~5時・日曜、祭日は休業

ご注文は品名をハッキリ書いて下さい。遅くとも7日以内に代金引換郵便で送ります。お近くの郵便局から着荷の案内が行きまします。お近くの郵便局に代金と共に持参しお受け取り下さい。(5日以内に返品可能ですが諸費用お受け取り)

〒121 東京都足立区北56番
株スリーピーチ UF05係
東京都足立区平野3丁目7番17号

日本中のファン待望!あのヤマトがいま、8ミリ映画に!

きみは覚えているか——
あの若者たちの顔を、そしてあの熱い感動を。
人生には、永遠に忘れてならないものがある。

宇宙戦艦

ヤマト

《魅力の全3巻一挙発売!》

- 第1部 さらば地球よ
第2部 神よガミラスのために泣け
第3部 愛に生き 愛に死す

スーパーシングル8/カラー/65mm/24コマ
光学録音版/定価 各巻共12,500円

構成・西崎義展

TVシリーズ「宇宙戦艦ヤマト」松本零士監督作品より

企画・制作・ヘラルド・エンタープライズ・朝日8ミリライブラリー
発行元・朝日新聞社・発売元・朝日ソノノマ・特約代理店 サン・クラフ

8ミリ
映画

朝日8ミリライブラリー

●スーパーシングル8/カラー/65mm/24コマ/11分 ●光学録音版/定価 各巻共12,500円

第1部 さらば地球よ

西暦2199年、地球の危機を救う為、250年の眠りから覚めたかつての戦艦大和が、宇宙戦艦ヤマトとなってよみがえった。スターシャの待つイスカンタルめざして沖田艦長以下、古代進、森雪ら総員114名を乗せて発進!

第2部 神よガミラスのために泣け!

イスカンタルめざすヤマトを迎え撃つガミラスのデスラー総統。ヤマト対ドメル艦隊の“七色星団の決戦”その大迫力! 続々とくりだすガミラス軍団の新兵器に對抗するヤマト。ヤマト危うし!

第3部 愛に生き愛に死す

ガミラスの猛攻撃に耐え、ヤマトはついにイスカンタルへ。放射能除去装置を手にも再び地球へ。古代進と守の再会、そして、沖田艦長の死。古代進と森雪との愛の奇蹟、ヤマトはさまざまな感動をのせながら地球へ……。

UFO★友好か侵略か!!



これがUFOだ!

スーパー8/カラー/55mm/24コマ/9分
光学録音・カセットテープ付 定価10,800円
プロット●スカイラプ3号が撮影したUFO●ジェミニ7号が撮影したUFO●アポロ12号が撮影したUFO●米国防総省ファントムが撮影したUFO●アダムスキーが撮影したUFO

宇宙人は地球にきた!

スーパー8/カラー/55mm/24コマ/9分
光学録音・カセットテープ付 定価10,800円
プロット●ナスカ平原(1,500年前の飛行場)●イースター島 黙せる巨人たち●サハラの大ツツリ山にある宇宙人の古代壁画 他

月旅行があなたのものに!!



宇宙への挑戦・人類月に立つ

スーパー8/カラー/59mm/24コマ
光学録音・カセット付/各9,800円
プロット●ロケット開発と宇宙への欲望●宇宙工学の発達と数々の失敗●初めて見た地球の全景●宇宙遊泳する飛行士●地球回遊する人工衛星●アポロ11号の秒読み開始●全人類を代表する三飛行士の勇姿●アポロ11号は月に向って飛び立った。

宇宙への挑戦・地球は青かった

プロット●アポロ11号、月面に向かう●着陸地点“静かの海”をさがす着陸船●月面着陸、その歴史的瞬間●人間が見た初めての月面風景●月面で楽しい冒険(アポロ16号より)●田舎の地球への帰還

あの懐かしい名機関車たちが、今君の目の前に

すばらしい蒸気機関車

スーパー8/カラー/55mm/24コマ/9分
光学録音付 9,800円/磁気録音付12,000円
SL映画珠玉の名作、日本鉄道史百年の鉄路を走り去った数々の蒸気機関車の勇姿再現●この映画に登場するSL●C62●C58●C57●C56●C55●C51●C12●9600●8620●B20

米光の蒸気機関車C62

スーパー8/カラー/30mm/24コマ/5分
光学録音付 5,800円/磁気録音 9,000円
米光に輝く/スワロー・エンゼルのすべて!

世界最大のSL・BIG BOY(1)(2)

スーパー8/カラー/全2巻/55mm/24コマ/9分
光学録音付 9,800円/磁気録音各12,000円
ロッキーを越え大平原をゆく世界最大のSL!



SLよ永遠に

スーパー8/カラー/55mm/24コマ/9分
光学録音付 9,800円/磁気録音12,000円
吹雪をつきD51三重連は常規を越えていった●この映画に登場するSL●C55●4110●D52●C58●D61●夕鉄12号●C12●9600●美唄6号●B20●D51●ラッセル

ご注文方法

上記の8ミリ映画をご希望の方は、題名を記入の上、現金書留又は振替口座(東京1119478)にてお送り下さい。送料は当社にて負担致します。